MAX

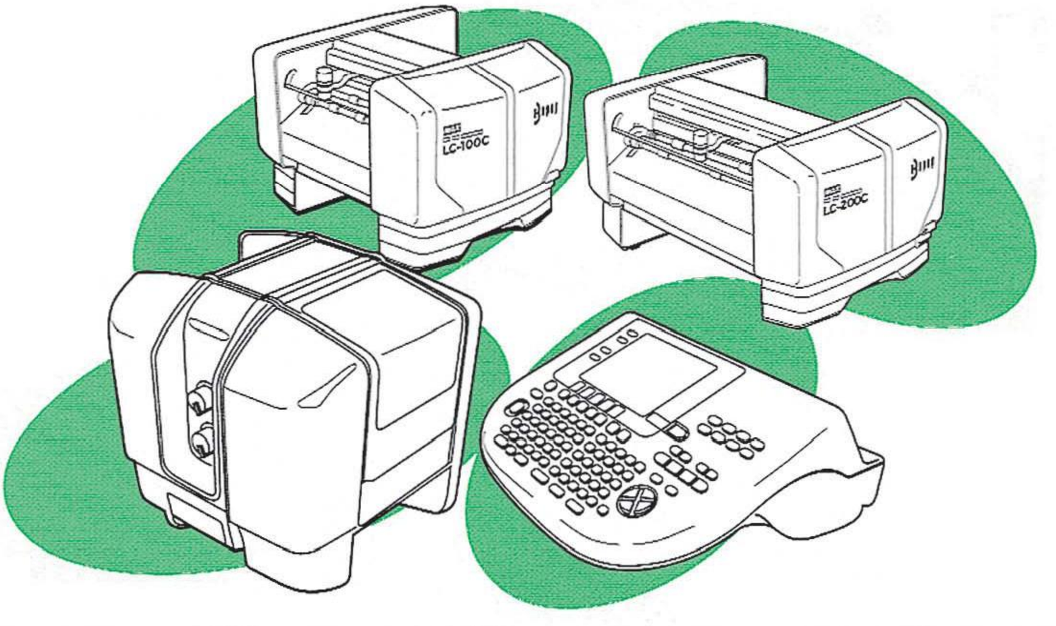
DESK TOP SIGN CREATOR

LC-150K

MAX DESK TOP SIGN CREATOR Bepop ビーポップ

LC-100CP
LC-100C
LC-200C

取扱説明書



○ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
○この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
○本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
○本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

必ずお読み下さい

はじめに

この度はLCシリーズをご購入いただき、誠にありがとうございます。本機はラベルやサインなどの表示物作成作業の効率と品質の向上を目指して開発された、スタンドアロンタイプのデスクトップ・サイン・クリエイタです。本機では、文字作成専用のダイレクトファンクションキーを設け、どなたにでも最初から簡単なキー操作で品質の高い文字がスピーディーに作画できます。表示物作成作業の効率化を図り、また良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書にしたがってお取り扱いいただきますようお願い申しあげます。

ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■表示について

この取扱説明書および製品は、製品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

お願い　機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

メモ　操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照　説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

△ は「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。

⃠ は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。

● は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

LC-150Kのご使用上の注意

⚠警告

	本機は絶対に分解または改造しないでください。 火災、感電、故障の原因になります。
	本機の内部に指、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。 本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	電源はAC100V専用コンセントを使用してください。 100V以外の電源を使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。 火災の原因になります。
	電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。 コードに傷が付いて火災や感電原因になります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の恐れがあります。
	水、薬品などが機械にかからないようにしてください。 万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	故障のまま機械を使わないでください。 煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	リチウム電池（ボタン型電池）はお子様の手の届かないところに保管してください。 メモリパック（LC-100M）は、リチウム電池が使われています。万一誤ってリチウム電池を飲み込んでしまった時は、すぐに医師の指示を受けてください。

⚠注意

	大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントは共用しないでください。 電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
	紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。 火災や故障の原因になります。
	連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	コードの接続、メモリパック及び書体パックの装着脱は、必ず電源OFFの状態で行ってださい。電源ONのまま接続および装着すると、けがや故障の原因となります。
	電源プラグは定期的に清掃してください。 長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。 コードが破損して火災や感電の原因になります。
	メモリパックに保存した内容や内部メモリに保存した文章は、永久的な保存はできません。電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。 あらかじめご了承ください。

LC-100CPのご使用上の注意

⚠警告

	本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	本機の内部に指、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	接続コードの上に重いものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。
	濡れた手で接続コードを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合はLC-100Kの電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	ハサミ部には、絶対に手や物を差し入れないでください。機械の故障の原因になるばかりでなく、身体上の危険を生じることがあります。
	カッティングツール（替え刃）は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

⚠注意

	紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	接続コードは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	接続コードを抜くときは、接続コードを引っ張らずに必ず接続コードのプラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
	コードの接続は、必ず電源OFFの状態で行ってださい。電源ONのまま接続および装着すると、けがや故障の原因となります。
	プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印刷直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れがプリンタヘッドの故障の原因になることがあります。
	本機内部に粘着シート、インクリボン、異物等がはさまるなどで、印刷やハサミの動作が正常にはたらかない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。機械が不意に動作したときけがの原因になります。
	ドアカバーの開閉時には手等をはさまないように注意してください。
	本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体下部を持って運んでください。けが、故障の原因となります。
	カッティングツール（替え刃）の交換の際には、必ず電源をOFFにしてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
	替え刃の刃先は非常に鋭利ですので充分ご注意ください。**カッティングツール（替え刃）の先端部は、けがをする恐れがありますのでさわらぬようご注意ください。**
	電源投入時、カッティングヘッドを手で移動させないでください。機械が不意に動作したとき故障の原因となるばかりでなく、けがの原因となります。

LC-100C/200C ご使用上の注意

⚠警告

本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

本機の内部に指、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。

接続コードの上に重いものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。

濡れた手で接続コードを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合はLC-100Kの電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。

故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐにLC-100Kの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

カッティングツール（替え刃）は、お子様の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の指示を受けてください。

⚠注意

紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。

本機の動作中は動作部を触らないでください。また髪の毛が触れないようにしてください。けがや故障の原因となります。

接続コードは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。

接続コードを抜くときは、接続コードを引っ張らずに必ず接続コードのプラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。

コードの接続は、必ず電源OFFの状態で行ってください。電源ONのまま接続および装着すると、けがや故障の原因となります。

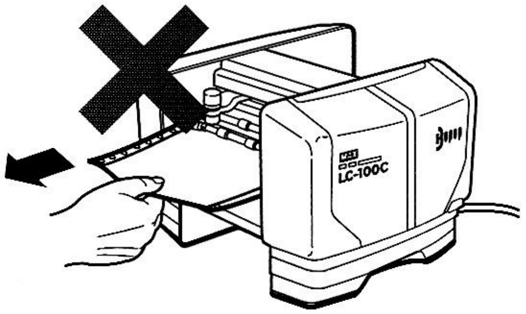
カッティングツール（替え刃-）の交換の際には、必ず電源をOFFにしてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。

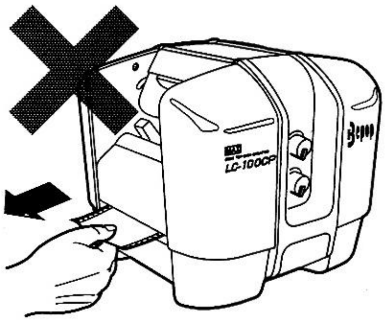
替え刃の刃先は非常に鋭利ですので充分ご注意ください。**カッティングツール（替え刃）の先端部は、けがをする恐れがありますのでさわらぬようご注意ください。**

ご使用上のお願い

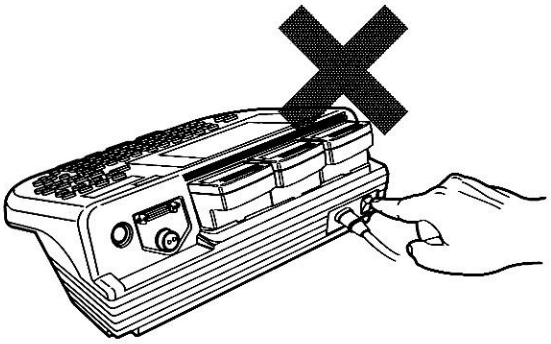
お願い 機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

① 電源が入っているときに、シートをセットした状態で強く引っ張らないでください。

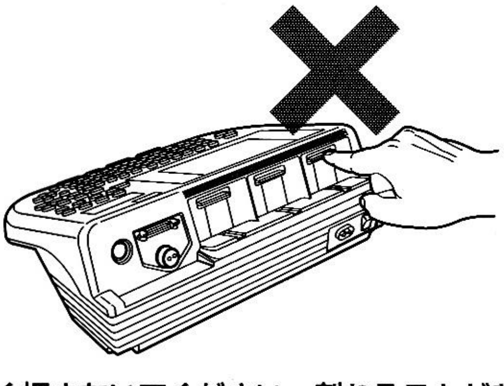




② 印刷中及びカット中に電源を切らないでください。

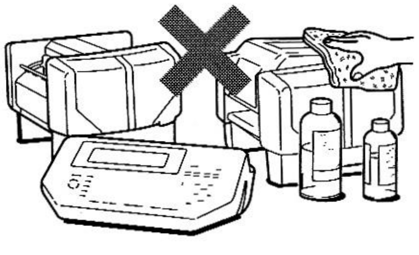


③ 接続端子及び装着端子には手で直接触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。



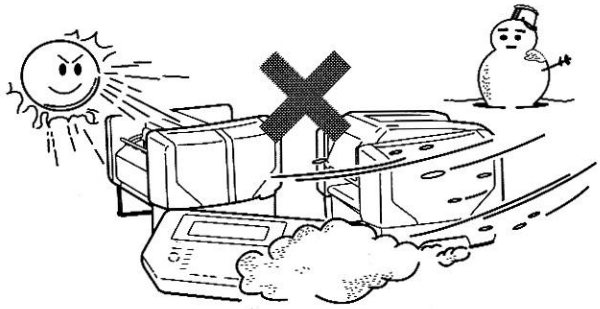
④ ディスプレイ部を強く押さないでください。割れることがあります。

⑤ 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布でふいてください。有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。

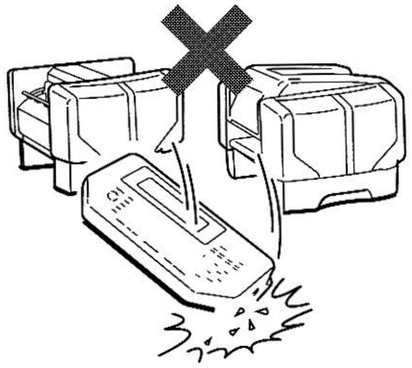


⑥ トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管しないでください。

1. 直射日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
2. ほこりや湿度の多い場所
3. 振動や衝撃の加わる場所
4. 温度が 10℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
5. 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。



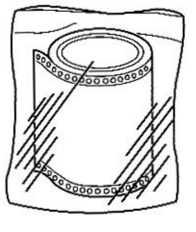
⑦ 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。



⑧ 消耗品（粘着シート、アプリケーションシート、インクリボン、替え刃）、及びオプション（書体パック、メモリパック）は専用のものをお使いください。その他のものは絶対に使わないでください。

参照 消耗品、オプション品については「第１章 3. 消耗品／オプション品のご紹介」6ページを参照ください。

⑨ 粘着シートにホコリやゴミ等が付着すると、LC-100CPでの印刷時にインクが点状に抜けることがあります。粘着シートの保管は梱包の中に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミ等が付着しないようご注意ください。なお、ホコリやゴミが付着した場合は布等で取り除いてからご使用ください。



目次

必ずお読み下さい ……… i
はじめに ……… i
ご使用上の注意 ……… i
LC-150Kのご使用上の注意 ……… ii
LC-100CPのご使用上の注意 ……… iii
LC-100C／200Cのご使用上の注意 ……… iv
ご使用上のお願い ……… v

第1章　お使いになる前に ……… 2
1. 同梱品をご確認下さい ……… 2
2. この機械で作れるサインやラベル ……… 4
3. 消耗品／オプション品のご紹介 ……… 6
3.1 消耗品について ……… 6
3.2 オプション品（別売）について ……… 7
4. お使いになる前に ……… 8
4.1 本体各部の名前とはたらき ……… 8
4.2 インクリボンカセットのセットのしかた ……… 10
4.3 ビーポップシートのセットのしかた ……… 12
4.4 システムの接続と起動 ……… 16

第2章　基本操作 ……… 18
1. 主なキーの役割とディスプレイの見かた ……… 18
1.1 キーの配列 ……… 18
1.2 ディスプレイの見かた ……… 22
1.3 カーソルの移動と画面のスクロール ……… 23
2. 文字の入力 ……… 24
2.1 文字の入力方法を選ぶ ……… 24
2.2 ローマ字入力のしかた ……… 25
2.2.1 キー上の文字の入力方法 ……… 25
2.2.2 代表的な入力例 ……… 25
2.2.3 例.「はじめまして」と入力してみます。……… 25
2.3 50音かな入力のしかた ……… 27
2.3.1 50音かなの入力状態にする ……… 27
2.3.2 キー上の文字の入力方法 ……… 28
2.3.3 代表的な入力例 ……… 28
2.3.4 例.「はじめまして」と入力してみます。……… 28
2.4 英数字入力のしかた ……… 30
2.5 漢字変換のしかた ……… 31
2.5.1 熟語変換 ……… 32
2.5.2 単漢字変換 ……… 33
2.6 ひらがな／カタカナ変換のしかた ……… 35
2.6.1 カタカナに変換する ……… 35
2.6.2 ひらがなと漢字が混ざった文章を変換する ……… 36
2.7 記号の入力 ……… 37
2.8 ピクトサイン（絵文字）の入力 ……… 40
2.9 JISコードでの入力 ……… 42
3. イメージ表示して確認する ……… 44
4. 出力する方式を選ぶ ……… 46
4.1 ラベル出力する ……… 47
4.1.1 基本的な出力のしかた ……… 47
4.1.2 カッティングヘッドで開始位置を決めて出力する ……… 48

4.2 プリントする …… 49
4.2.1 基本的な出力のしかた …… 49
4.2.2 カッティングヘッドで開始位置を決めて出力する …… 50
4.3 カッティング（切り文字）出力する …… 51
4.3.1 基本的な出力のしかた …… 51
4.3.2 カッティングヘッドで開始位置を決めて出力する …… 52
4.3.3 カットした文字の処理 …… 53

第３章 基本パラメータ …… 56
1. Pに設定される項目 …… 56
1.1 基本パラメータ（P）とは …… 56
1.2 文字サイズの設定(標準作画) …… 57
1.3 文字サイズの設定(分割作画) …… 59
1.4 文字幅の設定 …… 60
1.5 文字間隔の設定 …… 61
1.6 色選択～文字の色を変える …… 62
1.7 色選択～カラーシンボルの色を変える …… 64
1.8 書体の変更 …… 65
1.8.1 内蔵書体の設定 …… 65
1.8.2 オプション書体の設定 …… 67
1.9 斜体の設定 …… 72
1.10 行間隔の設定 …… 73
1.11 均等配列の設定 …… 74
2. Pに関連した設定項目 …… 76
2.1 上付き・下付き・添え字の設定 …… 76
2.2 下線をひく …… 78
2.3 逆順にする …… 79

第４章 ラベル単位の設定 …… 80
1. ラベルの考え方 …… 80
1.1 ラベルとは …… 80
1.2 ラベル単位の設定項目 …… 80
2. 枠囲みの設定 …… 81
2.1 枠線の種類 …… 81
2.2 枠線の選びかた …… 82

第５章 パターンでレイアウトする …… 84
1. パターンとは …… 84
2. パターンの選びかた（自動サイズの場合）…… 85
3. パターンの選びかた（固定サイズの場合）…… 87
4. パターンの選びかた（ユーザー設定の場合）…… 90
5. パターンの種類 …… 94
6. パターンサイズを変える …… 95

第６章 エリア単位のパラメータ設定 …… 98
1. エリアとは …… 98
1.1 エリアとは …… 98
1.2 エリア単位で設定できる項目 …… 98
2. エリアパラメータの設定 …… 99
2.1 縦書き、横書き …… 99
2.2 エリア内のレイアウト設定 …… 101
2.3 背景色・反転 …… 103
2.4 桁合わせ …… 105

第７章 文章の編集／削除 …… **106**
1．改行する …… 106
2．エリア間を移動する …… 107
3．新しいラベルを入力する／ラベル間を移動する …… 108
4．文字や改行マークなどを削除する …… 109
4.1 1文字ずつの削除 …… 109
4.2 エリア内の文字すべてを消去する …… 110
5．エリア内を初期化する …… 111
6．表示しているラベルを削除する …… 113
7．すべてのラベルを削除する …… 115

第８章 設定したパラメータの一覧表示 …… **118**
1．パラメーター一覧表示のしかた …… 118
2．パラメータを初期化する …… 120
2.1 設定値が１つだけの場合（例．文字サイズの設定） …… 120
2.2 設定値が２個以上ある画面の場合（例．枠囲みの設定） …… 121
2.2.1 枠線の選びかた …… 121

第９章 便利な特殊機能 …… **122**
1．連続・連番で出力する …… 122
1.1 連続して指定枚数を出力する …… 122
1.2 連番で出力する …… 124
2．縁取り文字を出力する …… 127
2.1 ラベル出力の場合 …… 127
2.2 カッティング出力の場合 …… 130
3．文字の長さに合わせて矢印をつける …… 134
4．必要な長さ・幅でラインカット …… 136
5．ミラー（鏡像）で出力する …… 138
6．コピー機能 …… 140
7．入力中のすべてのラベルを一括出力する …… 142
8．ラベルの配置方法を変える …… 144

第１０章 サンプルラベルを利用する（はやわざ機能を使う） …… **146**
1．はやわざ機能とは …… 146
2．はやわざ機能に収録されているサンプル …… 148

第１１章 メモリの使い方 …… **150**
1．メモリとは …… 151
2．内部メモリの使いかた …… 151
2.1 メモリを登録する …… 153
2.2 メモリを呼び出す …… 153
2.2.1 登録したファイルの一覧表示から選ぶ …… 153
2.2.2 ファイル名を直接入力して呼び出す …… 155
2.3 不要になったメモリを削除する …… 156
2.4 メモリをすべて削除する …… 158
3．メモリパックの使いかた …… 159
3.1 メモリパックを装着脱する …… 159
3.2 メモリパックへの登録／呼出／削除／全削除 …… 160
4．熟語を登録／削除する …… 161
4.1 熟語を登録する …… 161
4.2 登録した熟語を呼び出す …… 163
4.3 熟語を削除する …… 164

第 12 章 システムの基本設定 …… **166**
1. セットアップで初期値を変える …… 166
1.1 Pのセットアップ …… 166
1.2 入力状態のセットアップ …… 168
1.3 輝度調整 …… 169
2. 諸設定キーを使う機能 …… 170
2.1 カラーサンプルを作成する（LC-100CP 接続時のみ） …… 170
2.2 シート種類選択 …… 171
2.3 シートエコノミー設定（プリント先頭の余白を少なくする） …… 172
3. 出力機でのダイヤル調整 …… 173
3.1 LC-100CP を接続している場合 …… 173
3.2 LC-100C ／ 200C を接続している場合 …… 175

第 13 章 図形の読取り（オプション） …… **176**
1. 必要なオプション …… 176
2. 呼び出しかた …… 178

第 14 章 こんなときは …… **180**
1. エラーメッセージと対処方法 …… 180
2. 故障かなと思う前に …… 186

付録
1. 搭載文字一覧表（JIS コード一覧表） …… 付 -1
2. ピクトサイン一覧表 …… 付 -16
3. 枠囲み一覧表 …… 付 -20
4. 初期値一覧表 …… 付 -21
5. ローマ字入力規則表 …… 付 -22
6. 製品仕様 …… 付 -23
7. ラベル／切り文字のおすすめ操作手順ガイド …… 付 -25
8. 保証書／保守サービス …… 付 -27

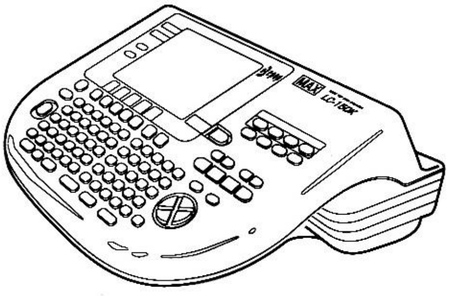
第１章　お使いになる前に

1. 同梱品をご確認下さい

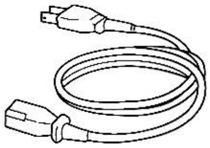
各機種の箱を開けて、次のものが揃っていることを確認して下さい。

LC-150K キーボードユニット

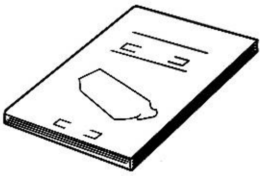
①キーボード本体



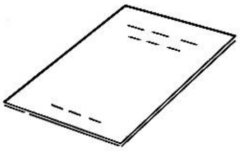
②電源コード



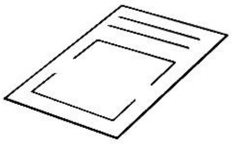
③取扱説明書（本書）



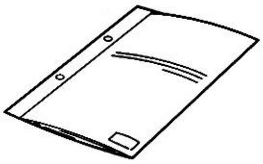
④操作早見ガイド



⑤お客様登録カード

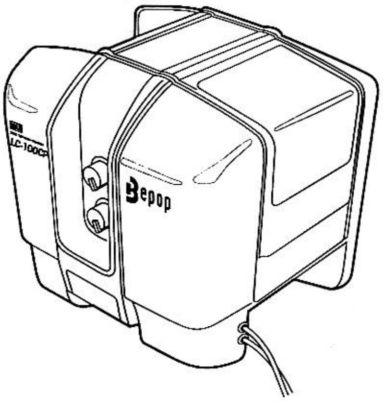


⑥シート見本帳

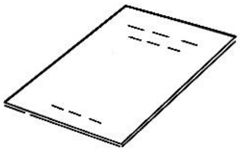


LC-100CP カッティング＋プリンタ

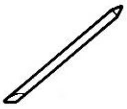
①ラベルマシン本体



②取扱説明書

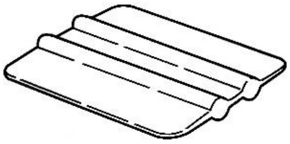


③カッティングツール（１本）

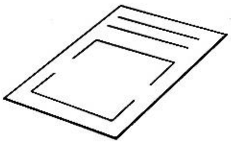


④ピンセット

⑤スキージ

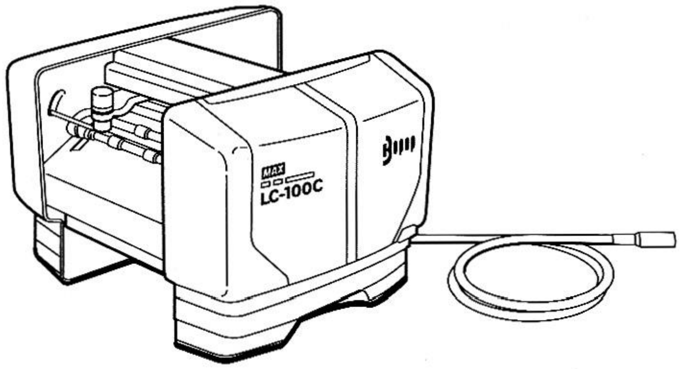


⑥お客様登録カード

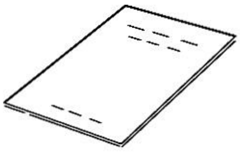


LC-100C カッティングユニット

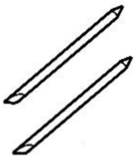
①カッティングマシン本体



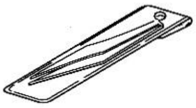
②取扱説明書



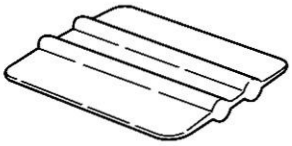
③カッティングツール（2本）



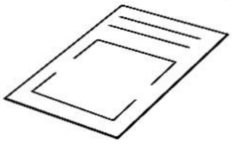
④ピンセット



⑤スキージ

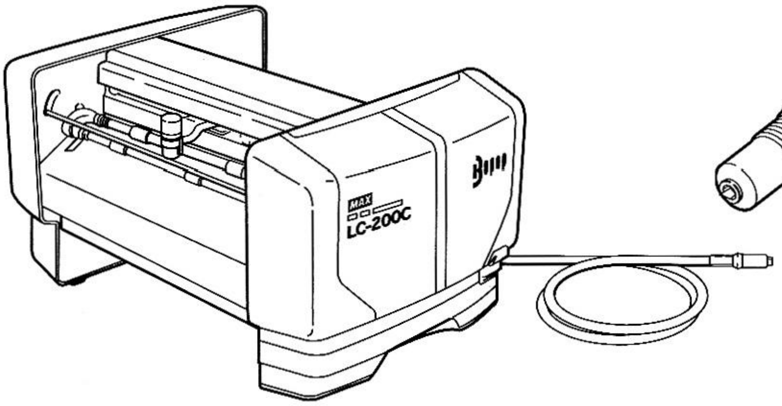


⑥お客様登録カード



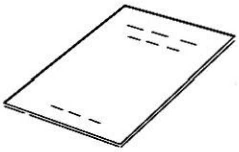
LC-200C カッティングユニット

①カッティングマシン本体

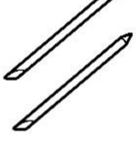


②屋外シート用ツールホルダ

③取扱説明書

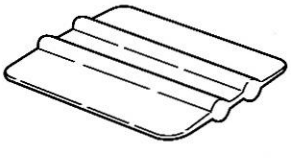


④カッティングツール（2本）

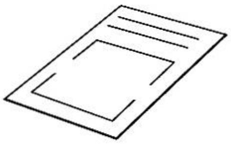


⑤ピンセット

⑥スキージ



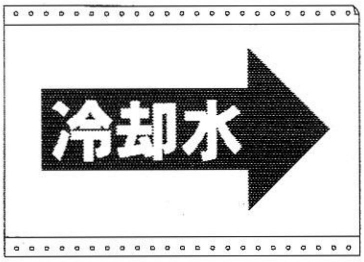
⑦お客様登録カード



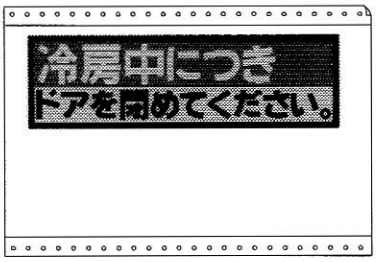
2. この機械で作れるサインやラベル

ラベルを作る

・縦横サイズ自由自在のラベルが作れます



・カラー（指定20色）印刷と組み合わせて、警告表示ラベルが作れます

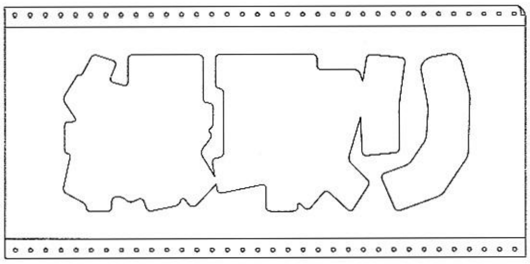


・ロゴやシンボルとあわせて多彩なラベルが作れます

縁取り文字もOK!

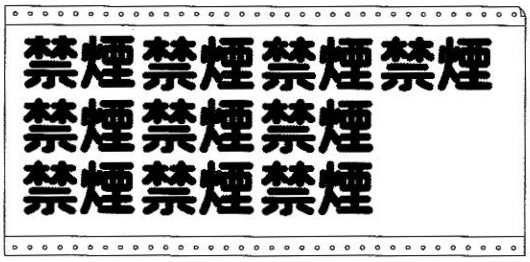
・プリントとカットの連続処理で、手軽に縁取り文字が作れます

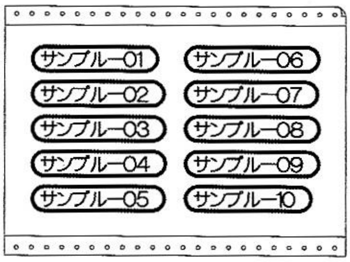
・カッティングだけでもシートの色を変えて作れます（貼りあわせ）



同じラベルを連続出力

・同じラベルはもちろん、連番での連続出力もできます

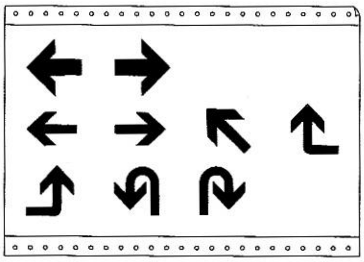




文字の長さにあわせて矢印の長さが変わる

・誘導表示が簡単に作れます

・矢印の種類もいろいろ



多彩な枠線種でメリハリのあるサインを作る

・イラスト枠もOK!

3. 消耗品／オプション品のご紹介

3.1 消耗品について

LCシリーズでは、豊富なカラーバリエーションの粘着シートを揃えています。

【LC-100シリーズ専用シート】

品番	商品名	1箱入数
IL99215	SL-S111 クロ	
IL99220	SL-S112 シロ	
IL99225	SL-S113 アカ	
IL99230	SL-S114 アオ	
IL99235	SL-S115 キイロ	
IL99240	SL-S116 ミドリ	
IL99245	SL-S117 ピンク	
IL99250	SL-S118 オレンジ	
IL99255	SL-S119 スカイブルー	10m ×2巻
IL99260	SL-S120 グレー	
IL99251	SL-S121 レタスグリーン	
IL99253	SL-S123 コバルトブルー	
IL99254	SL-S124 ネービーブルー	
IL99256	SL-S125 アメジスト	
IL99257	SL-S126 マホガニー	
IL99210	SL-S110C 透明	
IL99258	SL-S141 反射シロ	8m×2巻
IL99265	SL-S131K 蛍光レッド	
IL99270	SL-S132K 蛍光イエロー	10m ×2巻
IL99275	SL-S133K 蛍光グリーン	
IL99290	SL-S150T サーマル	20m ×2巻
IL96082	SL-S180P 普通紙ロールシート	

[LC-200シリーズ専用シート]

品番	商品名	1箱入数
IL96790	SL-S201 クロ	
IL96791	SL-S202 シロ	
IL96792	SL-S203 アカ	
IL96793	SL-S204 アオ	
IL96794	SL-S205 キイロ	
IL96795	SL-S206 ミドリ	
IL96800	SL-S223 グレイ	
IL96801	SL-S234 ローズピンク	
IL96802	SL-S235 ピンク	
IL96803	SL-S242 スカイブルー	
IL96804	SL-246 アントワープブルー	
IL96805	SL-248 コバルトブルー	
II96806	SL-249 ネービーブルー	
IL96807	SL-S251 サニーオレンジ	
IL96808	SL-S252 オレンジ	
IL96809	SL-S261 レタスグリーン	10m ×2巻
IL96810	SL-S272 バイオレット	
IL96811	SL-S283 ブラウン	
IL96820	SL-S201K 蛍光レッド	
IL96821	SL-S202K 蛍光フレーム	
IL96822	SL-S203K 蛍光オレンジ	
IL96823	SL-S204K 蛍光イエロー	
IL96824	SL-S205K 蛍光グリーン	
IL96850	SL-S201M シルバー	
IL96851	SL-S203M ゴールド	
IL96860	SL-G201 クロ(屋外用)	
IL96861	SL-G202 シロ(屋外用)	
IL96862	SL-G203 アカ(屋外用)	
IL96863	SL-G204 アオ(屋外用)	
IL96864	SL-G205 キイロ(屋外用)	
IL96865	SL-G206 ミドリ(屋外用)	
IL96870	SL-S250 ロール（普通紙）	20m ×2巻

*** SL-S141 反射シロはプリント専用です。使用できるインクリボンカセットは、クロ・アカ・コンの3色です。**

*** SL-S150Tサーマル（サーマル紙）は、プリント専用です。**

*** SL-S180P普通紙ロールシートはカット下書き用です。ご使用には、別売ボールペンホルダLC-BH10(¥2,000)が必要です。LC-100CP、LC-100Pでは使用できません。**

*** 蛍光シートは、カット専用です。プリントできません。**

【アプリケーションシート】

幅	品番	商品名	1箱入数	備考
100mm幅用	IL99500	SL-S100Aアプリケーションシート	20m ×2巻	カット・転写用
	IL99501	SL-S105A弱粘着アプリケーションシート		
200mm幅用	IL99502	SL-S200Aアプリケーションシート		

【インクリボンカセット】

品番	商品名	1箱入数	備考
IL99310	SL-R101クロ	50m×1巻	―
IL99315	SL-R102シロ		
IL99320	SL-R103アカ		
IL99325	SL-R104アオ		
IL99335	SL-R105コン		
IL99340	SL-R110カラー	10m印字分	100×200mm ×50画面分

【替え刃、他】

内容	品番	商品名	1パック入数
替え刃	IL99510	CM-10CC	2本
ボールペンホルダ	IL99610	LC-BH10	1本
サーマル紙アダプタ	IL99330	LC-TPA1	1個

3.2 オプション品（別売）について

オプション品は、下記を用意しています。

内容	品番	商品名	1パック入数
メモリパック	IL99510	CM-10CC	1個
書体パック	IL94251	和文5書体、英数字30書体があります。詳しくはカタログもしくは当社営業所にお問い合わせ下さい。	1個
［スキャナシステム］			
データ変換機	IL94251	DF-35RVC	1個
ブランクROMパック	IL99403	LF-BRP1	1個
スキャナ	―	市販スキャナ（当社指定機種）	―

メモ

＊ 消耗品、オプション品は、お客様のご要望により追加されたり販売中止とさせていただく場合があります。ご注文の際には、ご購入の販売店様もしくは最寄りの当社営業所にて、最新のラインナップをご確認下さいますようお願い申し上げます。

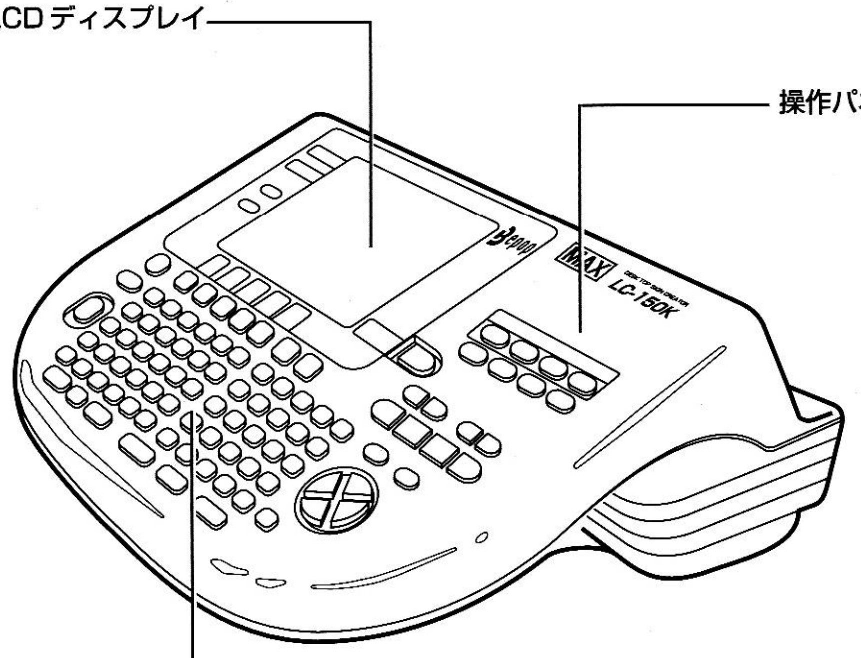
＊ 消耗品、オプション品のご注文は、トラブルを防ぐ為、上記の商品名または品番にてお願いいたします。

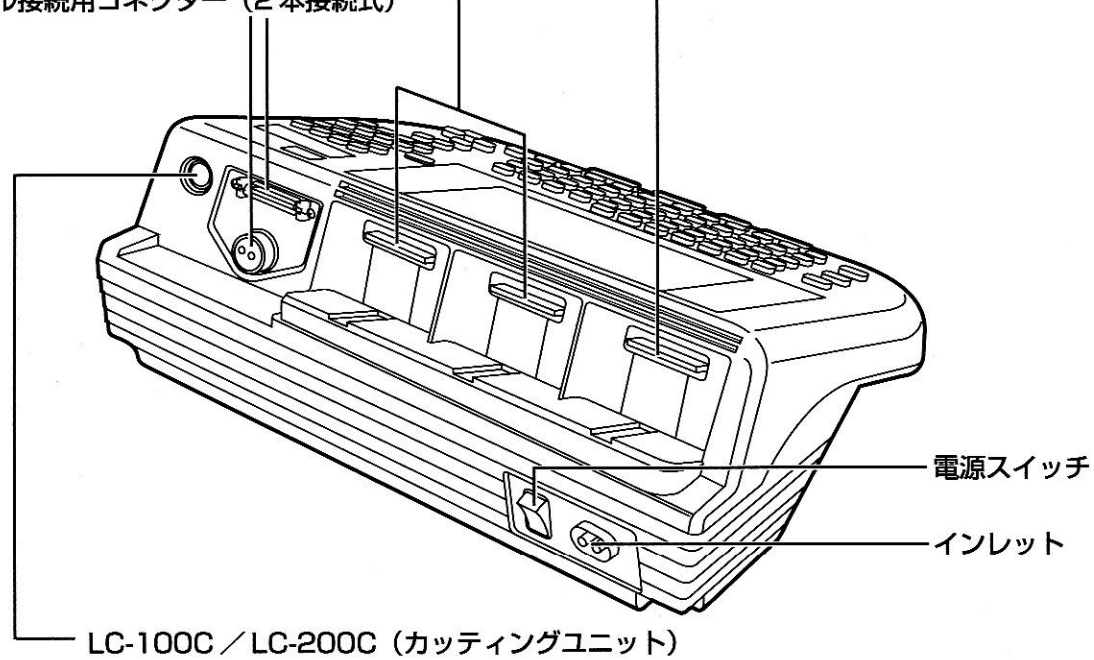
＊ スキャナシステムに使用できるスキャナは、市販の当社指定機種です。モデルの改廃頻度が多いので、ご購入時点で指定機種をご確認下さい。なお、当社にても、市販スキャナのうち１機種を扱っております。

4.　お使いになる前に

4.1　本体各部の名前とはたらき

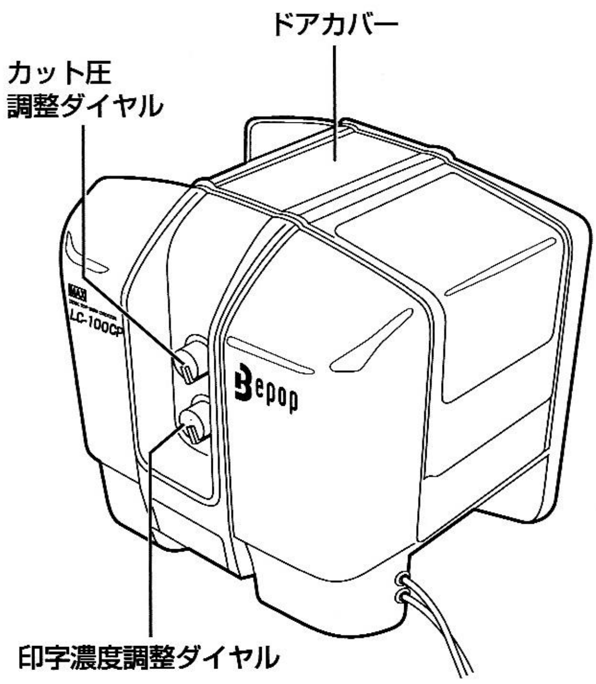
LC-150K キーボードユニット

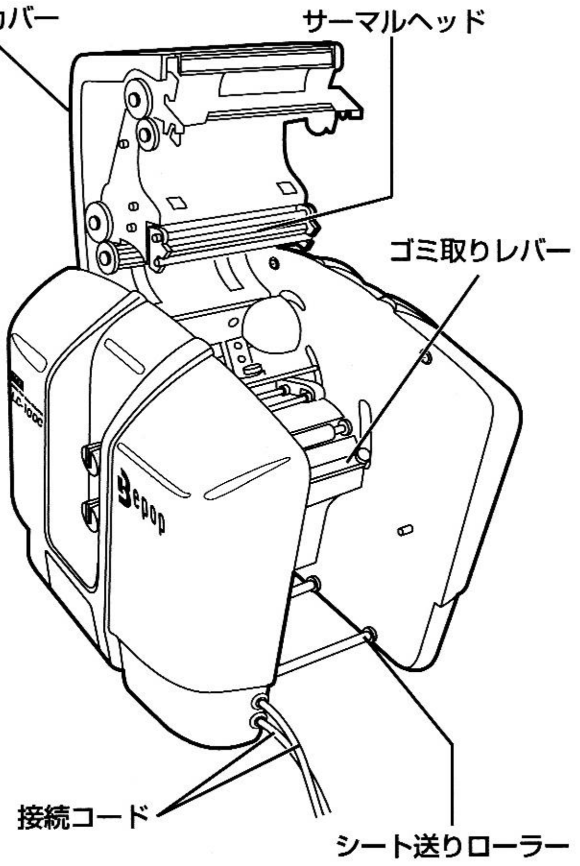




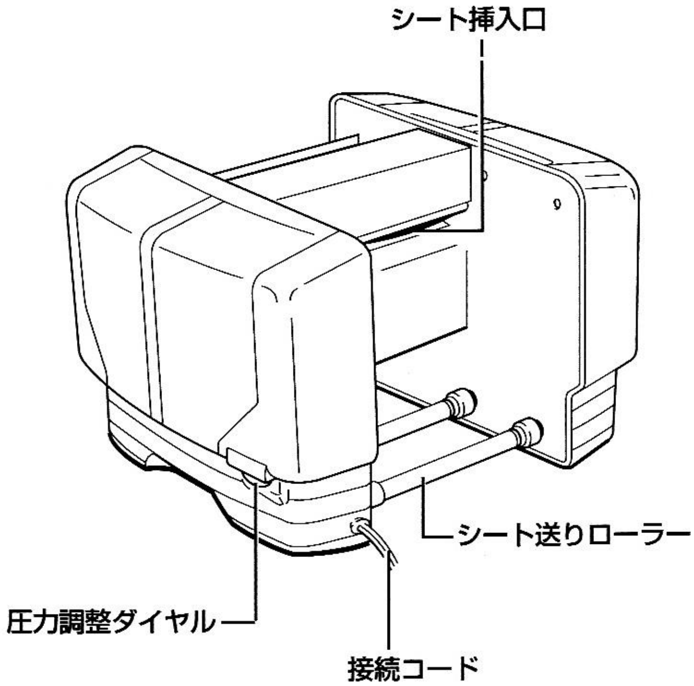
参照　主なキーの役割、画面の見かたについては、「第２章基本操作 1.主なキーの役割とディスプレイの見かた」18ページを参照下さい。

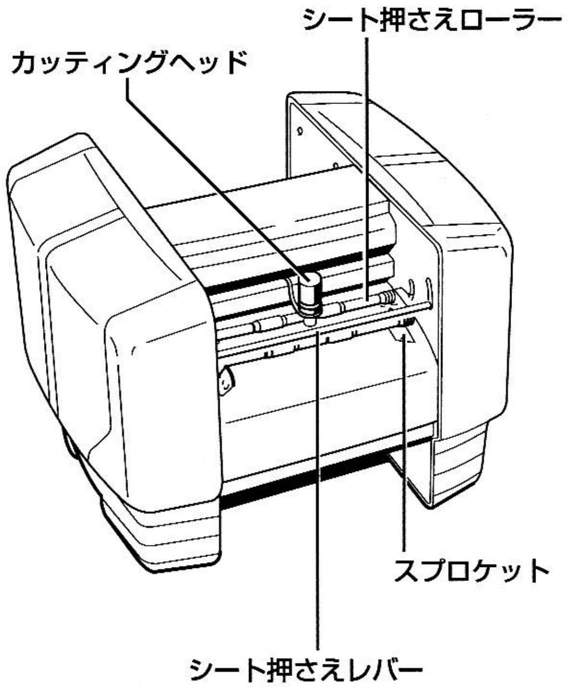
LC-100CP カッティング＋プリンタ





LC-100C／200C カッティングユニット



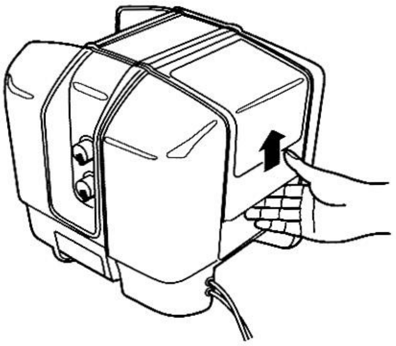


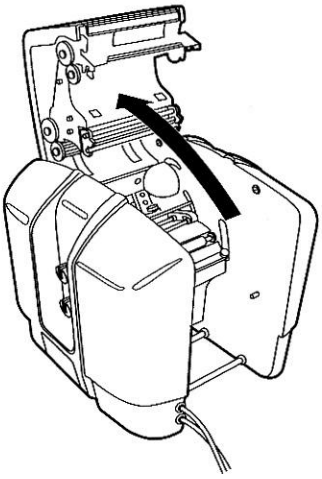
4.2　インクリボンカセットのセットのしかた

LC-100CPにインクリボンカセットをセットする

LC-100CPでプリント出力、ラベル出力をする場合は、インクリボンカセット、ビーポップシート、そしてカッティングツール（プリントのみの時は不要）をセットします。

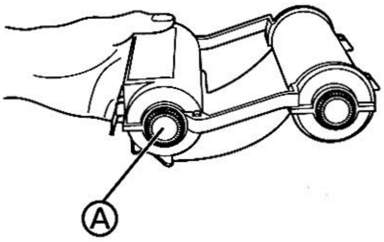
❶ 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開きます。

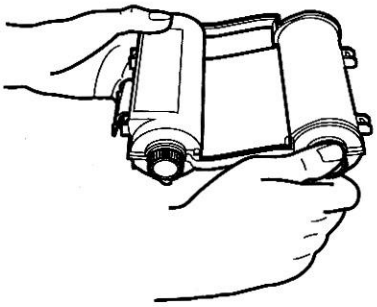




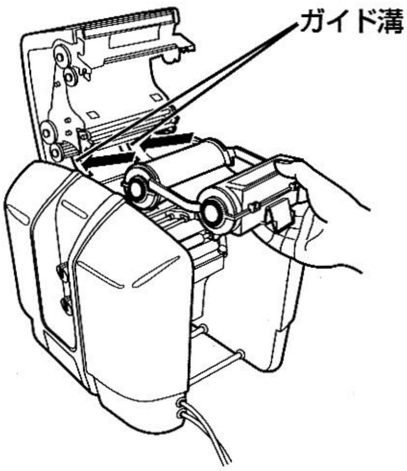
❷ インクリボンカセットをシール面が上になるように持ち、ダイヤルを図のように回しインクリボンのたるみを取ります。

※ この時、マルチカラーリボンの場合は、手前側のダイヤル（ギア）Ⓐをまわして少し巻き戻し、黒リボンが見える位置にあわせてください。

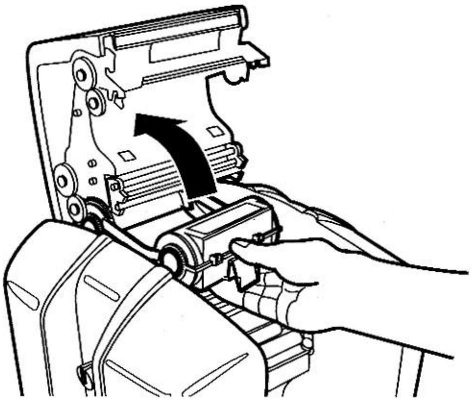




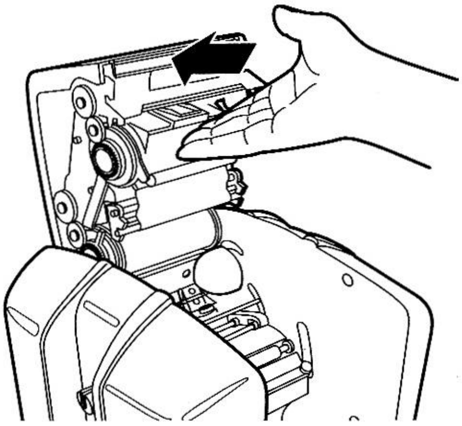
❸ インクリボンカセットのツメをドアカバー裏の溝に入れ、差し込みます。



❹ ツメを支点として上に回し上げます。

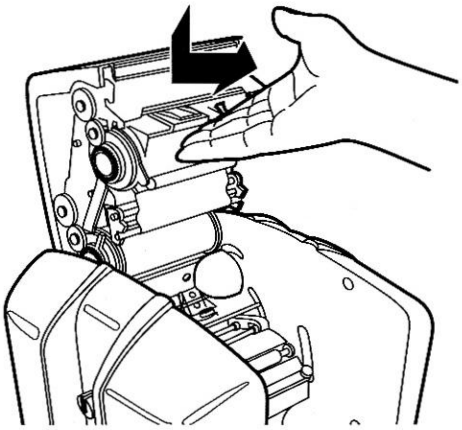


❺ スナップでインクリボンが固定されるまでしっかりと押し込みます。

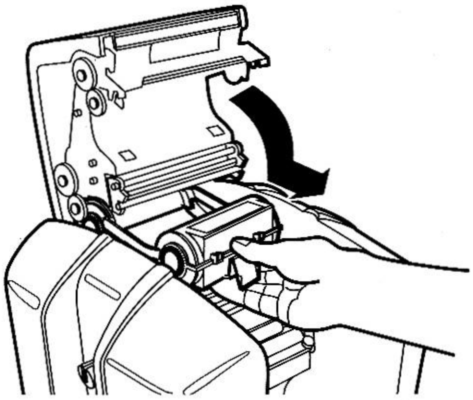


LC-100CPからインクリボンカセットを取り外す

❶ ドアカバーを開け、インクリボンカセットのスナップを押しながら、手前に引き出します。



❷ カセットを下に回した後、引き抜きます。



お願い

* インクリボンカセットは、必ずリボンのたるみを取ってからセットして下さい。たるみを巻き取らずに使用すると印字不良やインクリボンのシートへの貼り付きなどが生じる場合があります。

* インクリボンの巻き取り不良が発生した場合は、次のように対処して下さい。

❶ ドアカバーを開け、インクリボンを切らないように取り外す。

❷ ８ページの手順❷、❸と同様にしてたるみを巻き取る。

❸ 再度セットしなおす。

メモ

* インクリボンが切れてしまった場合は、そのカセットは基本的には使用できません。

* インクリボンカセットのシール面は汚したり、何かを貼ったりしないで下さい。

シール面が汚れていると、インクリボンカセットの種類判別が正しくできず、誤動作の原因となります。

* マルチカラーリボンカセットを使用する時は、黒リボンが見えるようにしてセットして下さい。他の色が見えている場合、プリントは次の黄色から開始されるため、リボンが無駄になります。

* 使用しない時は、インクリボンカセットを取り外しておいて下さい。

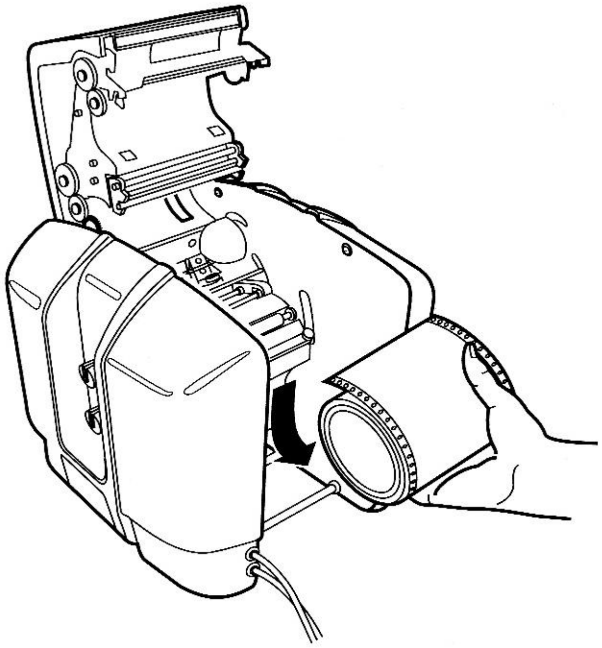
4.3 ビーポップシートのセットのしかた

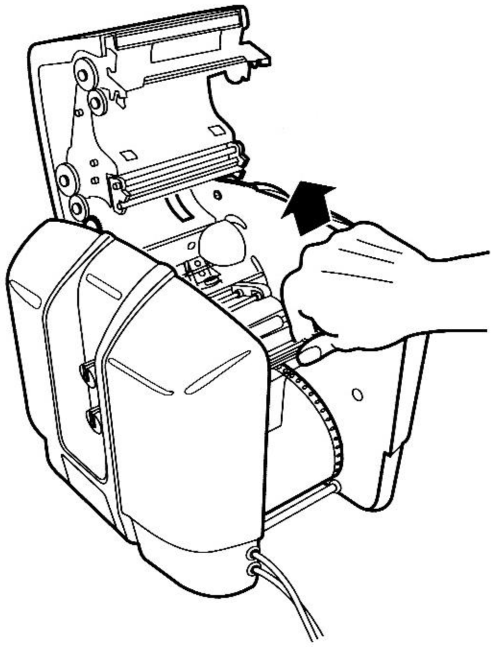
LC-100CP にビーポップシートをセットする

1. 開閉レバーを引き上げ、ドアカバーを開けます。

2. ビーポップシートをシートガイドローラーにのせます。

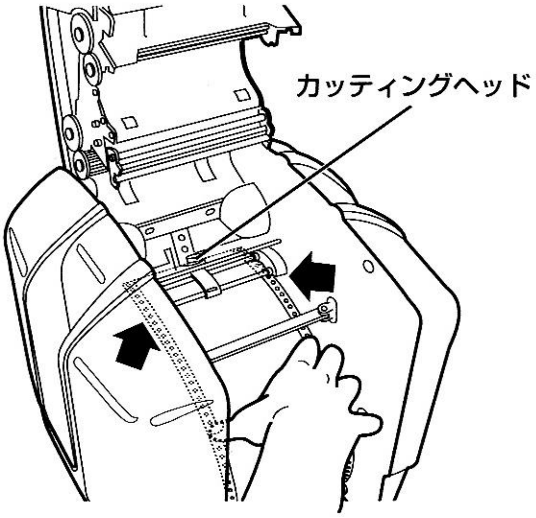
3. ゴミ取りレバーを持ち上げます。

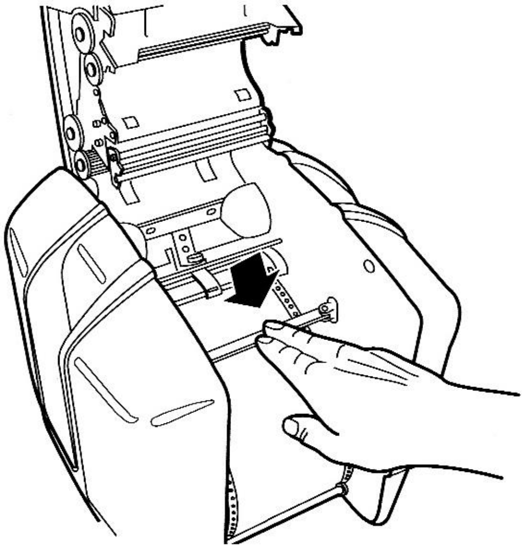




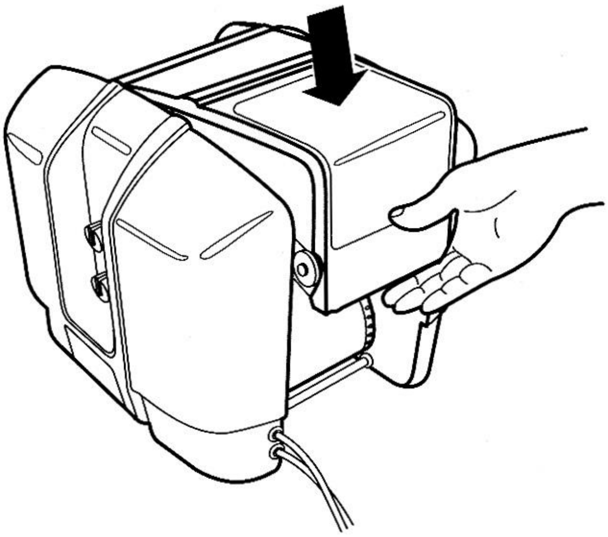
4. 図のようにシートをゴミ取りレバーの下を通して差し込み、シートの穴にピンを通します。
この時、差し込んだシートが、カッティングヘッドに当たらないようにして下さい。

5. ゴミ取りレバーを下げます。



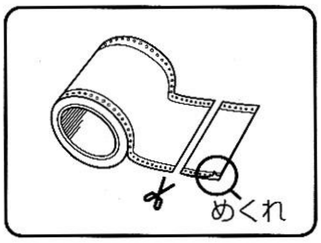


❻ 「ガチャン」とロックがかかるまでドアカバーを閉め、セット完了です。



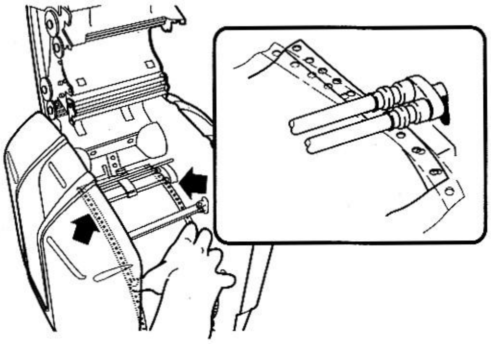
お願い

* シート先端は、右図のようにまっすぐに切ってからセットして下さい。斜めに切れていたりすると、シート送り不良の原因となります。



* シート先端がめくれたり、はがれ易い場合は、その部分をまっすぐに切り取ってからご使用下さい。機械内部ではがれると故障の原因となります。

* シートのセットは、片側２ピンかかっていれば十分です。奥まで差し込みすぎて、カッティングツールを傷めないようご注意下さい。



* ビーポップシートにホコリやゴミが付着すると、印字時にインクが点状に抜けることがあります。シートの保管は梱包箱に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミが付着しないよう注意して下さい。付着してしまった場合は布等で取り除いてからご使用ください。（薬品等は使用しないで下さい。）

* 長期間ご使用いただいた場合、ゴミ取りレバーにゴミやホコリがたまってきます。ときどき、きれいな布でゴミ取りレバー下面のスポンジをカラぶきして下さい。

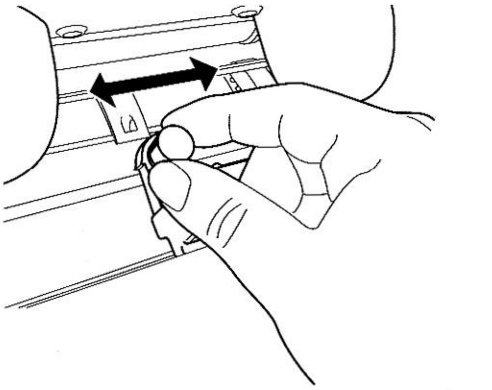
メモ ピンは、確実にビーポップシートの穴に入れて下さい。また、シートの穴が左右でずれて斜めに装着しないよう注意して下さい。シートの穴にピンが入っていなかったり、ずれていたりすると、シートが正しく送られません。

⚠注意

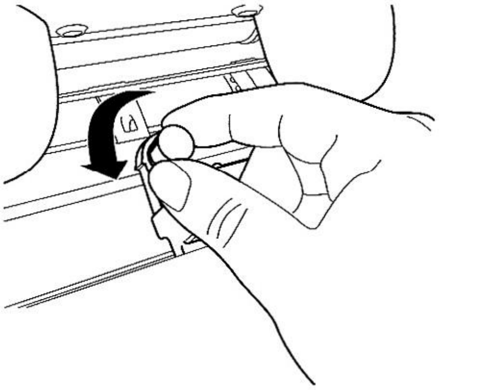
⊘ **ハサミには絶対に触れないで下さい。** 不意に機械が動作したときケガの原因になります。

LC-100CP／LC-100C／LC-200Cにカッティングツールをセット（交換）する

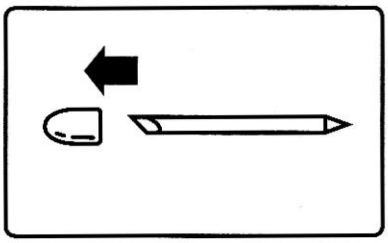
❶ 電源OFF後、カッティングヘッドを中央に手で動かします。(図はLC-100CPの場合です)



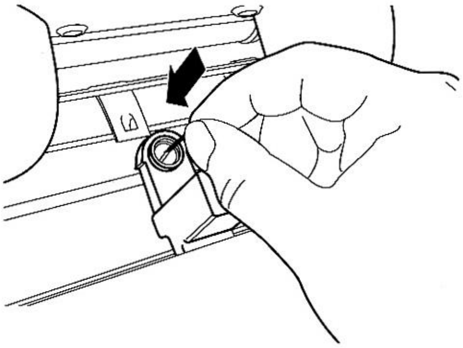
❷ カッティングヘッドについているホルダのキャップ(上部)を反時計方向に回し取り外します。



❸ 新しいカッティングツール（替え刃）を用意し、保護キャップをはずして下さい。



❹ 刃先(保護キャップが付いていた側)を下にして、ホルダ中央に軽く差し込みます。
※交換のときは、古いカッティングツールを先に抜き取ります。



❺ ホルダキャップを閉めて下さい。キャップをしっかり閉めると刃先が適切な出量に調整されます。

お願い
- カッティングツールを差し込むときは、押し込まないように注意して下さい。押し込んで装着すると刃先が出過ぎてしまい、シートを傷つけたりカッティング不良を引き起こしたりします。また、カッティングツールの寿命を早めます。
- カッティングツールは慎重に交換して下さい。誤って本体内部に入ってしまった場合は、最寄りの当社営業所または、マックスサービス（株）窓口へご相談下さい。

⚠警告

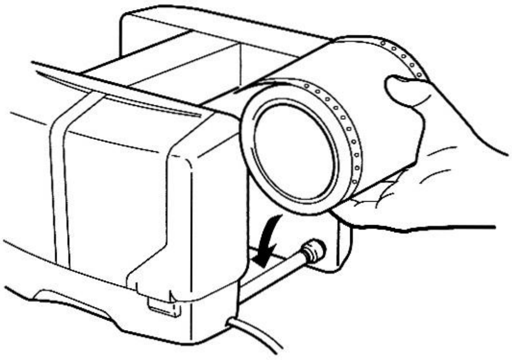
❗	**カッティングツール（替え刃）は、お子様の手の届かないところに保管して下さい。** 万一飲み込んだ場合は、すぐ医師の指示を受けてください。

⚠注意

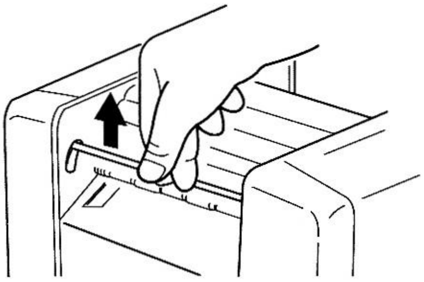
❗	**カッティングツール（替え刃）の装着脱時は、必ず電源をOFFにして下さい。**機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
⚠	**カッティングツール（替え刃）先端部は、けがをする恐れがありますので触らないで下さい。**

LC-100C／LC-200Cにビーポップシートをセットする

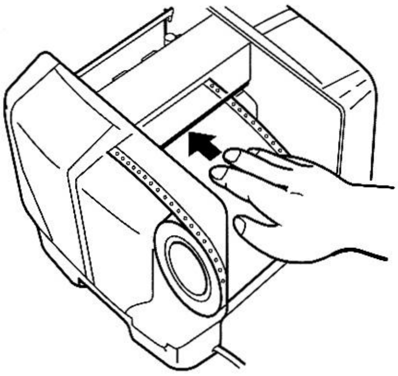
❶ ビーポップシートをシートガイドローラーにのせます。

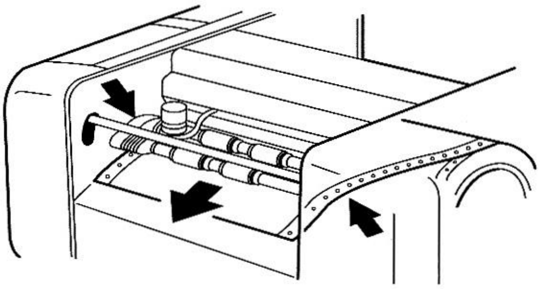


❷ シート押さえレバーを持ち上げます。

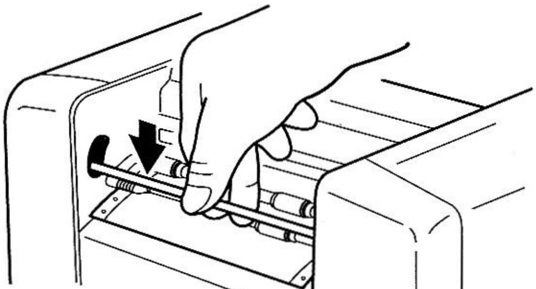


❸ 図のようになるまでシートを引き出し、シートの穴にピンを通します。

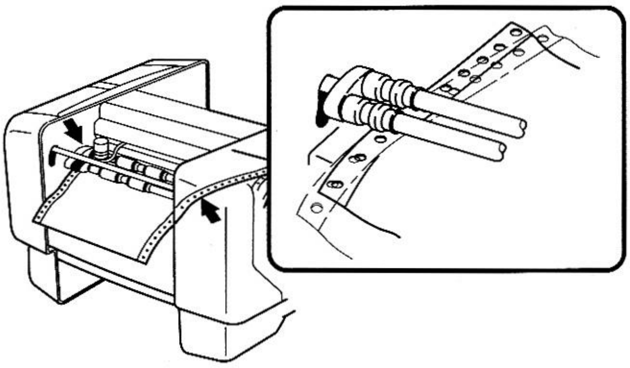




❹ シート押さえレバーを下げて、セット完了です。

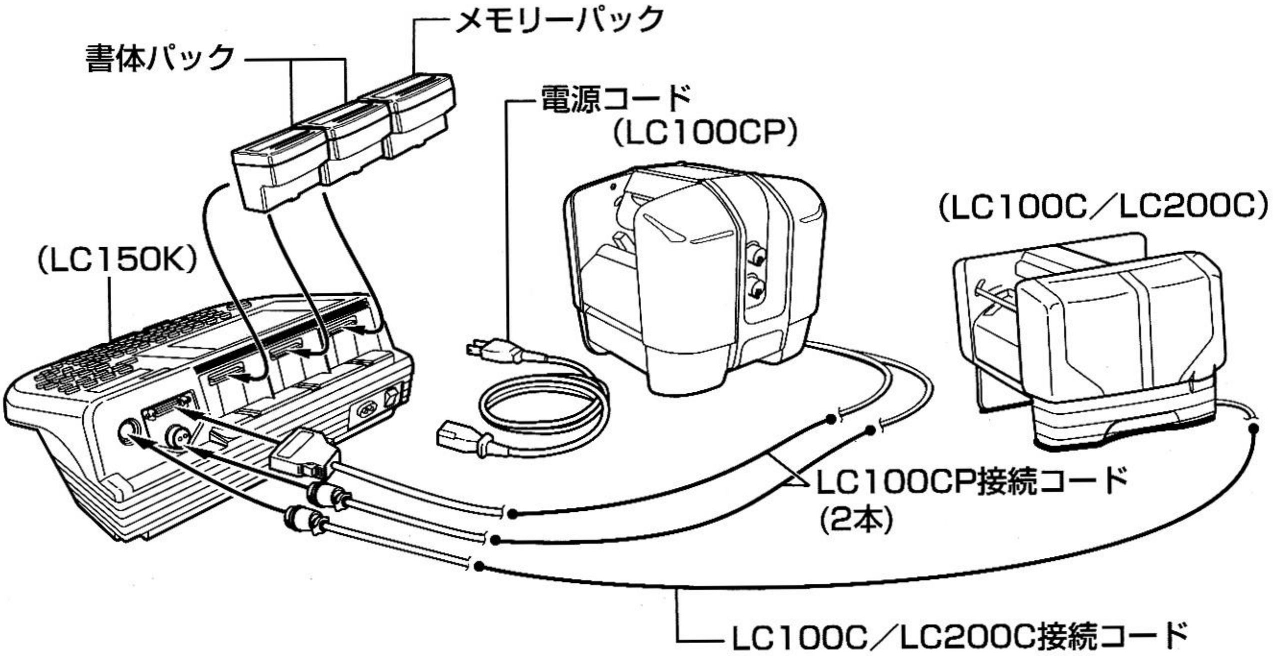


メモ　ピンは、確実にビーポップシートの穴に入れて下さい。また、シートの穴が左右でずれて斜めに装着しないよう注意して下さい。シートの穴にピンが入っていなかったり、ずれていたりすると、シートが正しく送られません。



4.4 システムの接続と起動

❶ 電源がOFFになっていることを確認してから、下図のように接続して下さい。



❷ 電源コードを接続し、コンセントに差し込みます。

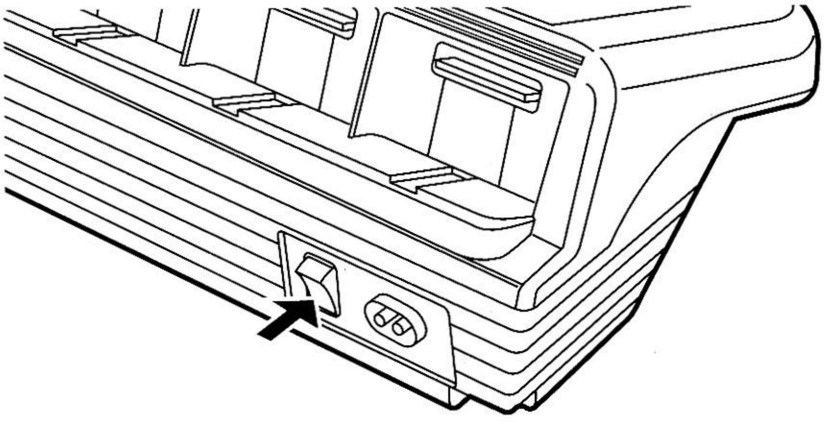
メモ
・書体パック、メモリーパックは、LC-150Kの装着部（スロット）についているキャップをはずして装着して下さい。

・カッティングユニットは、LC-200CまたはLC-100Cのいずれか１台が接続できます。

お願い
・接続コードの脱着は、必ず電源OFFの状態で行なって下さい。電源ONの状態で接続コードの脱着をすると、LC-150Kが接続を認識できず正常に動作しないばかりでなく、故障の原因ともなります。

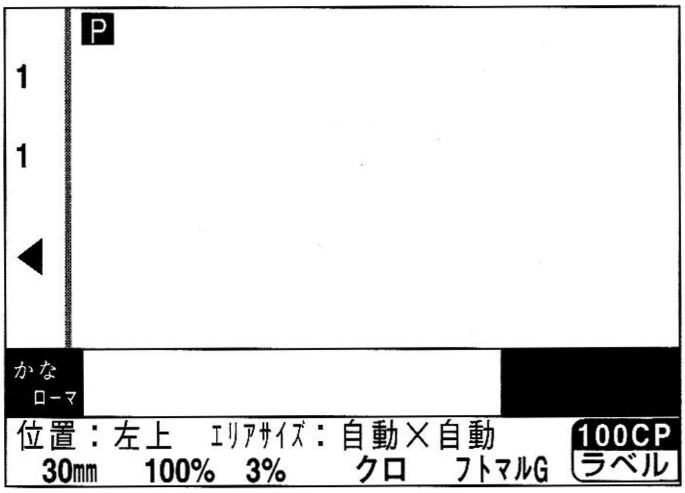
・LC-150Kには、ビーポップシリーズのプリントユニットLC-100Pは接続できません。

❸ 電源をONにします。電源スイッチは、LC-150K背面にあります。



❹ 電源をONにすると、下図のようなオープニング画面が表示され、接続した機種がリセット動作（カッティングヘッドの原点復帰動作）します。

❺ リセット動作が終了し、入力画面が表示されます。

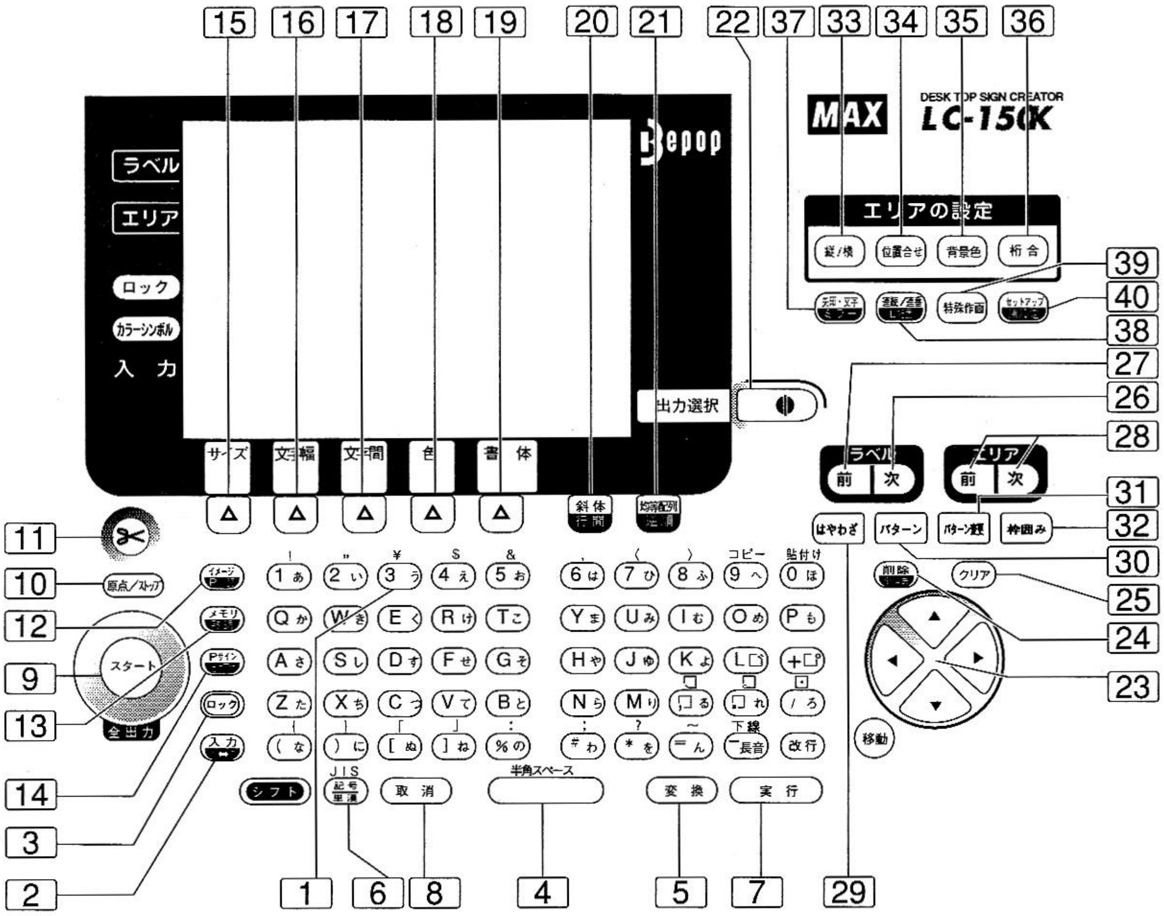


メモ　出力機を何も接続しないで、LC-150Kの電源を入れてもエラーメッセージが表示され、使用できません。出力機を接続してから電源をONにして下さい。

第2章　基本操作

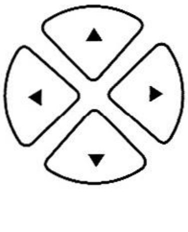
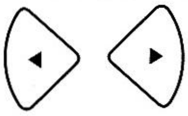
1. 主なキーの役割とディスプレイの見かた

1.1 キーの配列



	キ　ー	主　な　働　き	参照ページ
1	(3 う)	文字を入力するためのキーで、キャラクタキーと呼びます。	24ページ
2	(入力)	① 「よみ」が入力されていない場合は、かな入力と英数字入力の切替えに使います。 ② 「よみ」が入力されている場合は、「よみ」をひらがな変換、カタカナ変換します。	24ページ 30ページ 35ページ
3	(ロック)	このキーを押すと画面左のロックインジケータ(◀)が点灯/消灯します。英数字入力の場合は、点灯=大文字、消灯=小文字の切替えに使います。	30ページ
4	(　　　)	スペースキーと呼びます。空白の入力に使います。 (シフト)を押しながらこのキーを押すと半角空白(半角スペース)を入力します。	30ページ
5	(変　換)	① 「よみ」を漢字に変換するときに使います。このキーを押すと「よみ」を熟語変換します。 ② JISコード入力時にコードを途中まで入力して押すと該当するコードのグループの先頭から候補が表示されます。	31ページ 42ページ

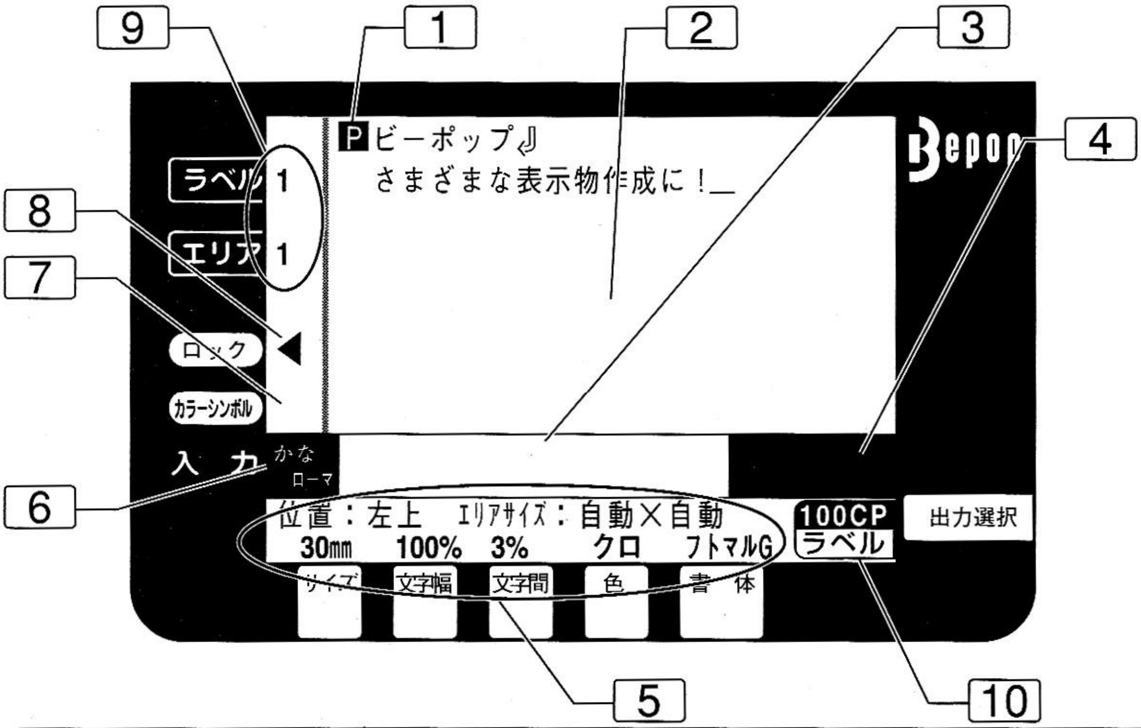
	キー	主な働き	参照ページ
6	記号/単漢	①「よみ」が入力されている場合、「よみ」の単漢字変換候補を表示します。 ②「よみ」が入力されていない場合、記号のグループ一覧を表示します。	33ページ 38ページ
7	実行	①「よみ」や変換候補を確定するときに使います。 ② さまざまな機能の設定画面で設定項目を確定するときに使います。	32ページ —
8	取消	途中まで進めた設定を取り消すときに使います。	—
9	スタート	① 出力を開始するときに押します。 ② シフトを押しながらスタートを押すと入力されているラベル全てを一括出力します	46ページ 142ページ
10	原点／ストップ	開始した出力を途中で止めたい場合に押します。 カッティングヘッドを原点に戻すときにも押します。	—
11	✂	シートを切断するときに押します。	—
12	イメージ/P一覧	イメージ表示を見るときに押します。	44ページ
	シフト＋イメージ/P一覧	シフトを押しながらイメージ/P一覧を押します。 カーソルがＰマーク位置にあるときに、そのＰマークに設定されている内容(パラメータ)の一覧を表示します。	118ページ
13	メモリ/熟語	入力した内容を本体またはメモリパック(別売)に登録したり、呼び出したりするときに使います。	150ページ
	シフト＋メモリ/熟語	入力した語句を熟語登録／削除するときに使います。	161ページ
14	Pサイン	ピクトサインなどを入力するときに押します。	40ページ
	シフト＋Pサイン	上付文字、下付文字、添え字の設定するときに押します。	76ページ
15	サイズ ▲	文字サイズを変更するときに使います。	57ページ
16	文字幅 ▲	文字の幅を設定するときに使います。	60ページ
17	文字間 ▲	文字と文字の間隔を設定するときに使います。	61ページ
18	色 ▲	文字の色やカラーシンボルの色を設定するときに使います。	62ページ
19	書体 ▲	書体を設定するときに使います。	65ページ
20	斜体/行間	文字を斜体にするときに使います。	72ページ

	キー	主な働き	参照ページ
20	シフト＋斜体/行間	シフトを押しながら斜体/行間を押します。カーソルのある行とその次以降の行との間隔を設定するときに使います。	73ページ
21	均等配列/逆順	入力した文章を指定の長さに均等配列するときに使います。	74ページ
	シフト＋均等配列/逆順	入力した文章を逆に並び替えるときに使います。	79ページ
22		接続している機種に応じて出力方式を選択するときに使います。	46ページ
23		カーソルキーと呼びます。 ① カーソルを移動するときに使います。 ② 機能の設定画面で項目を選択するときに使います。 ③ イメージ表示時に画面をスクロールします。 ④ 移動を押しながらこのキーを押すとシートやカッティングヘッドが移動します。	23ページ
		数値を設定する画面では入力数値を増減することもできます。	－
	シフト＋	イメージ表示画面で、シフトを押しながらこのキーを押すと表示倍率が変わります。	44ページ
24	削除/全消去	通常入力画面で入力した文字を1文字ずつ削除するときに使います。	109ページ
	シフト＋削除/全消去	シフトを押しながら削除/全消去を押すと、エリア単位、ラベル単位、全消去ができます。	109ページ
25	クリア	① 「よみ」が入力されている場合は、「よみ」入力を取り消します。 ② 「よみ」入力されていない場合は、エリア内の文字すべてを消去します。 ③ 機能の設定画面でこのキーを押すと該当項目が初期化されます。	109ページ
26	ラベル 前 次	① 入力中のラベル内容をそのまま残し、新しいラベルを表示します。 ② いくつかのラベルがすでに入力されている場合は、表示中のラベルの次の番号のラベルを表示します。	108ページ
27	ラベル 前 次	いくつかのラベルがすでに入力されている場合に、表示中のラベルの前の番号のラベルを表示します。	108ページ
28	エリア 前 次	複数のエリアからなるパターンを選択しているとき、入力するエリアを移動するときに使います。	107ページ
29	はやわざ	あらかじめ登録されている用途別の出力例文を呼び出します。	146ページ
30	パターン	レイアウトパターンを選択・変更するときに使います。	84ページ
31	パターン変更	すでに選択したレイアウトパターンのラベルサイズや各エリアサイズを変更するときに使います。	95ページ

	キー	主な働き	参照ページ
32	枠囲み	入力中のラベルに枠囲みを設定します。	81ページ
33	縦/横	エリア内の文字の作画方向（縦書き・横書き）を設定するときに使います。	99ページ
34	位置合せ	エリア内の左右上下どの位置に入力した文字を配置するか、設定するときに使います。	101ページ
35	背景色	エリア内の背景色、反転を設定するときに使います。	103ページ
36	桁合	エリア内の入力した文章を桁合わせして配置するときに使います。	105ページ
37	矢印・文字 ミラー	入力した文章の長さに応じた矢印をつけて出力するときに使います。	134ページ
	シフト＋矢印・文字 ミラー	シフト を押しながら 矢印・文字 ミラー を押します。 入力中のラベルをミラー(鏡像)で出力するときに使います。	138ページ
38	連続/連番 L記置	入力中のラベルを連続して複数枚数出力するとき、または連番を設定して出力するときに使います。	122ページ
	シフト＋連続/連番 L記置	シフト を押しながら 連続/連番 L記置 を押します。 シートに対するラベルの出力方向を設定します。	144ページ
39	特殊作画	縁取り文字の出力やラインカット機能を使うときに押します。	127,136ページ
40	セットアップ 諸設定	①　電源投入時のPマークの内容を変更するときに使います。 ②　ローマ字入力／50音入力を切替えるときに使います。 ③　画面の輝度調整をするときに使います。	166ページ
	シフト＋セットアップ 諸設定	シフト を押しながら セットアップ 諸設定 を押します。 マルチカラーリボンで印刷できる色のカラーサンプルを出力するときなどに使います。	170ページ

第2章 主なキーの役割とディスプレイの見かた

1.2 ディスプレイの見かた

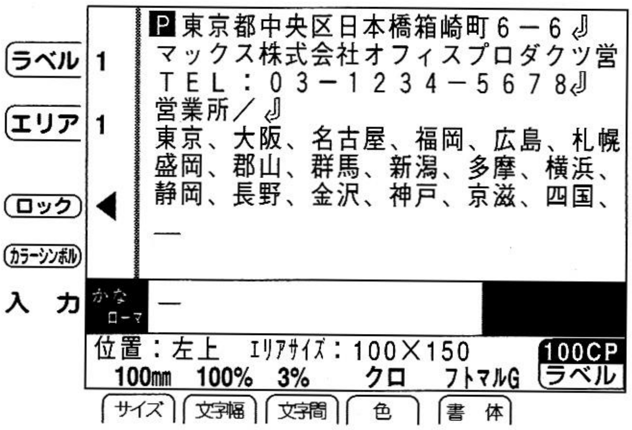


	名称	主な働き
1	P(パラメータ)マーク	◇ 基本パラメータを設定すると自動的に発生します。 ◇ 次のPマーク（またはエリア末）までにある文字、文章を制御します。 ◇ 1ラベル最大20個まで入れることができます。
2	確定入力表示画面	◇ 入力中のエリアの文字が表示されます。 ◇ 「よみ」として入力した語句を確定するとこの画面に表示します。この部分に表示されている内容をもとに出力されます。 ◇ 長い文章を入力した場合は、この部分だけが全体に横スクロールします。
3	「よみ」／変換候補表示画面	◇ かな入力するとまずこの部分に入力した文字が表示されます。 ◇ 漢字変換すると変換候補が「よみ」の下に表示されます。
4	パターンインジケータ	◇ 選択したパターンが表示されます。 ◇ 入力中のエリアが反転表示されます。
5	状態表示	◇ 1行目には位置合せ設定とエリアのサイズ(縦×横)が表示されます。 ◇ 2行目には主な基本パラメータの設定状況が表示されます。
6	入力状態表示	◇ 上は入力状態を示します。(入 力)を押すと、かな／英数が切り替わります。 ◇ 下は入力キー選択状態を示します。セットアップ機能で、ローマ字／かな(50音)が切り替えられます。
7	カラーシンボルインジケータ	◇ カラーシンボルにカーソルがあるときに◎マークが点灯します。
8	ロックインジケータ	◇ (ロック)を押すと点灯／消灯します。
9	ラベル／エリア番号	◇ 入力中のラベル番号、エリア番号を表示します。
10	出力選択	◇ 選択された出力機と出力方法が表示されます。

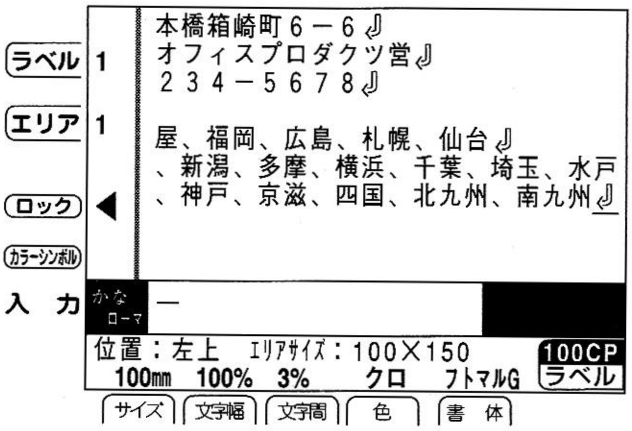
1.3 カーソルの移動と画面のスクロール

キーボード上の右側にある矢印キーは、カーソルの移動や画面をスクロールするときなどに使います。以下に通常入力画面で文字入力をしている場合を示します。

❶ 右のように文字が入力されている場合。カーソルは８行目の先頭にあります。



❷ ◀を押します。前の行の末尾に移動します先頭のPマークがスクロールして見えなくなり、７行目の行末が表示されます。



❸ 同様に▲▼◀▶を押すと、その方向へカーソルが移動します。

メモ

* カーソルが１行目にあるときに▲を押すとそのエリアの文頭のPにカーソルが移動します。
* カーソルが入力されている文章の最終行にあるときは、▼を押すとそのエリアの文末にカーソルが移動します。
* 矢印キーは、その他にもいろいろな機能の選択やイメージ表示時に使います。

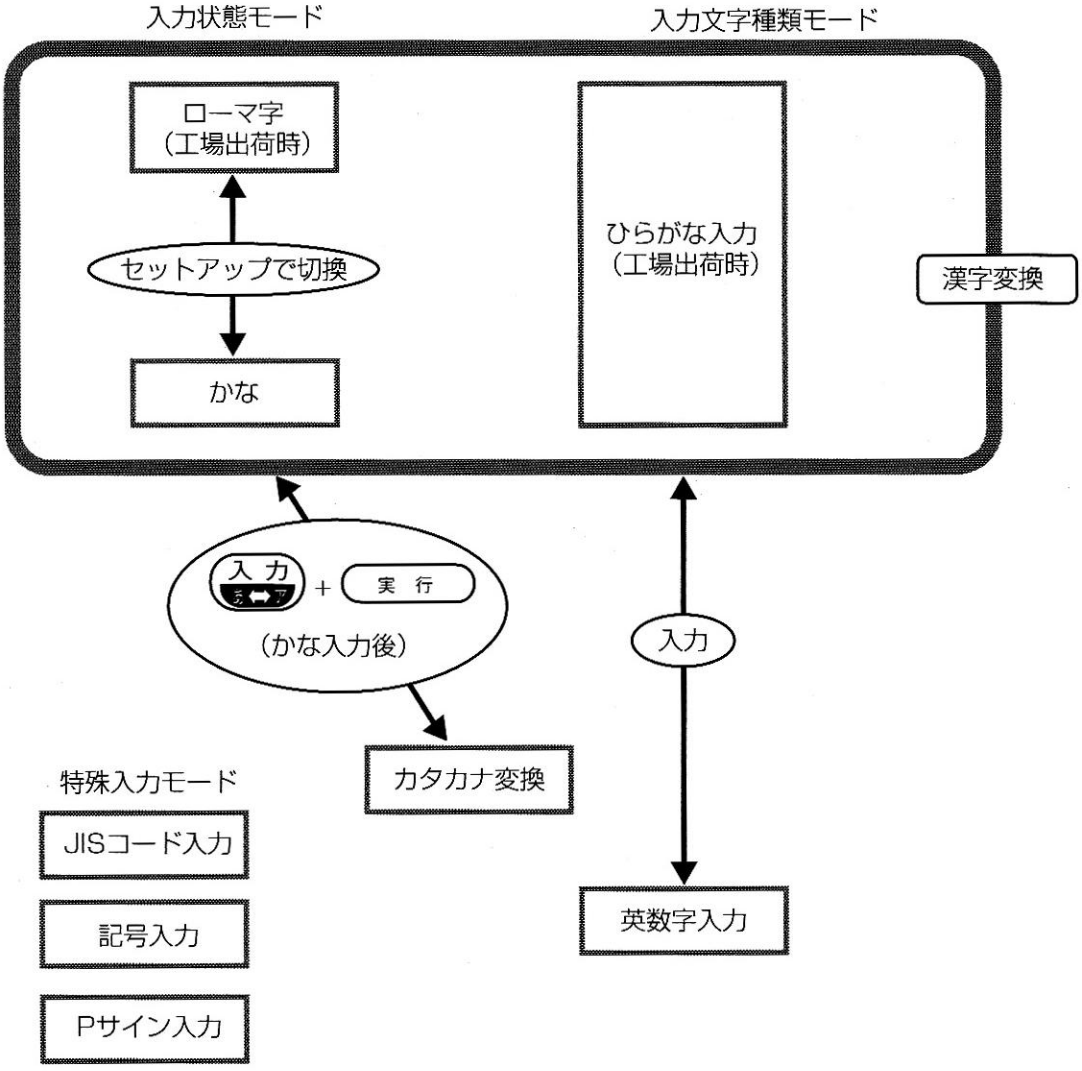
2 文字の入力

2.1 文字の入力方法を選ぶ

文字やピクトサインの入力方法には、次の方法があります。

① ローマ字かな配列のキーで、かなや漢字を入力する
② 50 音かな配列のキーで、かなや漢字を入力する
③ ひらがなやカタカナを入力する
④ 英数字を直接入力する
⑤ キーボード上に記載されている記号を入力する
⑥ 記号を入力する
⑦ ピクトサイン（P サイン）を入力する
⑧ 漢字を JIS コード一覧表から探して入力する

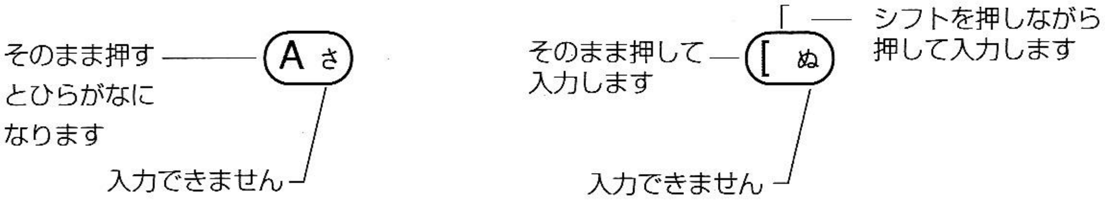
以上の入力方法の関係を図示すると、次のようになります。それぞれの説明は、次ページ以降をご覧ください。



2.2 ローマ字入力のしかた

キー上のアルファベットを使って文字をローマ字で入力します。
50音かな入力をする場合は27ページを参照ください。

2.2.1 キー上の文字の入力方法



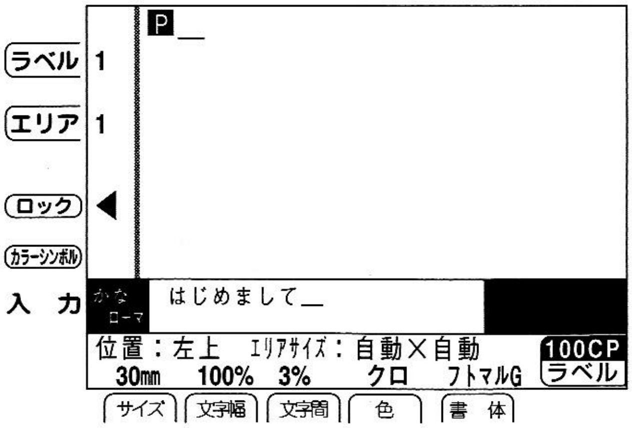
・句読点（、や。）の入力は、［シフト］を押しながら［、る］［。れ］を押します。
・中点（・）の入力は、［シフト］を押しながら［／ろ］を押します。

2.2.2 代表的な入力例

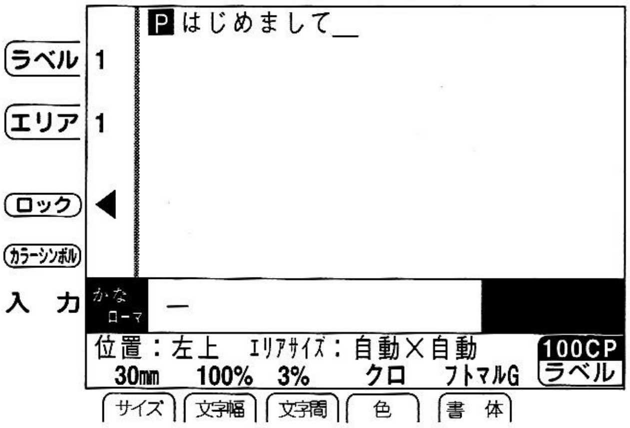
入力内容	キー操作	入力の規則
あんぜん	ANZEN	
とうきょう	TOUKYOU	
ばんど	BANNDO	「ん」はＮＮと2回入力する
を	WO	
ちく	TIKU またはCHIKU	日本式、ヘボン式どちらでも可
けーぶる	KE-BURU	伸ばす音は長音を押します

2.2.3 例.「はじめまして」と入力してみます。

❶ [H] [A] [J] [I] [M] [E] [M] [A] [S] [H] [I] [T] [E] と押します。



❷ （実 行）を押すと確定し、画面上側に入力した文字が移ります。



メモ

* 「確定」とは入力中の文字を確定画面に移し、出力できる状態にすることです。
* キーを押し間違えたときは、誤って入力した文字にカーソルをあわせ、[削除]を押すとその文字を削除することができます。
* また、[クリア]を押すと、「よみ」の文字（手順❶で画面の下方に表示している「はじめまして」）を一括して削除することができます。
* 50音かな入力との切換は、「2.3 50音かな入力のしかた」27ページを参照ください。

参照

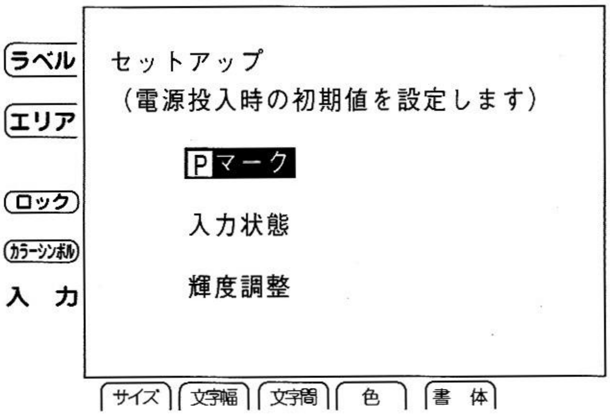
* 代表的な例以外のローマ字の入力規則については、付録の「ローマ字入力規則表」を参照ください。
* 確定した文字を訂正する場合は、「第7章文章の編集／削除」106ページを参照ください。

2.3 50音かな入力のしかた

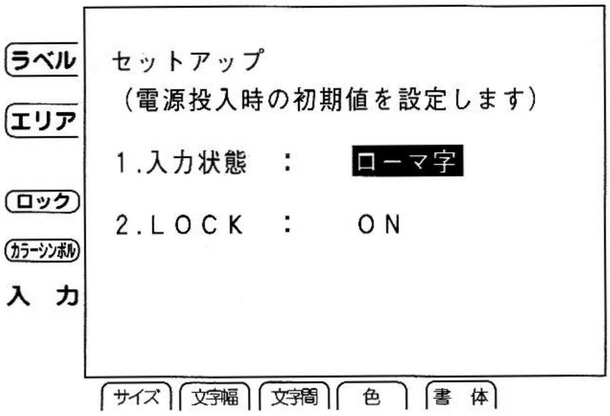
キー上のかなを使って文字を50音で入力します。

2.3.1 50音かなの入力状態にする

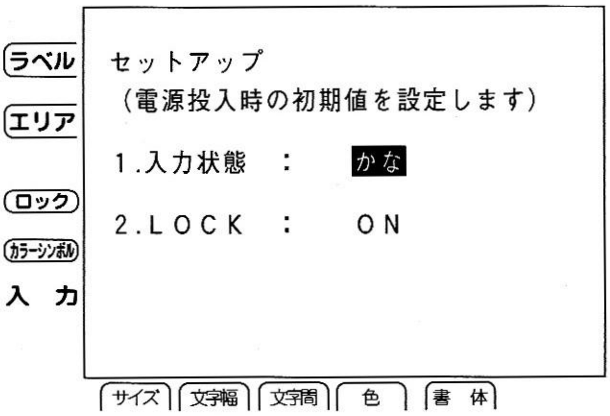
❶ [セットアップ 諸設定]を押します。



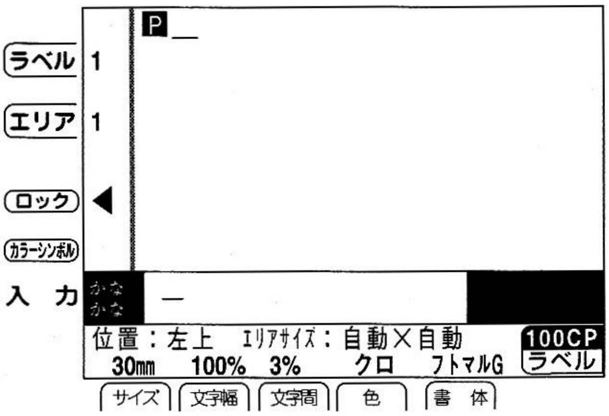
❷ [▼]を押して「入力状態」を選び、[実行]を押します。



❸ [▶]または[◀]を押して「かな」を選びます。



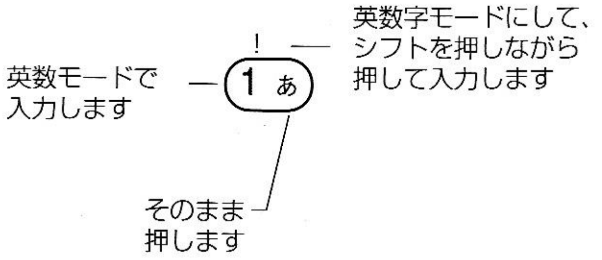
❹ [実行]を押すと通常入力画面に戻り、50音かな入力状態になります。
画面左下の入力状態表示が「かな／かな」になります。



メモ　＊その他の設定項目については「システムの基本設定」？？ページを参照ください。

第２章　文字の入力

2.3.2 キー上の文字の入力方法



・句読点（、や。）の入力は、[シフト]を押しながら[る][れ]を押します。

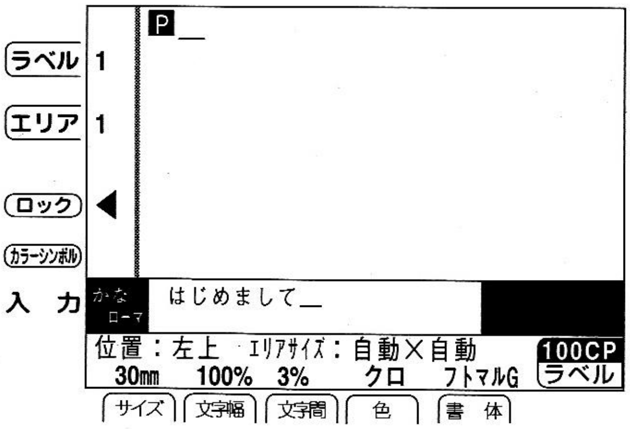
・中点（・）の入力は、[シフト]を押しながら[ろ]を押します。

2.3.3 代表的な入力例

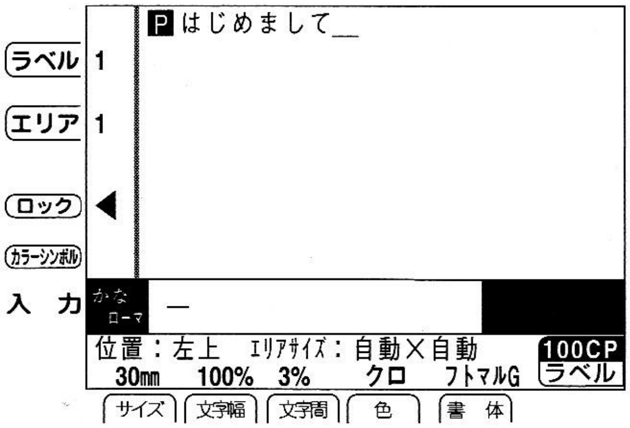
入力内容	キー操作	入力の規則
あんぜん	[あ][ん][せ][゛][ん]	
とうきょう	[と][う][き]、[シフト]+[よ]、[う]	促音、拗音は、[シフト]を押しながら押します。
ばんど	[は][゛][ん][と][゛]	濁点、半濁音は別に押します。
を	[を]	
ちく	[ち][く]	
けーぶる	[け][長音][ふ][゛][る]	伸ばす音は長音を押します

2.3.4 例.「はじめまして」と入力してみます。

1 [は][し][゛][め][ま][し][て]と押します。



❷ (実行)を押すと確定し、画面上側に入力した文字が移ります。



メモ

＊「確定」とは入力中の文字を確定画面に移し、出力できる状態にすることです。

＊キーを押し間違えたときは、誤って入力した文字にカーソルをあわせ、(削除)を押すとその文字を削除することができます。

＊また、(クリア)を押すと、「よみ」の文字（手順❶で画面の下方に表示している「はじめまして」）を一括して削除することができます。

参照

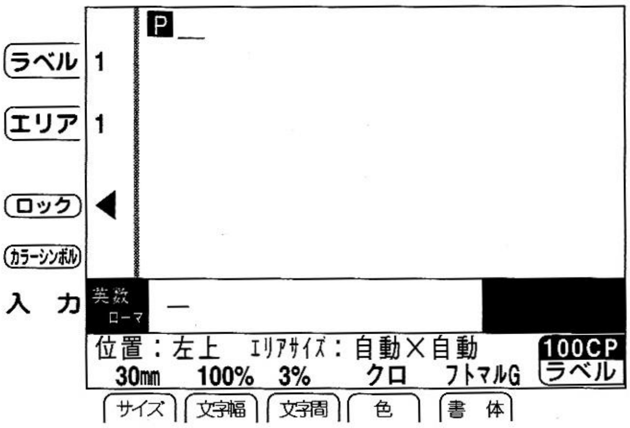
＊代表的な例以外のローマ字の入力規則については、付録の「ローマ字入力規則表」を参照ください。

＊確定した文字を訂正する場合は、「第７章文章の編集／削除」106ページを参照ください。

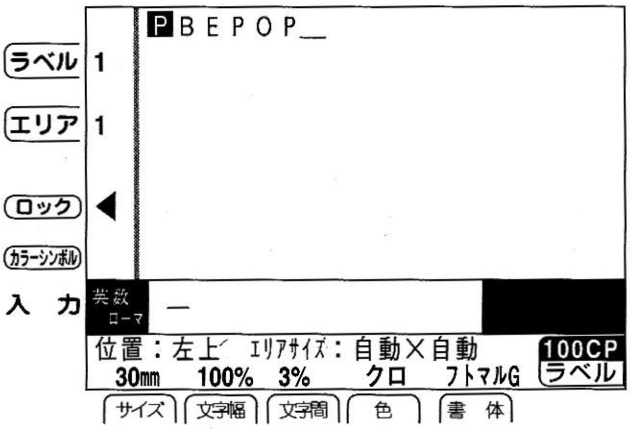
2.4 英数字入力のしかた

入力状態が、ローマ字入力でも50音かな入力の場合でも、同じ操作で英数字を直接確定入力することができます。

1 (入力)を押します。
画面左下の入力状態表示が「英数／ローマ」になります。



2 「BEPOP」と入力してみます。
[B] [E] [P] [O] [P]と押します。
確定画面に直接文字が入力されます。



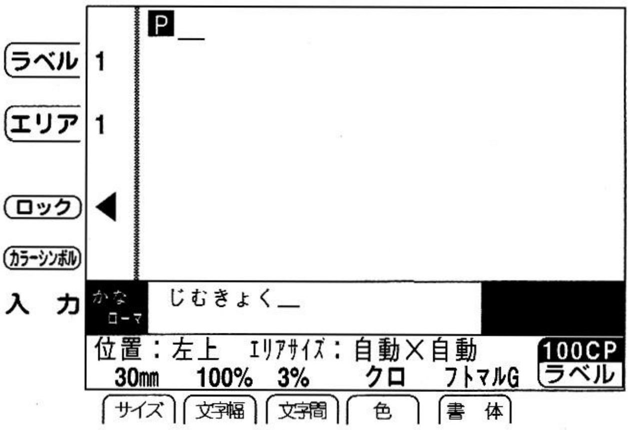
メモ
* 空白（スペース）を入力するときは、(　　　　)を押してください。半角スペースを入力するときは、(シフト)を押しながら(半角スペース)を押します。
* 英小文字を入力するときは、(ロック)を押して、画面左のロックインジケータ（◀）を消灯してから入力してください。

2.5 漢字変換のしかた

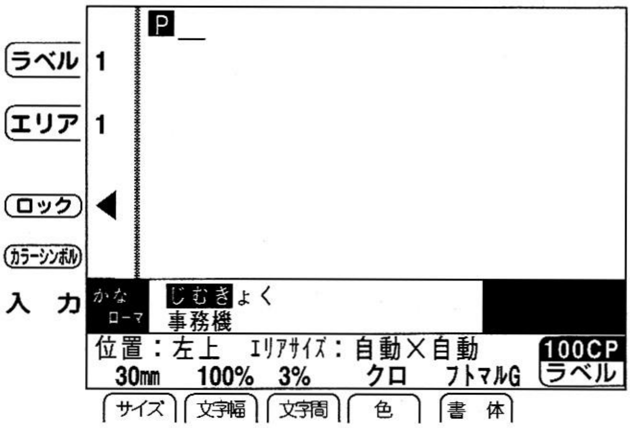
「よみ」表示エリアに入力した文字を漢字に変換します。漢字変換は最長一致法に基づいて熟語変換されますので、よみが自動的に短く反転されている場合は、それ以上長いよみの熟語が本機の辞書に無いことを示しています。

2.5.1 熟語変換

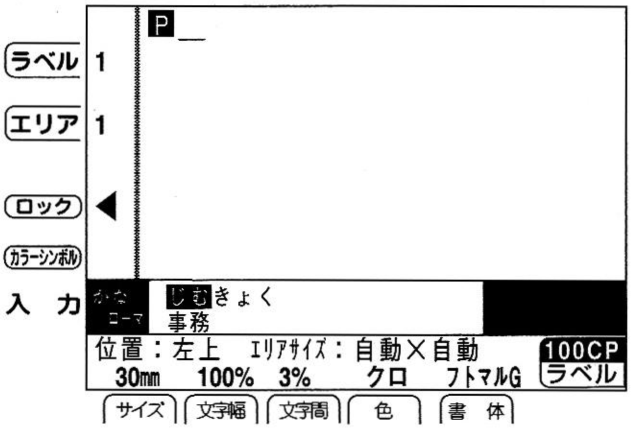
❶ 「じむきょく」とよみを入力します。



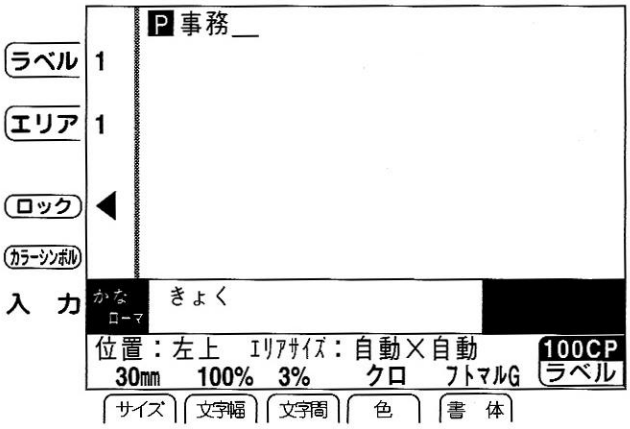
❷ （変換）を押します。



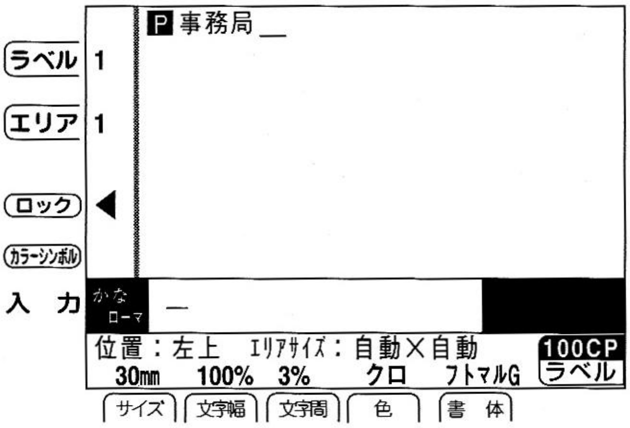
❸ （◂）を押すとよみが１文字づつ短縮されます。



4 （実行）を押すと、変換候補の「事務」が確定され、「きょく」が残ります。



5 再度（変換）を押して「きょく」を変換し（実行）を押して確定します。



メモ
* よみを短くしすぎた場合は、（▸）を押して長くします。
* （変換）を続けて押すと、他の変換候補が表示されます。
* （変換）を押しすぎて、変換候補が行き過ぎてしまった場合は、（シフト）を押しながら（変換）を押す、または（▴）を押すと前の変換候補が表示されます。
* 本機の熟語変換辞書には、学習機能がついています。そのため、前に変換した熟語が優先して表示されます。
* 変換できないけれど良く使う、といった語句は熟語登録すると便利です。

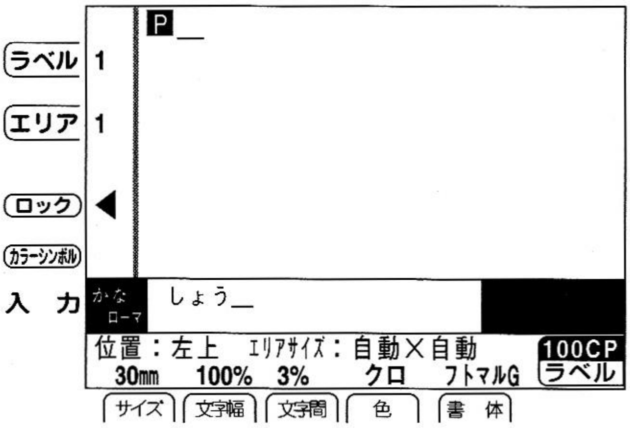
参照
* 熟語登録については、「第１１章　熟語を登録／削除する」161ページを参照ください。

2.5.2 単漢字変換

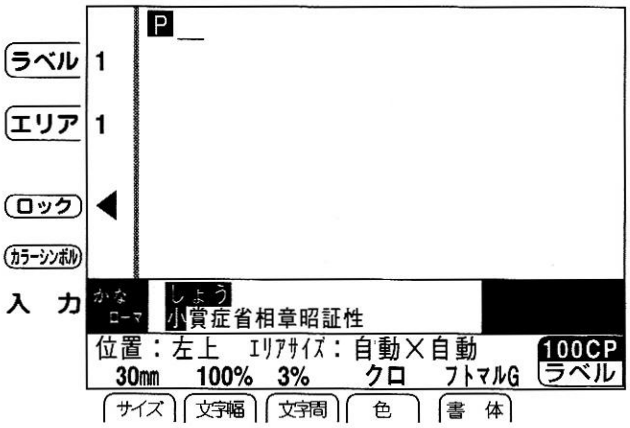
熟語変換で入力したい漢字に変換できない場合は、よみを入力し(記号 単漢)を押すと漢字の候補を一覧表示します。

例．「祥」と単漢字変換で入力してみます。

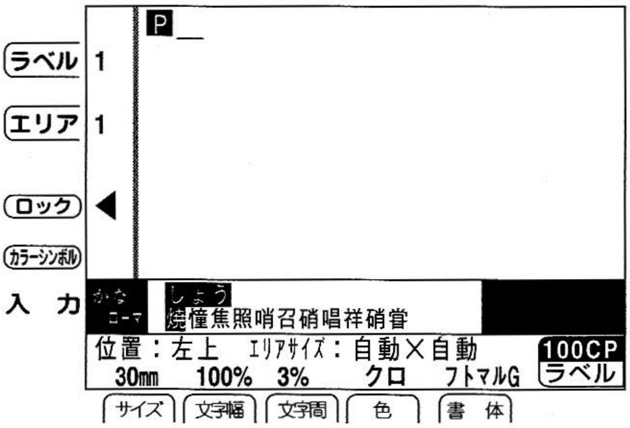
**❶ 「しょう」とよみを入力します。
よみの入力には音読みを使います。**



❷ (記号 単漢)を押します。



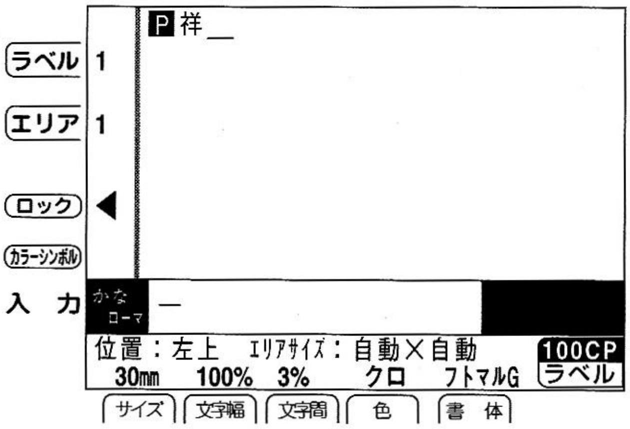
❸ (▼)を４回押します。次々に候補が表示されます。



第２章 文字の入力

❹ (▶)を押して、変換候補の「祥」を選び、(実行)を押します。

「祥」を確定します。



メモ

* 単漢字変換では、よみに該当する漢字が無い場合、何も表示されません。
* 単漢字変換を途中で止めたいときは(取消)を押します。(記号/単漢)を押す前のよみ入力の状態に戻ります。
* (変換)を押しすぎて、変換候補が行き過ぎてしまった場合は、(▲)を押すと前の変換候補一覧が表示されます。

参照

* よみがわからない場合は、本書巻末のJISコード一覧表を参照してJISコード入力で漢字や記号を入力することができます。くわしくは「JISコードでの入力」42ページを参照ください。

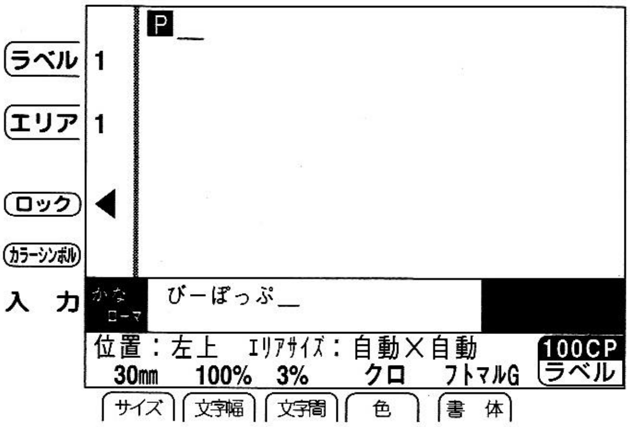
2.6 ひらがな／カタカナ変換のしかた

2.6.1 カタカナに変換する

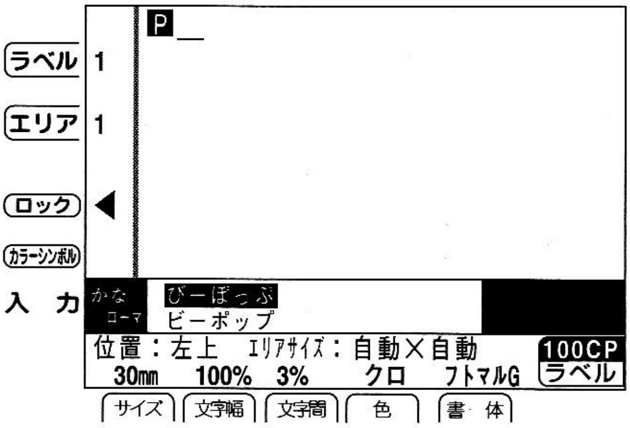
カタカナを入力するときは、よみを入力してカタカナに変換します。

例.「ビーポップ」と入力してみます。

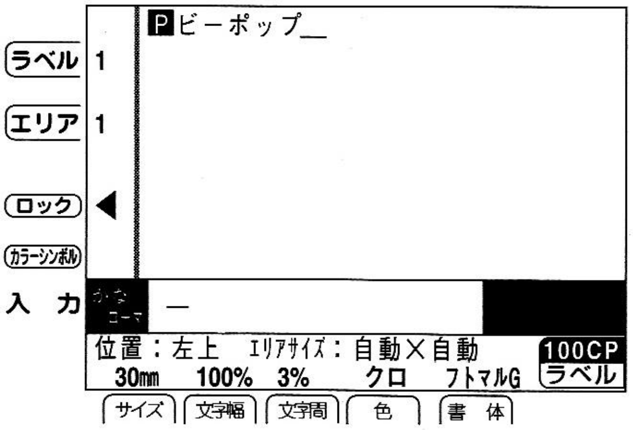
❶「びーぽっぷ」と入力します。



❷（入力）を２回押します。



❸（実行）を押します。
「ビーポップ」が確定されます。

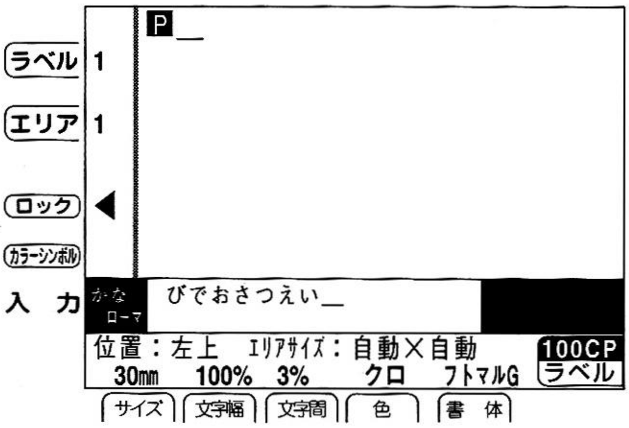


2.6.2 ひらがなと漢字が混ざった文章を変換する

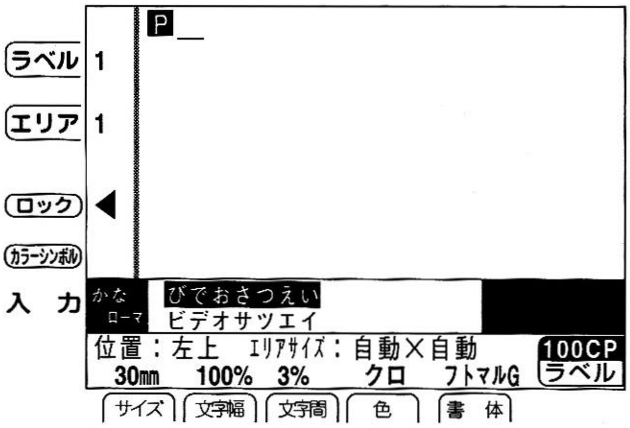
ひらがなやカタカナと漢字が混ざった文章を変換するときは次のように行なうと便利です。

例．「ビデオ撮影」と入力してみます。

1 「びでおさつえい」と入力します。

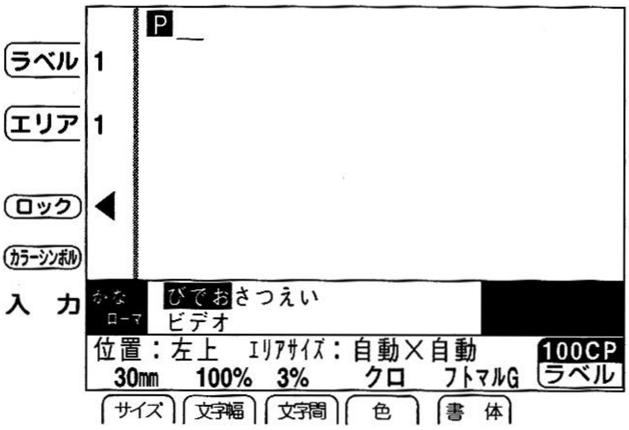


2 （入力）を２回押します。

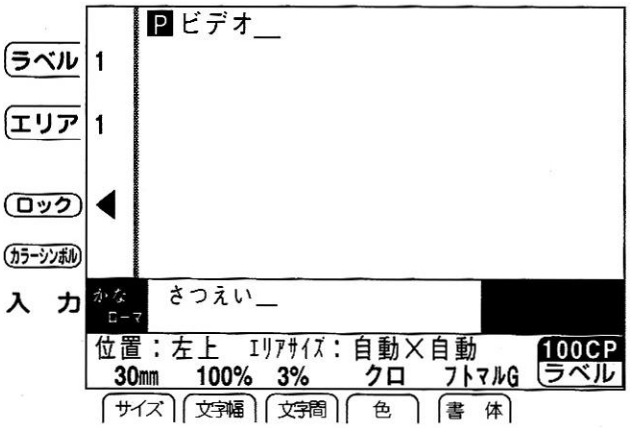


3 （◀）を４回押します。

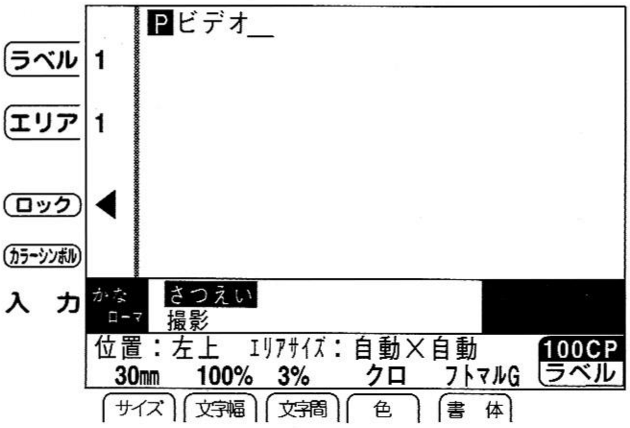
カタカナ変換の範囲が短くなります。



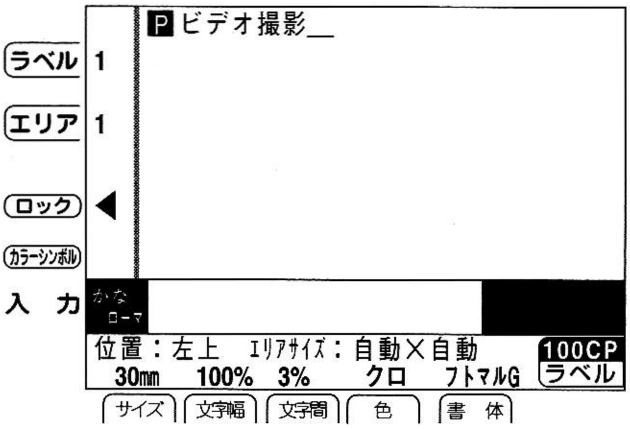
4 （実行）を押して「ビデオ」を確定します。



❺ （変換）を押して「さつえい」を漢字変換します。



❻ （実行）を押して、変換候補を確定します。



メモ ＊ひらがなと漢字が混在している場合も同様の操作です。手順❸で（入力）を１回だけ押すとひらがなに変換されます。

第２章
文字の入力

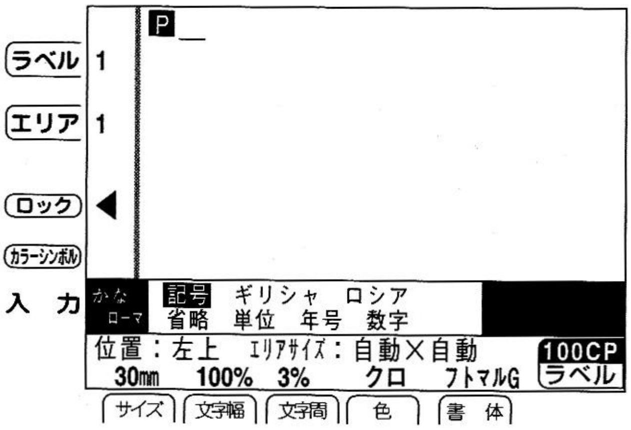
2.7 記号の入力

記号を入力する

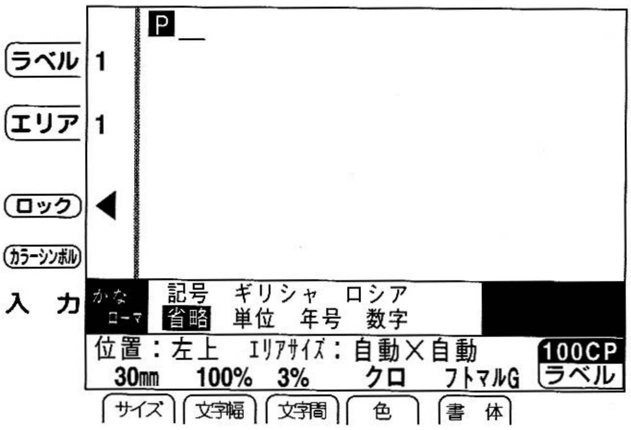
巻末のJISコード一覧表の非漢字のページにある記号は、JISコードでも入力できますが次の操作で入力するほうが、さらに簡単に入力できます。

例.「㈱」と入力してみます。

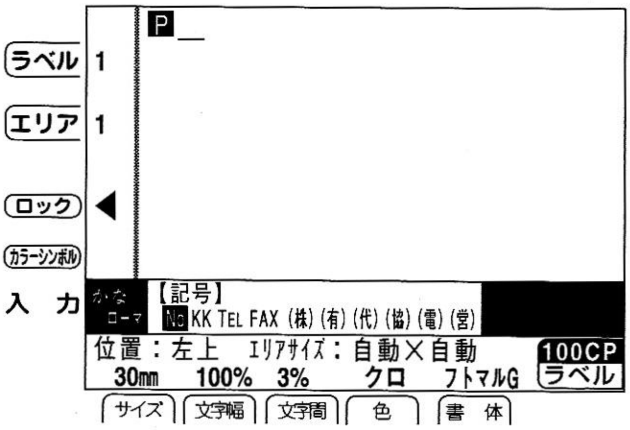
❶ （記号/単漢）を押します。



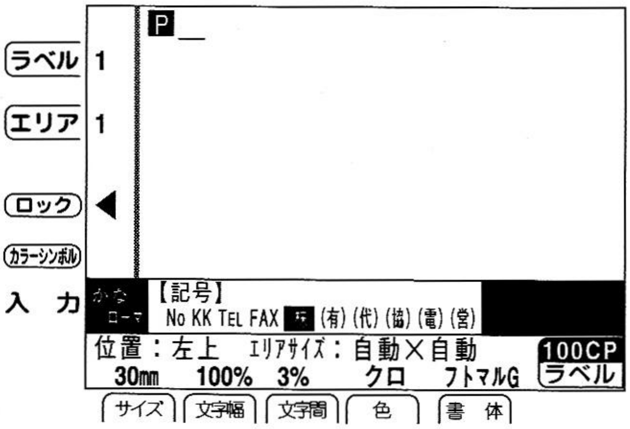
❷ （▽）を押して省略を選びます。



❸ （実　行）を押します。



❹ (▸)を押して「㈱」を選びます。



❺ (実 行)を押して確定します。

参照　* JIS コード入力については、「JIS コードでの入力」42 ページを参照ください。

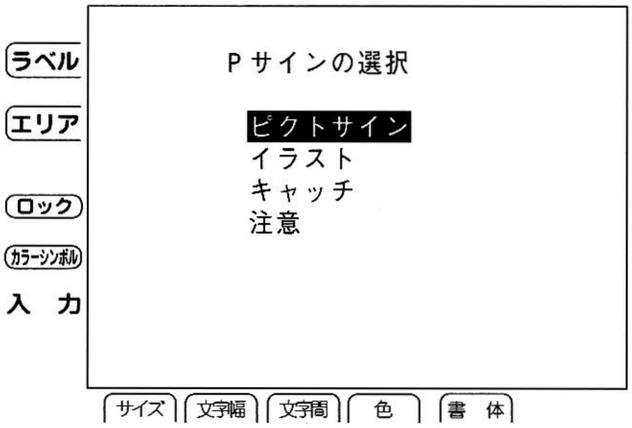
2.8 ピクトサイン（絵文字）の入力

本機には、巻末のピクトサイン一覧表にある合計 93 種類のピクトサインが搭載されています。
ピクトサインは４つのグループに分かれており、それぞれ次の種類がはいっています。
各グループのＰサインを選ぶと、それぞれのグループ毎に下表にある記号を画面上に表示します。

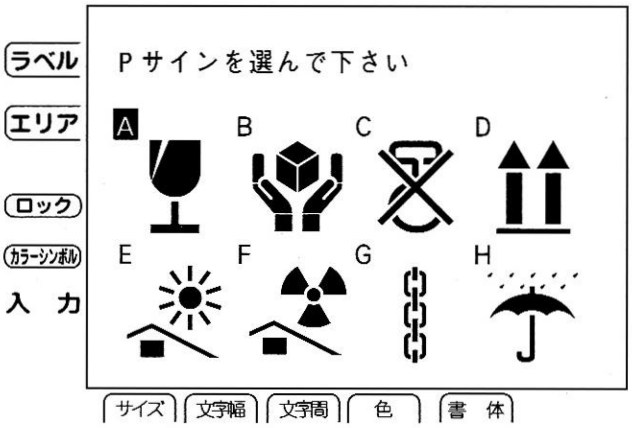
グループ名	種類数	内容	表示される記号
Ｐサイン	１９種類	場所名表示等に適しています。	
イラスト	１１種類	季節を表す動植物のイラスト。ポップ作成などに適しています。	
キャッチ	２１種類	店舗用ポップに適したアイキャッチがあります。	
注意	４２種類	注意表示などに適したシンボルがあります。	

例．「注意」グループのピクトサイン「⚠」を入力してみます。

❶ （Pサイン）を押します。

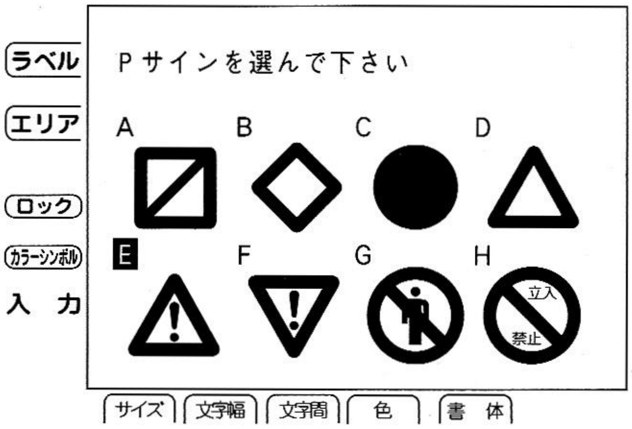


❷ （▼）を3回押して「注意」を選び、（実　行）を押します。

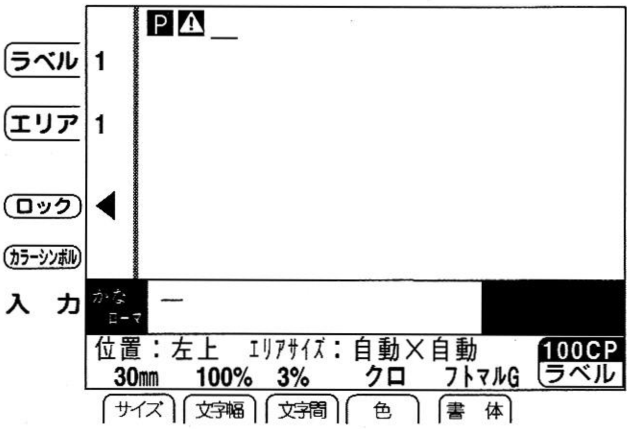


第２章 文字の入力

❸ （▽）を５回押します。
選ぶシンボルの記号が反転します。



❹ （実　行）を押します。
ピクトサインが確定入力されます。



参照

＊スキャナで読み取った図形を使うときは、「第13章図形の読取り（オプション）」176ページを参照ください。

＊内蔵されているピクトサインの一覧は、付録の「ピクトサイン一覧表」を参照ください。

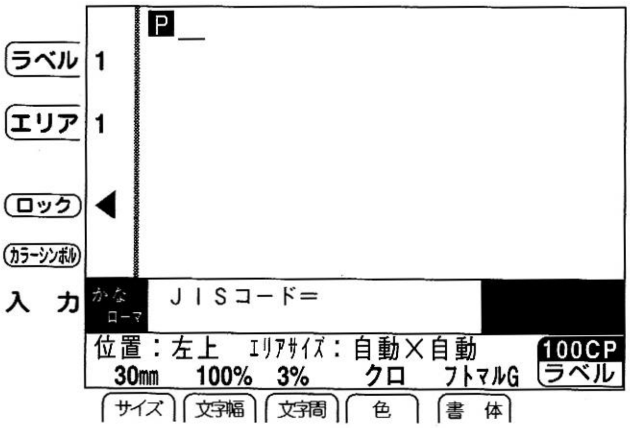
2.9 JIS コードでの入力

よみがわからない漢字などは本書巻末のJISコード一覧表を参照してJISコードによる入力ができます。

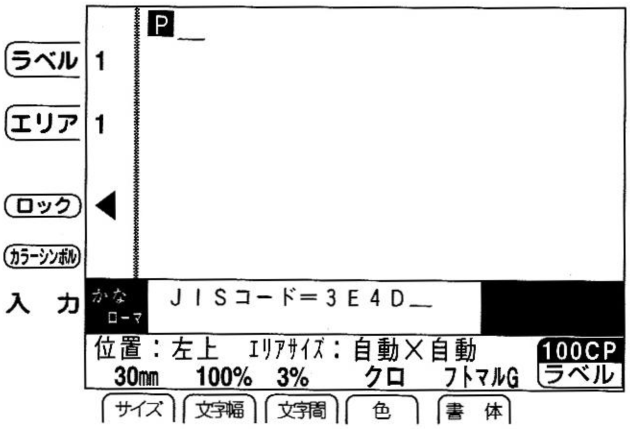
例.「祥」をJISコードで入力してみます。

1 （シフト）を押しながら（記号／単漢）を押します。

よみ表示エリアにJISコード入力の表示が現れます。



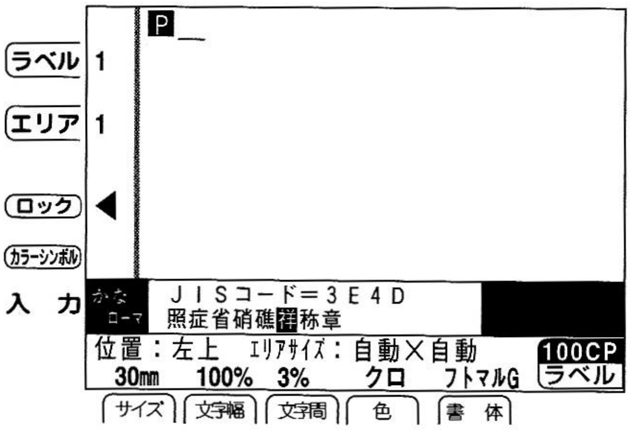
2 JISコード一覧表に従って[3][E][4][D]と入力します。



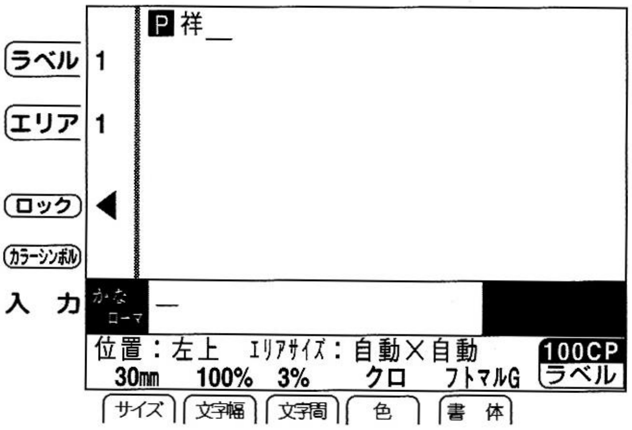
3 （変換）を押します。

該当漢字と前後のコードの漢字が表示されます。該当漢字が反転表示されます。

・（取消）を押すとJISコード入力を中止し、通常入力画面に戻ります。



❹ （実　行）を押します。
「祥」が確定入力されます。



メモ
* JIS コード一覧表の非漢字（単位記号やギリシャ文字など）も入力できます。
* 手順❸で「3E4」まで入力し（変　換）を押すと、「3E40」を先頭に 8 文字の候補を JIS コード順に表示します。コードを覚えていない時に使うと、JIS コード一覧表を見る必要がありません。
* 候補漢字が歯抜け状態で表示される場合がありますが、これはその部分のコードに該当する文字が無いことを示しています。

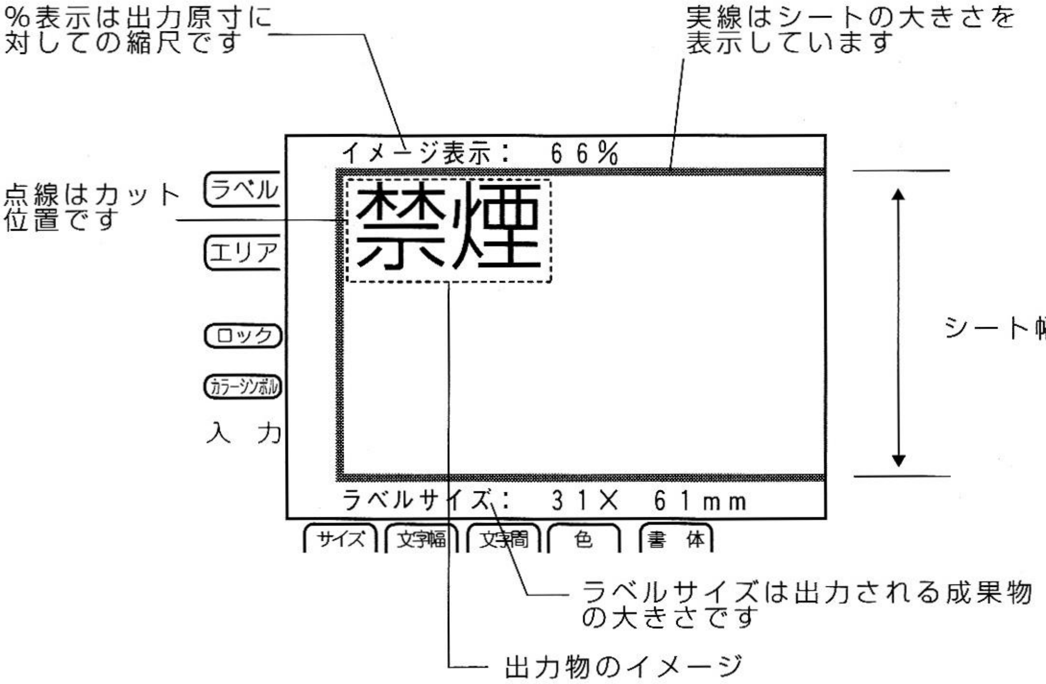
参照
* JIS コード一覧表は、付録の「搭載文字一覧表（JIS コード一覧表)」を参照ください。

3 イメージ表示して確認する

出力イメージを実際に出力する前に、画面で確認できます。無駄な出力をする必要がありません。また、イメージ表示では、実際に出力される大きさがmm単位で表示されますので、全体の長さや幅も出力前に知ることができます。

イメージ表示画面の見かたは、次のようになっています。

イメージ表示は、初め画面のたて幅が出力選択で選択している出力機のシート幅となるよう表示されます。



イメージ表示は、７段階の縮尺で表示することができます。

小さく表示 ←						→ 大きく表示
11％ 画面のたてが 600mm幅	16％ 画面のたてが 400mm幅	21％ 画面のたてが 300mm幅	33％ 画面のたてが 200mm幅	66％ 画面のたてが 100mm幅	100％ 実際に出力 される大きさ	132％
（左のほうへ行く操作） ← （シフト）を押しながら△を押します						（右のほうへ行く操作） （シフト）を押しながら▽を押します →

また、カーソルキーでスクロールします。（画面切換わり方式）

メモ　＊（イメージ/P-ﾀﾞｯ）を押すと、初めの画面では必ず出力選択で選んでいる機種のシート幅を画面たて一杯に表示する倍率となります。

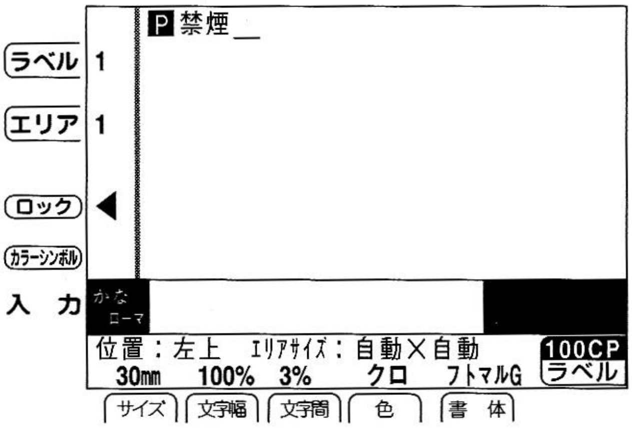
・100mm 幅→66％
・200mm 幅→33％

＊イメージ表示した時に表示するラベルサイズは、設定したラベルサイズと異なる場合があります。これは「枠カットの余白」がラベルサイズに含まれないためです。

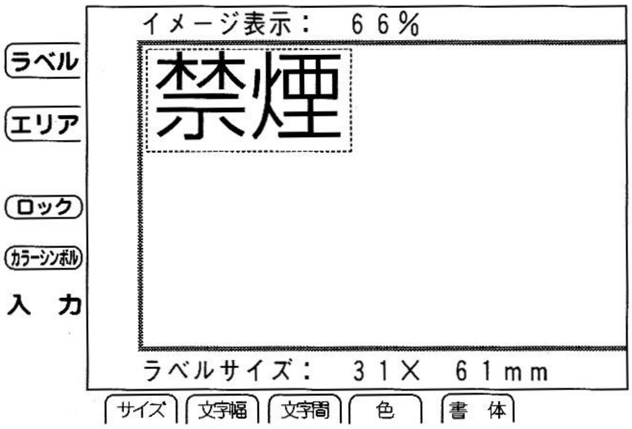
参照　＊「枠カットの余白」については「第４章ラベル単位の設定」80ページを参照ください。

例. 初期設定のままで「禁煙」と入力した場合を見てみましょう。(LC-100CPラベルを選んでいる場合)

❶ 「禁煙」と入力します。



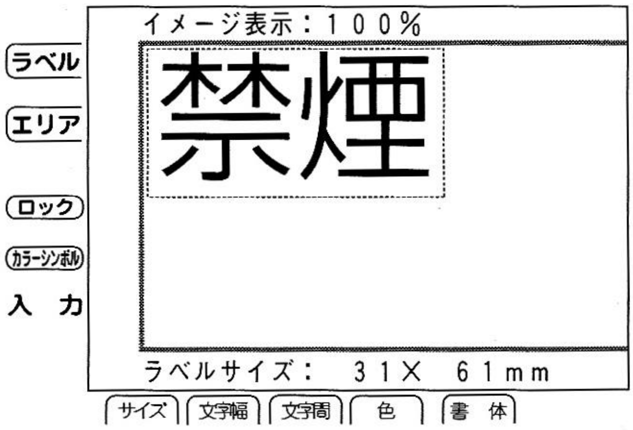
❷ (イメージ P一覧)を押します。



❸ (シフト)を押しながら(▲)を押します。

さらに(▲)を１回押します。

ほぼ原寸100%のサイズでイメージが表示されます。



メモ　＊イメージ表示の拡大・縮小は、はじめのシートの左下位置を基準に表示します。何もイメージが見えないときは(▲)を押して画面をスクロールします。

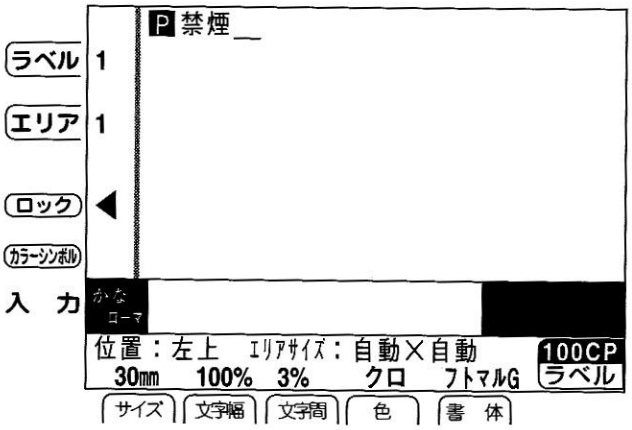
4 出力する方式を選ぶ

接続している機種によって、次のように出力方法が選べます。

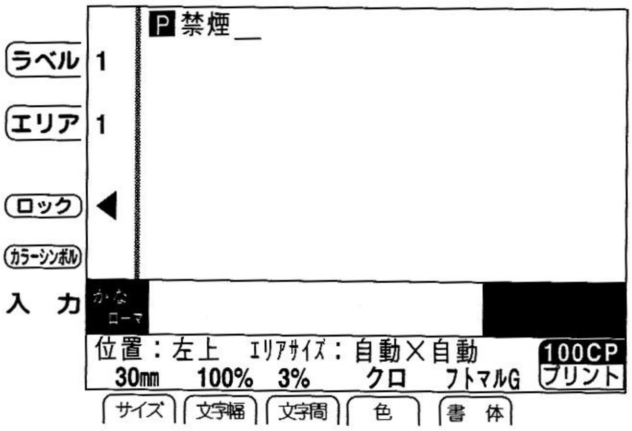
接続機種	出力方法		画面表示
LC-100CP	ラベル	文字や枠線をプリントして、外側をラベル状にカットします。	100CP ラベル
	プリント	文字や枠線をプリントします。	100CP プリント
	カット	文字や枠線をカットします。（切り文字）	100CP カット
LC-100C	カット		100C カット
LC-200C	カット		200C カット

例．LC-100CP を接続している場合

❶ 電源をONにしたときは「100CP ラベル」になっています。



❷ （◐）を押します。
画面右下のインジケータが変わります。
さらに（◐）を押すと「カット→ラベル→プリント→…」と切換わります。



メモ　＊（◐）を押して表示される出力方法は、接続している機種で選択できるものだけです。

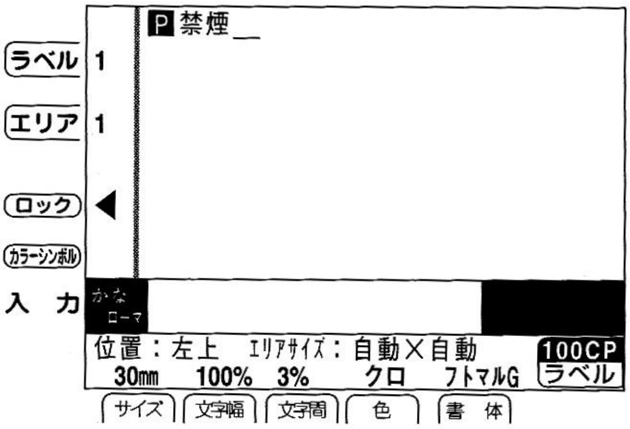
4.1 ラベル出力する

LC-100CPを接続してラベル出力を選択すると、文字や枠線をプリントして、外側をラベル状にカットします。

4.1.1 基本的な出力のしかた

例．前節「3.イメージ表示して確認する」で入力した「禁煙」をラベル出力してみます

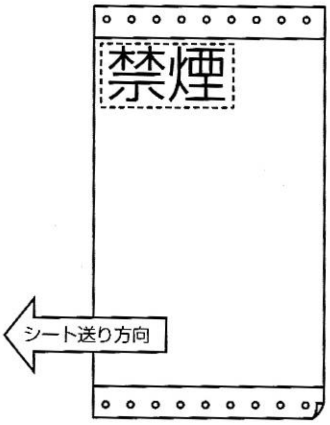
① （◐）を押して画面右下のインジケータを「100CP ラベル」にします。



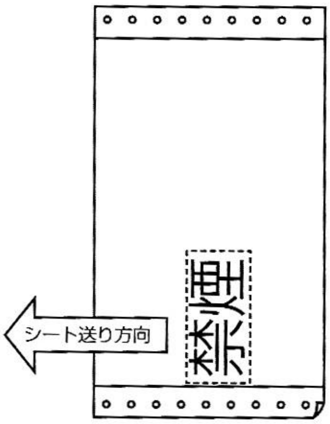
② シートとインクリボンカセットがセットされていることを確認して（スタート）を押します。画面が右のように変わります。

③ 下のように出力します。（点線はカットされるところです。）

出力結果



メモ　＊下図のようにシート幅に対して効率よく出力したい時は、ラベル配置を「たて」に設定します。



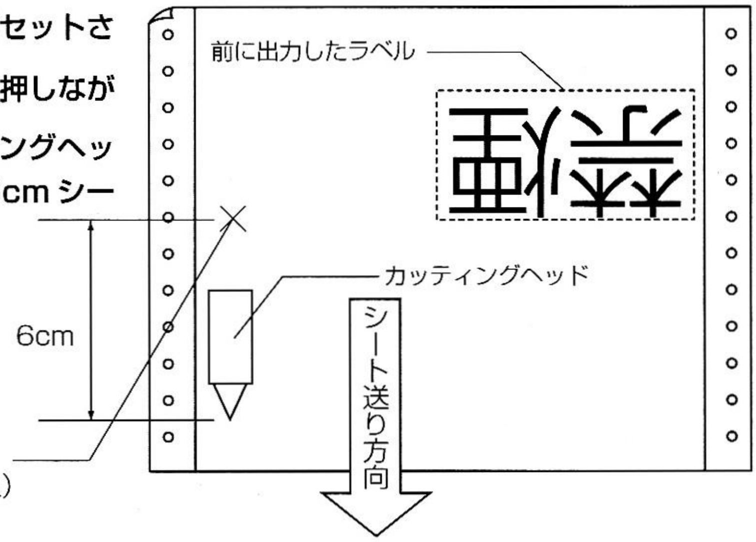
参照　＊ラベルの配置については「第９章 8.ラベルの配置方法を変える」144ページを参照ください。

4.1.2 カッティングヘッドで開始位置を決めて出力する

例.「ご協力お願いします」を下図の位置にラベル出力してみます

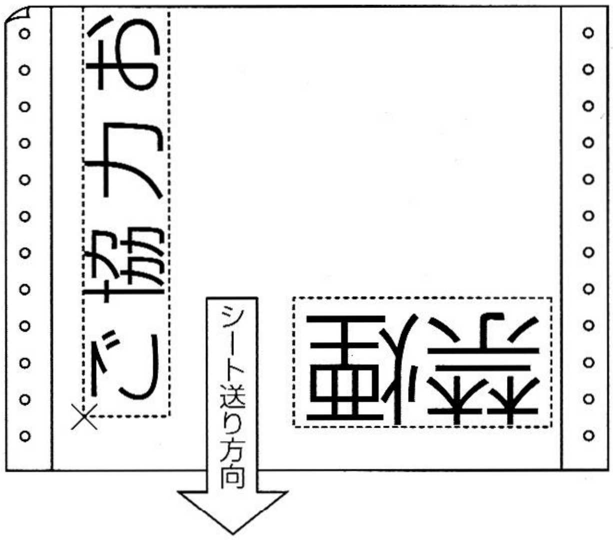
❶ （◐）を押して画面右下のインジケータを「100CP ラベル」にします。

❷ シートとインクリボンカセットがセットされていることを確認した後、（移動）を押しながらカーソルキーを押してカッティングヘッドを出力を開始したい位置から6cm シートを戻した位置に合わせます。



❸ （スタート）を押すと、出力を開始します。

出力結果は右のようになります。



お願い
* ラベル出力、プリント出力でカッティングヘッドで開始位置を決める場合、前に出力したラベルははがさないでください。
はがした後のシートの余白に出力すると印字ヌケが生じます。

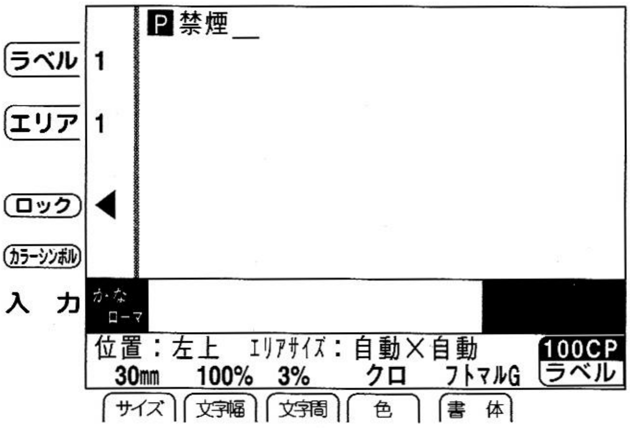
4.2 プリントする

LC-100CPを接続してプリント出力を選択すると、文字や枠線をプリントします。ラベル出力とは異なり、プリント結果の外側はカットしません。シート幅をいっぱいに使うときや、後から自分で切って使うとき、分割作画するときなどに使用します。

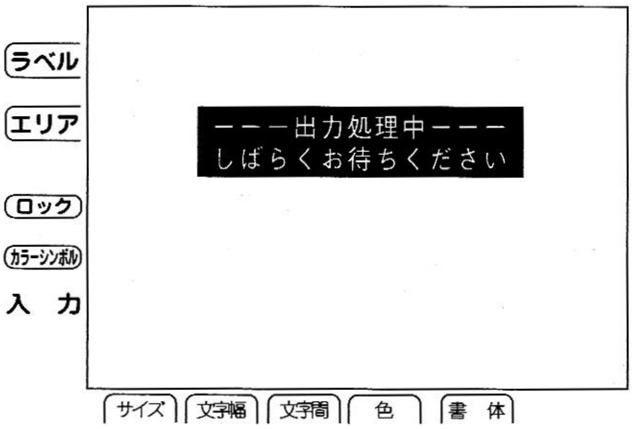
4.2.1 基本的な出力のしかた

例．前節「3.イメージ表示して確認する」で入力した「禁煙」をプリント出力してみます

1 **（◐）を押して画面右下のインジケータを「100CP プリント」にします。**

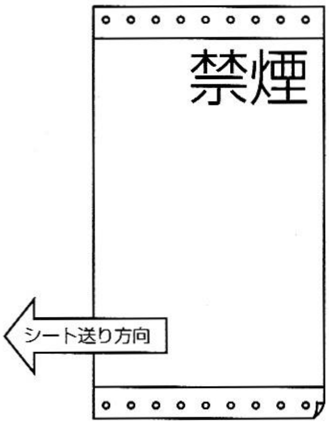


2 **シートとインクリボンカセットがセットされていることを確認して（スタート）を押します。画面が右のように変わります。**



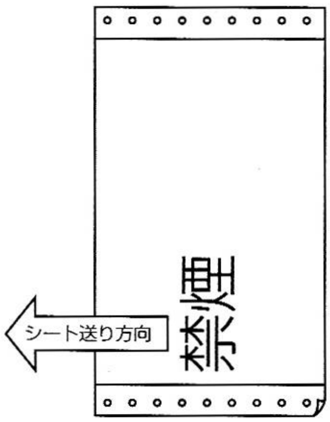
3 **下のように出力します。**

出力結果



メモ

* **ラベル配置を「たて」に設定すると下図のように出力します。**



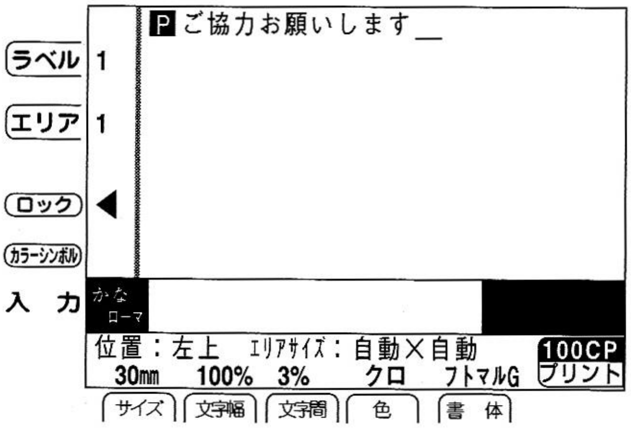
* **シートの真ん中に出力するときは、次項に従って先頭文字の左上の位置（開始位置）を指定してください。**
* **本機には、LC-100Pは接続できません。**

第2章 出力する方式を選ぶ

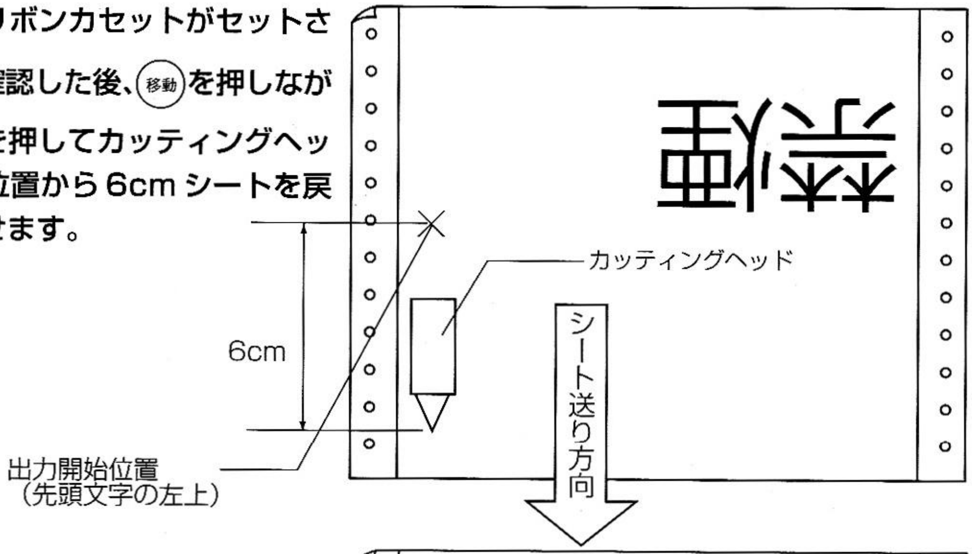
4.2.2 カッティングヘッドで開始位置を決めて出力する

例.「ご協力お願いします」を(1)に続いてプリント出力してみます

1 （　◐　）を押して画面右下のインジケータを「100CP プリント」にします。

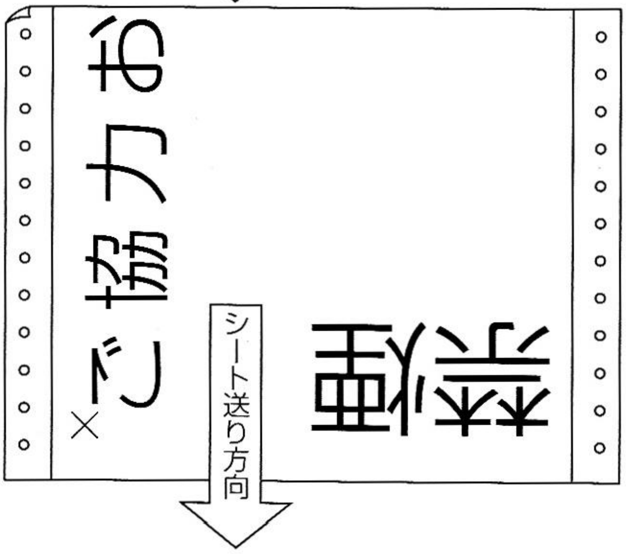


2 シートとインクリボンカセットがセットされていることを確認した後、（移動）を押しながらカーソルキーを押してカッティングヘッドを開始したい位置から6cmシートを戻した位置に合わせます。



3 （スタート）を押すと、出力を開始します。

出力結果は右のようになります。



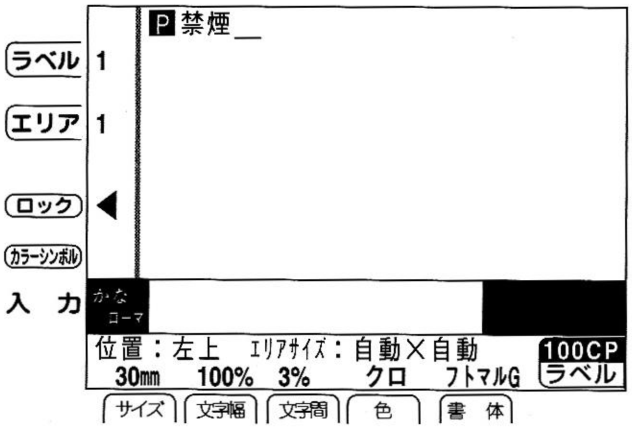
4.3 カッティング（切り文字）出力する

LC-100CPやLC-100C、LC-200Cを接続してカット出力を選択すると、文字や枠線をカットし、切り文字が作成できます。ラベル出力やプリント出力と異なり、文字はプリントされず文字の形にシート自体をカッティングします。看板を作成するときなどに使用します。

4.3.1 基本的な出力のしかた

例．前節「3.イメージ表示して確認する」で入力した「禁煙」をLC-100CPでカット出力してみます

❶ （　◑　）を押して画面右下のインジケータを「100CP カット」にします。

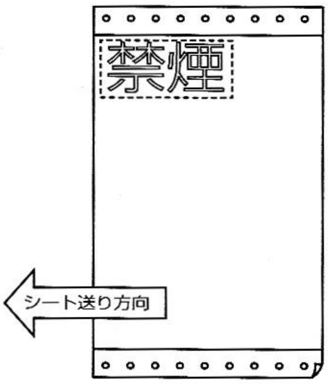


❷ シートとがセットされていることを確認して（スタート）を押します。

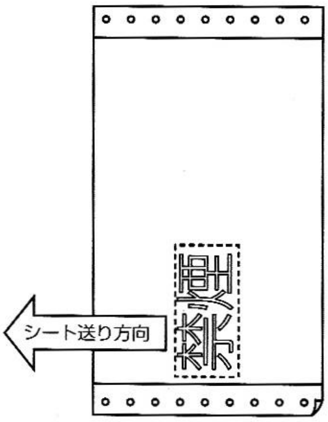
画面が右のように変わります。

❸ 右のように出力します。

出力結果（点線部分もカットされます）



メモ　＊ラベル配置を「たて」に設定すると、下図のように出力します。



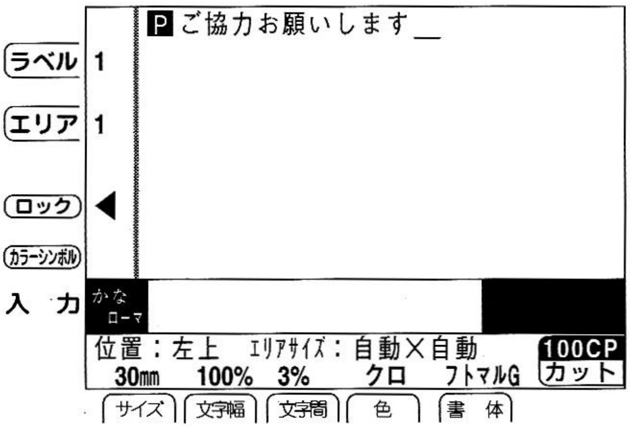
＊シートの真ん中に出力するときは、次項に従って先頭文字の左上の位置（開始位置）を指定してください。

第２章　出力する方式を選ぶ

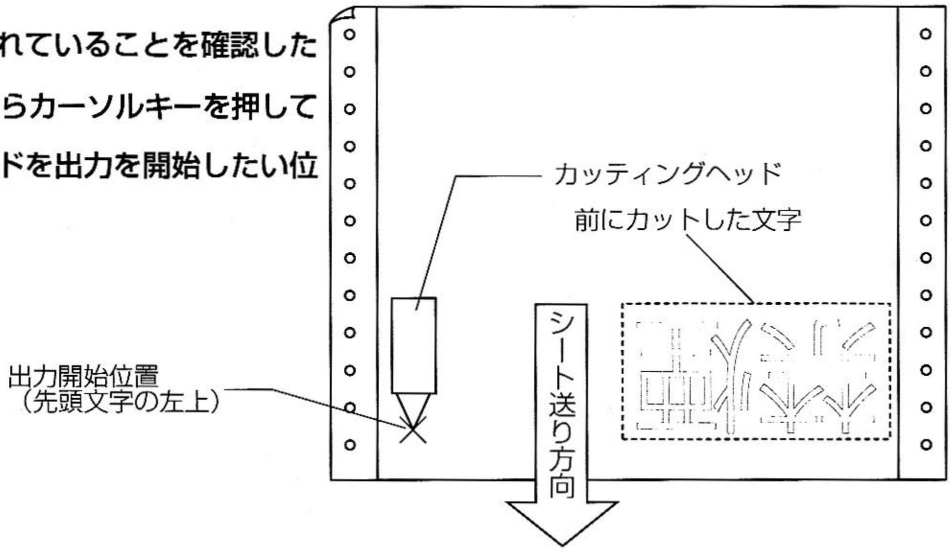
4.3.2 カッティングヘッドで開始位置を決めて出力する

例.「ご協力お願いします」を下図の位置にカット出力してみます

❶ (◐)を押して画面右下のインジケータを「100CP カット」にします。

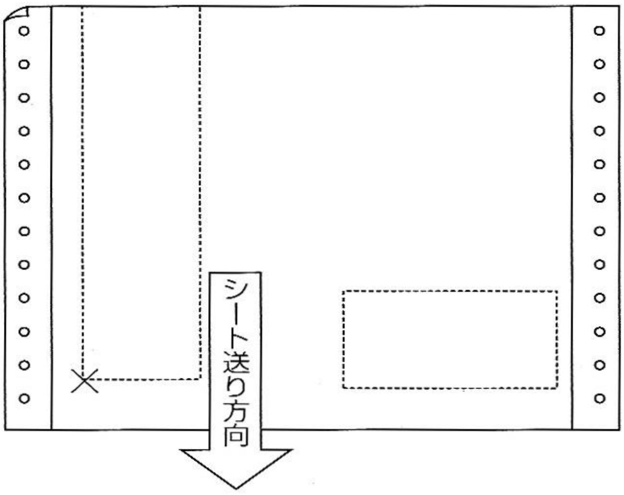


❷ シートとセットされていることを確認した後、(移動)を押しながらカーソルキーを押してカッティングヘッドを出力を開始したい位置に合わせます。



❸ (スタート)を押すと出力を開始します。

出力結果は右のようになります。



4.3.3 カットした文字の処理

文字のカットが終了したら、次の手順で作業を行ないます。

❶ 準備作業　はじめに、貼り付ける際 必要の無い部分を取り除く準備を行ないます。

（カット動作終了直後の場合）

・そのまま[ハサミ]を押してシートを切ります。

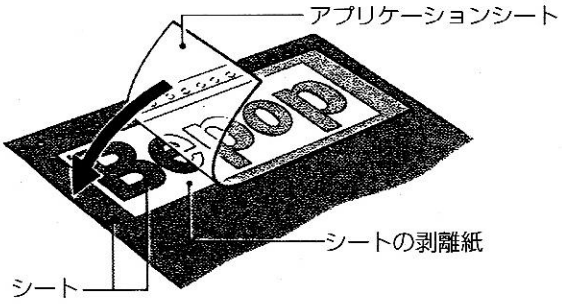
（カット動作終了後、シートやカッティングヘッドを動かした場合）

・[移動] を押しながら[←] を押して、カットした文字が完全に機械の外に出るまでシートを送り出し、[ハサミ]を押してシートを切ります。

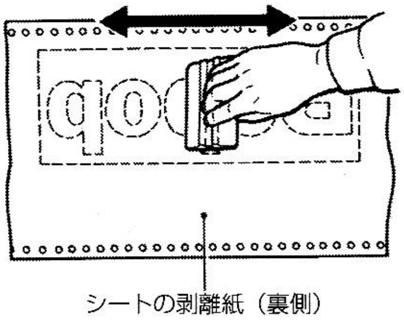
❸ 転写　カットした内容のレイアウトのまま貼り付けられるように、アプリケーションシートに写し取ります。

① カットした文字の大きさ（枠切りのサイズより多少大きめ）にアプリケーションシートをカットします。

② 下図のようにアプリケーションシートを剥離紙からはがし、カス取りした文字の上にしわにならないように貼り付けます。
このとき、アプリケーションシートの剥離紙はあとでまた使いますので捨てないで下さい。

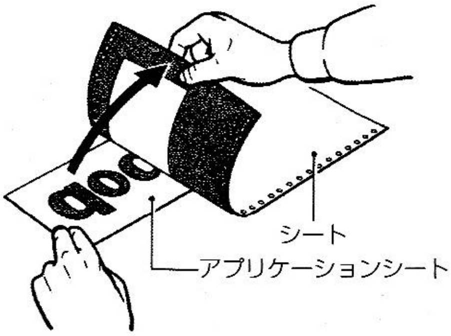


③ アプリケーションシートの上から、付属のスキージでよく擦って文字を転写します。転写しづらいときは、裏に返してシートの剥離紙側から擦ってください。

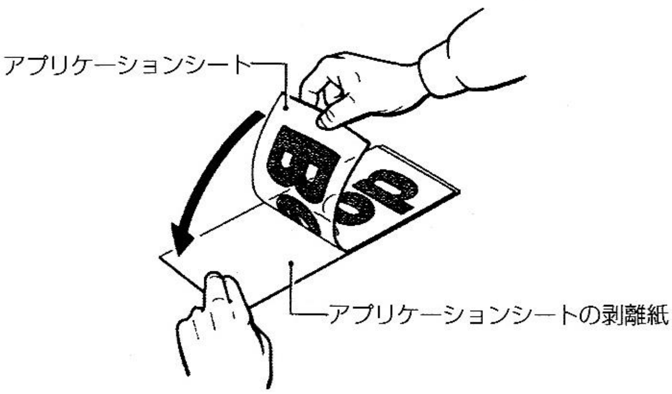


❷ カス取り　斜線部分が不要部分です。付属のピンセットや市販のカッターを使って取り除きます。この作業を「カス取り作業」と呼びます。

④ アプリケーションシートを下にして、シートの剥離紙を丸めながらはがし、文字をアプリケーションシートへ転写します。



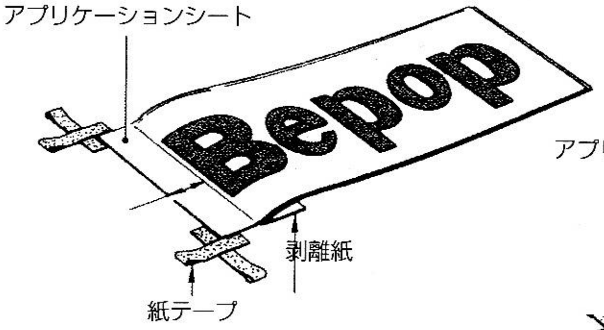
⑤ そのまま静かに、先ほどのアプリケーションシートの剥離紙の上にのせ、貼り合せます。



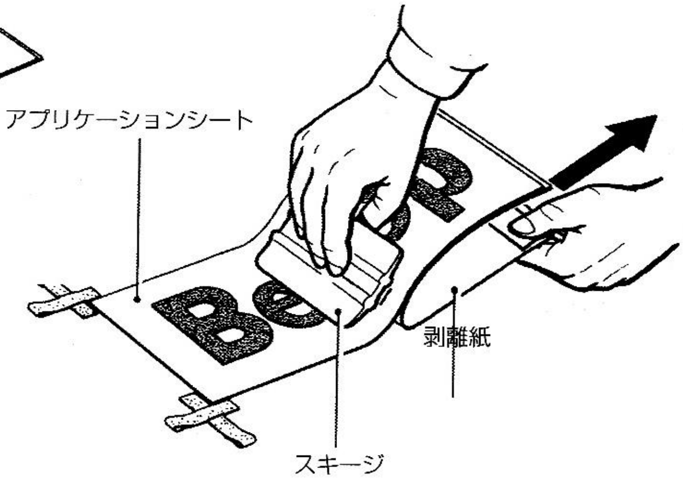
❹ 文字の貼付け　貼り付けるときの注意点は 3 つあります。位置をあわせること、気泡を混入させないこと、シートが伸びないようにすること（一度伸びると戻りません)、です。
貼付け方には、ドライ方式とウェット方式（水張り）の２つがあります。一般に、貼り付ける文字の長さが長いほど貼る作業は難しくなりますので、手間がかかりますがきれいに貼り付けられるウェット方式で貼ります。

【ドライ方式（目安：長さ 50cm 以下のときの方法)】

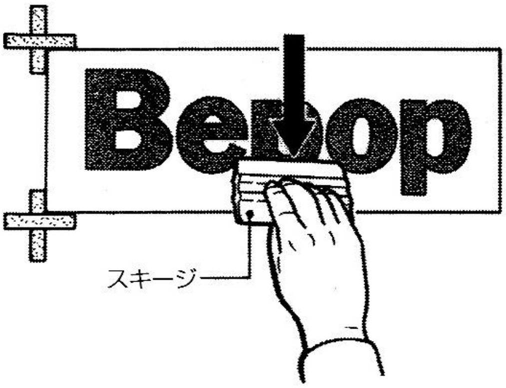
① 剥離紙をつけたまま、貼り付ける場所に位置あわせをして、紙テープで印をつけます。



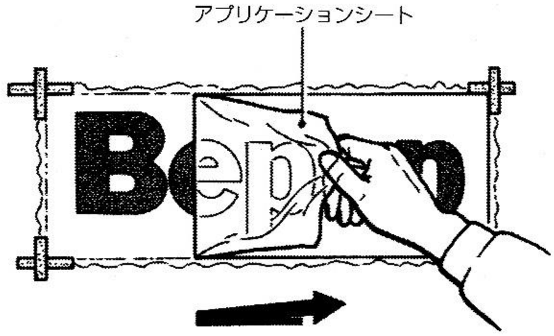
② 一端を 2cm だけはがし、裏に折り曲げます。
③ はがした 2cm の剥離紙をゆっくり引っ張りながら順次はがし、その部分をスキージで押さえながら圧着していきます。



④ 剥離紙を最後まで取り終えたら、スキージを上から下へ、左から右へというように、一定方向に動かしながら、よく圧着します。

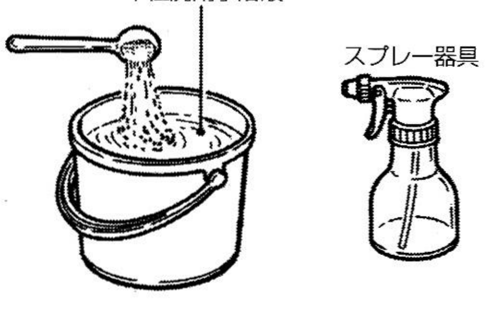


⑤ アプリケーションシートを 180 度の角度でゆっくりと注意深くはがしてください。



【ウェット方式（長さ 50cm 以上のときの方法)】

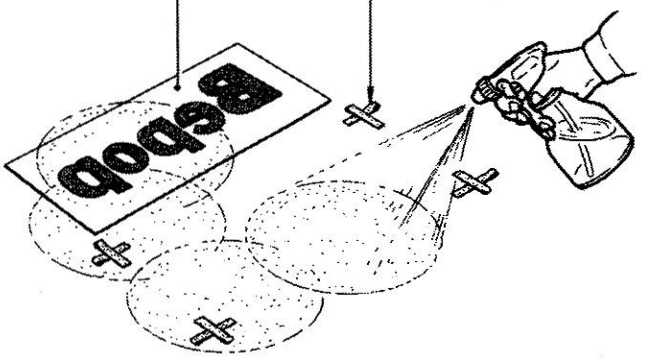
① 家庭用中性洗剤（台所食器洗い用のもの）を４リットルの水にスプーン１～２杯を入れ、よくかき混ぜて中性洗剤水溶液を作ります。



② 作った中性洗剤水溶液を霧吹きなどのスプレー器具に入れます。

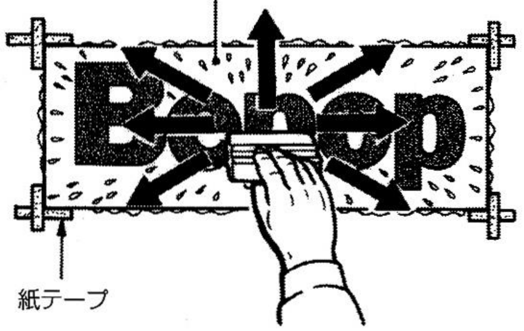
③ 剥離紙をつけたまま、貼り付ける場所に位置あわせををして紙テープで印をつけます。

④ 貼り付ける面と、アプリケーションシートの剥離紙をはがした接着面に、中性洗剤水溶液をスプレーでまんべんなく吹き付けます。

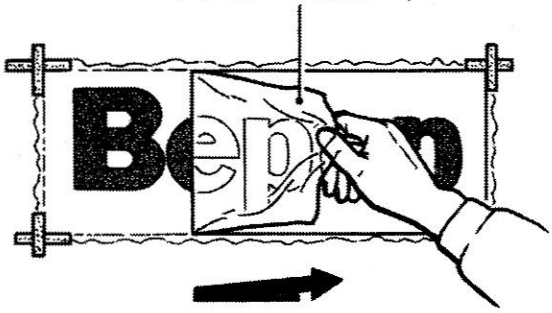


⑤ アプリケーションシートを紙テープに合わせ、位置を確認して貼り付けます。

⑥ スキージを中心から端に向かって、中性洗剤水溶液を押し出すようにこすり、圧着してください。



⑦ しばらく放置し、乾燥したらアプリケーションシートを 180 度の角度でゆっくりと注意深くはがしてください。



メモ

* カス取り作業は、文字の中の部分から取り除くと、作業が行ないやすくなります。
* アプリケーションシートへの転写方法は、他にも工夫次第で様々な方法があります。上記は一例ですので、工夫してやりやすい方法を見つけてください。
* 貼り付けたシートに気泡ができた場合には、針で気泡をつぶし、中の空気を押し出してよく圧着してください。気泡は見た目を損なうだけでなく、はがれやすくなる原因ともなりますのでご注意ください。

第２章 出力する方式を選ぶ

第３章　基本パラメータ

1. Ⓟに設定される項目

1.1　基本パラメータ（Ⓟ）とは

基本パラメータとは、画面に表示されるⓅマーク単位で設定できる項目を言います。
Ⓟでは、次のⓅまでの間に入力されている文字のサイズや書体などを設定します。
文章の途中で、基本パラメータを変更すると新たにⓅが表示され、それ以降の入力した文字に設定内容が反映されます。

基本パラメータ	初期値（工場出荷時）	設定範囲
① 文字サイズ	30mm	LC-100CPラベル　：　3～100mm LC-100CPプリント：　3～100(180)mm LC-100CPカット　：10～100(180)mm LC-100Cカット　：10～100(180)mm LC-200Cカット　：10～200(380)mm
② 文字幅	100%（文字サイズに対して）	50～200%
③ 文字間	5%（文字サイズに対して）	1～100%
④ 色	クロ（黒）	18色 （マルチカラーリボン使用時、白はシート地の色です）
⑤ 書体	太丸ゴシック	標準搭載では、 太丸ゴシック、太角ゴシック 細丸ゴシック、細角ゴシック
⑥ 斜体	いいえ	はい／いいえ
⑦ 均等配列	いいえ	LC-100CP/100C：20～2000mm LC-200C　：20～4000mm

[1　基本パラメータの表示]

・ ①～⑤のパラメータは、入力画面の下段に設定されている値が表示されます。

[2　基本パラメータの設定　～　文字入力前に設定する場合]

・ 表示先頭のⓅにカーソルをあわせ、基本パラメータキーを押すとそのⓅの設定値が変更できます。

[3　基本パラメータの設定　～　入力途中で変更する場合]

・ 変更したいⓅにカーソルをあわせ、基本パラメータキーを押すとそのⓅの設定値が変更できます。
・ 入力された文章途中で基本パラメータキーを押すと、新しくⓅが表示され、そのⓅ以降の文章の設定値が変更できます。
・ 新しく挿入されたⓅの設定していない項目の値は、挿入時に直前にあったⓅと同じになります。

メモ
* 表示画面の先頭には必ずⓅマークが自動的に作られます。この時のパラメータの値はセットアップ値となります。また各エリアの先頭のⓅは削除できません。

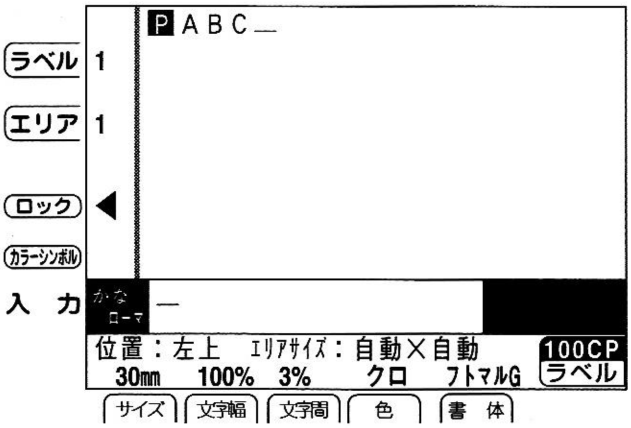
参照
* セットアップについては「第12章システムの基本設定 1. セットアップで初期値を変える」166ページを参照ください。

メモ
* 1ラベルでⓅが入力できる数は最大２０個までです。
* 一度に作画できる範囲は、LC-100C/100CPでは2mまで、LC-200Cでは4mまでです。

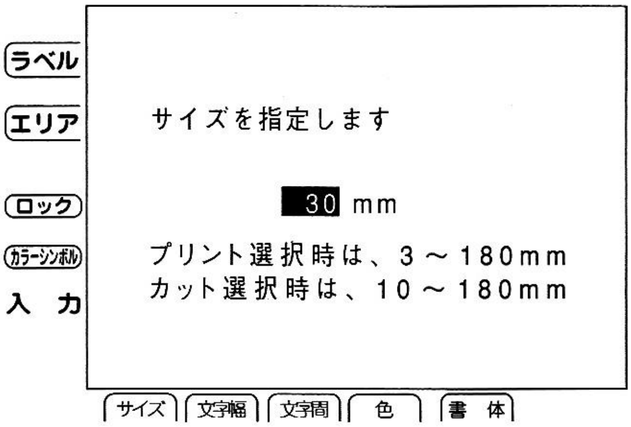
1.2　文字サイズの設定（標準作画）

［例１］文字サイズ30mm（工場出荷時）を「ABC」と入力した後、文字サイズ80mmで「123」と入力してみます。

❶ 起動時の状態で「ABC」と入力します。

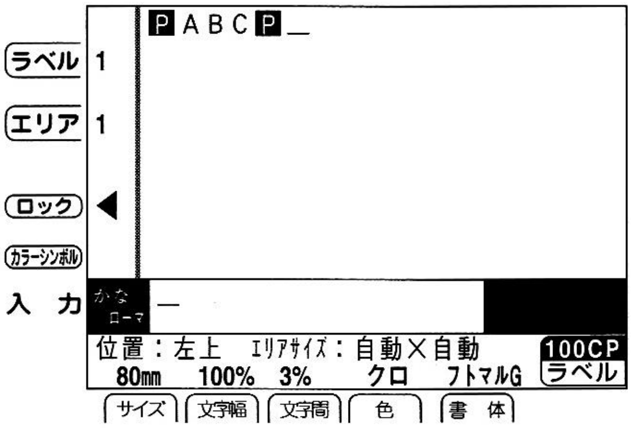


❷ サイズ △ を押します。

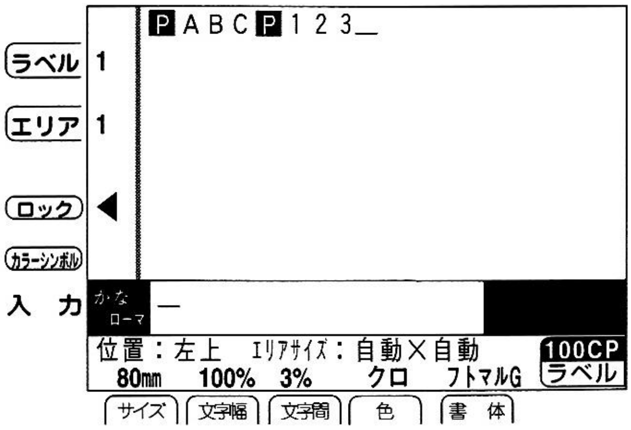


❸ 「8」「0」と押して変更したいサイズ80mmを入力し、実行を押して設定します。

メモ ＊表示画面の先頭には必ずPマークが自動的に作られます。この時のパラメータの値はセットアップ値となります。また各エリアの先頭のPは削除できません。



❹ 「1」「2」「3」と続けて入力します。



❺ イメージ表示で出力イメージを確認してみて下さい。

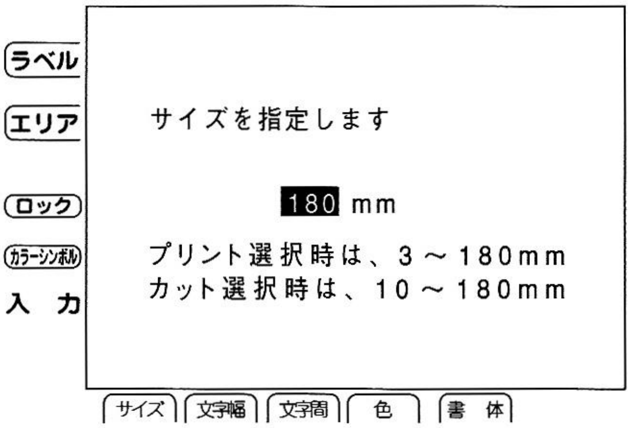
メモ　＊サイズの選択範囲メッセージは、電源投入時に接続されている機種によって変わります。

1.3　文字サイズの設定（分割作画）

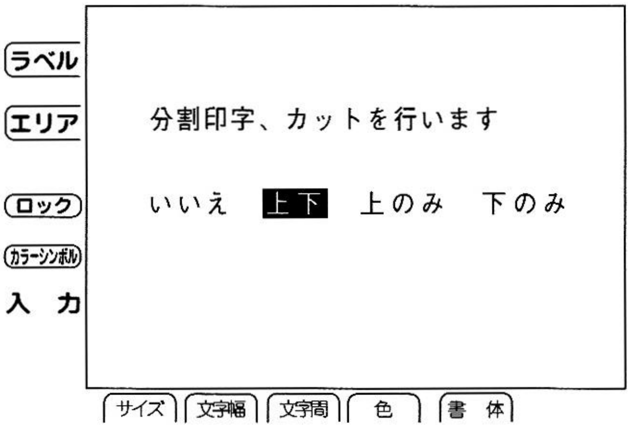
シートの幅に入りきらない大きな文字を作画する場合は、分割作画を行ないます。
［例２］文字サイズ30mm、（工場出荷時）で「ABC」と入力した後、180mmに変更してみます。

❶ ［例１］の手順２で１８０と設定し、（実行）を押します。
続けて（スタート）を押します。

メモ　＊矢印キーでも入力できます。
（▶）：１ずつ増加
（◀）：１ずつ減少



❷ 「上下」が反転していることを確認して（実行）を押します。



❸ 出力を開始します。
出力が終わると通常入力画面に戻ります。

メモ
＊１エリアのパターンで１行入力の時のみ分割作画できます。
＊次の機能が設定されている時は分割作画動作はできません。
＊①Ｌ配置が縦、②連続または連番での出力、③枠囲み、④100CPラベルが選択されている場合、
＊手順❷の他の項目は次のような場合にお使い下さい。
いいえ　：分割作画を行なわないで作画動作を中止する。
上下　　：分割の上下を印字・カットする。
上のみ　：分割の上のみを印字・カットする。上のみ貼り損じた場合または、上だけで１m（200Cでは2m）を超える場合にお使い下さい。
下のみ　：分割の下のみを印字・カットする。下のみ貼り損じた場合または、下だけで１m（200Cでは2m）を超える場合にお使い下さい。
＊出力位置は強制的に上位置になります。

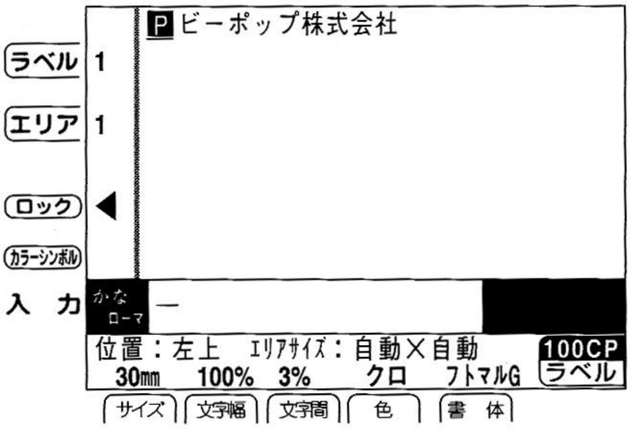
参照　＊Ｌ配置は「第９章8.ラベルの配置方法を変える」144ページを参照ください。

1.4 文字幅の設定

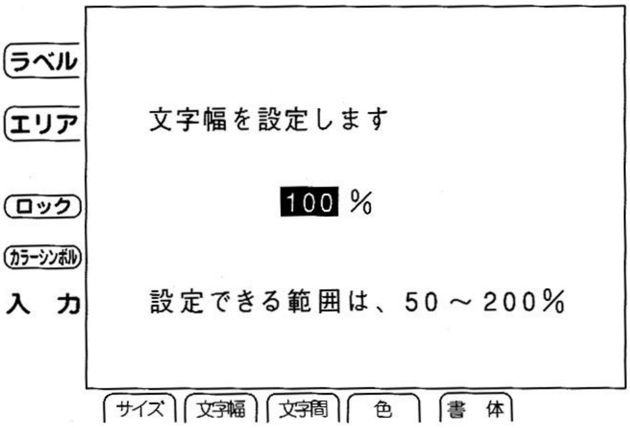
文字を長体にしたり平体にしたりします。設定値の１００%は生体（漢字の場合は文字サイズと同じ幅になります。

［例３］文字幅を２００%に変える。

❶ **変えたい文字の先頭にある Pにカーソルをあわせます。**



❷ **文字幅 △ を押します。**

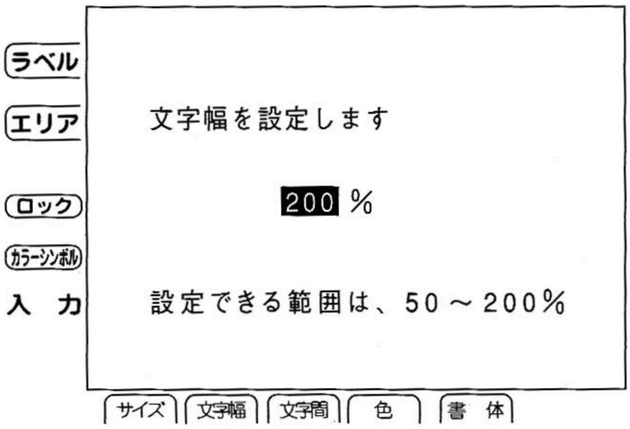


❸ **数値キーで設定サイズを入力します。ここでは「2」「0」「0」と入力します。**

メモ ＊矢印キーでも入力できます。

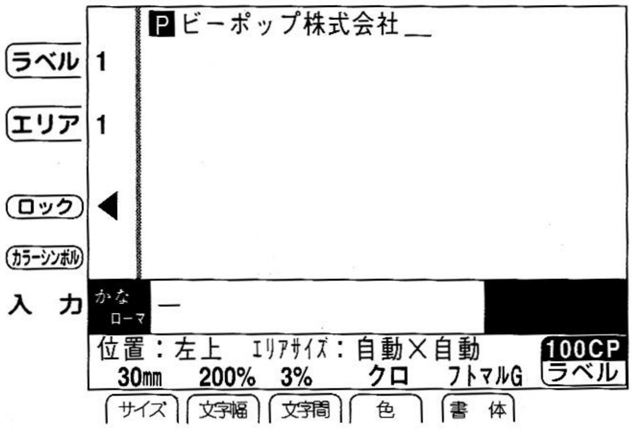
▶：１ずつ増加

◀：１ずつ減少



❹ **実行を押します。**
通常入力の画面になり画面下の字幅表示が200%に変わります。

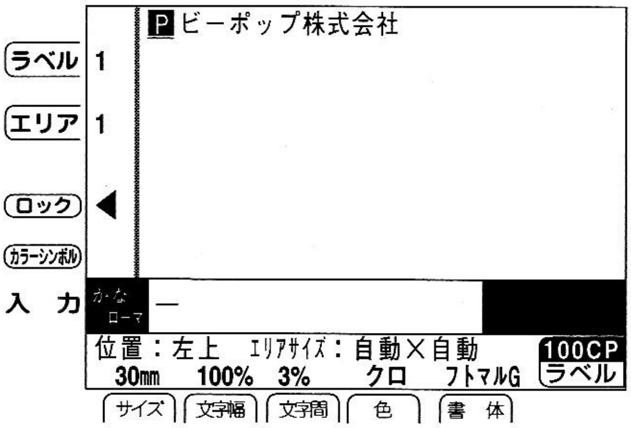
- **実行の代わりに取消を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。**



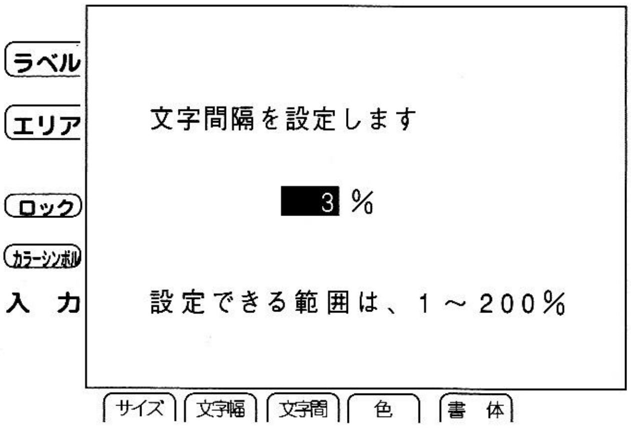
1.5 文字間隔の設定

文字と文字の間隔を設定します。比率は文字サイズに対してのものです。したがって、サイズ30mmで文字間隔を10%にすると30mm × 10%＝3mmが文字と文字の間のスペースとなります。
［例４］文字間隔を10%に変える。

① **変えたい文字の先頭にあるPにカーソルをあわせます。**

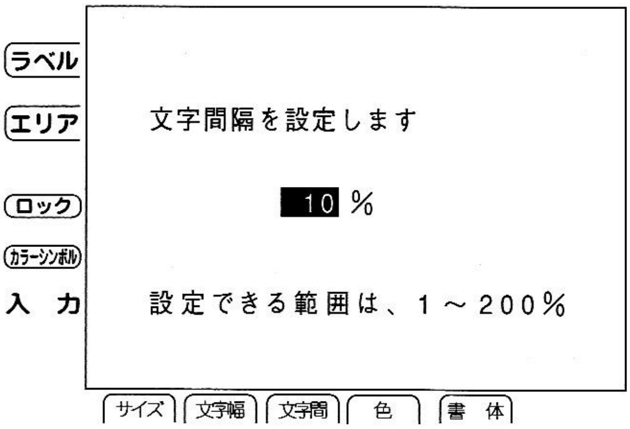


② **［文字間］［△］を押します。**



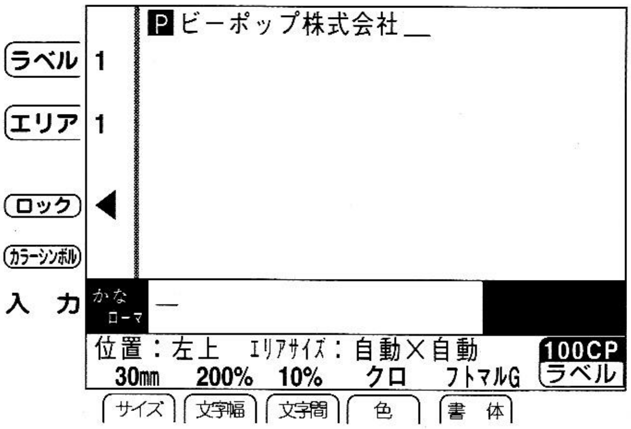
③ **数値キーで設定サイズを入力します。**
ここでは「1」「0」と入力します。

メモ ＊矢印キーでも入力できます。
▶：１ずつ増加
◀：１ずつ減少



④ **（実 行）押下。**
通常入力の画面になり画面下の文字間表示が10%に変わります。

- **（実 行）の代わりに（取 消）を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。**



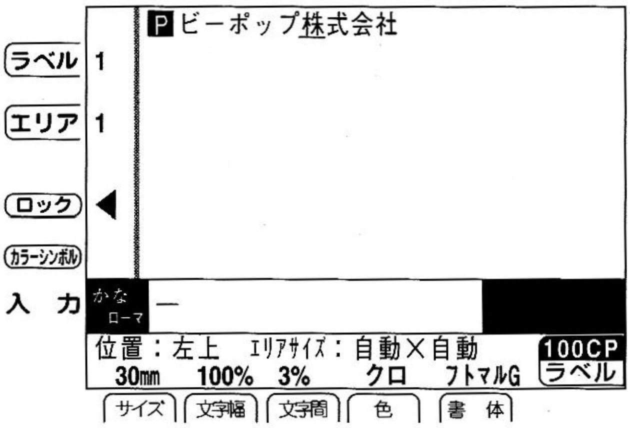
1.6 色選択～文字の色を変える

Ｐにつづく文字やピクトサインなどの印字色を設定することができます。
設定できる色は、次の１８色です。

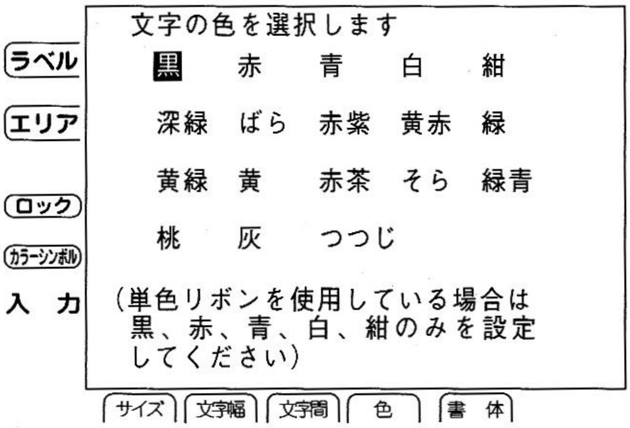
使用するリボンカセット	印字できる色
単色リボン	黒、赤、青、白、紺（5色）
マルチカラーリボン (LC-100CPで印字する場合のみ)	黒、赤、青、白、紺、ばら、赤紫、黄赤、緑、黄緑、黄、 赤茶、そら、緑青、桃、灰、深緑、つつじ（18色）

［例５］文字色を青に変える。
ビーポップ株式会社の「株式会社」だけを青で印字するように設定してみます。

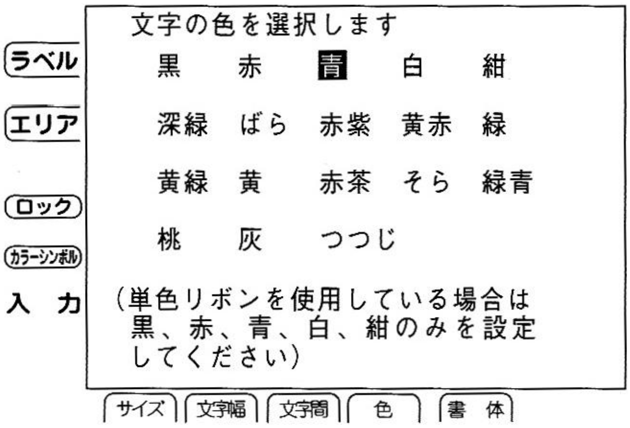
❶ 「株」にカーソルをあわせます。



❷ ［色 △］を押します。

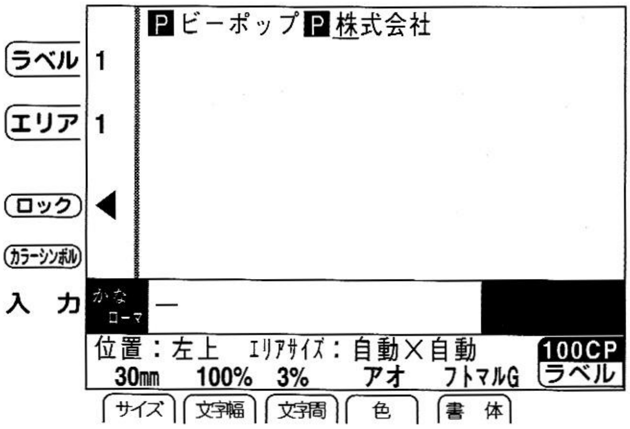


❸ ◁▷△▽キーで青を選択します。



4 （実行）を押します。
通常入力の画面になり新しくPが挿入されます。また、画面下の色表示がアオに変わります。

・（実行）の代わりに（取消）を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



メモ　＊ラベルサイズが200mmを超える印字をした場合、色のつなぎ目に黒っぽいスジが入る場合があります。

1.7 色選択〜カラーシンボルの色を変える

❶ ピクトサインの下にカーソルを移動させ、［色/△］キーを押します。

メモ　＊カラーシンボルの場合は画面左下のインジケータ◎が点灯します。

❷ 指定したシンボルを表示します。

反転している部分の色の設定を変更することができます。［▶］［◀］キーで選択したい色名を表示し［実行］で確定します。

❸ 次に指定できる部分が表示されます。

同様にして色を設定し［実行］を押します。

❹ 全ての色選択が終了すると、通常入力画面に戻ります。

メモ　＊直前の設定画面に戻ることはできません。確定後再度設定しなおしてください。

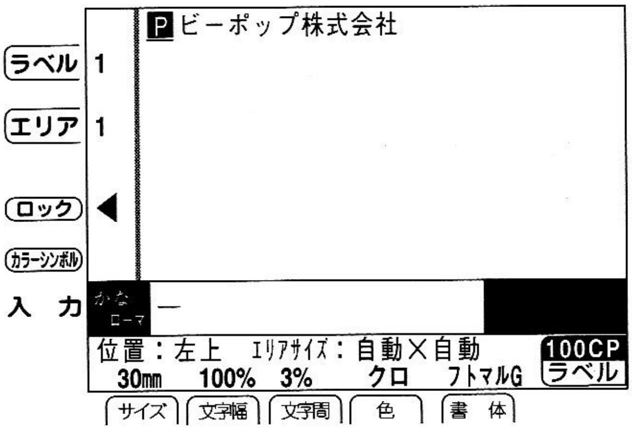
＊カラーシンボルではないピクトサイン、スキャナデータは１つのシンボルに１色のみの設定となります。Pで色を設定してください。

1.8 書体の変更

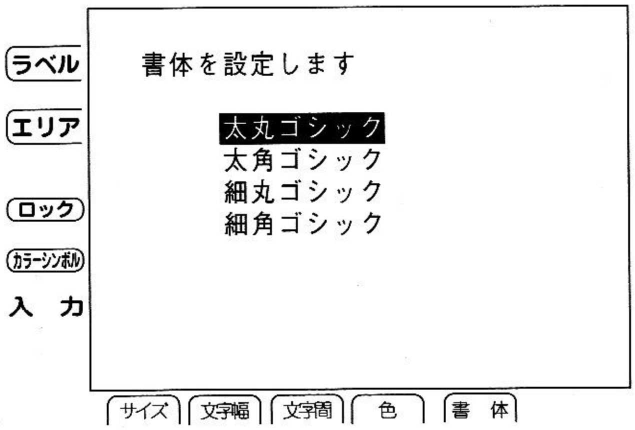
内蔵の４書体から書体を選んで設定します。オプションの書体パックを装着すると、装着した書体も選択できるようになります。オプション書体については、カタログをご覧になるか、最寄りの当社営業所へお問い合わせください。

1.8.1　内蔵書体の設定

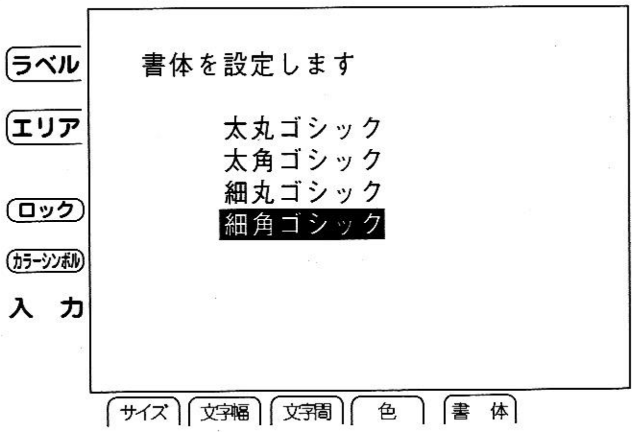
❶ Pにカーソルをあわせます。



❷ [書 体] [△] を押します。

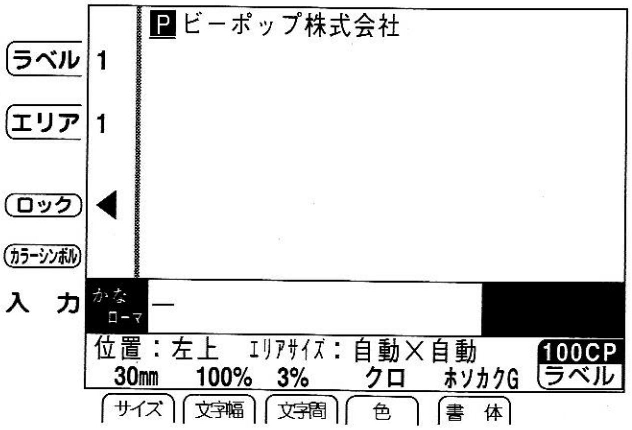


❸ [▽] キーを押して「細角ゴシック」を反転表示します。



4 （実 行）を押して確定します。
画面下の書体名表示が「ホソカクG」に変わります。

・（取 消）を押すと設定値を無効にして通常入力画面に戻ります。



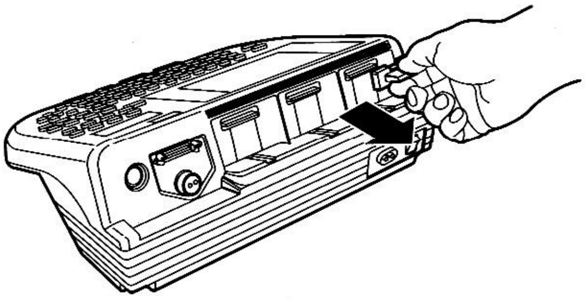
メモ　*手順❶で、入力した文書の途中にカーソルを合わせて、書体を変更するとカーソル位置に新しくＰマークが挿入され、このマーク以降の文字が設定した書体になります。

1.8.2　オプション書体の設定

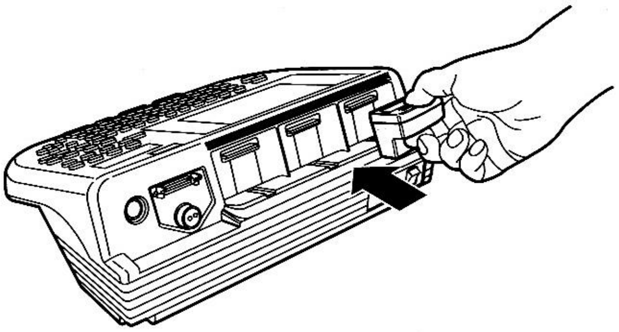
【書体パックの装着脱のしかた】

❶ 本体の電源を OFF にします。

❷ 本機の背面にあるスロットのうち、正面から見て中央または右側の「LF」と表記された個所のキャップを取り外します。



❸ このスロットに書体パックを奥までしっかりと差し込みます。



❹ 電源を ON にします。

メモ
*書体パックは、LC-100K、LC-100K Ⅱで使用しているものと同じ物です。
*オプション書体では、JISコード一覧表にある、非漢字のうち特字、ギリシャ文字、ロシア文字は出力できません。入力するとエラーとなります。
*オプション書体のいくつかは、JIS 第２水準漢字に対応していません。上記同様、入力するとエラーとなります。

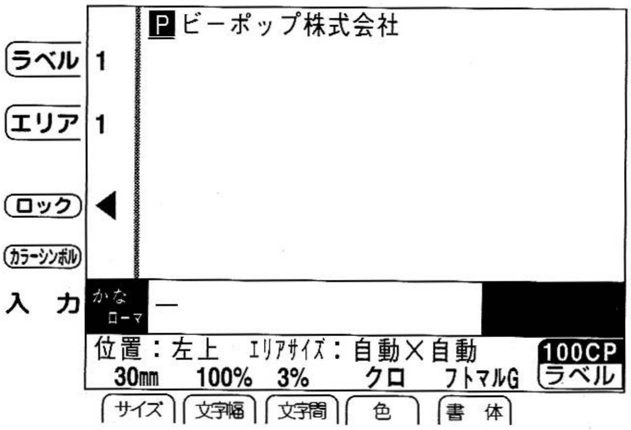
お願い
・書体パックの装着脱は、必ず電源をOFFにして行なってください。電源ONのまま装着脱すると、正しく認識できないばかりでなく、本体や書体パックの故障の原因となる場合があります。
・書体パックの接続端子部分、本機のスロット部分には直接指で触れないで下さい。静電気などにより、本体及び書体パックの故障の原因となる場合があります。
・必ず専用の書体パックをご使用ください。
・書体パックを分解しないで下さい。

【書体パックの使いかた（和文書体の場合)】

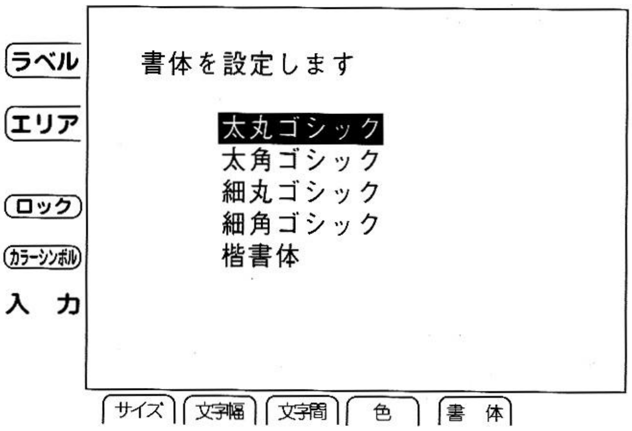
❶ **電源OFFの状態で、書体パックを装着します。**

　例．楷書体の書体パックを装着している場合

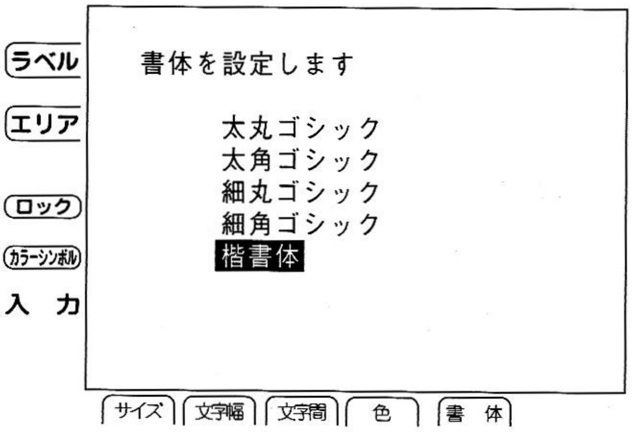
❷ **株にカーソルをあわせます。**



❸ **書　体 △ を押します。**

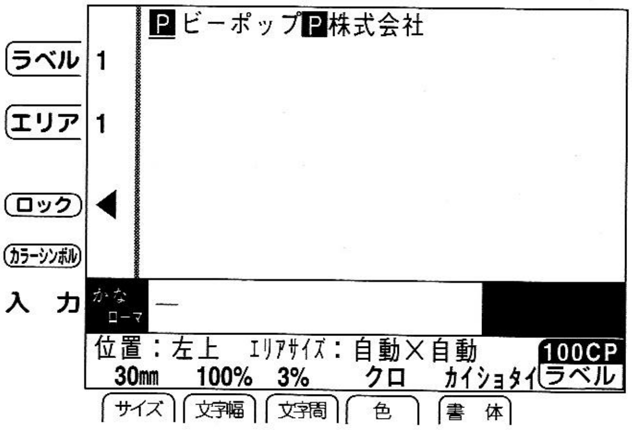


❹ **▽キーを押して「楷書体」を反転表示します。**



5 **（実 行）を押して確定します。**
画面下の書体名表示が「カイショタイ」に変わります。

- **（取 消）を押すと設定値を無効にして通常入力画面に戻ります。**

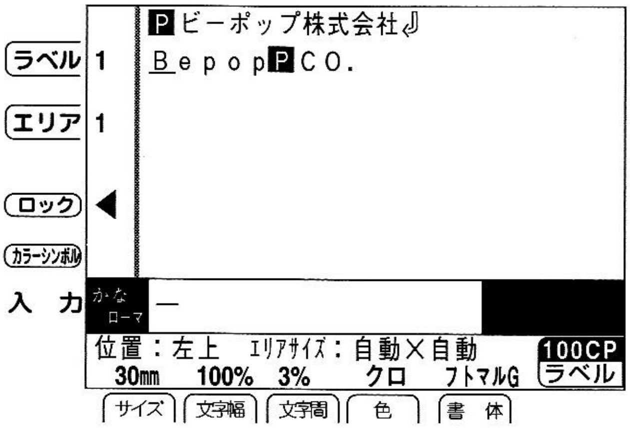


【書体パックの使いかた（英数書体の場合）】

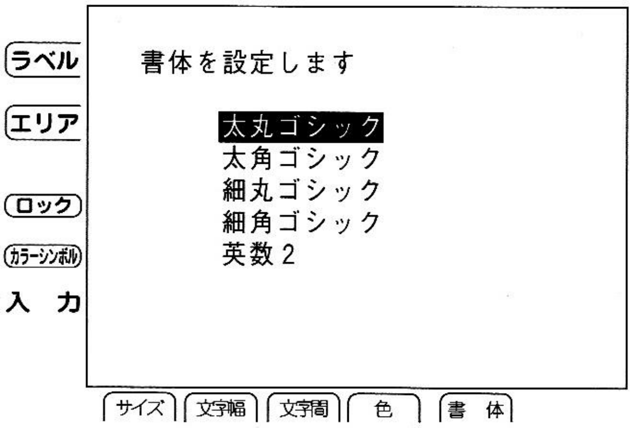
1 電源OFFの状態で、書体パックを装着します。

例．英数書体の書体パックを装着している場合

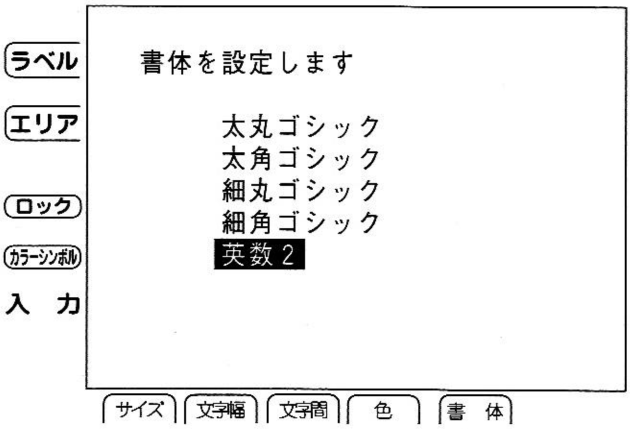
2 Bにカーソルをあわせます。



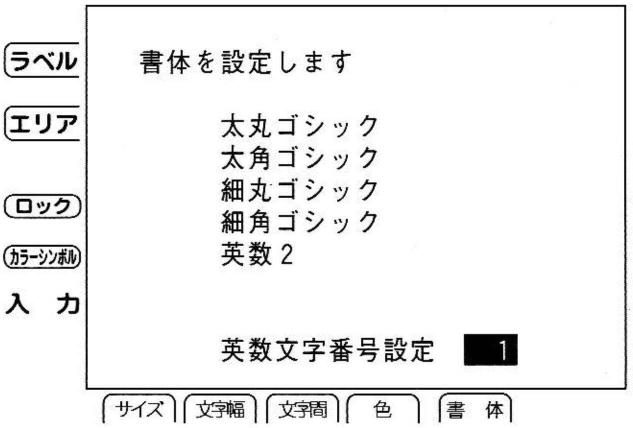
3 書　体 △ を押します。



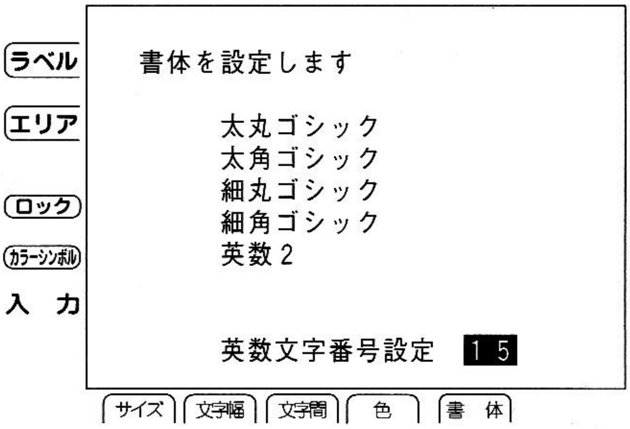
4 ▽キーを押して「英数２」を反転表示します。



❺ （実 行）を押します。



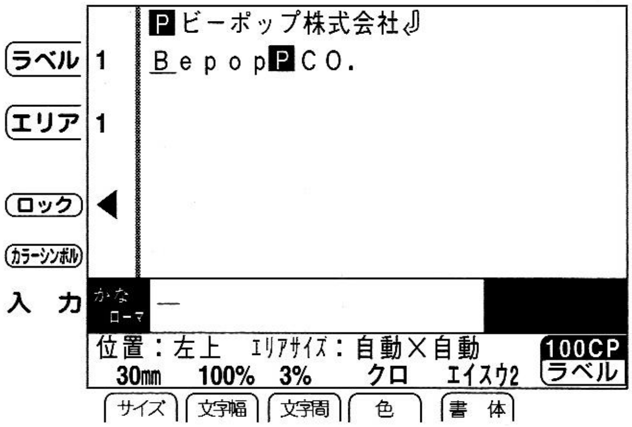
❻ 書体パックに同梱されている書体リストから選ぶ書体の番号を調べ、その番号を入力します。



❼ （実 行）を押して確定します。

画面下の書体名表示が「エイスウ2」に変わります。

・（取 消）を押すと設定値を無効にして通常入力画面に戻ります。



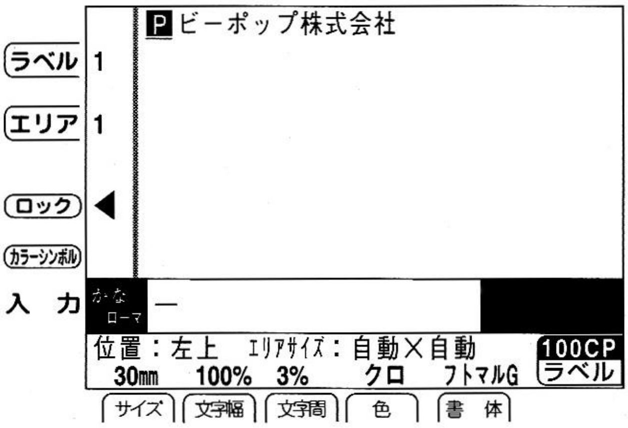
メモ

＊書体名表示には、英数書体の番号は表示されません。

＊英数書体を選んだ場合、文字のデザインなどの理由から、設定した文字サイズと異なる文字サイズで出力する場合があります。
イメージ表示で確認してから出力するようにして下さい。

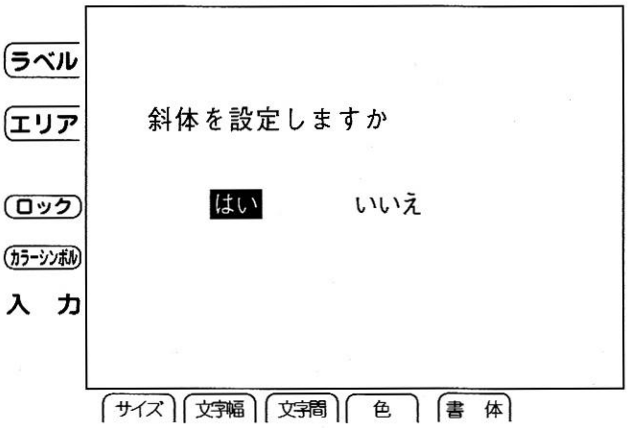
1.9 斜体の設定

❶ Pにカーソルをあわせます。



❷ [斜体 行間]を押します。

❸ [◀]または[▶]押して「はい」を選択します。



❹ [実 行]を押して斜体の設定を終了し通常入力画面に戻ります。

・[取 消]を押すと、設定を無効にして通常入力画面に戻ります。

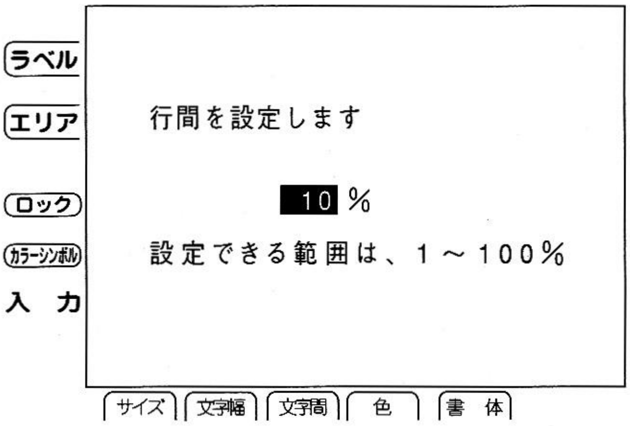
メモ　*文章の途中にカーソルをあわせ、上記操作を行うとカーソル位置にP新しく挿入されそれ以降の文字に斜体が設定されます。

第3章
Pに設定される項目

1.10 行間隔の設定

❶ Pにカーソルをあわせる。

❷ （シフト）を押しながら［斜体／行間］を押します。

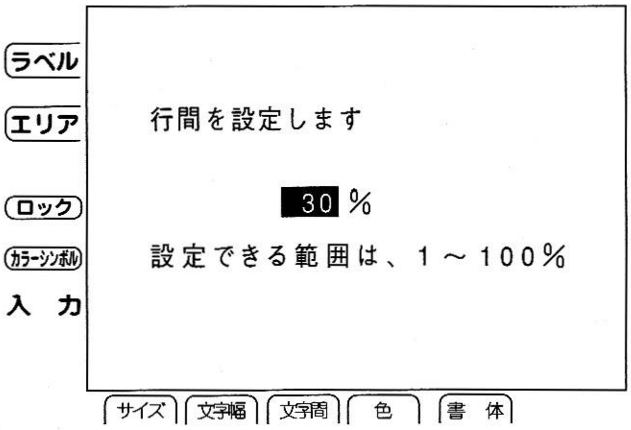


❸ [3] [0] のように数値キーで設定する値を入力します。

メモ *矢印キーでも入力できます。

（▶）: 1 ずつ増加

（◀）: 1 ずつ減少

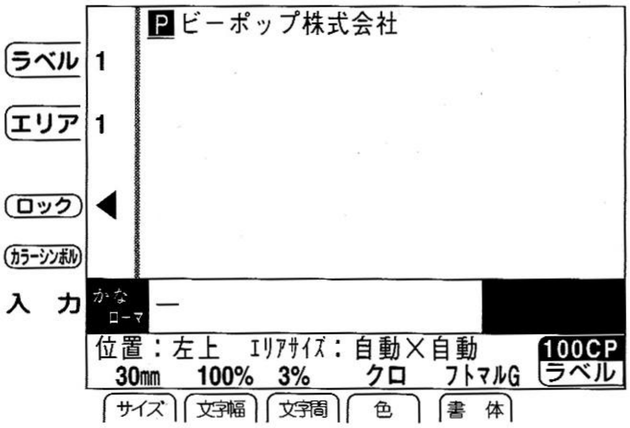


❹ （実行）を押して設定を終了します。

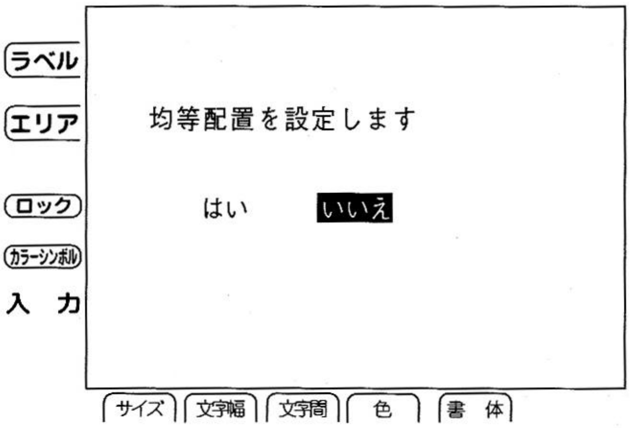
・（取消）を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。

1.11 均等配列の設定

1 Pにカーソルをあわせます。

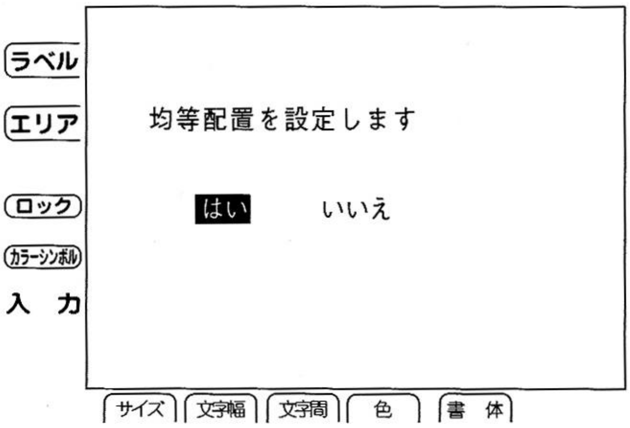


2 均等配列/逆順 を押します。

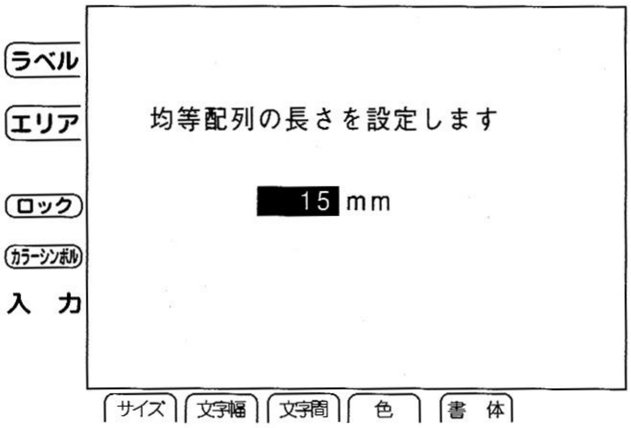


3 ◀ で「はい」を選択します。

- 「いいえ」選択後 実行 を押す、または 取消 を押すと通常入力画面に戻ります。



4 実行 を押すと右の表示になります。

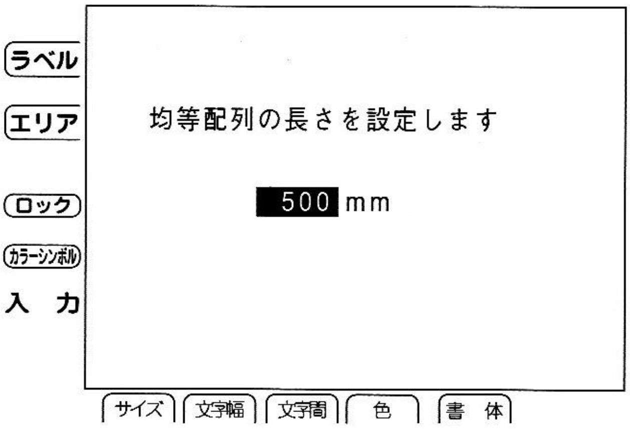


❺ 「5」「0」「0」のように均等配列したい長さを入力します。

（メモ）*矢印キーでも入力できます。

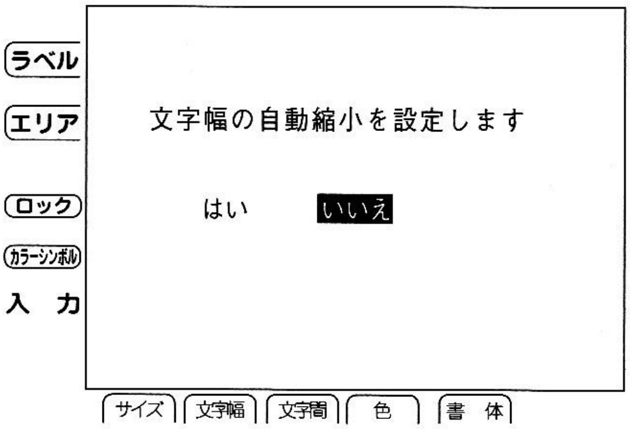
（▶）：１ずつ増加

（◀）：１ずつ減少



❻ （実行）を押します。
入力した文字に対して狭いエリアに均等配列したい場合は、文字の幅を自動で調整できます。

右の画面で（◀）を押して「はい」を選択すると文字幅が自動縮小されます。



❼ （実行）を押すと通常入力画面に戻ります。
・（取消）を押すと直前の画面に戻ります。

（メモ）*均等配列と、ラベルサイズは全く異なる設定です。
エリアの中の文字に対しても、そのエリア内で均等配列することができます。
*均等配列の設定は、次のⓅまで有効です。

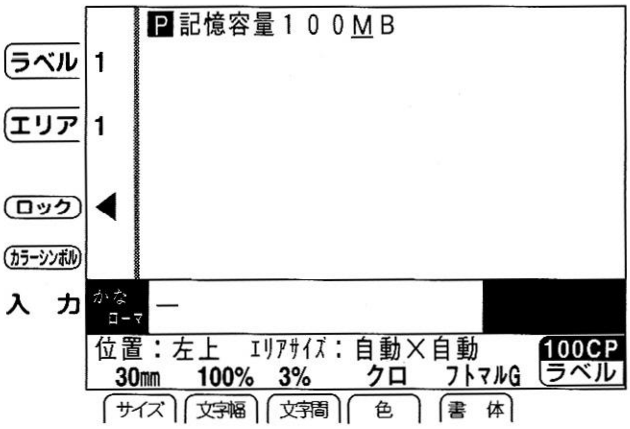
2. P に関連した設定項目

2.1 上付き、下付き、添え字の設定

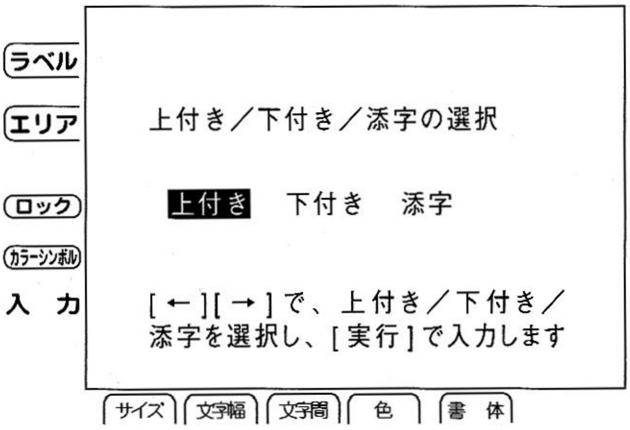
上付きの編集マーク１対で挟まれた文字を上付き文字にします。、下付き、添字の場合も同様です。

例.　上付き^{123}　下付き$_{123}$　添字$_{123}$

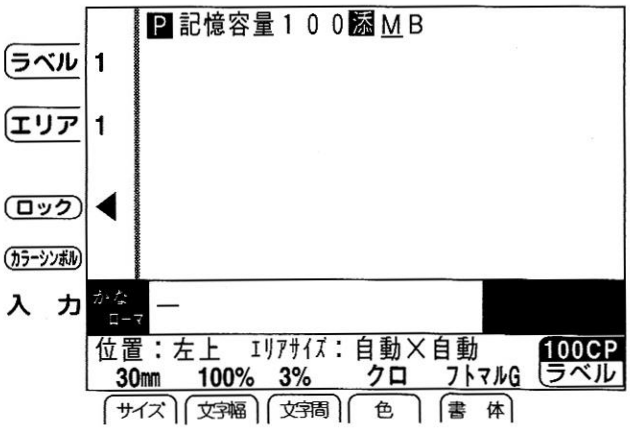
❶ 添字にしたい文字の先頭にカーソルをあわせます。



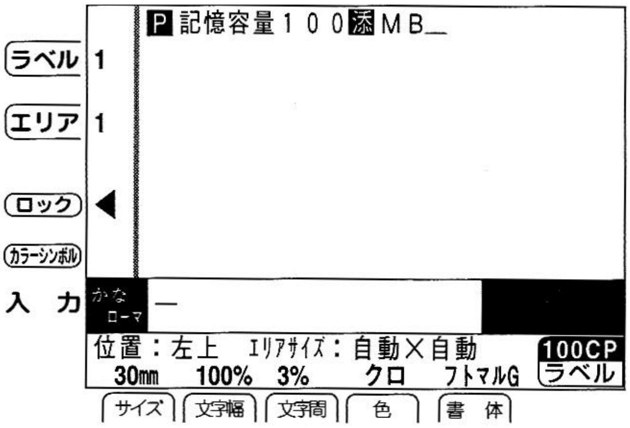
❷ （シフト）を押しながら P キーを押します。



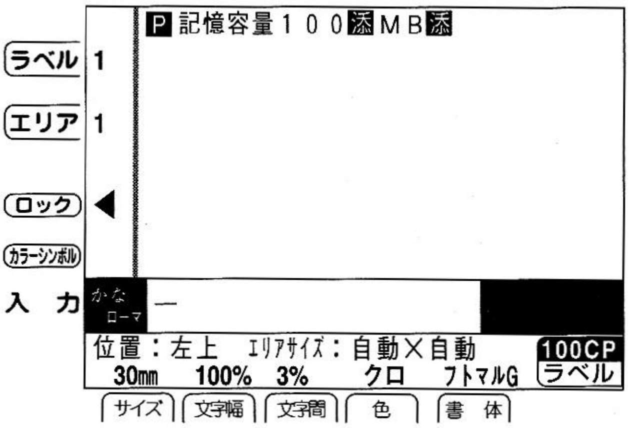
❸ （▸）キーを押して“添字”を選択し、（実行）を押します。
編集マークの 添 が入力されます。



❹ 添字にする最後の文字の次にカーソルをあわせます。



❺ 手順❷❸と同様の操作で添字マークを入力します。



メモ

*上付き／下付き／添え字はPにまたがって設定することはできません。

*上付き／下付き／添え字の編集マークは、必ず２個１対で機能します。また、他の編集マークをまたいで設定はできません。

例：・10[上]XY[下]ab[下][上]→不可
・10[上]XY[上][下]ab[上]→可　「10^{XY}_{ab}」となります。
・10[上]XY↲ab[上]　→不可

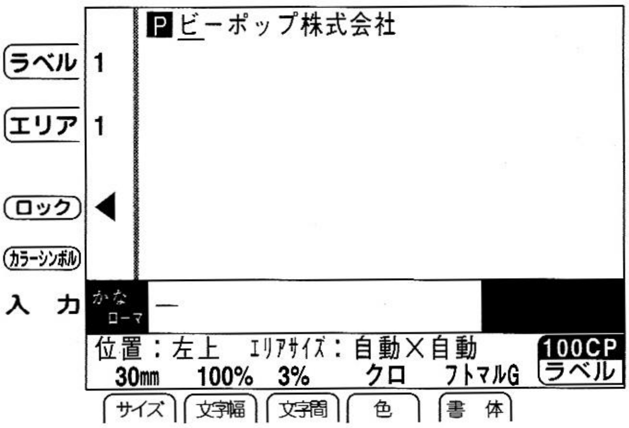
第３章

P に関連した設定項目

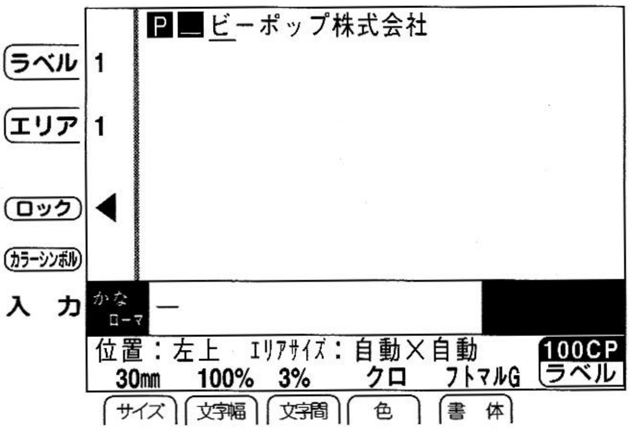
2.2 下線をひく

下線編集マークに挟まれた文字に下線を設定します。必ず２個１対で入力します。

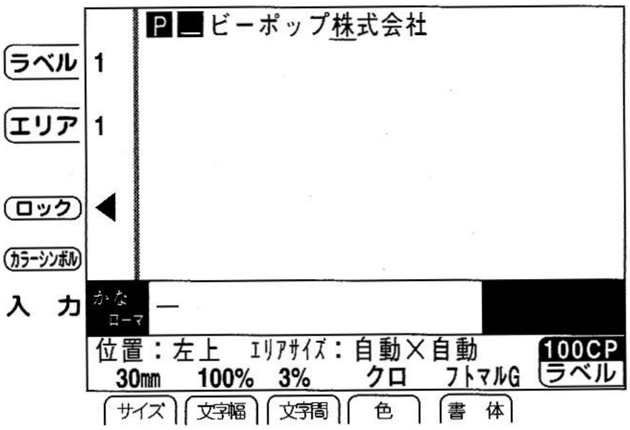
❶ 下線を引き始める文字にカーソルをあわせます。



❷ （シフト）を押しながら（下線 ー 長音）を押します。



❸ 下線を引く文字の最後の文字の次にカーソルをあわせます。



❹ （シフト）を押しながら（下線 ー 長音）を再度押します。

メモ
* Pをまたいで設定することはできません。
* 下線の線幅は、文字サイズ×行間によって決まります。小さな文字サイズのときや、行間が小さな値のときは設定しても細すぎて作画されなかったり、カスレたりする場合があります。

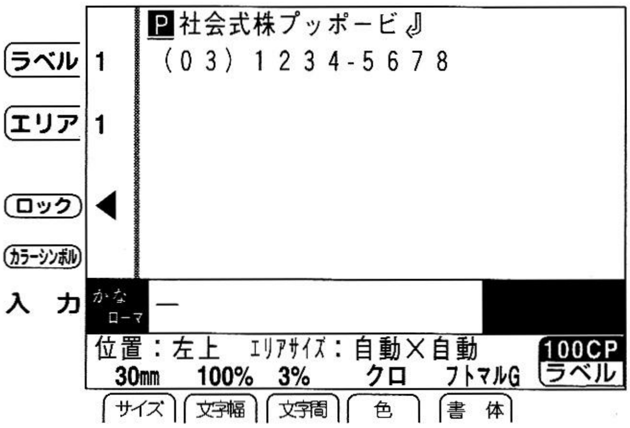
2.3 逆順にする

カーソル位置から行末まで（または次の P のいずれか早い方まで）の文字の順序を入れ替えます。

❶ **逆順にしたい個所の先頭にカーソルをあわせます。**

❷ **（シフト）を押しながら［均等配列／逆順］を押します。**

画面表示上も順序が入れ替わります。



メモ　＊手順❷で、再度逆順を設定すると、元の表示に戻ります。

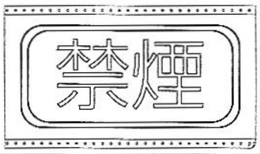
第４章　ラベル単位の設定

1. ラベルの考え方

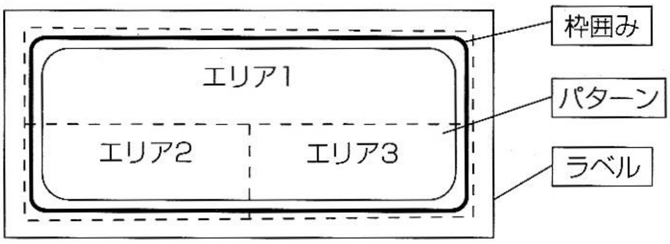
1.1　ラベルとは

本機で言う「ラベル」には、２つの意味があります。

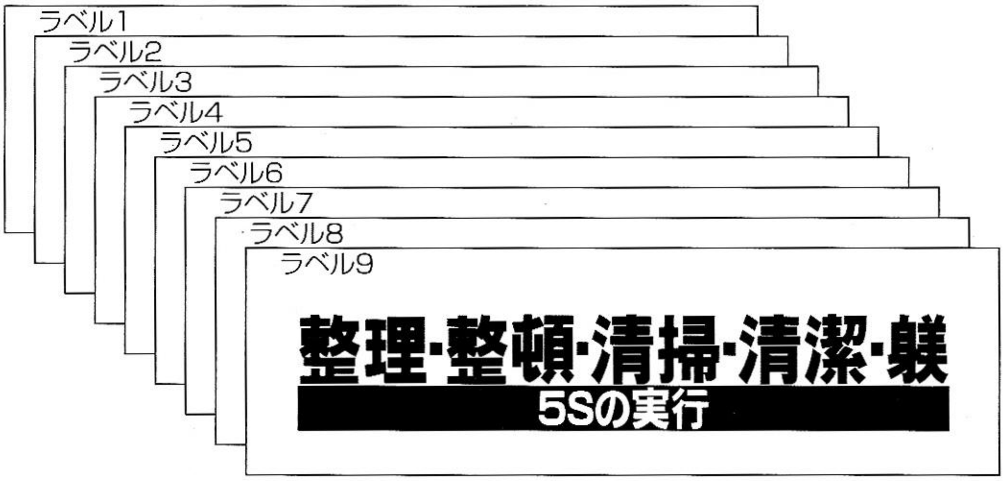
① LC-100CP を接続して、プリント後に周囲をカットする場合、出力形式としてラベルを選択すると言います。

ラベル	プリント	カット
		

１ラベルは、エリアの組み合わせ（パターン）でできています。



② もう一つの意味として、切り文字でも、プリントでも、①のラベルでも、入力は１出力単位で行ないます。この時の出力単位をラベルといいます。ファイルと言い換えてもいいかもしれません。本機では一度に９ラベル（９ファイル）まで異なる内容の入力することができます。



1.2　ラベル単位の設定項目

① パターン　　ラベルのレイアウト・パターンを選択します。
　　　　　　　初期値は１エリアのパターン（自動サイズ）になっています。

② 枠囲み　　　ラベル全体を枠線で囲みます。

③ L 配置　　　シートへの作画方向を決めます。

参照

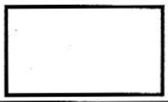
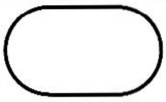
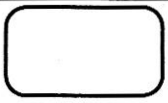
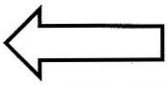
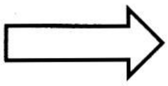
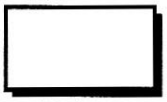
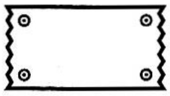
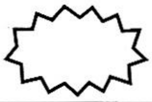
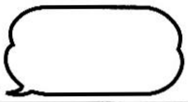
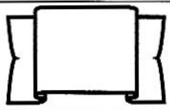
＊パターンについては、「第５章パターンでレイアウトする」84 ページを参照ください。
＊L 配置については「第９章 8. ラベルの配置方法を変える」144 ページを参照ください。

2. 枠囲みの設定

2.1 枠線の種類

１ラベル全体を囲む枠線を、次の中から選ぶことができます。枠線は、プリント、カット、ラベルのどの出力選択でも、出力することができます。

枠線一覧

枠線名	図	備考（2行目は「100CPラベル」の場合）
設定解除	－	枠を付けないときに選択します。
枠切		カット・ラベルを選択している場合、 入力ラベルの外形を矩形にカットします。
矩形		入力ラベルを矩形に枠線で囲みます。 枠カットありの場合、矩形に枠の輪郭をカットします。
長円		入力ラベルを長円に枠線で囲みます。 枠カットありの場合、長円に枠の輪郭をカットします。
角丸		入力ラベルを角の丸い矩形の枠線で囲みます。 枠カットありの場合、角丸に枠の輪郭をカットします。
左矢印		入力ラベルを左向き矢印の枠線で囲みます。 枠カットありの場合、左向き矢印で枠の輪郭をカットします。
右矢印		入力ラベルを右向き矢印の枠線で囲みます。 枠カットありの場合、右向き矢印で枠の輪郭をカットします。
メモ		入力ラベルをメモのイラスト枠で囲みます。 枠カットありの場合、角丸の矩形で枠の輪郭をカットします。
影付き		入力ラベルを影付きのイラスト枠で囲みます。 枠カットありの場合、角丸の矩形で枠の輪郭をカットします。
表札		入力ラベルを表札のイラスト枠で囲みます。 枠カットありの場合、角丸の矩形で枠の輪郭をカットします。
爆弾		入力ラベルを爆弾のイラスト枠で囲みます。 枠カットありの場合、角丸の矩形で枠の輪郭をカットします。
吹き出し		入力ラベルを吹き出しのイラスト枠で囲みます。 枠カットありの場合、角丸の矩形で枠の輪郭をカットします。
リボン		入力ラベルをリボンのイラスト枠で囲みます。 枠カットありの場合、角丸の矩形で枠の輪郭をカットします。

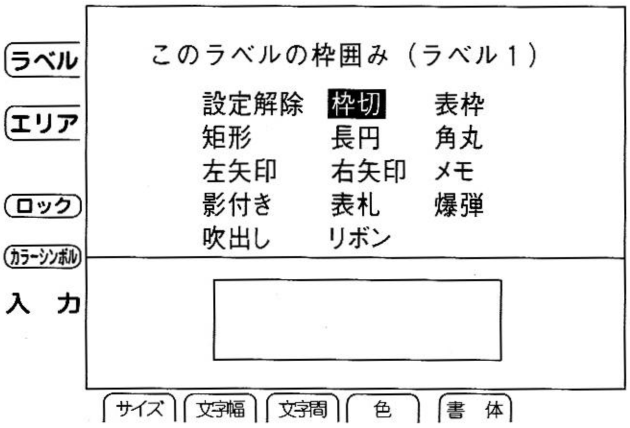
メモ
＊プリントを選択している場合は、枠切は無効となります。
＊枠の余白カットの形状は、枠カットと同じです。

2.2 枠線の選びかた

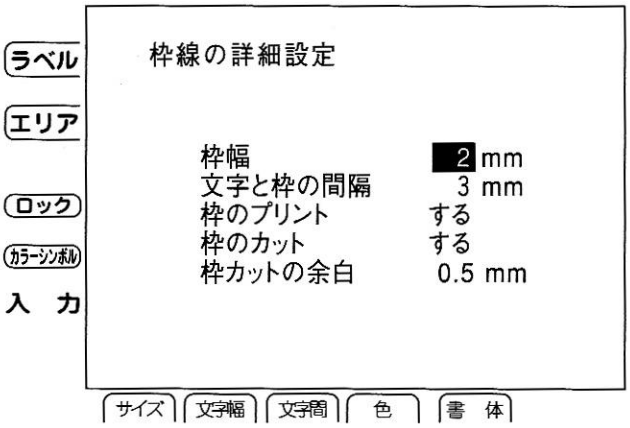
❶ 枠囲みを設定するラベルのどこかにカーソルをあわせます。

❷ [枠囲み]を押します。

メモ　*反転している枠線種の図が画面下部に表示されます。

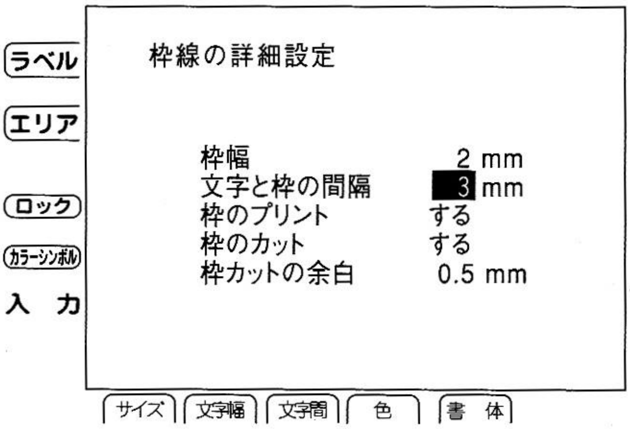


❸ [▷]を押して「矩形」を選択し[実 行]を押します。



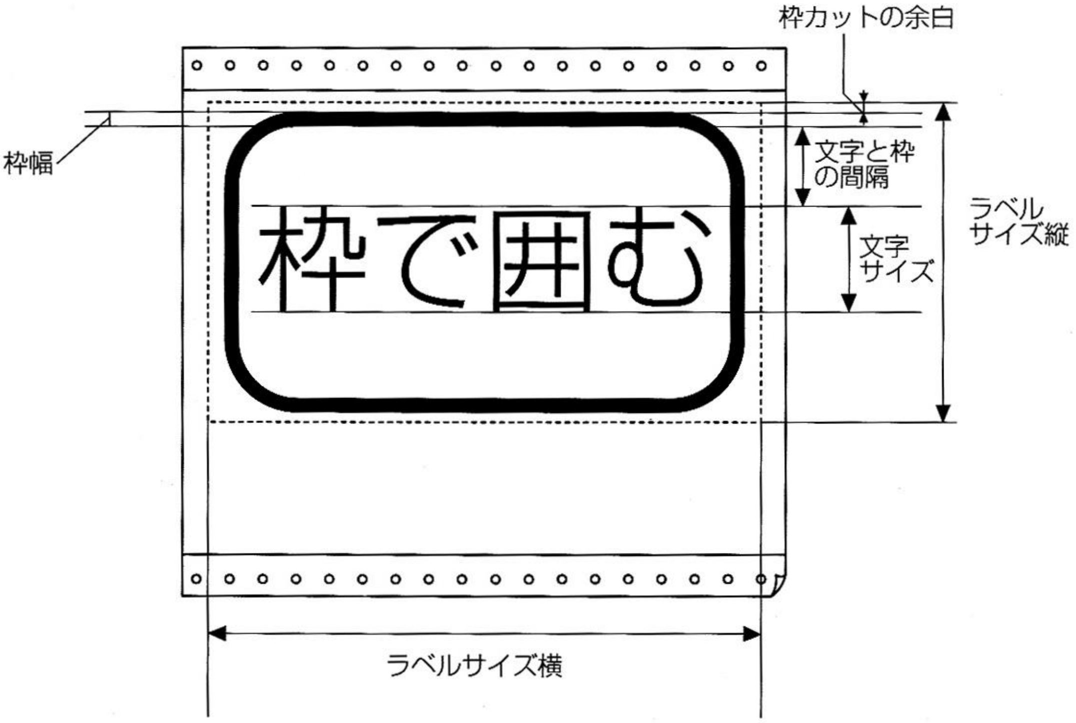
❹ 「４」を押して設定値を入力し[▽]で設定項目を変えます。

・[取 消]を押すと直前の画面に戻ります。

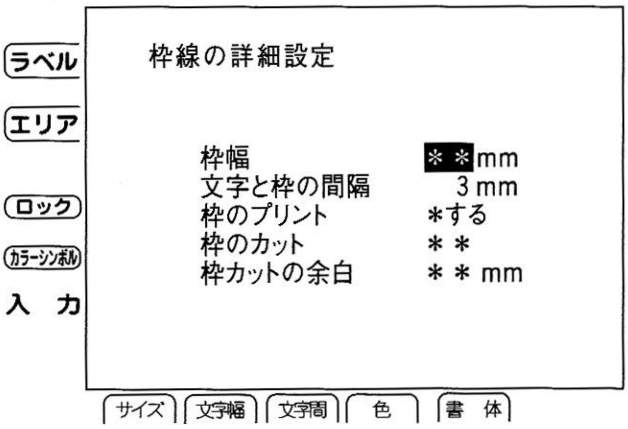


5 **全ての項目を設定したら、（実行）を押します。通常入力画面に戻ります。**

メモ
*枠線の色は、第１エリアの先頭のPで設定されている色となります。
*枠幅：枠線の太さを設定します。
*文字と枠の間隔：文字の外側と枠線との間隔を設定します。必ず枠幅より大きな値にしてください。
*枠のプリント：枠線をプリントする・しないを設定します。
*枠のカット：枠線をカットする・しないを設定します。
*枠カットの余白：枠をカットする場合、印刷した周囲につける余白の幅を0,0.5,1,2mmから選択します。
*ラベルサイズを小さく設定したり、2つ以上のエリアからなるパターンを固定サイズで選んでイラスト枠を設定すると、イラスト枠を作画する面積が大きいため、文字を入力するエリアのサイズが極度に小さくなりエラーが消えない場合があります。そのようなときは、パターン変更で自動サイズにしてください。



設定欄に「」が表示されている場合、その項目は設定できません。



*文字と枠の間隔を2mm以上に設定し、背景色を設定すると、枠と背景色との間にシート地の色がでる部分が生じます。
*イラスト枠を選び、背景色を設定すると、枠線内の左右に背景色をぬらない部分が生じます。

第５章　パターンでレイアウトする

1.　パターンとは

本機では９行まで入力できる「エリア」とその組み合わせの「パターン」を使って自由なレイアウトができるようになっています。**そのために文字を入力する前に、パターンを決めて入力を開始します。**選んだレイアウト・パターンは画面の右下に表示され、今どのエリアを入力しているのかが一目で分ります。電源を入れたときには、必ず自動サイズのパターンＡ（１エリアのみで入力された文字や行数に応じてラベルのサイズが変わるパターン）になります。

[パターン] を押すと次の３つのグループからパターンを選ぶことができます。

パターンのグループ	**各グループのパターンの特長**
① 自動サイズ	入力した文字や行数、サイズなどにあわせてエリアの大きさやラベルの大きさが自動的に変わります。11種類のパターンが選べます。
② 固定サイズ	ラベルの大きさを設定すると、各エリアの大きさが予め決められている比率で決まります。18種類のパターンが選べます。
③ ユーザー設定	ラベルの大きさ、各エリアの大きさをmm単位で自由に設定することができます。11種類のパターンが選べます。

１つのエリアには最大９行まで文字を入力することができます。

例.　自動サイズでパターンJを選んだ場合
　　パターンＪは、３つのエリアからできているパターンの一つです。

<table>
<tr><td rowspan="2">エリア1

1行目
2行目
3行目
4行目
5行目
6行目
7行目
8行目
9行目</td><td>エリア2
1行目
2行目
3行目
4行目
5行目
6行目
7行目
8行目
9行目</td></tr>
<tr><td>エリア3
1行目
2行目
3行目
4行目
5行目
6行目
7行目
8行目
9行目</td></tr>
</table>

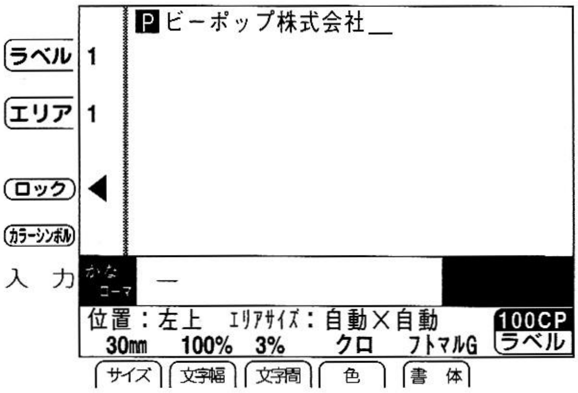
メモ
＊選択したパターンのグループによって表示されるパターンは異なります。また、表示上飛び番号になるグループがあります。
＊複数のエリアから成るパターンを選ぶと、各エリア毎に背景色や位置などを決めることができます。

参照
＊エリアについては、「第６章エリア単位のパラメータ」98ページを参照ください。

2. パターンの選びかた（自動サイズの場合）

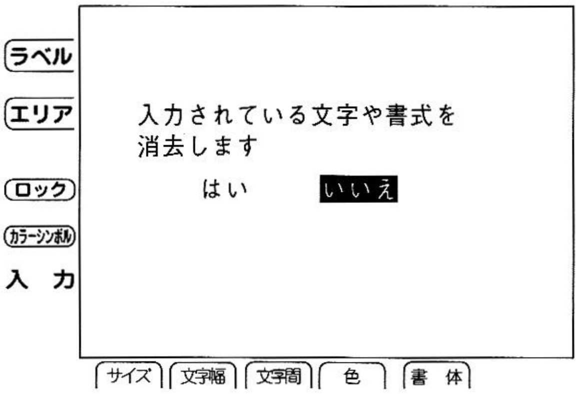
作ったラベルや切り文字を貼る場所に余裕があり、入力した文字の大きさや行数に応じて、成果物の大きさが決まって良い場合は、自動サイズを選びます。レイアウトの細かい部分や、本体が持つ制約を気にせず、自由に成果物を作ることができます。

❶ 既に文字が何か入力されている場合。

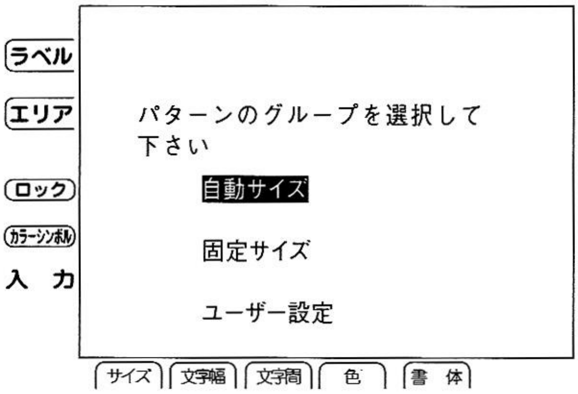


❷ [パターン]を押します。

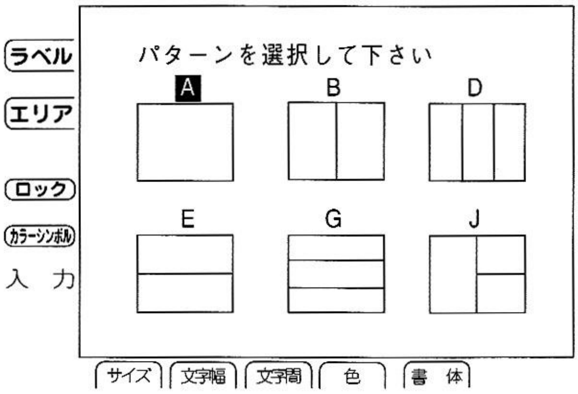
- **(取消)を押すと直前の画面にに戻ります。**
- **「いいえ」を選択し(実行)を押しても直前の画面に戻ります。**



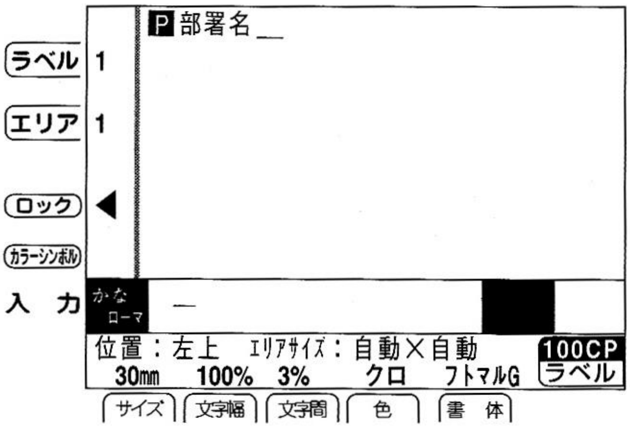
❸ 「はい」を選択し(実行)を押します。



❹ ▽△でグループを選択し、(実行)を押します。



5 「B」を選択し（実行）を押します。
画面右下に選んだパターンと入力しているエリアが反転して表示されます。
つづけて、文字を入力します。



6 （エリア 前 次）を押します。
画面右下の反転している個所がエリア２に移ります。同時に画面左のエリア番号が２になります。
エリア２に文字を入力します。

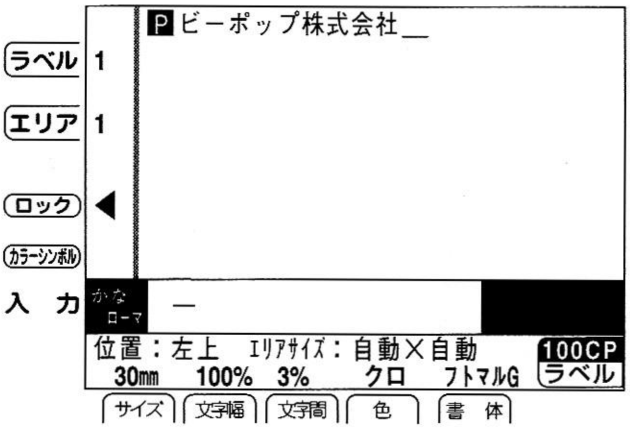
7 イメージ表示で確認します。

メモ
* 表示されるパターンの番号は、選択したグループによって飛び番号となっている場合があります。これは、全てのパターンが固定番号を持っているためです。選択したグループで選べるパターンのみが表示されます。
* 文字を入力してあるパターンや書式を設定したパターンを、異なる種類のパターンに変更することはできません。ただし、同一パターンのラベルサイズ、エリアサイズの変更はできます。「6.パターンサイズを変える」95ページを参照ください。
* 手順❷で、現在入力してある内容を残したまま、他のラベルを入力する場合は、（エリア 次）を押します。新しいラベルの入力ができます。

3. パターンの選びかた（固定サイズの場合）

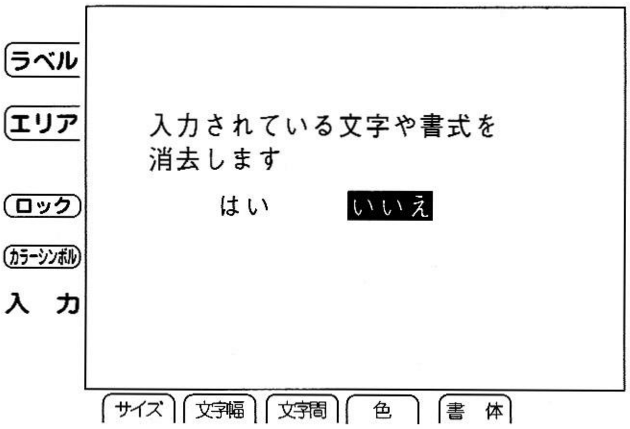
既に貼る場所や大きさが決まっているラベルを作るときなど、あらかじめ成果物の大きさが決まっているときは、固定サイズを使うと便利です。
固定サイズのパターンは、各エリアの縦・横の比率があらかじめ決まっているので、成果物の大きさ（ラベルサイズ）を入力するとエリアの大きさが自動的に決まります。

❶ 既に文字が何か入力されている場合。

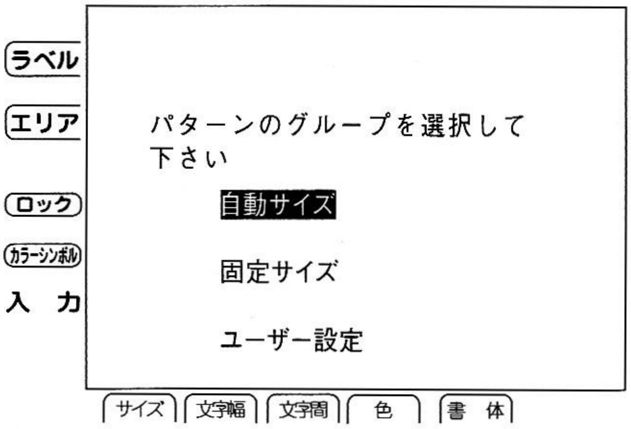


❷ [パターン]を押します。

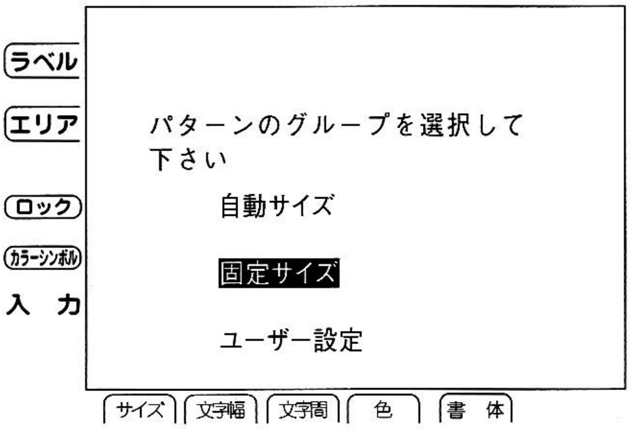
- **(取消)押すと直前の画面にに戻ります。**
- **「いいえ」を選択し(実行)を押しても直前の画面に戻ります。**



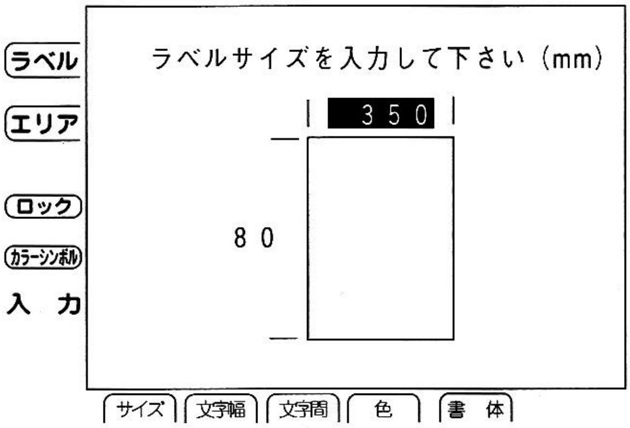
❸ 「はい」を選択し(実行)を押します。



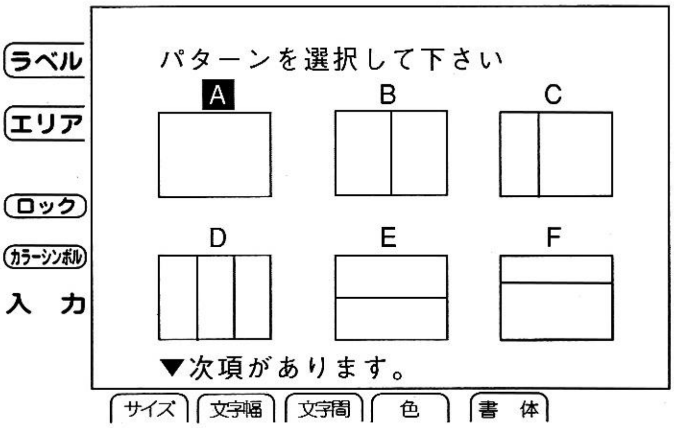
❹ ▼を押して「固定サイズ」を選択し、
（実 行）を押します。



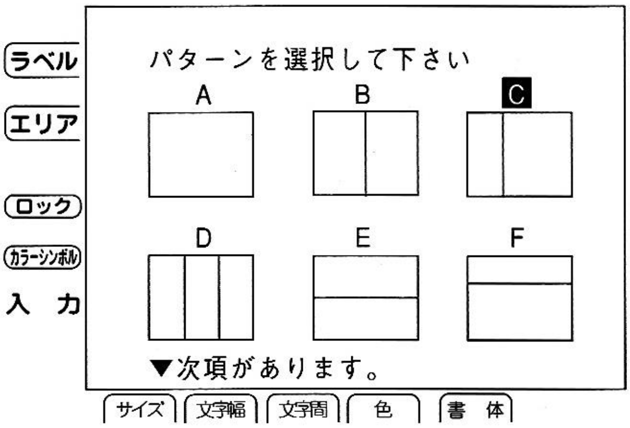
❺ 作りたい出力物(ラベル)のサイズを数値キーで入力します。
▼を押すと入力位置が切換わります。
例. 横サイズを「350」、縦サイズを「80」と入力します。



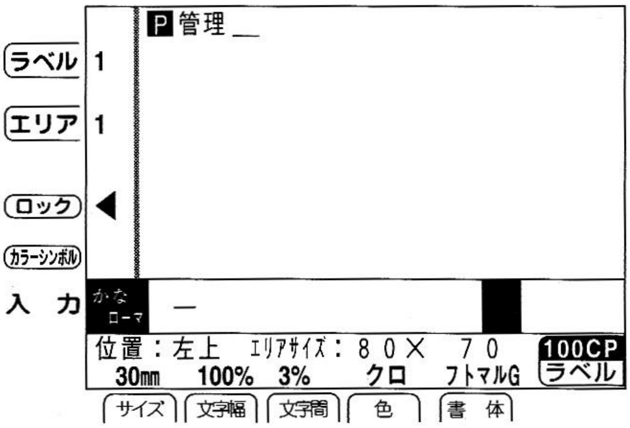
❻ （実 行）を押します。



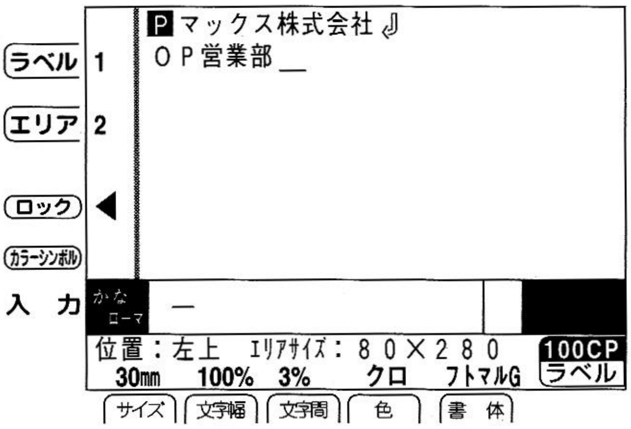
❼ ▲▼◀▶でパターンを選択し、
（実 行）を押します。
例. Cパターンを選びます。



8 （実行）を押します。
画面右下に選んだパターンが表示されます。
入力しているエリアが反転して表示されます。
つづけて、文字を入力します。

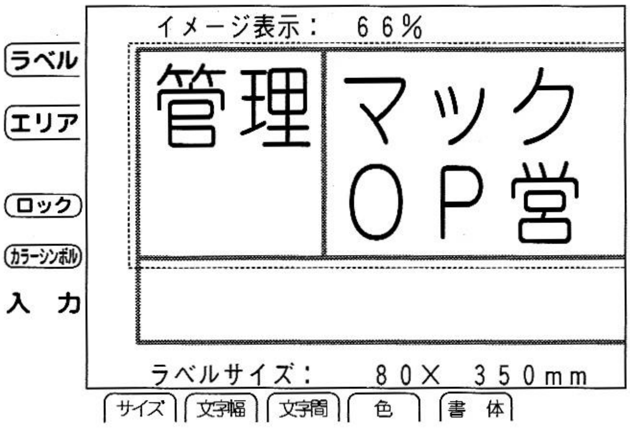


9 （エリア 次）を押します。
画面右下の反転している個所が右側に移ります。
画面左のエリア番号が２になります。
エリア２に文字を入力します。



10 （枠囲み）を押して「表枠」を選択します。

11 （イメージ）を押して、出力イメージを確認します。



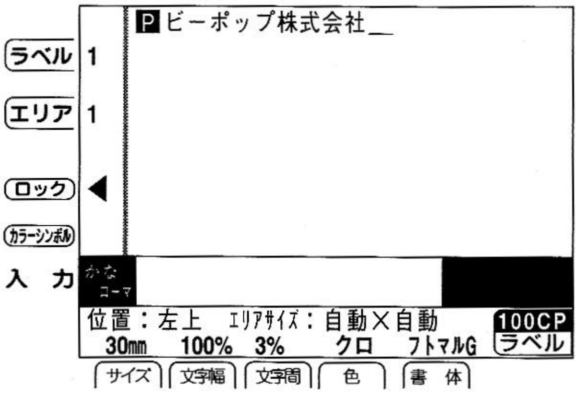
メモ
*表示されるパターンの番号は、選択したグループによって飛び番号となっている場合があります。これは、全てのパターンが固定番号を持っているためです。選択したグループで選べるパターンのみが表示されます。
*文字を入力してあるパターンや書式を設定したパターンを、異なる種類のパターンに変更することはできません。ただし、同一パターンのラベルサイズ、エリアサイズの変更はできます。「6.パターンサイズを変える」95ページを参照ください。
*枠囲みでイラスト枠などを選ぶと枠線作画に作画領域が必要なため、文字が入力できるエリアの実際のサイズが著しく小さくなる場合があります。この時は文字サイズなどを多少修正してもエラーがなかなか消えないといった症状となります。ラベルサイズを大きくするか、自動サイズのパターンに変更してください。

参照
枠囲みについては、「第４章ラベル単位の設定 2.枠囲みの設定」81ページを参照ください。

4. パターンの選びかた（ユーザー設定の場合）

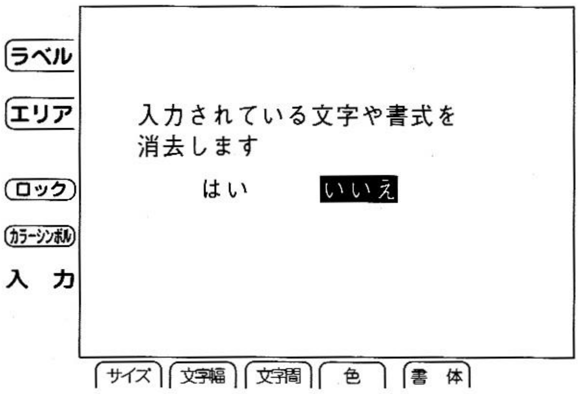
ラベルサイズや各エリアのサイズを思い通りに設定したいときは、「ユーザー設定」を使うと便利です。「ユーザー設定」のパターンでは、ラベルサイズだけでなく各エリアの縦・横のサイズを1mm単位で設定できるので、自由なレイアウトが行なえます。

1 既に文字が何か入力されている場合。

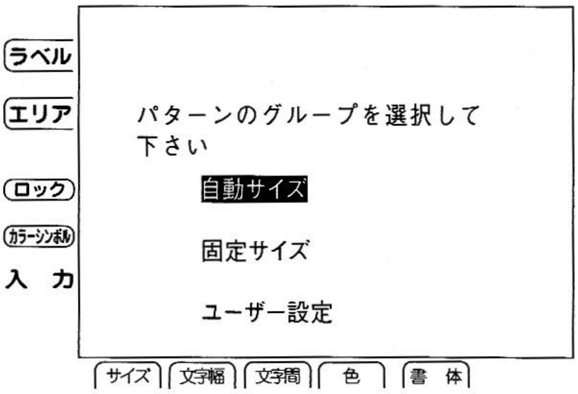


2 パターンを押します。

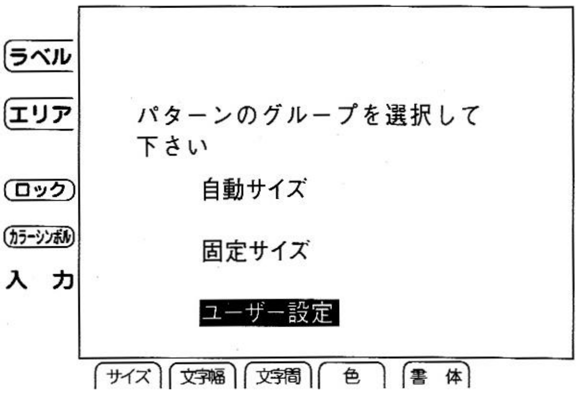
- 取 消 押すと直前の画面にに戻ります。
- 「いいえ」を選択し 実 行 を押しても直前の画面に戻ります。



3 「はい」を選択し 実 行 を押します。



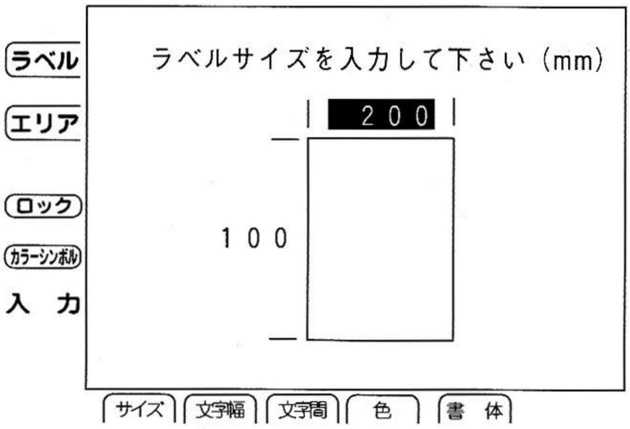
4 ▽ を押して「ユーザー設定」を選択し、実 行 を押します。



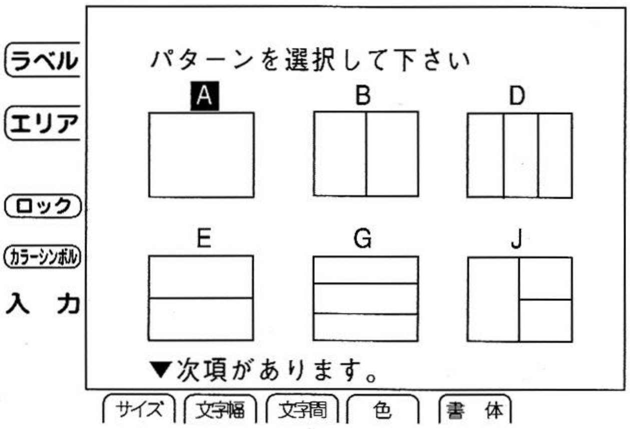
5 作りたい出力物(ラベル)のサイズを数値キーで入力します。

[▼]を押すと入力位置が切換わります。

例. 横サイズを「200」、縦サイズを「100」と入力します。



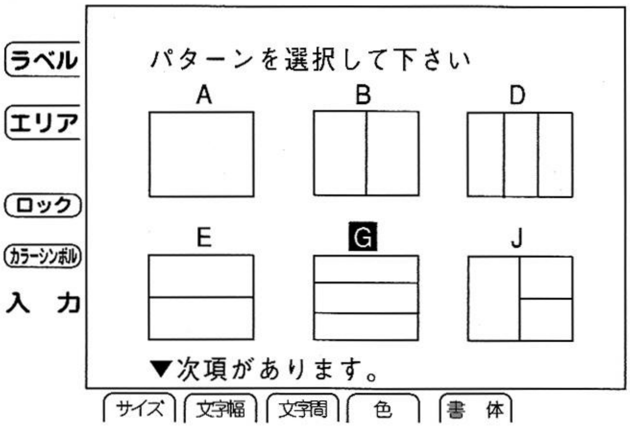
6 [実　行]を押します。



7 [▲][▼][◀][▶]でパターンを選択し、

[実　行]を押します。

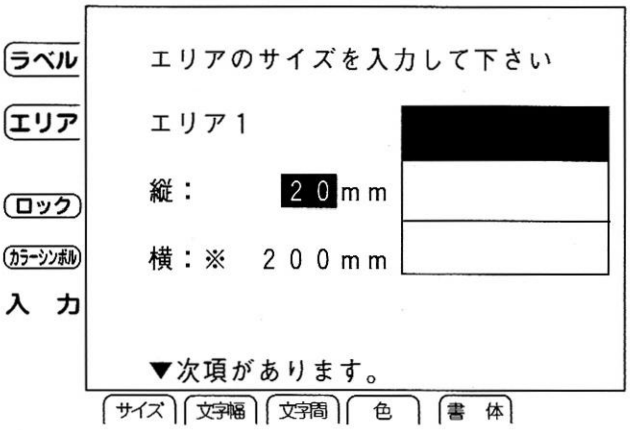
例. Gパターンを選びます。



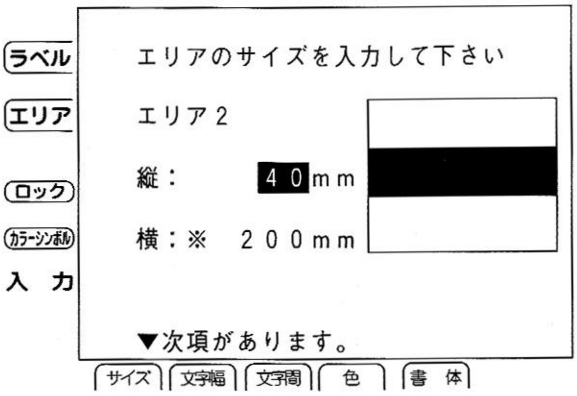
8 反転しているエリアのサイズを数値キーで設定します。

例. 「20」と入力します。

・横サイズに表示されている「*」はラベルサイズで決まってしまう値で設定できないことを示しています。

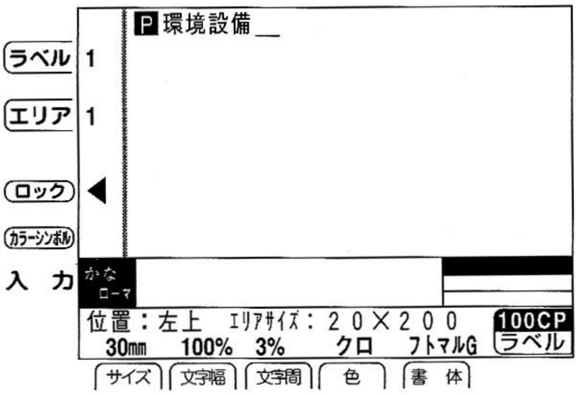


9 （実行）を押すと次のエリアのサイズの設定画面になります。
同様に数値キーでサイズを設定します。
例.「40」と入力します。

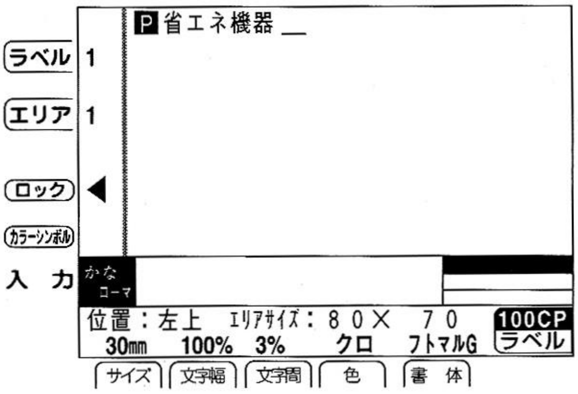


10 （実行）を押します。
画面右下に選んだパターンが表示されます。
入力しているエリアが反転して表示されます。
つづけて、文字を入力します。

・エリア３のサイズは、ラベルサイズから自動的に決まるので設定できません。



11 （エリア 次）を押します。
画面右下の反転している個所が右側に移ります。
画面左のエリア番号が２になります。
エリア２に文字を入力します。



12 同様にエリア３にも文字を入力します。

13 文字サイズ、書体やエリア・パラメータの設定を行ない、見栄えを整えます。

14 （枠囲み）を押して「矩形」を選択します。

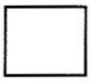
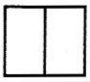
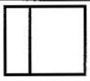
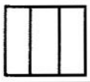
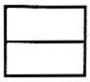
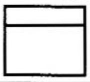
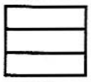
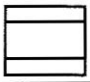
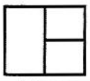
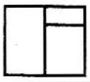
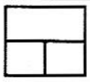
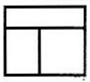
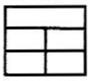
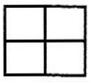
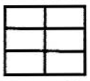
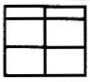
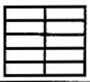
⑮ （イメージ/Pー覧）を押して、出力イメージを確認します。

メモ
*一度選んだパターンの種類を変えたいときには、再度[パターン]を押して選び直してください。
*文字を入力してあるパターンや書式を設定したパターンを、異なる種類のパターンに変更することはできません。ただし、同一パターンのラベルサイズ、エリアサイズの変更はできます。「6.パターンサイズを変える」95ページを参照ください。
*表示されるパターンの番号は、選択したグループによって飛び番号となっている場合があります。これは、全てのパターンが固定番号を持っているためです。選択したグループで選べるパターンのみが表示されます。
*枠囲みでイラスト枠などを選ぶと枠線作画に作画領域が必要なため、文字が入力できるエリアの実際のサイズが著しく小さくなる場合があります。この時は文字サイズなどを多少修正してもエラーがなかなか消えないといった症状となります。ラベルサイズを大きくするか、自動サイズのパターンに変更してください。

参照
*同一パターンのラベルサイズやエリアサイズの変更については「6.パターンサイズを変える」95ページを参照ください。
*エリアパラメータについては、「第６章エリア単位のパラメータ設定」98ページを参照ください。
*枠囲みについては、「第４章ラベル単位の設定 2.枠囲みの設定」81ページを参照ください。

5. パターンの種類

パターンは、大きく分けて１１種類あります。固定サイズを選択したときには、エリアのサイズが異なるパターン１８種類から選択できます。

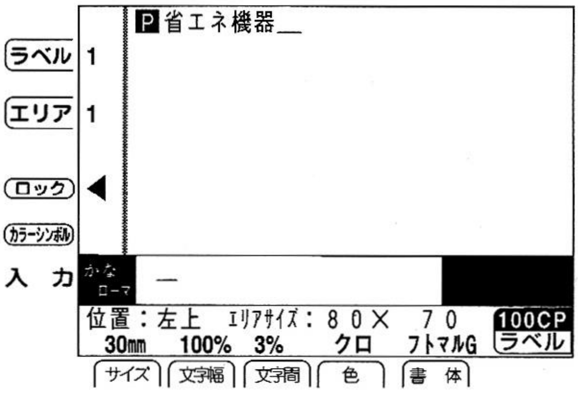
No.	パターン	エリアの大きさ ラベルサイズを100×100mmにしたときのそれぞれのエリアのサイズ (mm)	自動サイズ・ユーザ一設定で選択できるパターン
A		エリア1：　100×100	○
B		エリア1：　100× 50 エリア2：　100× 50	○
C		エリア1：　100× 20 エリア2：　100× 80	
D		エリア1：　100× 33 エリア2：　100× 33 エリア3：　100× 33	○
E		エリア1：　50×100 エリア2：　50×100	○
F		エリア1：　20×100 エリア2：　80×100	
G		エリア1：　33×100 エリア2：　33×100 エリア3：　33×100	○
H		エリア1：　12×100 エリア2：　50×100 エリア3：　37×100	
I		エリア1：　23×100 エリア2：　46×100 エリア3：　30×100	
J		エリア1：　100× 50 エリア2：　50× 50 エリア3：　50× 50	○
K		エリア1：　100× 50 エリア2：　25× 50 エリア3：　75× 50	
L		エリア1：　50×100 エリア2：　50× 50 エリア3：　50× 50	○
M		エリア1：　33×100 エリア2：　66× 44 エリア3：　66× 55	
N		エリア1　：　20×100 エリア2と4：　20× 50 エリア3と5：　60× 50	○
O		すべてのエリア（1〜4）：50× 50	○
P		すべてのエリア（1〜4）：33× 50	○
Q		エリア1と4：　12× 50 エリア2と5：　50× 50 エリア3と6：　37× 50	
R		すべてのエリア（1〜10）：20× 50	○

メモ　１エリアのパターンで１行入力の時のみ分割作画できます。

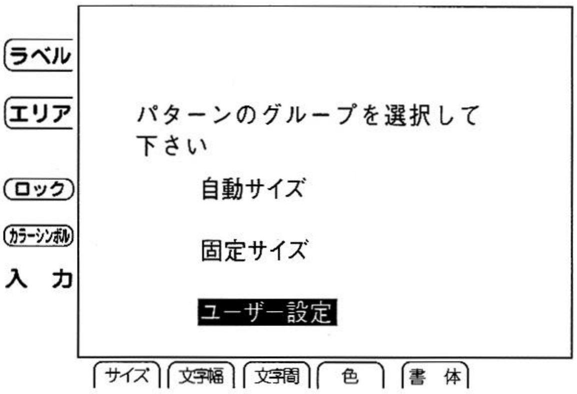
6. パターンサイズを変える

一度決めたパターンは、その種類を変更することはできませんが、ラベルサイズ（全体の大きさ）や各エリアのサイズは文字入力後も変更できます。
ここでは、「4 ユーザー設定」で入力したラベルの大きさを変更してみます。

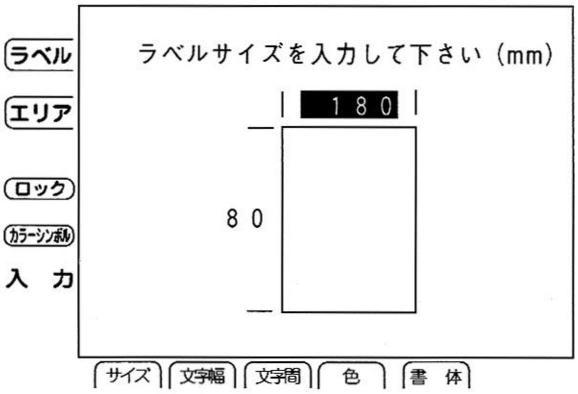
1 **パターン種類を決め、文字を入力します。**



2 **[パターン種類] を押します。**
現在選択されているパターンのグループが反転します。

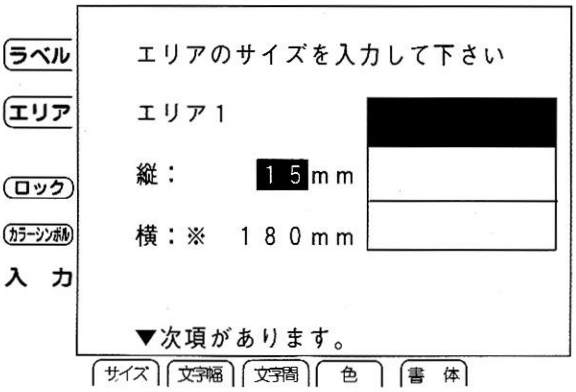


3 **現在の設定値が表示されます。**
数値キーで変更したい値を入力します。
[▼] を押すと入力位置が切換わります。
例．横サイズを「180」、縦サイズを「80」と入力します。

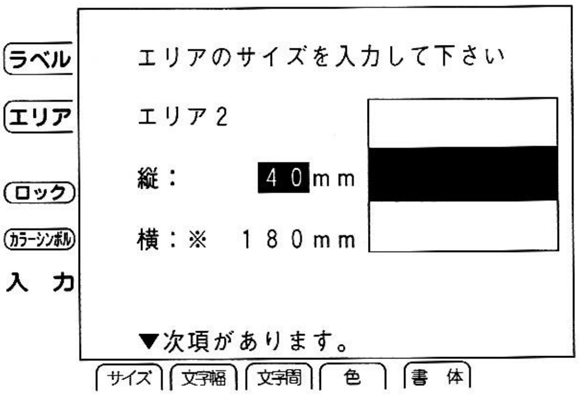


4 **反転しているエリアのサイズを数値キーで設定します。**
初めに表示される値は、縦サイズをエリア数で均等に割ったときのサイズとなります。
例．「15」と入力します。

- **横サイズに表示されている「※」はラベルサイズで決まってしまう値で設定できないことを示しめしています。**

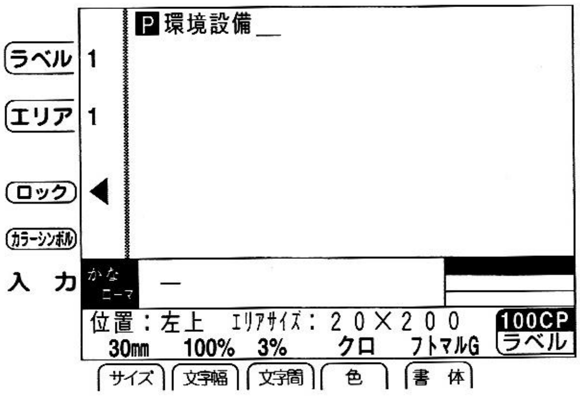


❺ （実 行）を押すと次のエリアのサイズの設定画面になります。
同様に数値キーでサイズを設定します。
例.「40」と入力します。



❻ （実 行）を押すと通常入力画面に戻ります。
画面右下には、サイズを修正したパターンが表示されます。
同時に、入力しているエリアが反転して表示されます。
つづけて、文字を入力します。

・エリア３のサイズは、ラベルサイズから自動的に決まるので設定できません。



❼ （イメージ P一覧）を押して、出力イメージを確認します。

❽ うまく納まらない場合は、（取 消）を押して通常入力画面に戻った後、各エリアの文字サイズや文字幅などを変更して調整します。

メモ

*一度選んだパターンの種類を変えたいときには、再度[パターン]を押して選び直してください。
*文字を入力してあるパターンや書式を設定したパターンを、異なる種類のパターンに変更することはできません。
*枠囲みでイラスト枠などを選ぶと枠線作画に作画領域が必要なため、文字が入力できるエリアの実際のサイズが著しく小さくなる場合があります。この時は文字サイズなどを多少修正してもエラーがなかなか消えないといった症状となります。ラベルサイズを大きくするか、自動サイズのパターンに変更してください。

参照

*文字サイズについては、「第３章基本パラメータ」56ページを参照ください。
*文字幅についても、「第３章基本パラメータ」56ページを参照ください。

第６章　エリア単位のパラメータ設定

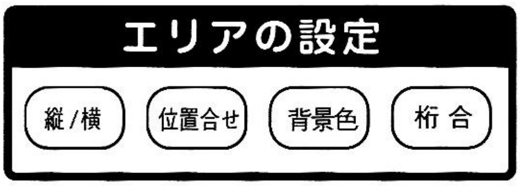
1. エリアとは

1.1　エリアとは

本機では、パターンを構成するそれぞれの枠（領域）をエリアと呼びます。文字や記号は、それぞれのエリア毎に入力することになります。１エリアには最大９行まで入力できます。エリア単位で縦書きや背景色、中央揃えなどが設定できるようになっていますので、文字の入力を始める前に作りたい成果物をはっきりさせておくと良いでしょう。
なお、電源投入時は、必ず１つのエリアで構成されるパターンが選択されます。

1.2　エリア単位で設定できる項目

エリア単位で設定できる項目は、キーボード右上の「エリアの設定」で囲まれている内容です。
この中には、以下の項目があります。



項目	キー	エリア毎に設定される内容
縦書き／横書き	縦/横	エリア内の文字の作画方向を4方向から選びます。
位置合せ	位置合せ	エリア内の文字を左寄せ、センタリング、右寄せ、上寄せなど、9つの配置から選びます。
背景色	背景色	エリア内の背景となる色を18色から選びます。反転印字する場合も、この設定で選びます。
桁合わせ	桁 合	文字の桁合せを設定します。

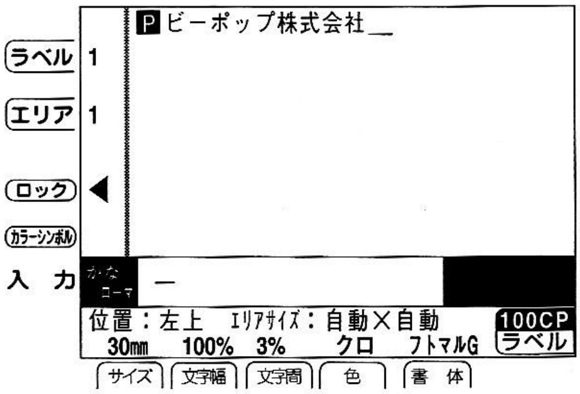
参照　＊パターンについては、「第５章パターンでレイアウトする」94ページを参照ください。

2. エリアパラメータの設定

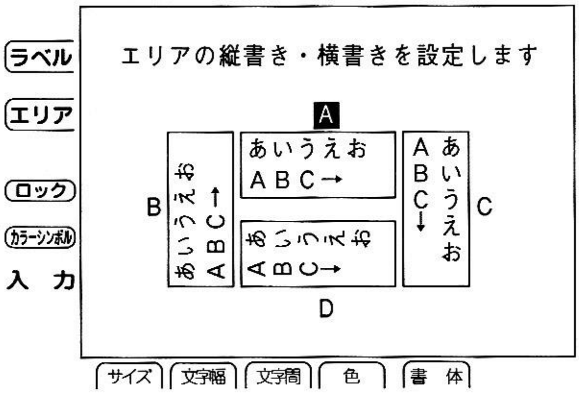
2.1 縦書き、横書き

カーソルのあるエリアについて、文章の縦書き･横書きを画面に表示される4方向から選び、設定します。

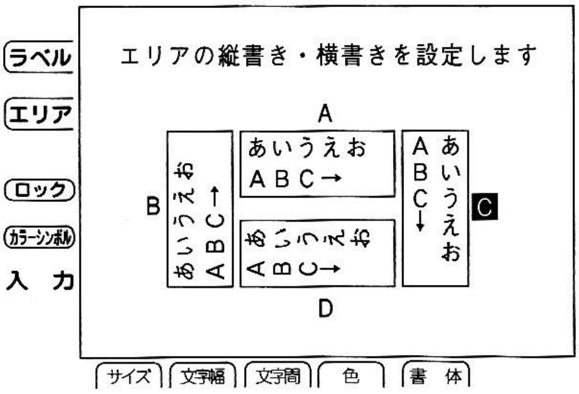
1 設定するエリアを表示します。
カーソルはどこにあってもかまいません。



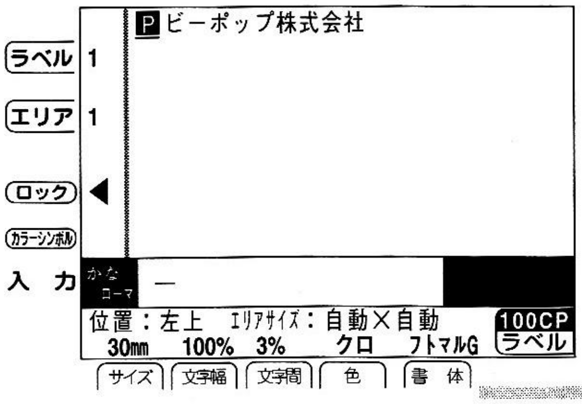
2 (縦/横)を押します。
現在の設定状態が表示されます。



3 (▲)(◀)(▶)(▼)キーで方向を示す図の番号を選択します。
(▲)を押すとAに
(◀)を押すとBに
(▶)を押すとCに
(▼)を押すとDになります。



4 (実 行)を押すと通常入力画面に戻ります。
- (取 消)を押すと入力値を無効にして通常入力画面に戻ります。



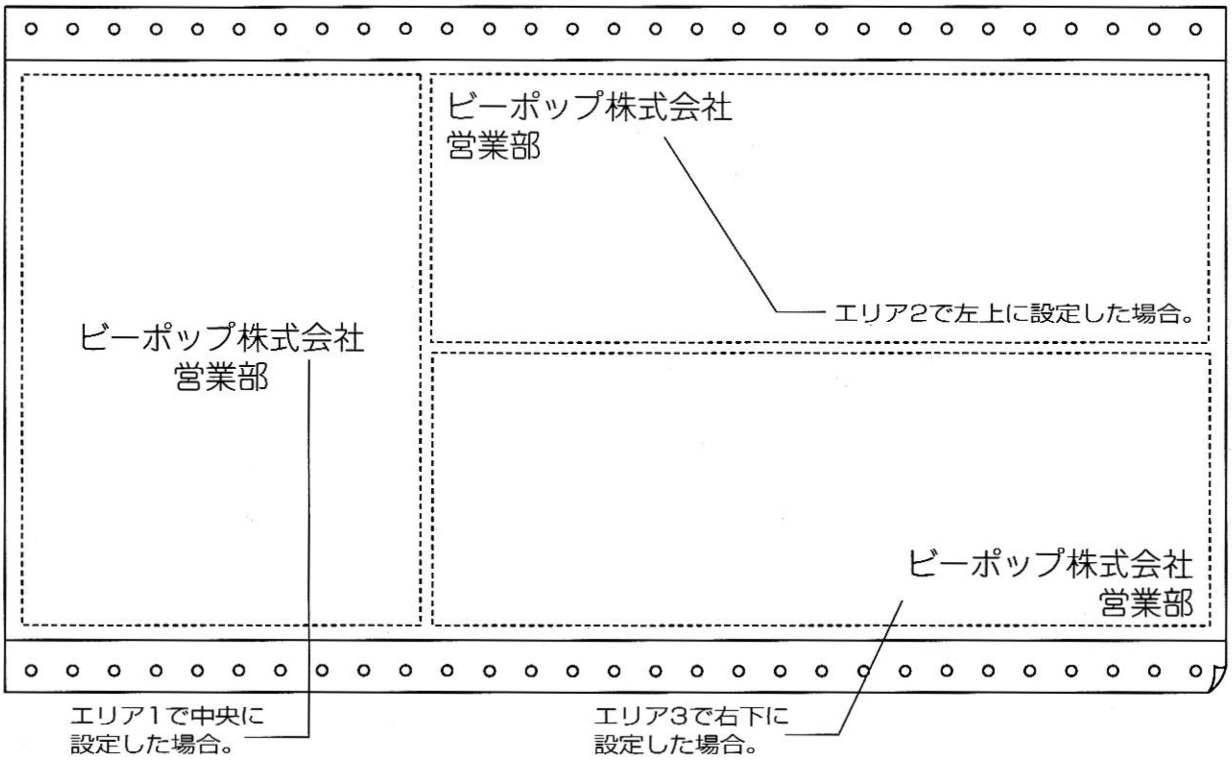
5 (イメージ P－覧)を押して、出力イメージを確認します。

メモ ＊Ｂの横書き、Ｄの縦書きを選んだ場合、次頁の「位置合せ」設定画面のガイドイメージは、実際のレイアウトとは異なります。

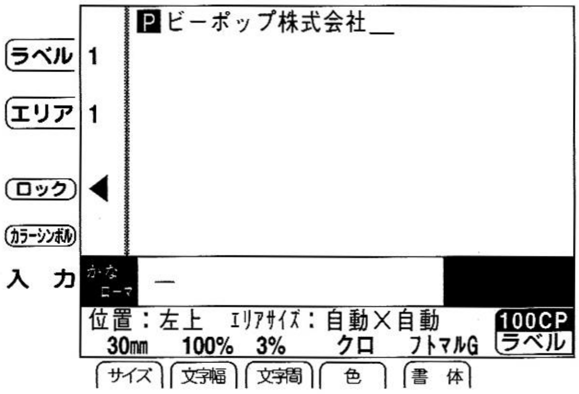
2.2 エリア内のレイアウト設定

カーソルのあるエリアについて、文字をエリアのどの位置に配置するか（左寄せ、中央揃えなど）を設定します。下図に３つのエリアからなるパターンで位置合せ設定した場合を示します。

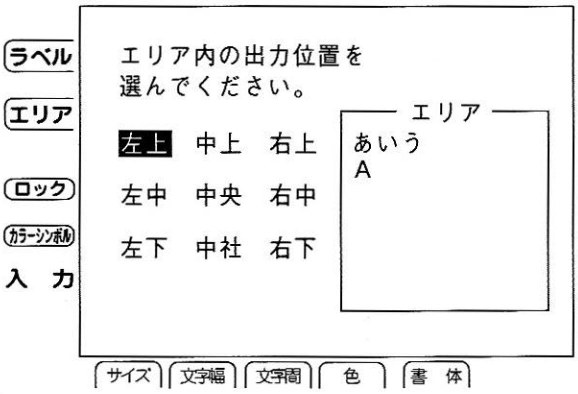
（レイアウト例）



❶ 文字を入力します。

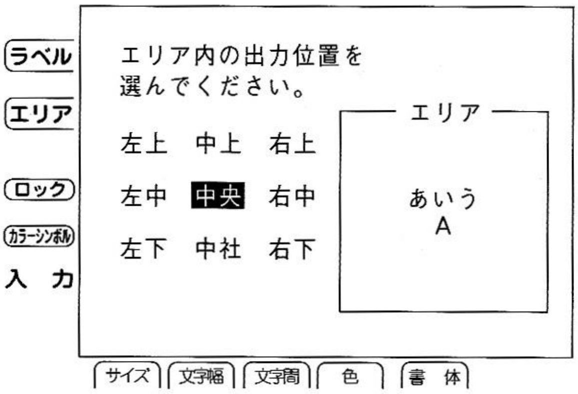


❷ 位置合せを押します。



第6章 エリアパラメータの設定

3 ▼ ▶を押して「中央」を反転します。同時に右側のイメージガイド表示も変わります。

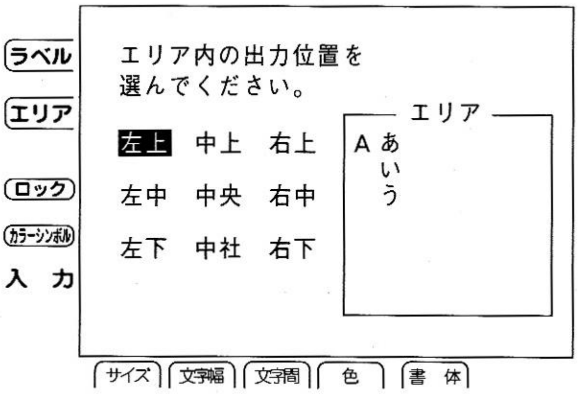


4 実　行 を押すと、位置合わが設定され、通常入力画面に戻ります。

メモ

* 縦書き設定の場合は、イメージガイドが左図のように表示されます。
* 縦書き、横書き設定が
 Ｂの場合はＡと同じに
 Ｄの場合はＣと同じに

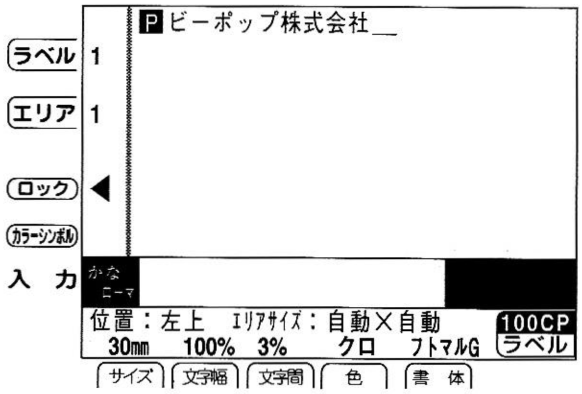
イメージガイドは表示されます。実際のレイアウトとは異なるのでご注意ください。



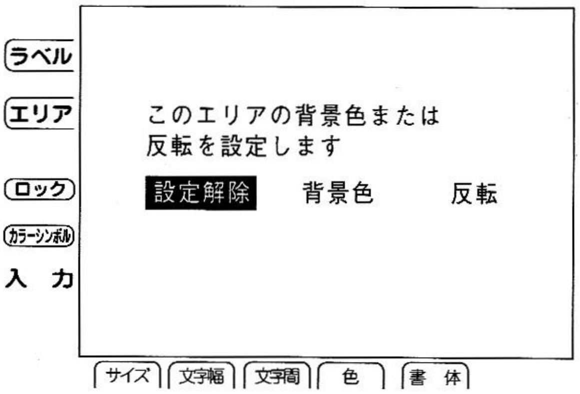
2.3 背景色・反転

カーソルのあるエリアについて文字や記号の背景に色を設定したり、反転（抜き文字）にしてプリントする設定をします。背景色を設定画面上の１８色から選んで設定します。

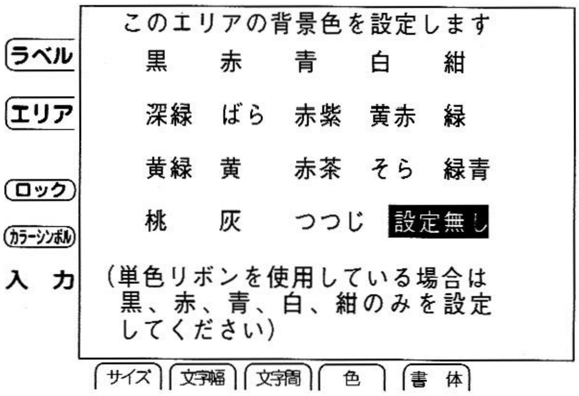
❶ **背景色を設定するエリアを表示します。**



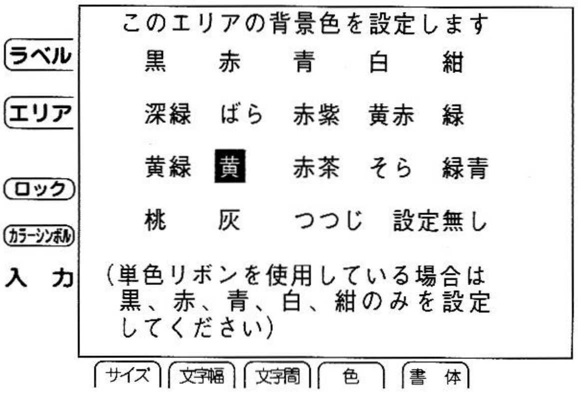
❷ **（背景色）を押します。**



❸ **（▶）を押して背景色を反転し、（実　行）を押します。**

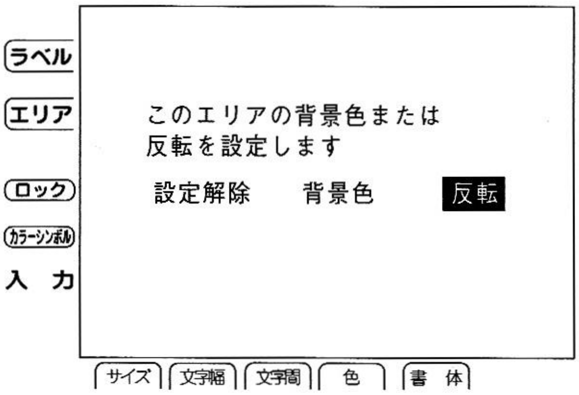


❹ **（▶）（◀）（▲）（▼）を押して色を選びます。**



5 （実　行）を押すと設定値を確定し、通常入力画面に戻ります。

* 反転を設定の場合は手順❷で反転を選択し（実　行）を押すと設定値を確定し、通常画面に戻ります。



* 同一エリアに、背景色と反転は同時に設定することはできません。
* 反転を設定すると、エリア先頭のPに設定されている色を背景色とし文字を白抜きにして印字します。
* 反転の設定はイメージ表示に反映されますが、背景色は反映されません。
* ラベルサイズが200mmを超える印字をした場合、色のつなぎ目に黒っぽいスジが入る場合があります。
* 背景色・反転の設定は、カッティング選択時は無効となります。
* 表示されている色は全て白シートに印刷されることを前提としています。他の色のシートの場合、著しく色あいが異なる場合があります。

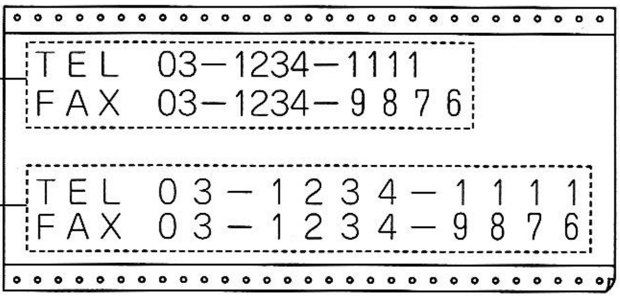
2.4 桁合わせ

同じエリア内に2行以上文字を入力したときに、それぞれの行の文字の縦の位置を合わせたい場合、桁合わせを設定します。

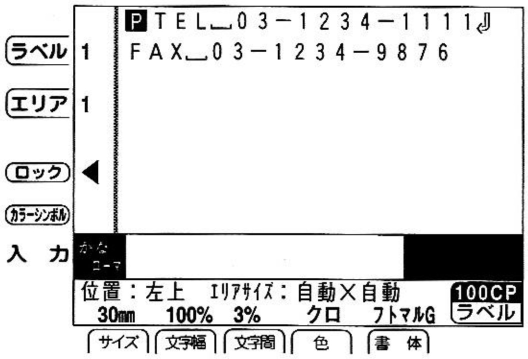
（例）

桁合わせしない場合（初期値）

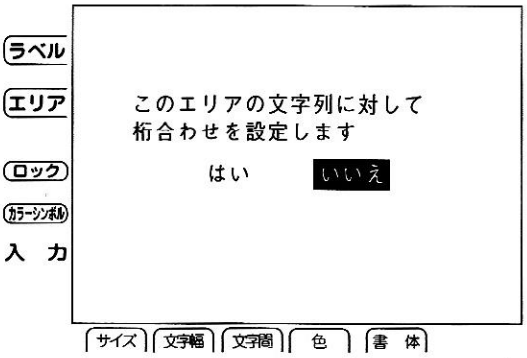
桁合わせした場合



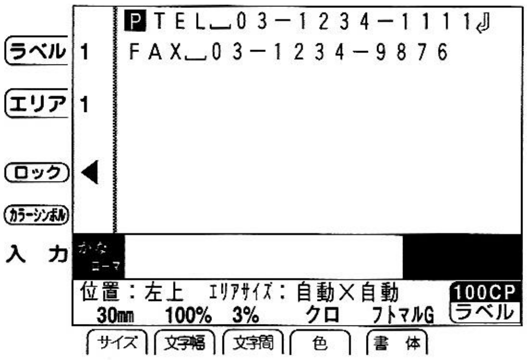
1 **文字を入力します。**



2 **（桁合）を押します。**



3 **（◀）を押して「はい」を反転表示し（実行）を押します。**
桁合せが設定され、通常入力画面に戻ります。



4 **（イメージ P一覧）を押して確認してみてください。**

メモ　*桁合わせを設定すると、文章の出力長さは長くなります。そのため、エリアのサイズが設定されているときはエラーになる場合があります。文字幅を小さくするなどして調整してください。

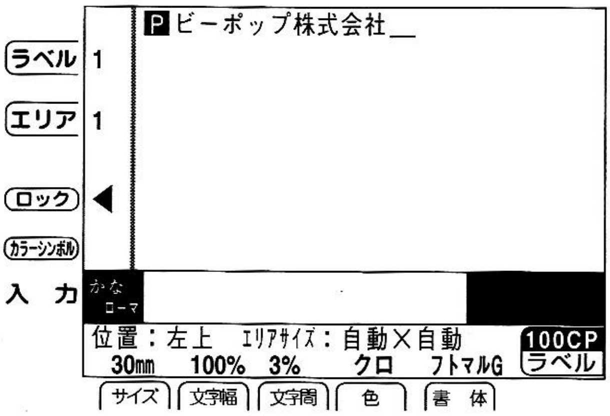
参照　*エリアサイズについては、「第5章パターンでレイアウトする4.パターンの選びかた（ユーザー設定の場合）」90ページを参照ください。

第７章　文章の編集／削除

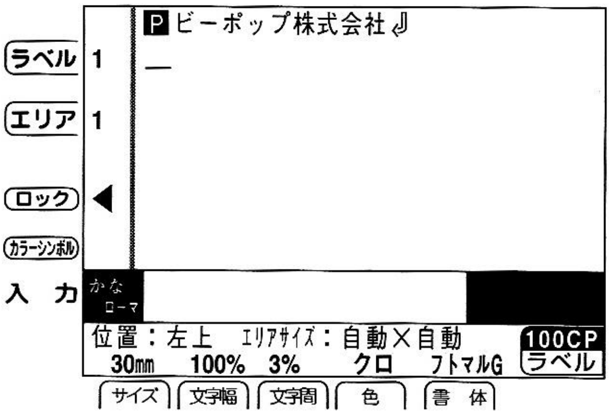
1. 改行する

(改行)キーを押すと改行マークが文章中に挿入され、改行されます。

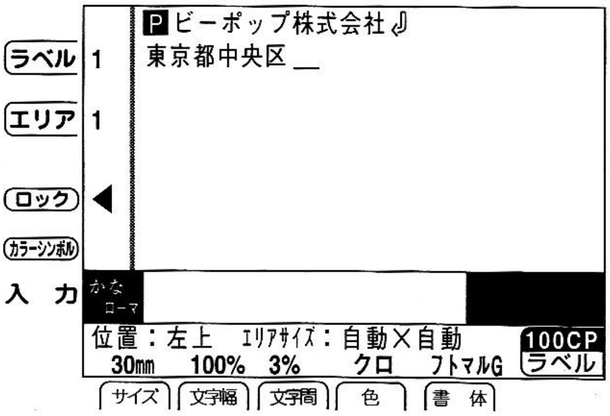
❶ 文字を入力します。



❷ (改行)を押すと改行マーク(↲)が挿入され、カーソルが次行先頭に移動します。



❸ 続けて文字を入力します。



メモ

＊画面表示は、実際のレイアウトと異なりますので、イメージ表示で確認してください。

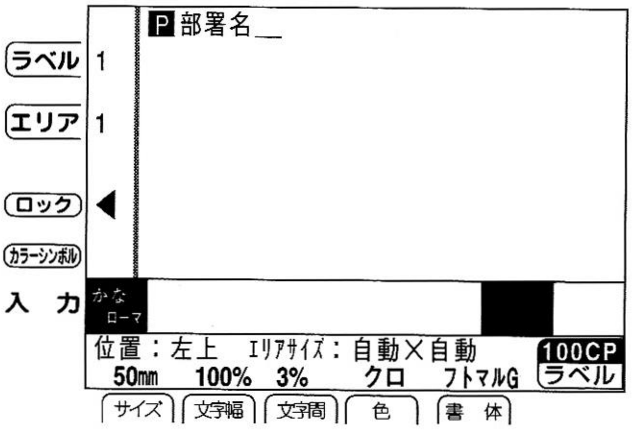
＊１エリアでの改行は最大９行までです。さらに多行にしたい場合は、パターンの種類を選ぶことで、最大２７行まで入力できます。（パターンＧを選択した場合）

2. エリア間を移動する

複数のエリアをもつパターンを選んでいるときは、文字入力するためにエリアを移動する必要があります。また、イメージ表示後に修正をする場合などにも修正するエリアに移動します。

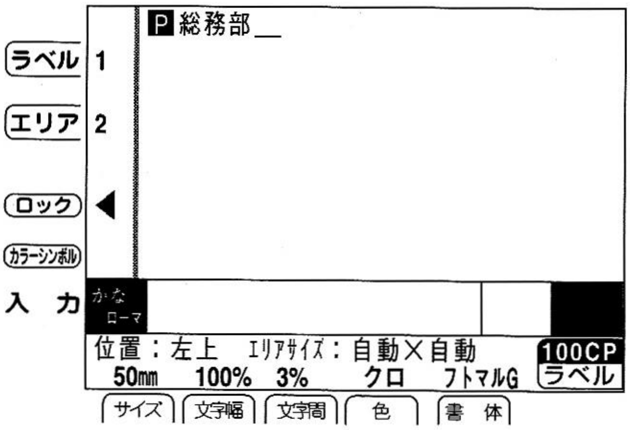
以下にパターンＢを選んでいる場合の例を示します。

❶ 画面右下に選んだパターンと入力しているエリアが反転して表示されます。
文字を入力します。



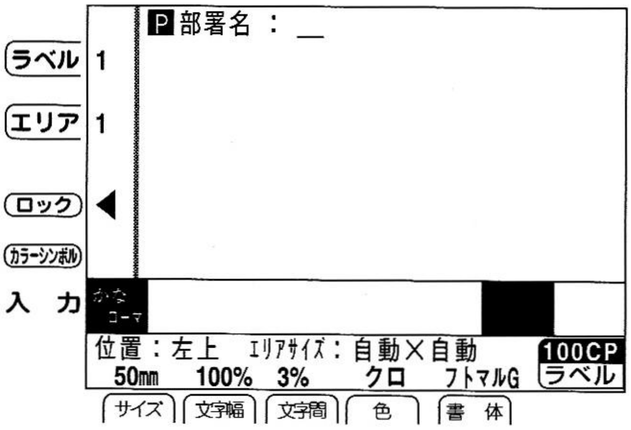
❷ を押します。

画面右下の反転している個所が右側に移ります。
エリア２に文字を入力します。
同時に画面左側のエリア番号が２に変わります。
文字を入力します。



❸ を押します。

再度画面右下の左側のエリアが反転表示されます。
画面左側のエリア番号が１に戻ります。
文字を追加入力します。

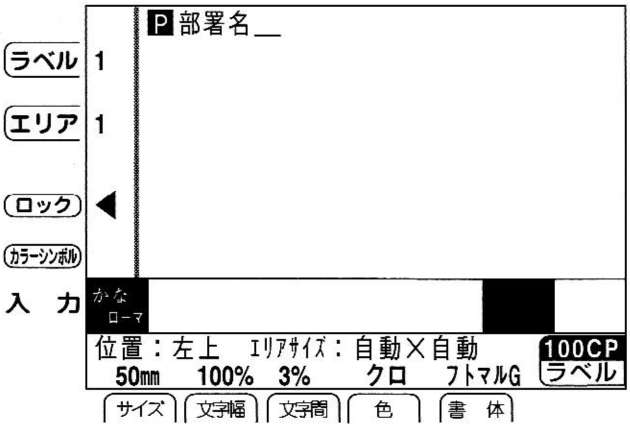


メモ　＊エリアの数が多くなっても操作は同様です。

3. 新しいラベルを入力する／ラベル間を移動する

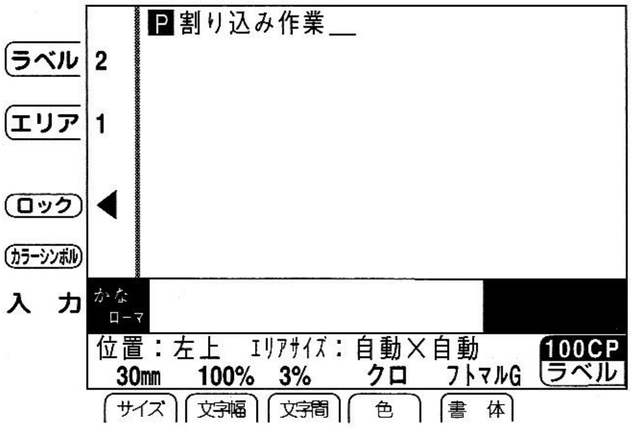
本機では、一度に９種類の異なるラベルの入力が出来ます。まとめて入力し一括して出力すれば機械の側についている必要が無く、作業効率がアップします。また、他の人が作業中の場合でも異なるラベルの入力ができるので、割り込みの作業にも対応します。

❶ パターンを選んで文字を入力します。



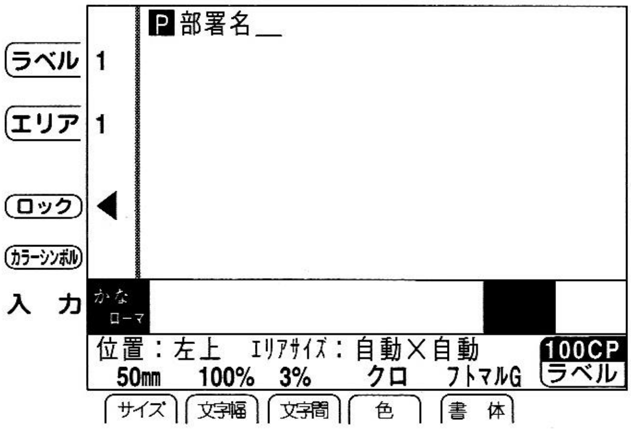
❷ ［ラベル 前 次］を押します。

新しいラベルが発生します。
画面左側のラベル番号が２に変わります。
つづけて文字を入力します。



❸ ［ラベル 前 次］を押します。

初めに入力していたラベルが表示されます。
カーソルはラベルの先頭になります。



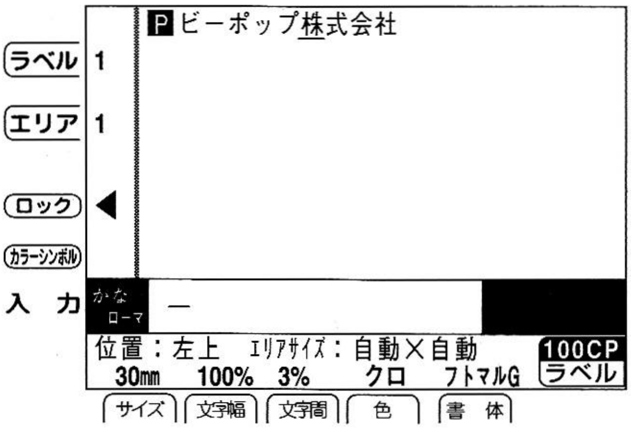
メモ
＊３つ以上のラベルがある場合も同様な操作で、異なるラベルを表示することができます。
＊電源を切ると入力していたラベルはすべて消去されます。消したくない場合はメモリ登録をします。

参照
＊メモリ登録については、「第１１章メモリの使いかた」150ページを参照ください。

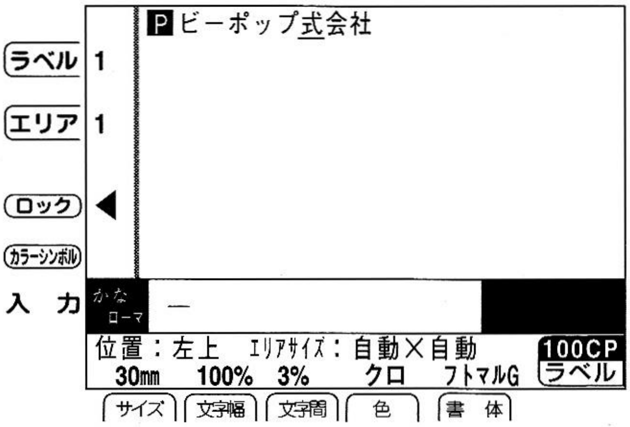
4. 文字や改行マークなどを削除する

4.1 1文字ずつの削除

❶ 削除したい文字にカーソルをあわせます。



❷ （削除）を押します。



メモ

* 改行マーク(↲)、上付き下付き文字などの編集マーク（上 下 添）やピクトサインマークを削除する場合も、文字の場合と同様に、削除するマークにカーソルを合わせ、（削除）を押します。

* Pマークを削除する場合は、以下のように確認画面が表示されます。

① 削除するPにカーソルを合わせ、（削除）を押します。

② 「はい」を選んで（実行）を押します。

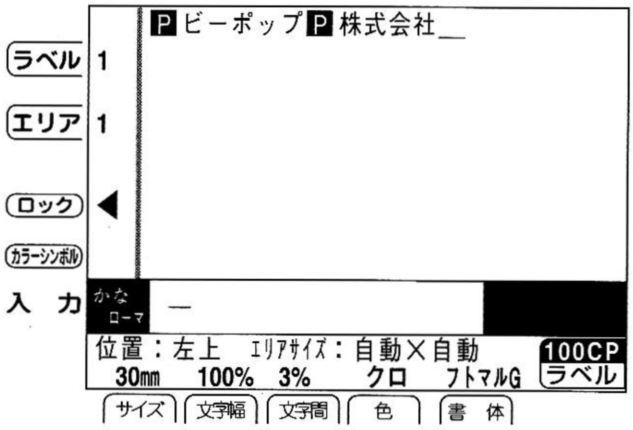
③ 削除したPの後ろにある文字は、直前のPに従って出力されます。

第7章 文字や改行マークなどを削除する

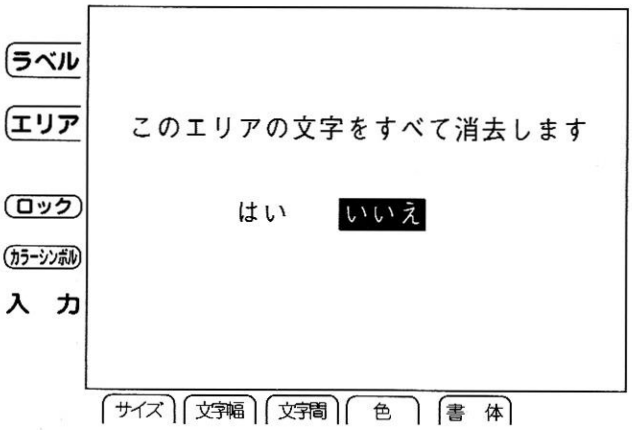
4.2 エリア内の文字すべてを消去する

表示しているエリアの文字とPマークすべてを一括して消去します。

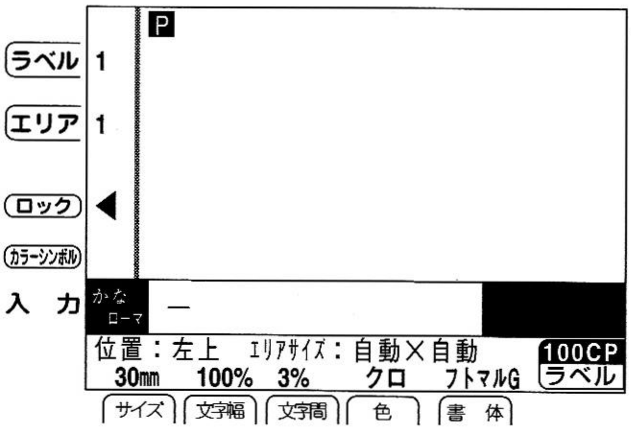
❶ 消去したいエリアにカーソルをあわせます。



❷ (クリア)を押します。



❸ (◀)を押して「はい」を選択後(実行)を押します。

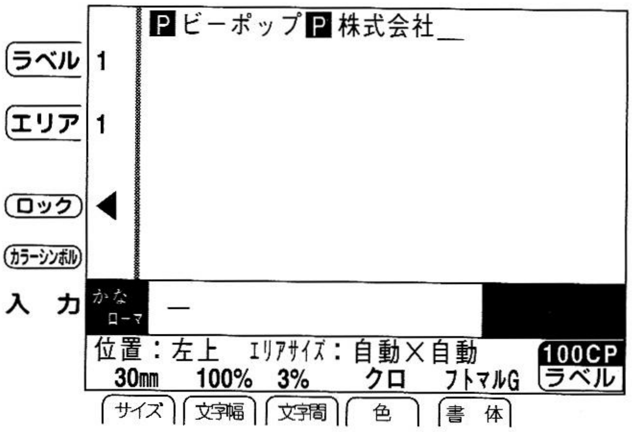


メモ　＊エリア先頭のPマークとその設定内容は消去されません。

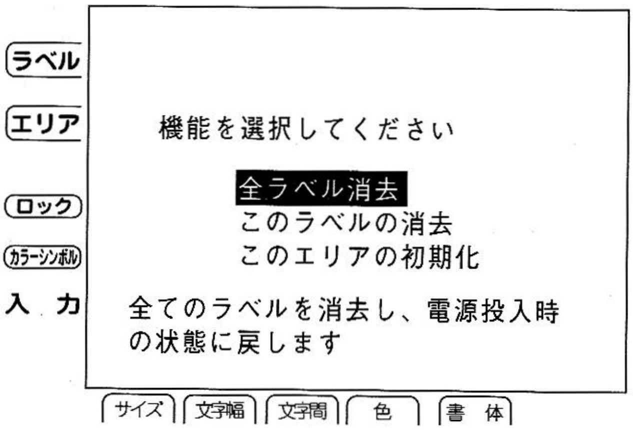
5. エリア内を初期化する

表示しているエリアを先頭のPマークも含めて初期化します。初期化後は、先頭のPマークの設定内容はセットアップ値になります。

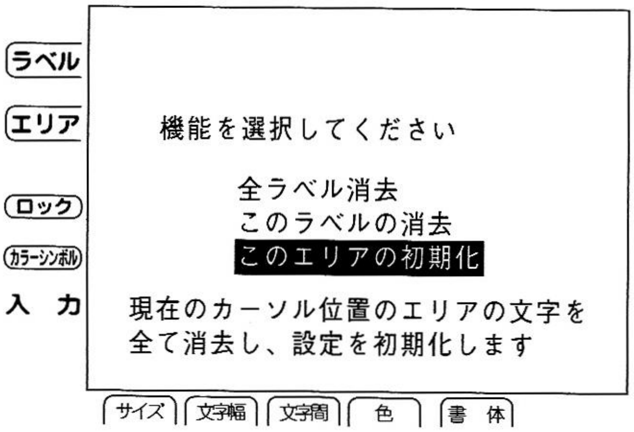
❶ 初期化したいエリアにカーソルをあわせます。



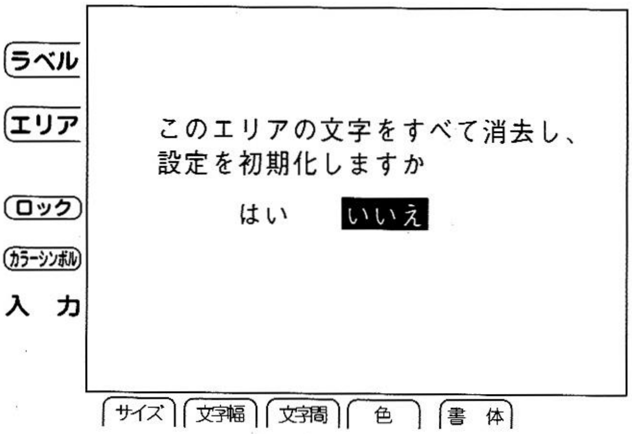
❷ （シフト）を押しながら（削除／全消去）を押します。
機能を説明するメッセージが画面下に表示されます。



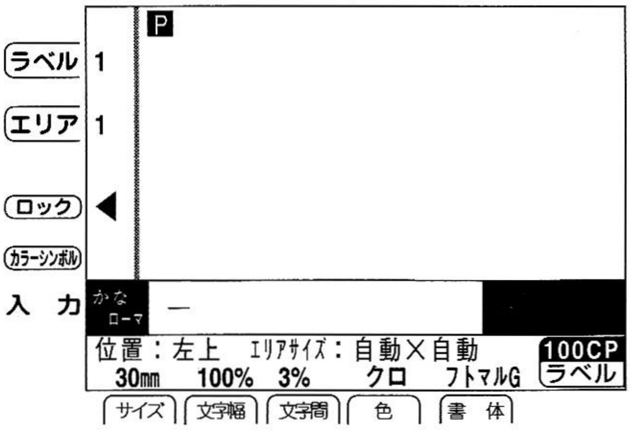
❸ （▼）を２回押して「このエリアの初期化」を選びます。
機能を説明するメッセージが画面下に表示されます。



❹ （実行）を押します。



5 ◀を押して「はい」を選択後 実行 を押します。



メモ　* エリア先頭のPマークの設定内容はセットアップ値になります。

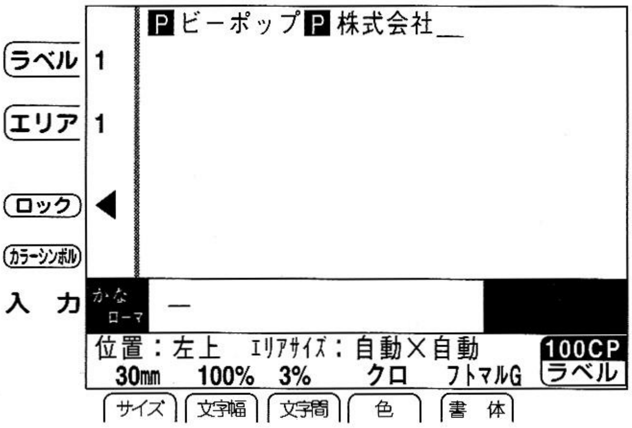
参照　* セットアップ値については、「第12章システムの基本設定」166ページを参照ください。

第7章
エリア内を初期化する

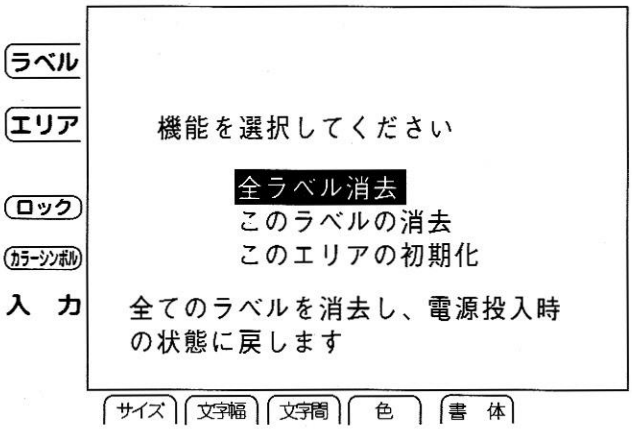
6. 表示しているラベルを削除する

表示しているラベルを削除します。数種類のラベルが入力されている場合は、次の番号のラベルが繰り上げて、表示されます。

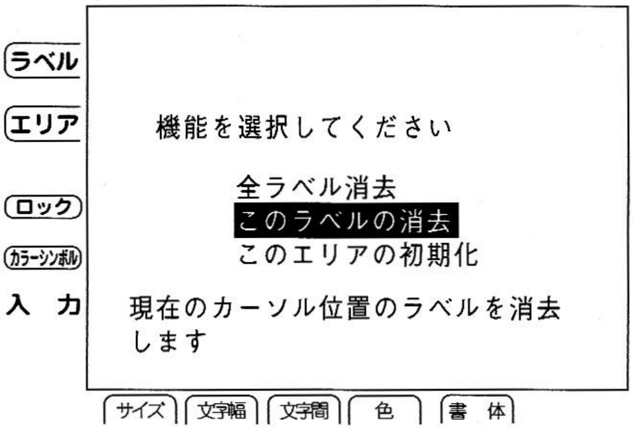
❶ **削除したいラベルのいずれかのエリアにカーソルをあわせます。**



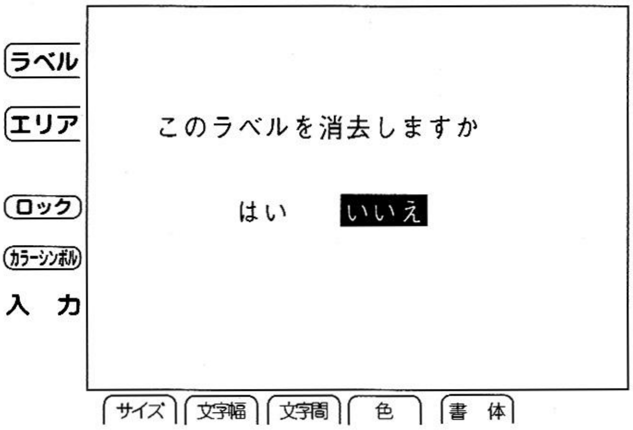
❷ **(シフト)を押しながら(削除 全消去)を押します。機能を説明するメッセージが画面下に表示されます。**



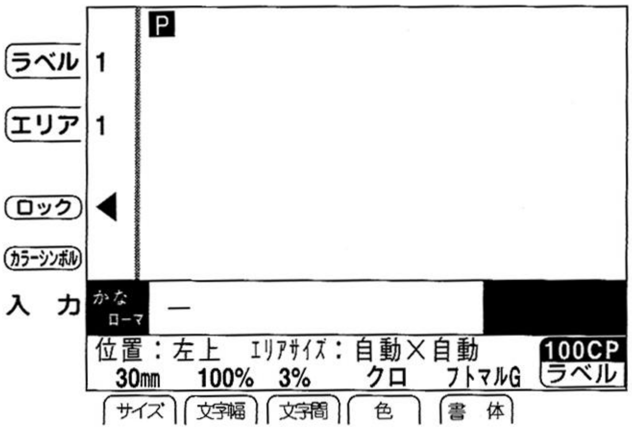
❸ **(▼)を押して「このラベルの消去」機能を説明するメッセージが画面下に表示されます。**



❹ **(実行)を押します。**



❺ ◂を押して「はい」を選択後 実行 を押します。



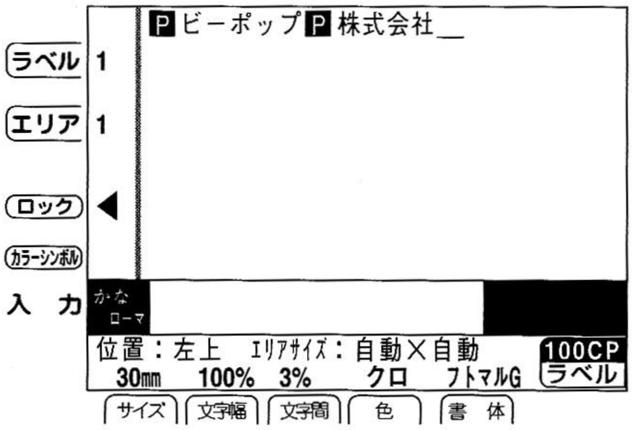
メモ　＊エリア先頭のPマークの設定内容はセットアップ値になります。

参照　＊セットアップ値については、「第１２章システムの基本設定」１６６ページを参照ください。

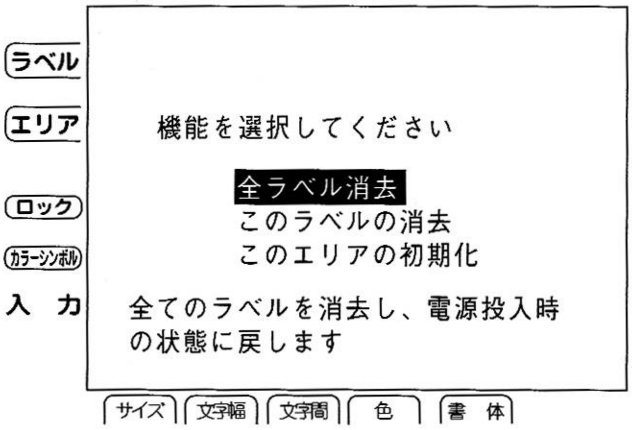
7. すべてのラベルを削除する

入力したラベル全てを削除します。数種類のラベルが入力されている場合は、全てのラベルが一括して削除され、電源投入時の状態となります。

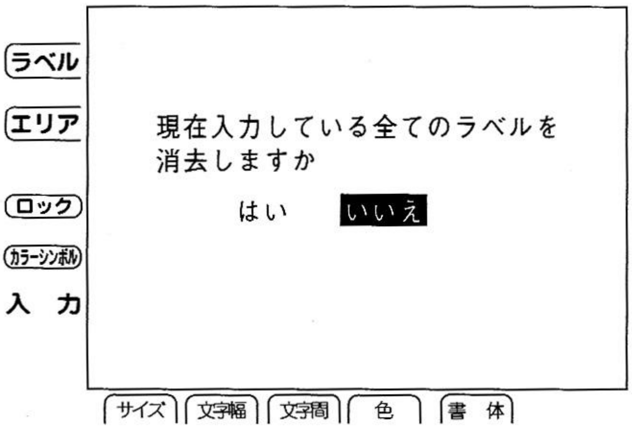
❶ カーソルはどの位置にあっても構いません。



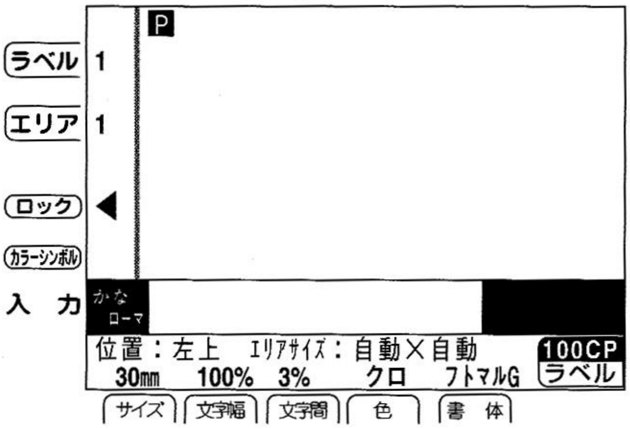
❷ （シフト）を押しながら（削除／全消去）を押します。
機能を説明するメッセージが画面下に表示されます。



❸ 「はい」を選び、（実行）を押します。



❹ 入力中のラベル全てが削除され、通常入力画面に戻ります。



メモ

* 複数ラベルの入力は、電源ONの間のみ記憶されています。電源OFFですべて削除されます。したがって、電源のOFF/ONでも上記操作と同じ結果が得られます。
* メモリ登録したラベルは記憶されています。（削除されません。）
* 先頭ラベルのPマークの設定内容はセットアップ値になります。

参照

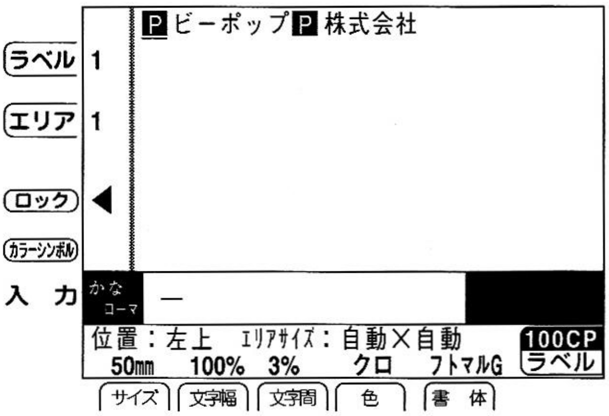
* セットアップ値については、「第12章システムの基本設定」166ページを参照ください。
* メモリ登録については、「第11章メモリの使いかた」150ページを参照ください。

第８章　設定したパラメータの一覧表示

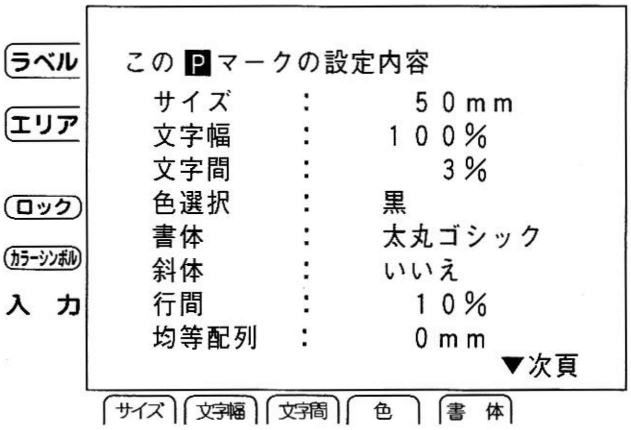
1. パラメーター覧表示のしかた

基本パラメータ（Pで設定する項目）やエリアパラメータ（エリア単位の設定項目）、枠囲みなどラベル単位で設定する項目の、現在の設定状況を一覧表示して確認します。

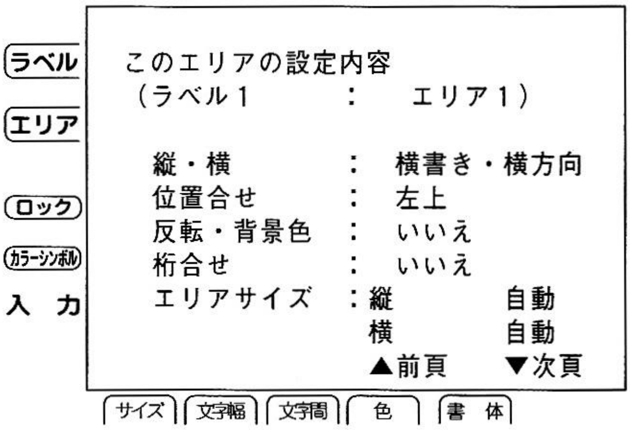
❶ 設定内容を確認したいPマークにカーソルを合わせます。



❷ （シフト）＋（イメージ P一覧）を押します。
カーソル位置のPの設定内容が表示されます。

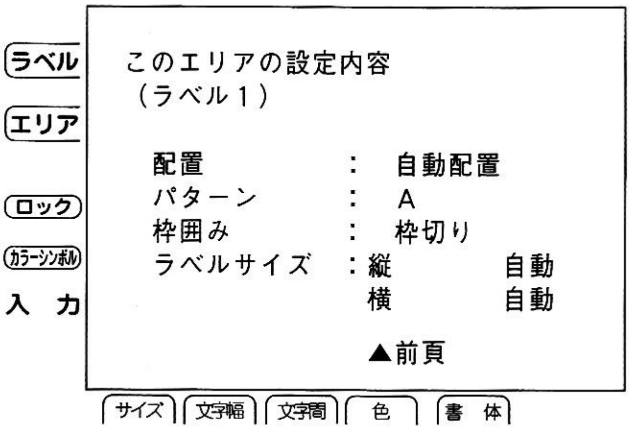


❸ （▼）を押します。
カーソル位置のエリア（表示していたエリア）の設定内容が一覧表示されます。



④ を押します。

カーソル位置のラベル（表示していたラベル）の設定内容が一覧表示されます。



⑤ 取消 を押すと イメージ P一覧 を押す前の通常入力画面に戻ります。

メモ

* P以外の位置にカーソルがある状態で、P一覧表示はできません。
* 表示される内容は設定されている状況によって変わりますので、上記と全く同じ画面が表示されるとは限りません。
* それぞれの画面では、個々の設定内容を変更することができます。

　例．・手順②の「このPマークの設定内容」一覧表示で、サイズ△を押すとこのPマークのサイズを変更することができます。

　　・Pマークの設定内容一覧にある項目は、その設定キーを押すことで設定値を変更できます。

* 「このエリアの設定内容」一覧表示では、エリアの設定の各設定キーを押すとそれぞれの設定値を変更できます。
* 「このラベルの設定内容」一覧表示では、配置/選択 枠囲み パターン を押すことで、それぞれの設定値を変 更できます。ただし、ここではパターン自体の種類を変えることはできません。

参照

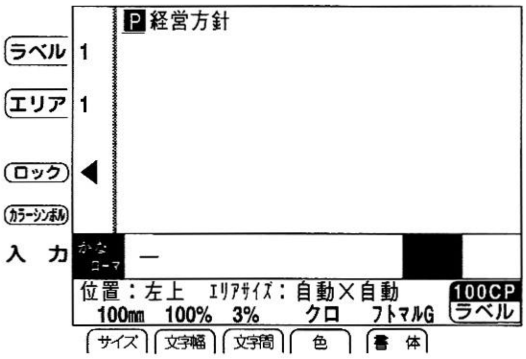
* それぞれの画面での個々の設定項目については、次の章を参照ください。
* 「この Pマークの設定内容」に関わる項目は、「基本パラメータ」56ページを参照ください。
* 「このエリアの設定内容」に関わる項目は、「第６章エリア単位のパラメータ設定」98を参照ください。
* 「このラベルの設定内容」に関わる項目は、「第５章パターンでレイアウトする」84ページ、「第４章ラベル単位の設定」80ページ、「第９章便利な特殊機能 8. ラベルの配置方法を変える」144ページを参照ください。

2. パラメータを初期化する

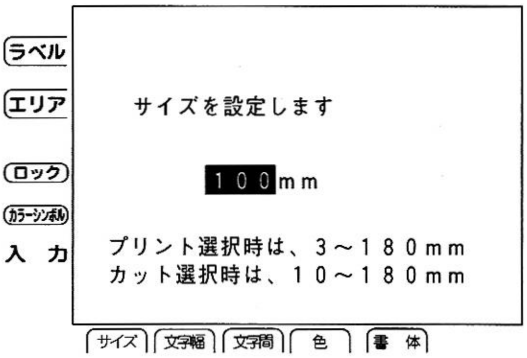
設定したパラメータを初期値（セットアップ値）に戻す方法は、どの設定画面でも同じ操作です。代表的な例を次に示します。

2.1　設定値が１つだけの場合（例．文字サイズの設定）

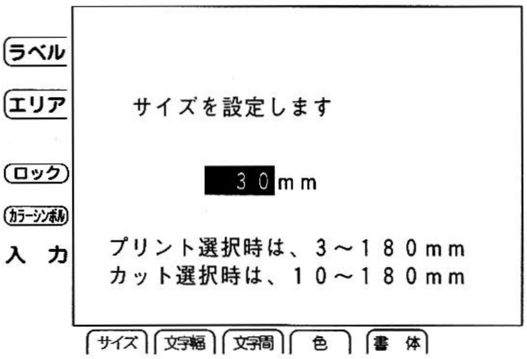
❶ 右のように入力されている場合。
先頭のPマークにカーソルを合わせます。



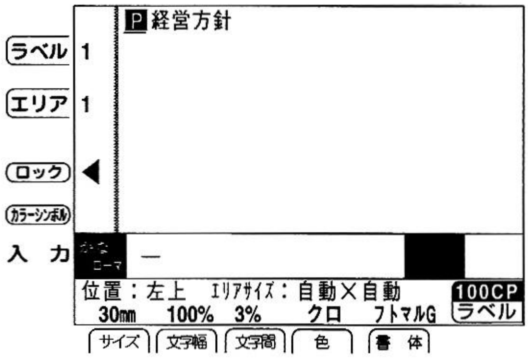
❷ サイズ △ を押します。



❸ クリア を押します。
値が初期（セットアップ値）値に戻ります。



❹ 実　行 を押して設定します。



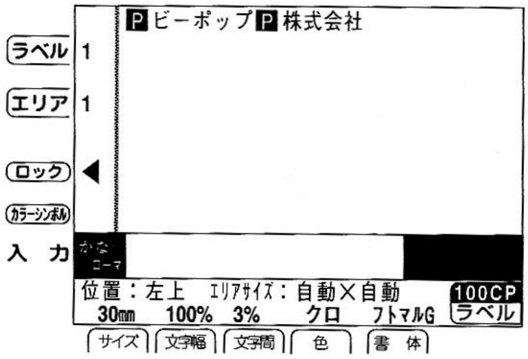
メモ　＊セットアップ機能で電源投入時の初期値を変更している場合は、この初期化で変更したセットアップ値に戻ります。

参照　＊初期値（セットアップ値）については、「第１２章システムの基本設定」166ページを参照ください。

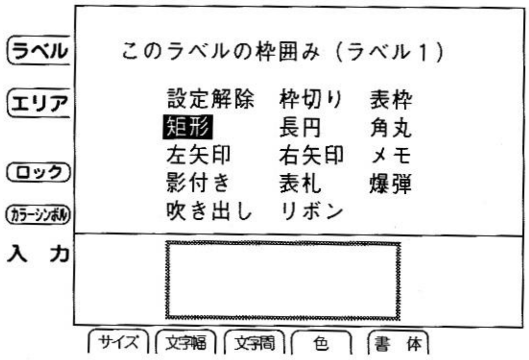
2.2　設定値が２個以上ある画面の場合（例．枠囲みの設定）

2.2.1　枠線の選びかた

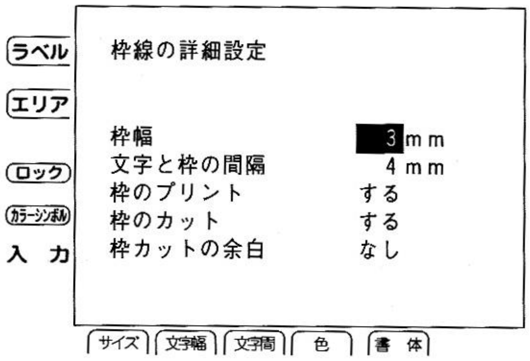
❶ 枠囲みを設定するラベルのどこかにカーソルをあわせます。



❷ 枠囲み を押します。

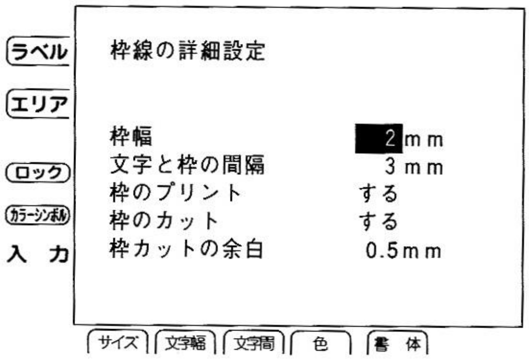


❸ 実　行 を押します。
右のように設定していたとします。



❹ シフト を押しながら クリア を押します。
すべての設定項目が初期化されます。

・このとき、クリア だけを押すと反転表示している設定項目のみが初期値に戻ります。



❺ 実　行 を押します。通常入力画面に戻ります。

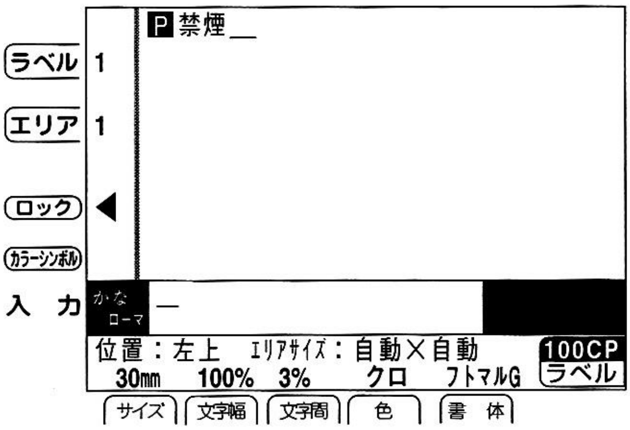
第９章　便利な特殊機能

1. 連続・連番で出力する

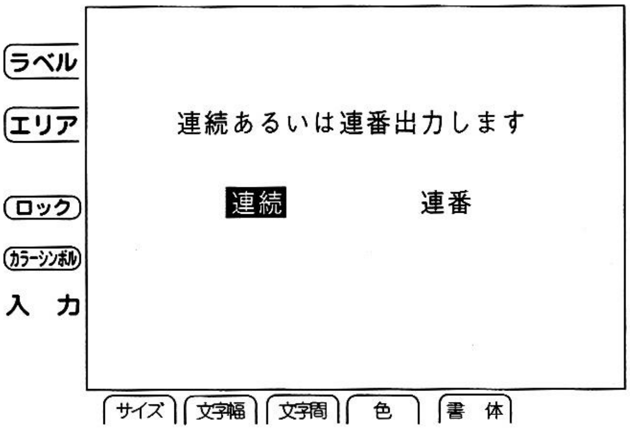
1.1 連続して指定枚数を出力する

同じラベルを指定枚数だけ連続して出力します。同じものが何枚も欲しいときに便利な機能です。

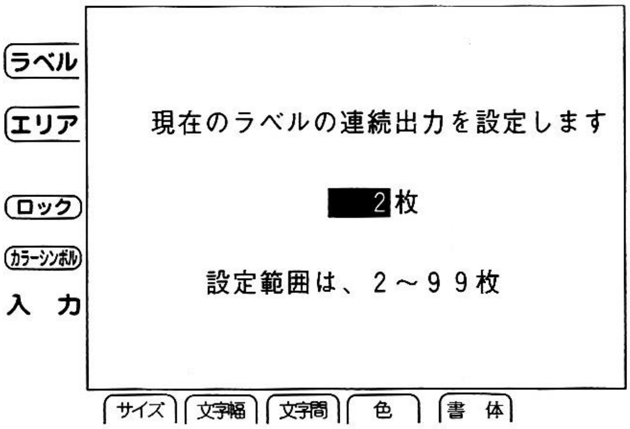
❶ 文字を入力します。



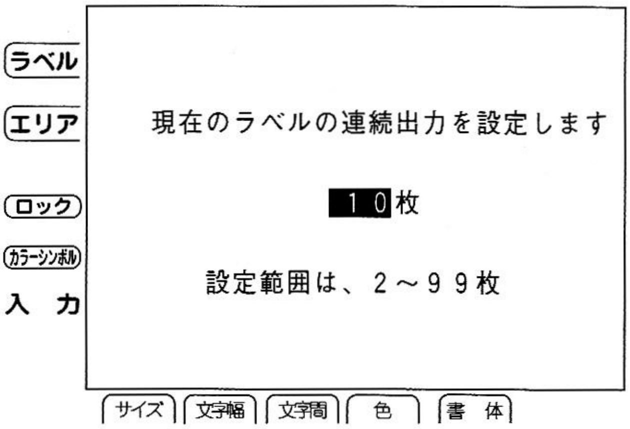
❷ （連続/連番 L配置）を押します。



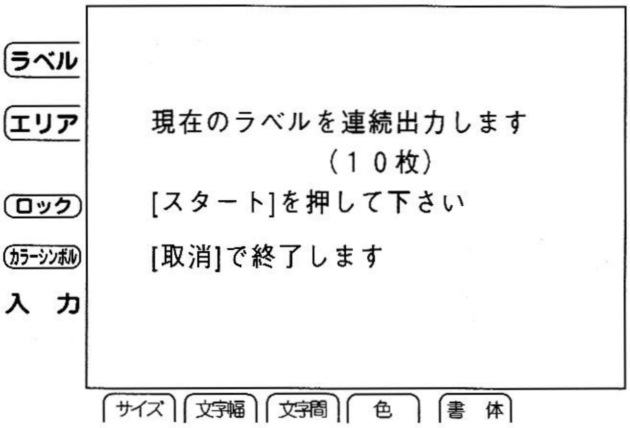
❸ 「連続」選んで、（実　行）を押します。



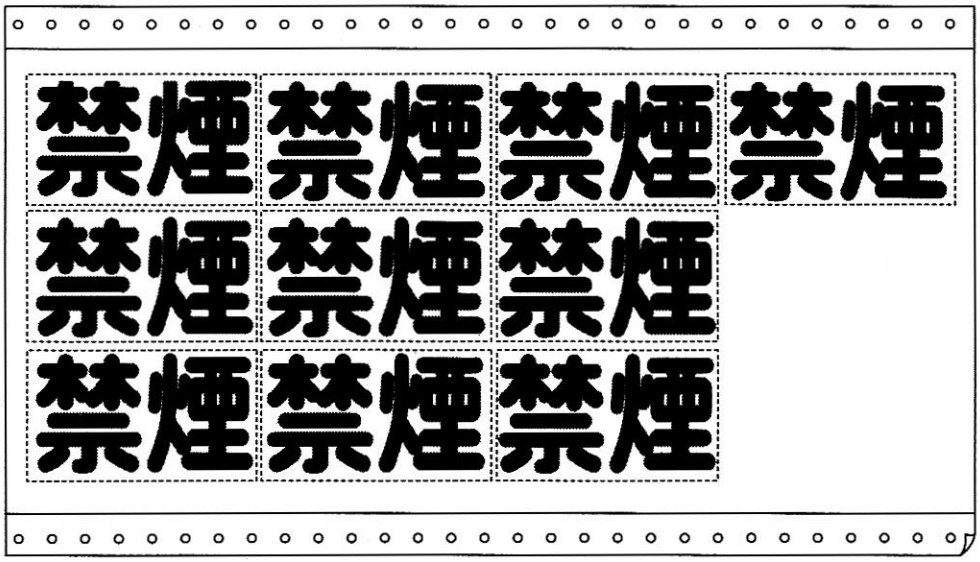
❹ 数値キーで必要な枚数を入力します。
ここでは[1][0]と入力しました。
・(◂)(▸)を押しても、設定できます。



❺ (実　行)押下。



❻ (スタート)を押すと次のように出力します。



❼ 出力後、通常入力画面に戻ります。

メモ　＊マルチカラーリボンを使用して、カラーで連続プリントすると色のつなぎ目に黒っぽいスジが入ります。

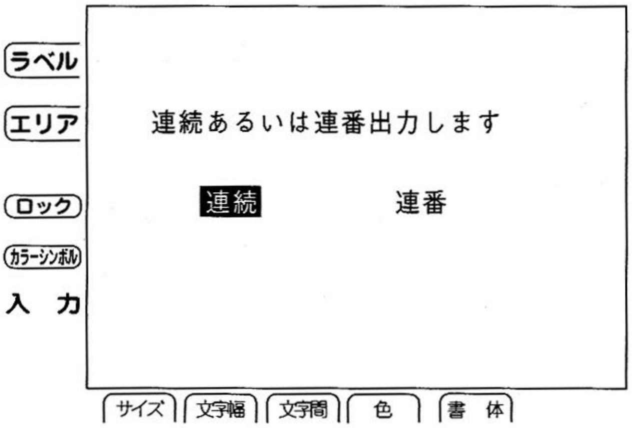
第９章　連続・連番で出力する

1.2 連番で出力する

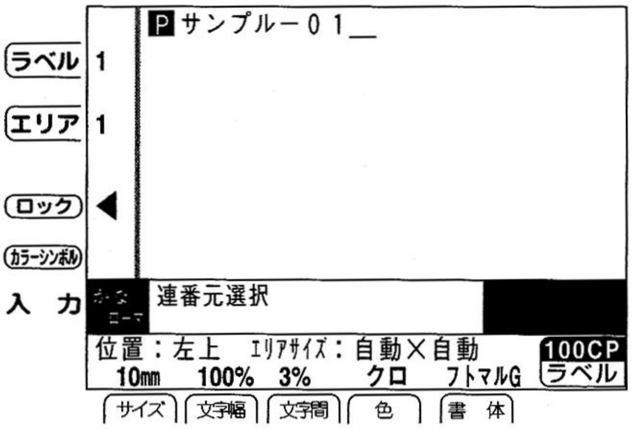
ラベルに入力した文字のうち、英数字の部分１ヶ所を指定して、その部分をナンバリングのように数字やアルファベットを１ずつ増やして出力します。

❶ 文字を入力します。

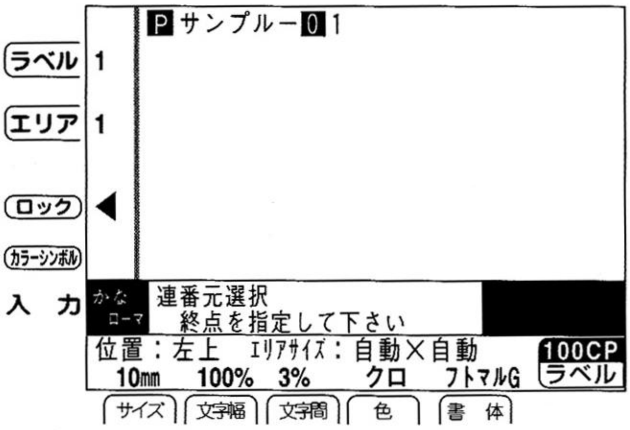
❷ (連続/連番)を押します。



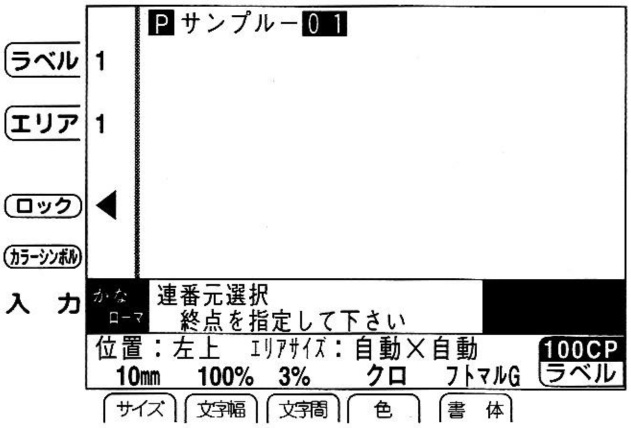
❸ (▸)を押し、「連番」を選んで(実行)を押します。



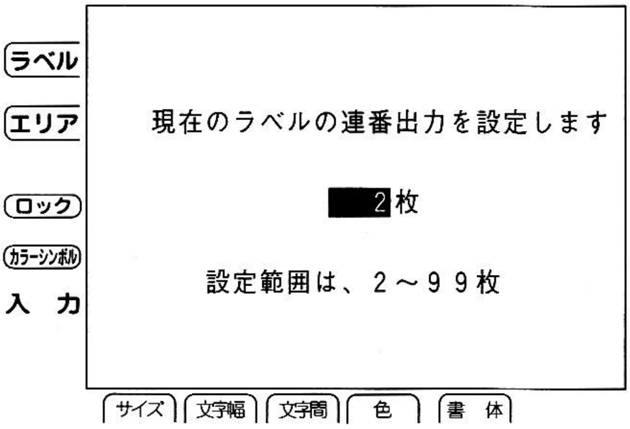
❹ 連番にしたい個所の先頭にカーソルを合わせ、(実行)を押します。



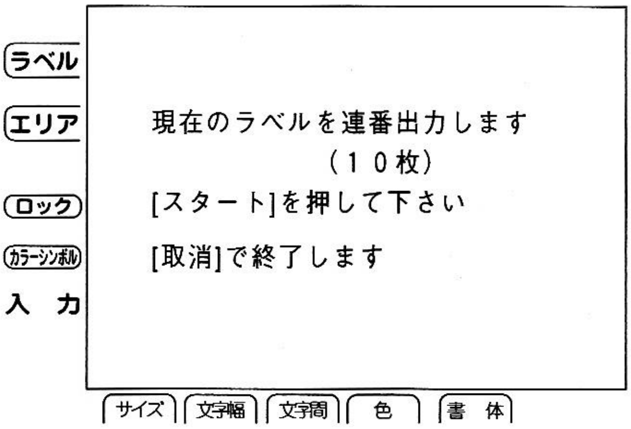
5. 連番にする範囲をカーソルで選びます。選んだ範囲が反転表示になります。



6. 範囲を指定したら（実　行）を押します。



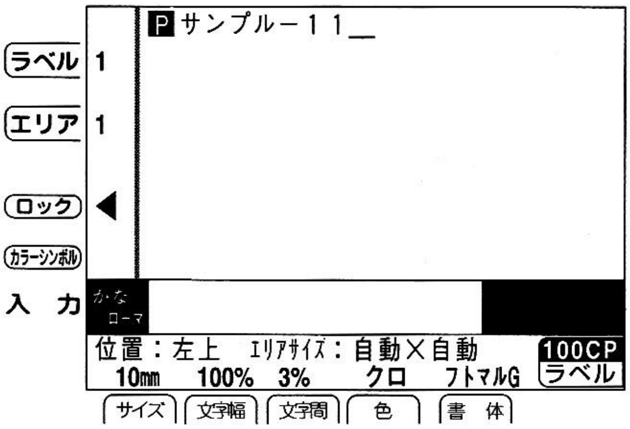
7. 枚数を数値キーで設定し、（実　行）を押します。



8. （スタート）を押します。

出力を開始します。

9. 出力が終わると通常入力画面に戻ります。このとき、連番を指定した個所はカウントアップ後の値に入れ替わっています。



メモ

*連番が指定できるのは、１個所のみです。
*設定できる範囲は、連続した３桁までのアラビア数字、またはアルファベット１文字です。
*桁上がりなどでラベルサイズに納まりきらなくなった場合は、その時点で出力を中止します。
*連番のカウントアップの様式は、次のようになっています。
① 数字のみの場合　：　1→2→…→9→10→11→…→99→100→…
② 範囲の先頭に０がある場合　：　01→02→…→09→10→11→…→99→00→01→…
③ アルファベット大文字を指定した場合　：　A→B→…→Z→A→…
④ アルファベット小文字を指定した場合　：　a→b→c→…→z→a→…
*連番はメモリ登録できません。

2. 縁取り文字を出力する

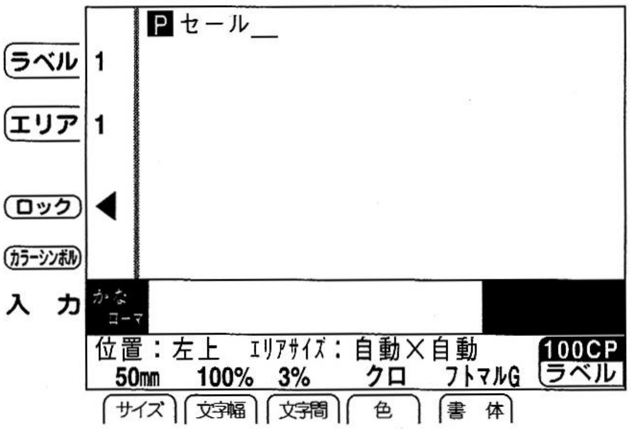
ウィンドウに貼った場合、昼間と夜間では明るさの差で、文字が見やすくなったり見にくくなったりします。縁取り文字を使うと、こうした現象を防ぎ、昼夜問わず見やすいウィンドウポップが作成できます。
本機では、文字をプリントして縁取り部分をカットする方法と、文字部分と縁取り部分を異なるシートにカットする方法の２種類ができます。

2.1 ラベル出力の場合

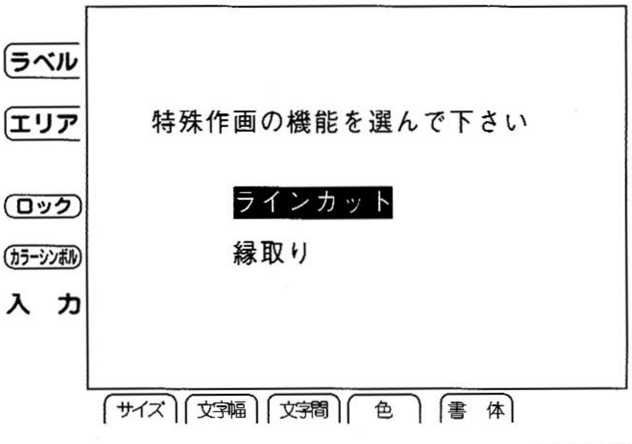
ラベル出力では、下図のように文字部分をプリントし、縁取り部分をカッティングします。ウィンドウには弱粘着アプリケーションシートで移しとって貼って下さい。
縁取りは、１エリアのみのパターンＡで１行入力の場合のみ有効です。

ラベルサンプル

❶ **画面右下に「100CP/ﾗﾍﾞﾙ」が選択されていることを確認し、文字を入力します。**



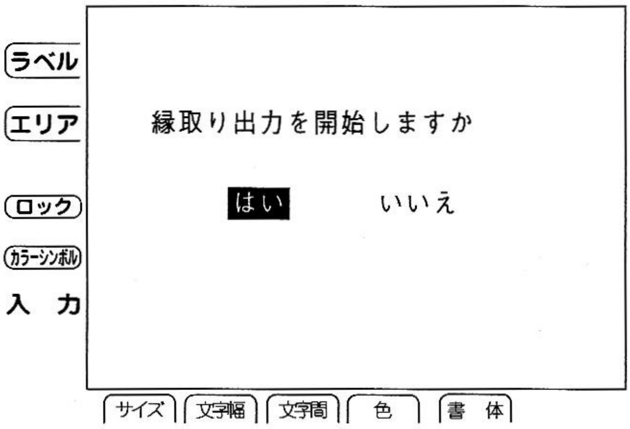
❷ (特殊作画)を押します。



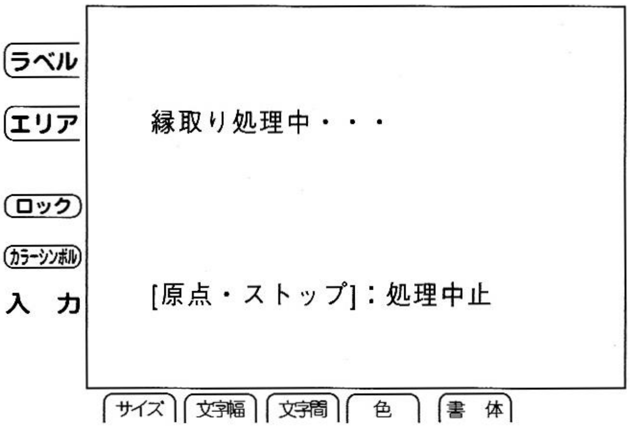
3 ▼を押して「縁取り」を選び、実行を押します。

4 縁取りの幅を▶◀で選び、実行を押します。

- 縁取りの幅で、文字の周囲に何mmの縁を設けるかを設定します。
- 「いいえ」を選んで実行を押すと通常入力画面に戻ります。



5 「はい」を選び、実行を押します。
出力を開始します。
（この画面は表示されない場合もあります。）



6 プリント後、縁取り部をカッティングし通常入力画面に戻ります。

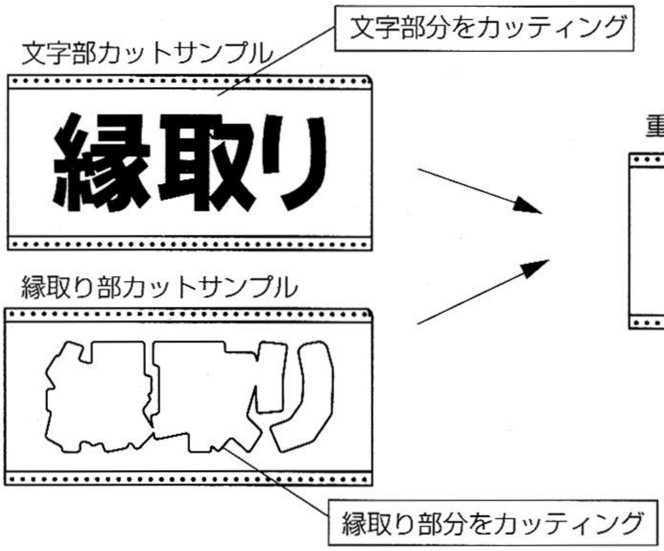
❼ 出力結果
文字をプリント後、縁取り部を同じ位置でカットします。

ラベルサンプル

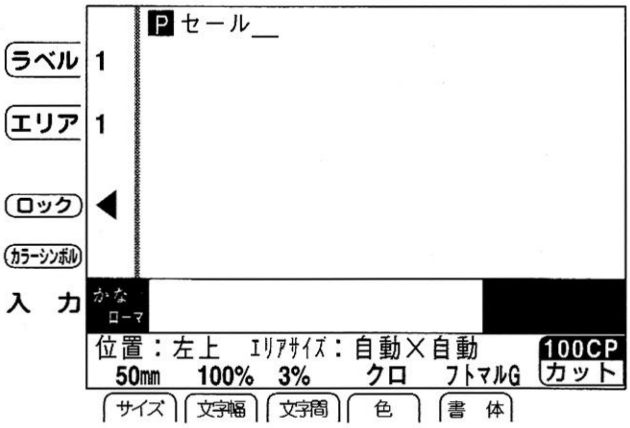
メモ
* 縁取りでラベル出力できる最大サイズは、縁取り部のサイズが 10cm × 90cm までです。
* 分割出力、連続・連番出力やミラー（鏡像）出力はできません。
* ラベル配置は、「よこ」で出力されます。

2.2 カッティング出力の場合

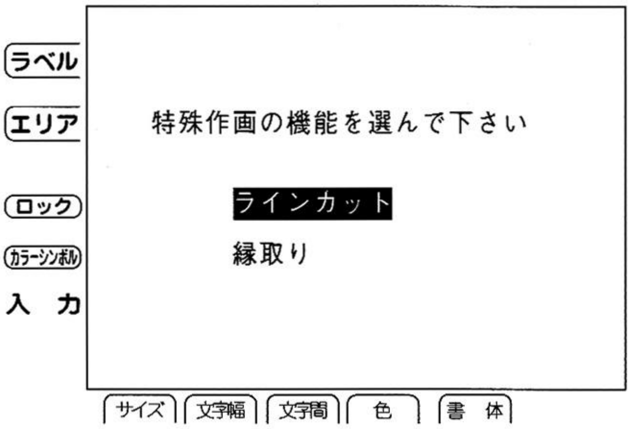
カッティング出力では、下図のように文字部分と縁取り部分を異なるシートにカッティングします。ウィンドウにはアプリケーションシートで移しとって貼って下さい。
以下はLC-100CPを接続した場合の例ですが、LC-100C/200Cで出力することもできます。
縁取りは、１エリアのみのパターンＡで１行入力の場合のみ有効です。



１ 画面右下に「100CP/カット」が選択されていることを確認し、文字を入力します。

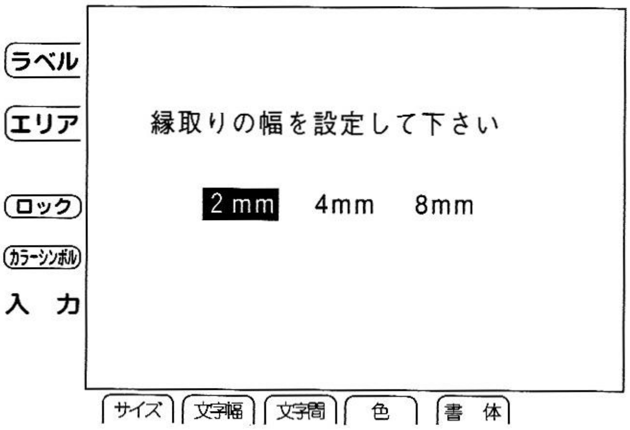


２ （特殊作画）を押します。



第9章 縁取り文字を出力する

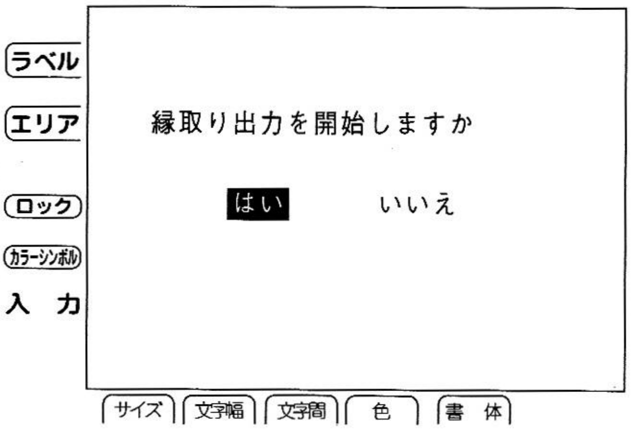
❸ [▼]を押して「縁取り」を選び、[実 行]を押します。



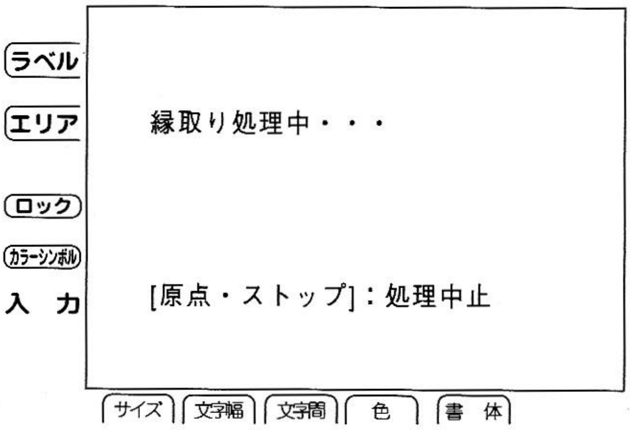
❹ 縁取りの幅を[▶][◀]で選び、[実 行]を押します。

・縁取りの幅で、文字の周囲に何mmの縁を設けるかを設定します。

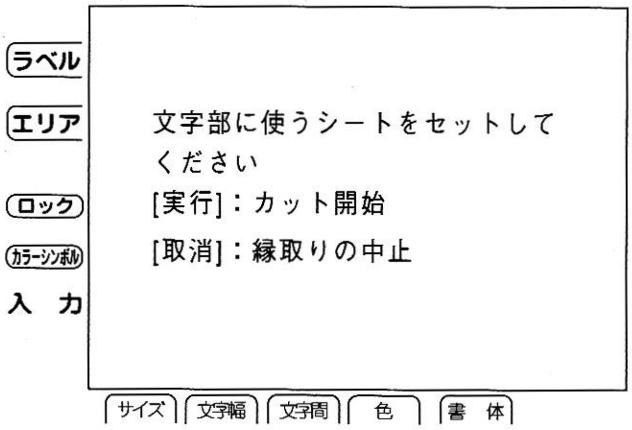
・「いいえ」を選んで[実 行]を押すと通常入力画面に戻ります。



❺ 「はい」を選び、[実 行]を押します。
出力を開始します。
（この画面は表示されない場合もあります。）



❻ 文字部に使うシートをセットします。



7 （実行）を押します。
文字部のカットを開始します。
・（取消）を押すと処理を中止し通常入力画面に戻ります。

画面表示
文字部カット中・・・
[原点／ストップ]：カットの中止

8 文字部カット終了後、右の画面が表示されます。

（ハサミ）を押して、文字部をカットします。

画面表示
[ハサミ]を押して文字部をカットしてください 次に縁取り部（下地）に使うシートをセットしてください ※注意　現在のカッターの位置からカットを開始しますのでシートは必ずカッターの位置まで[移動]で送ってください [実行]：カット開始 [取消]：縁取りの中止

9 縁取り部のシートに入れ替えます。
切り始めの位置にカッティングヘッドが合うように（移動）を押しながら（◀）などの矢印キーを押して位置を合わせます。

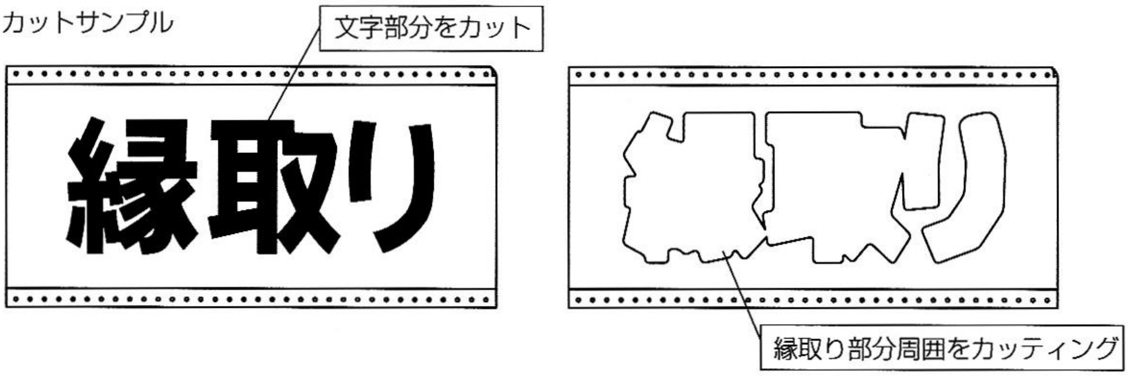
メモ　＊シートをカッティングヘッドの下まで必ず送ってください。

10 準備ができたら（実行）を押します。
縁取り部分のカットを開始します。

画面表示
縁取り部（下地）カット中・・・
[原点・ストップ]：カット中止

⓫ 出力終了後、通常入力画面に戻ります。

カットサンプル



⓬ それぞれを別のアプリケーションシートに移し、ウィンドウなどに縁取り部→文字部の順に表から貼ります。

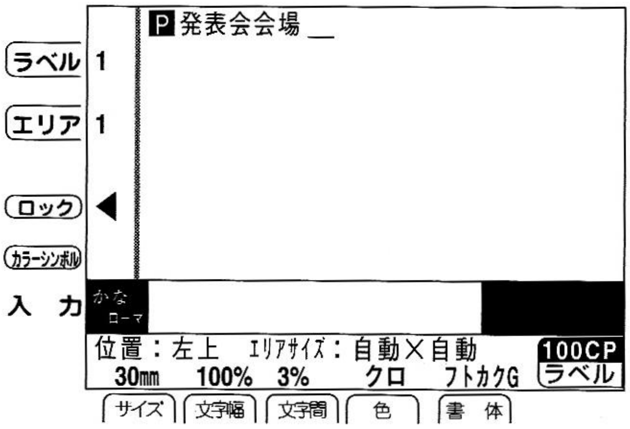
メモ

* 縁取りでカット出力できる最大サイズは、
  - ① LC-100CP/100C の場合　：　縁取り部のサイズが 10cm × 90cm まで
  - ② LC-200C の場合　：　縁取り部のサイズが 20cm × 90cm まで、です。
* 分割出力、連続・連番出力やミラー（鏡像）出力はできません。
* LC-100C/200C を選択している場合、手順❽で、画面のメッセージが若干異なります。画面のメッセージに従ってシートを交換し、カッティングヘッドの下まで、シートを送って下さい。
* ラベル配置は、「よこ」で出力されます。

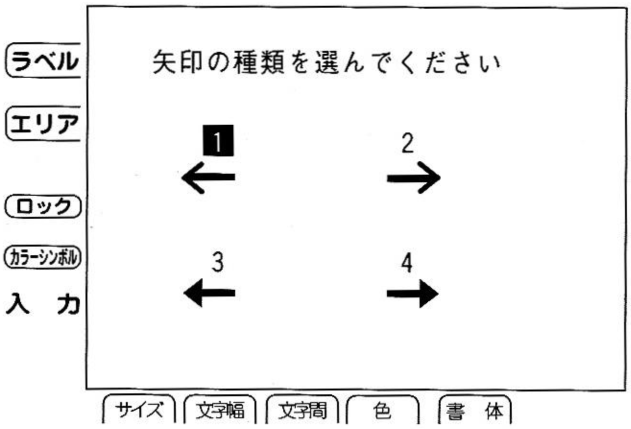
3. 文字の長さに合わせて矢印をつける

誘導表示用の矢印のついたサインを作ります。この機能を使うと入力した文章の長さに応じた矢印が文字の上側（縦書き時は右側）に自動的に作画されます。
この矢印と文字機能は、１エリアのみのパターンＡ（自動サイズ）の場合のみ有効です。
以下は、LC100CPでラベル出力を選択している場合です。

❶ １エリアのみのパターンＡで文字を入力します。

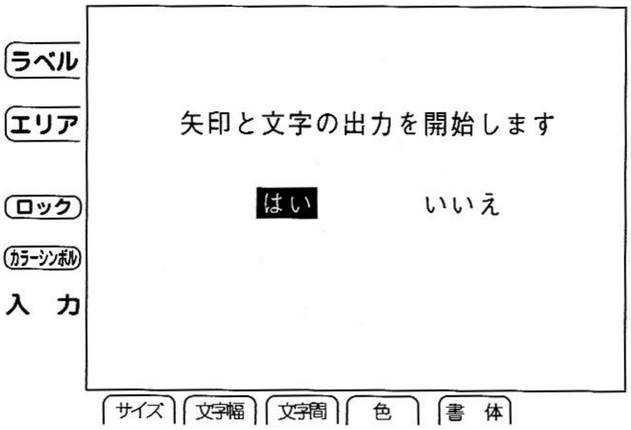


❷ （矢印・文字 ミラー）を押します。



❸ 矢印の種類、向きを選び、（実行）を押します。

・「いいえ」選択し、（実行）を押すと処理を中止し通常入力画面に戻ります。



❹ 「はい」が選択されていることを確認し、（実行）を押します。
出力を開始します。

・「いいえ」選択し、（実行）を押すと処理を中止し通常入力画面に戻ります。

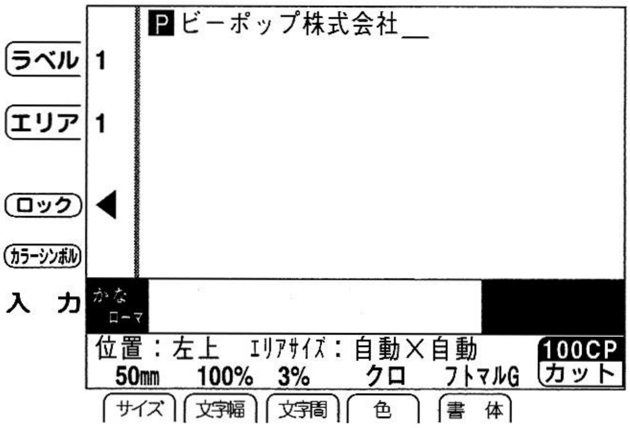
❺ 右図のように出力し、通常入力画面に戻ります

メモ
* ラベル／プリント／カットのいすれでも出力できます。
* 枠囲みの設定は無視して出力します。
* LC-100CP/100C で出力する場合、設定できる文字サイズは 30mm 程度までです。
* LC-200C で出力する場合、設定できる文字サイズは 60mm 程度までです。
* 矢印をカラーで印刷する場合は、先頭のPで色を設定して下さい。（マルチカラーリボン使用時等）

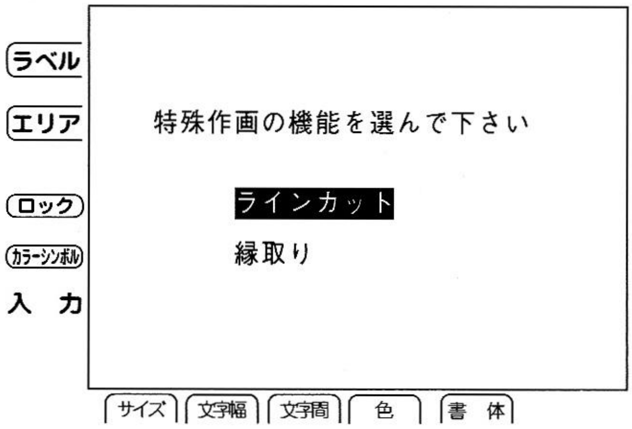
4. 必要な長さ・幅でラインカット

カッティング出力を選択している場合のみ、ラインだけをカットすることができます。表組などを看板に作成するときなど便利です。
このラインカット機能では、ラインの幅、長さ、本数を指定して出力します。
なお、文字などと合わせて出力することはできません。

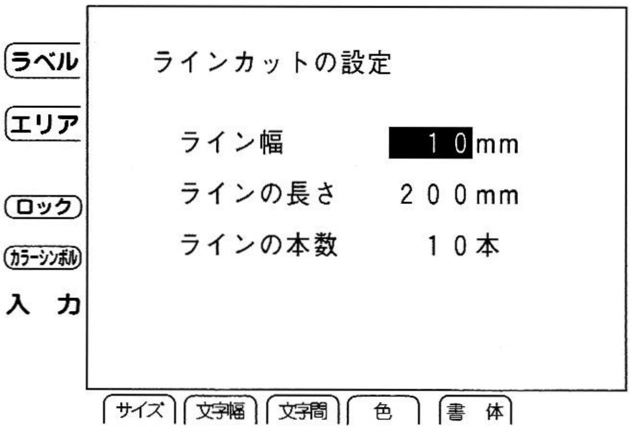
❶ （◐）を押して、「100CP／カット」を選択します。



❷ （特殊作画）を押します。

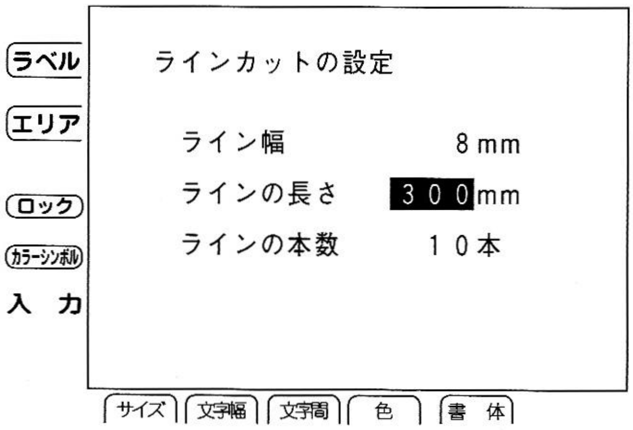


❸ 「ラインカット」が選択されていることを確認し、（実　行）を押します。



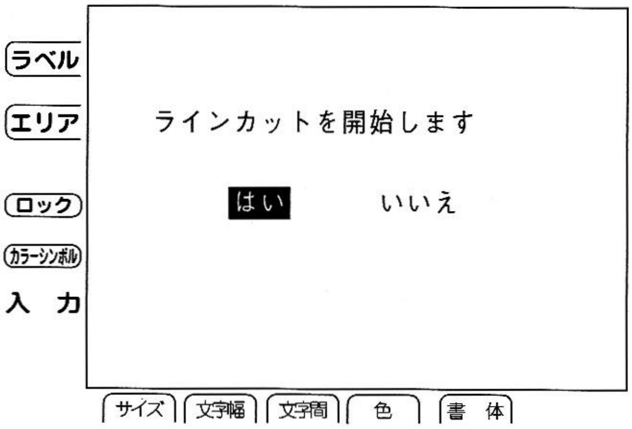
❹ ライン幅を数値キーまたは◀▶で設定し、▼を押します。

・例.「8」を押して▼を押します。

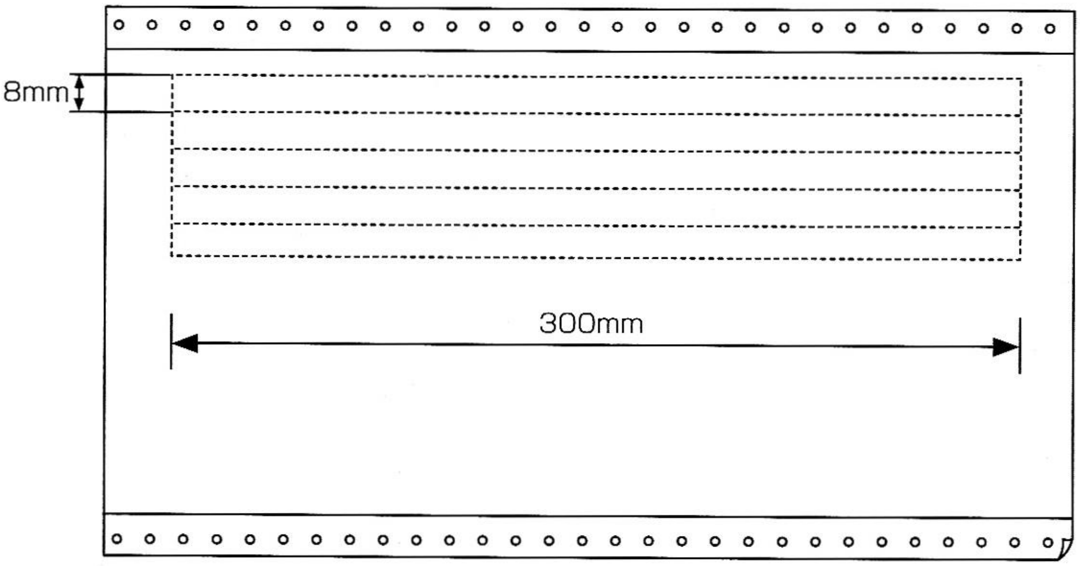


❺ ライン長さ、ラインの本数も同様に入力します。

すべての項目の設定が終了したら［実　行］を押します。



❻「はい」が選択されていることを確認して、[実行]を押します。
右図のように出力されます。
・8mm × 300mm × 5 本の場合。

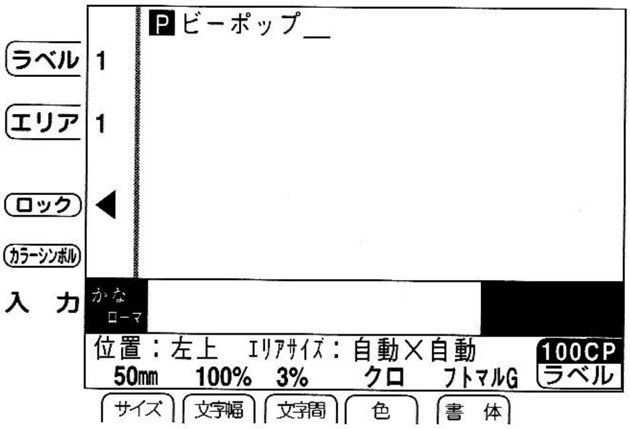


メモ
*［特殊作画］を押す前に入力していたラベルには関係なく出力されます。入力していた内容は、そのまま残っています。
*ラインカットのそれぞれの項目は以下の範囲で設定可能です。
① ライン幅　：　2～99mm
② ライン長さ：　50～2000mm／LC-100C または LC-100CP 選択時。～4000mm／LC-200C 選択時。
③ ライン本数：　1～99本
*ラインは格子状にカットされます。そのため、上下左右方向に 1mm 程度余分にカットします。

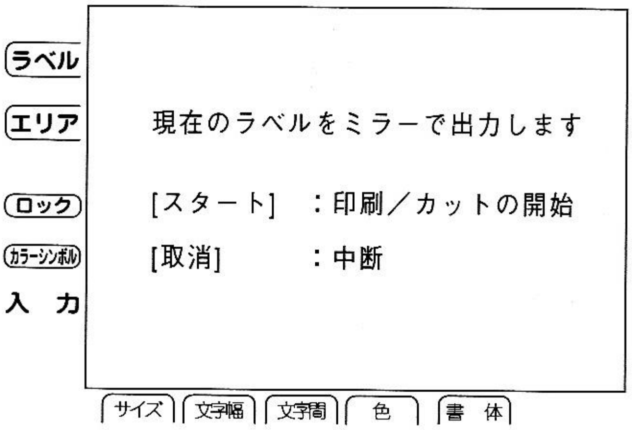
5. ミラー（鏡像）で出力する

カッティング文字をウィンドウの内側から外に向けて貼る場合、あるいは、透明シートにプリントやラベル出力し、ガラス面に内側から外に向けて貼る場合などに使用します。
表示されているラベルだけをミラーにして出力します。

❶ 文字を入力します。

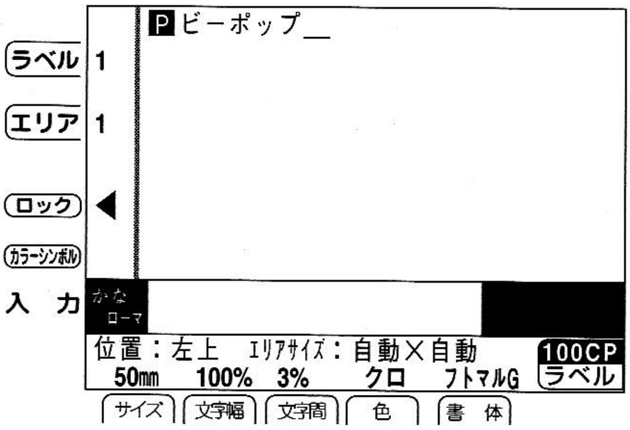


❷ （シフト）を押しながら（矢印・文字 ミラー）を押します。



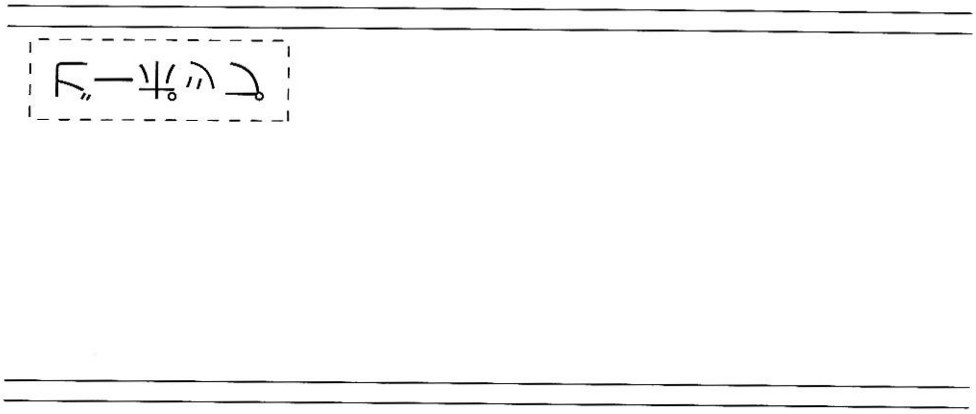
❸ （スタート）を押すと、出力を開始します。

・（取　消）を押すと処理を中断し通常入力画面に戻ります。

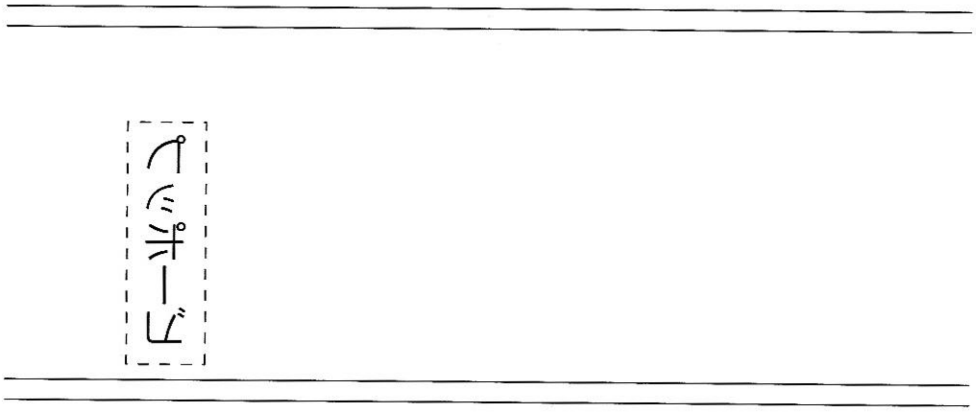


4 右図のように出力します。（カッティングヘッドが原点にある場合）

・L配置が「よこ」の場合



・L配置が「たて」の場合

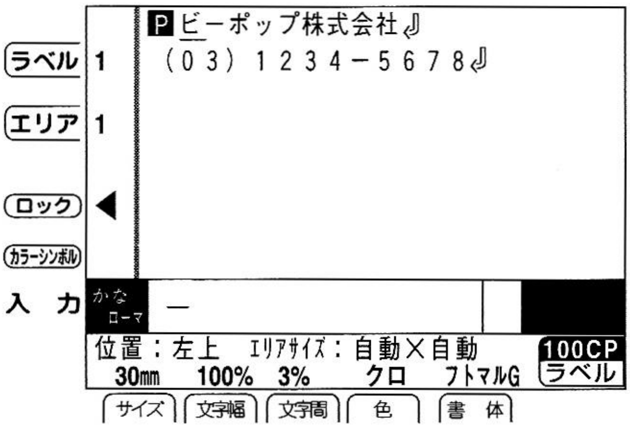


メモ　＊縁取り、連続・連番出力との併用はできません。

6. コピー機能

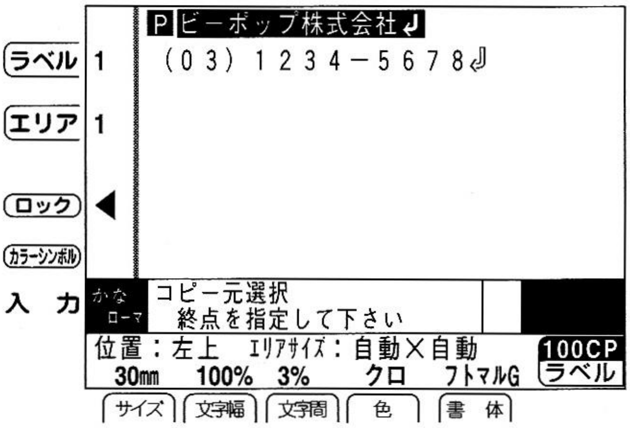
入力した文字を他のエリアやラベルにコピー（複写）します。

❶ コピーしたい文章や語句の先頭もしくは末尾にカーソルを合わせます。

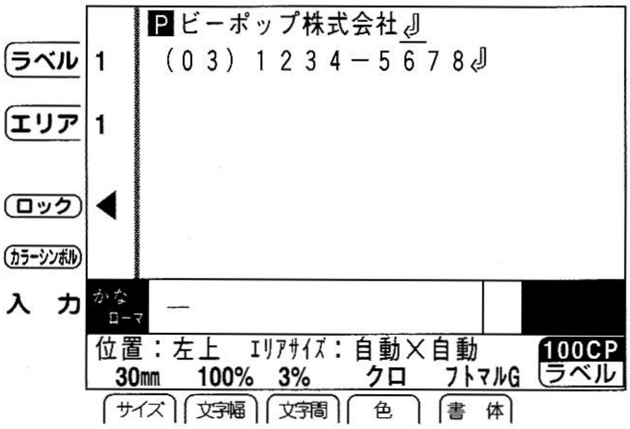


❷ （シフト）を押しながら（9 ^）［コピー］を押します。
カーソル位置が反転表示変わり、画面下のよみ入力部にガイドメッセージが表示されます。

❸ （▸）（◂）を押し、コピーする範囲を選択します。選択範囲は反転表示になります。
・（取消）押すと通常入力画面にに戻る。



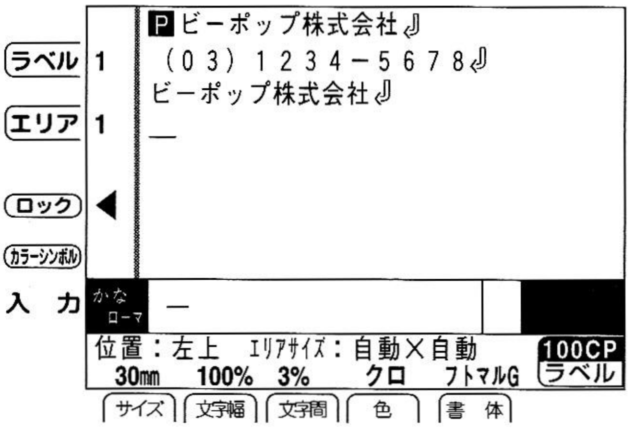
❹ （実行）を押します。
通常入力画面に戻ります。



第９章
コピー機能

❺ コピー先へカーソルを合わせます。

❻ (シフト)＋(0 ほ)[貼付け]を押すとコピーで一時記憶していた文字が張り付けられます。

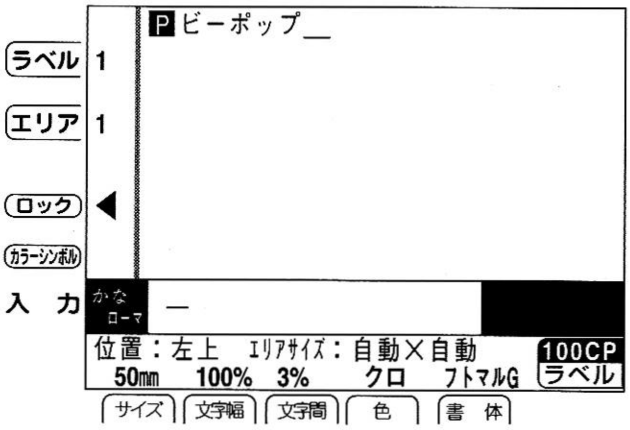


メモ
* 一度コピーした文字は、次にコピー機能で異なる文字を記憶したり、電源を切らない限り、何度でも貼り付けることができます。
* 改行マークを含むことはできますが、Pをコピー元範囲に含めることはできません。
* 一度にコピーできる文字数は最大20文字（↲含む）までです。

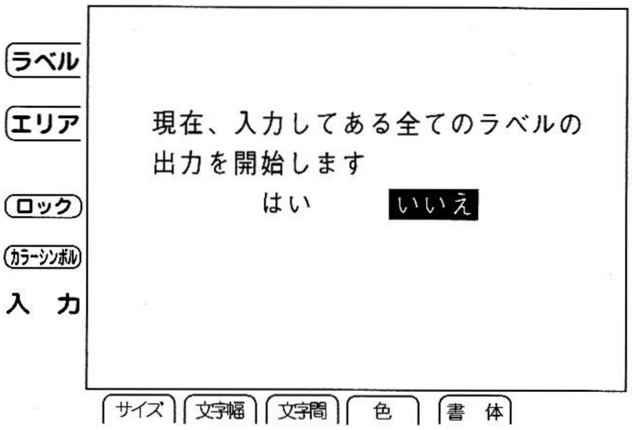
7. 入力中のすべてのラベルを一括出力する

本機では異なる入力内容のラベルを一度に９種類（ラベル１～９）まで入力できます。また、入力したすべてのラベルを一度に出力することもできます。

❶ 複数のラベルの入力をします。



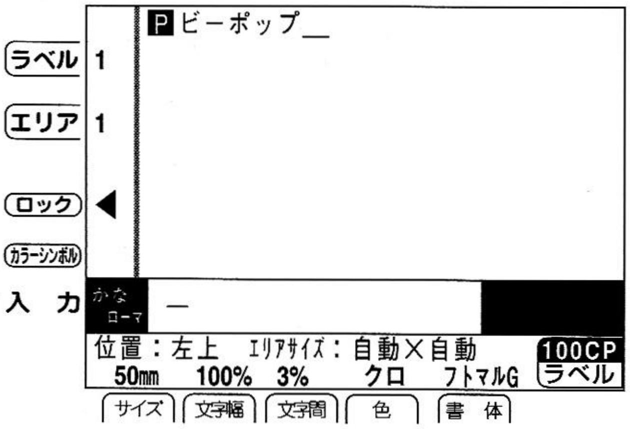
❷ （シフト）を押しながら（スタート）を押します。



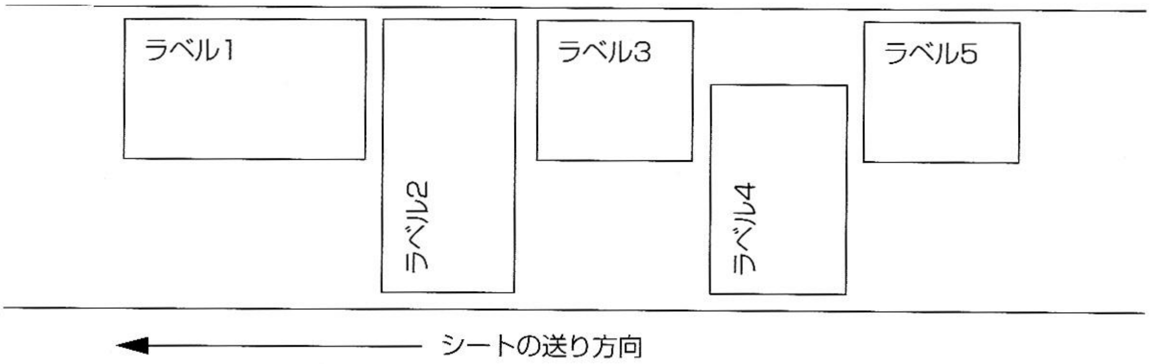
❸ （◀）を押して「はい」を選び、（実 行）を押すと出力を開始します。

・（取 消）を押すか、「いいえ」を選んで（実 行）を押すと処理を中断し通常入力画面に戻ります。

出力後、通常入力画面に戻ります。



メモ　* 出力される順番は、例えば、次のようになります。（すべてのラベルの配置方法が自動 の場合）



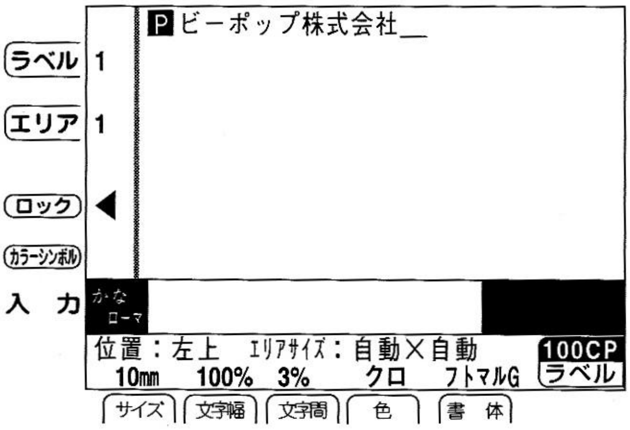
・シート幅方向に対して、ラベル１から順番に出力します。
・ラベルが、シート幅方向に納まる場合はシート幅方向を横向きとして出力します。
（上図、ラベル２、４の場合）

* シートが無くなった場合は、その時点で印字途中でも動作を中止します。出力前にシートが十分あることを確認の上、出力を開始して下さい。
* リボンカセットのエンド検知はしません。印字しなくなったら、リボンを交換して下さい。

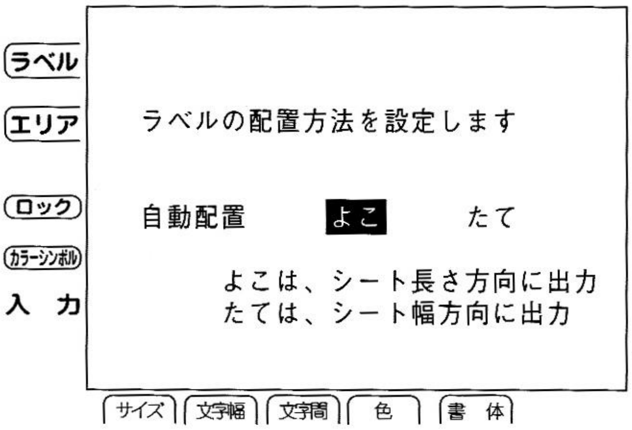
8. ラベルの配置方法を変える

本機ではラベルの配置方法（作画方向）を、シートの長さ方向、シートの幅方向、ラベルサイズによっていずれかを自動判別する方法から選んで設定できます。

❶ ラベルの入力をします。



❷ （シフト）を押しながら（連続/連番 L配置）を押します。



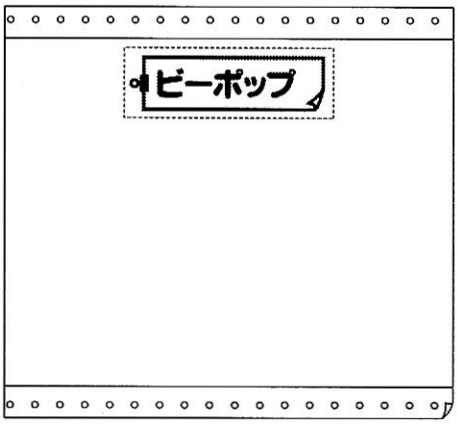
❸ （▸）を押して「たて」を選び、（実行）を押します。

・（取消）を押すと設定を中断し通常入力画面に戻ります。

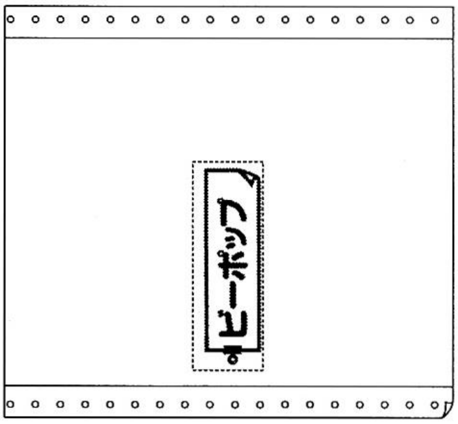
【実際の配置のされかた】

実際の出力結果は次のようになります。（LC-100CP で出力した例）
左側がシートの先端です。

よこ：シート長さ方向に設定した場合

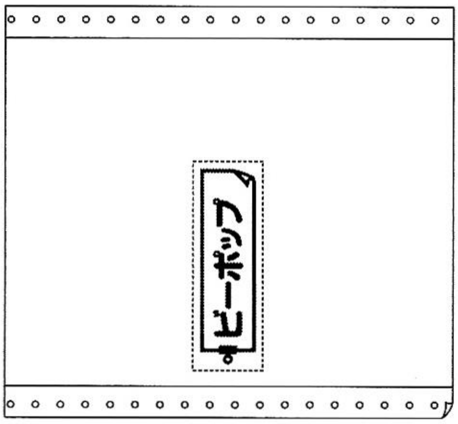


たて：シート幅方向に設定した場合

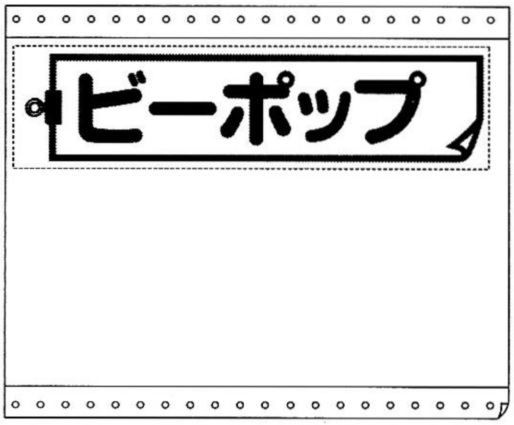


自動：ラベルの大きさによって「よこ」と「たて」を自動判別

ラベルサンプル
Ｌ配置自動／ラベル小



ラベルサンプル
Ｌ配置自動／ラベル大



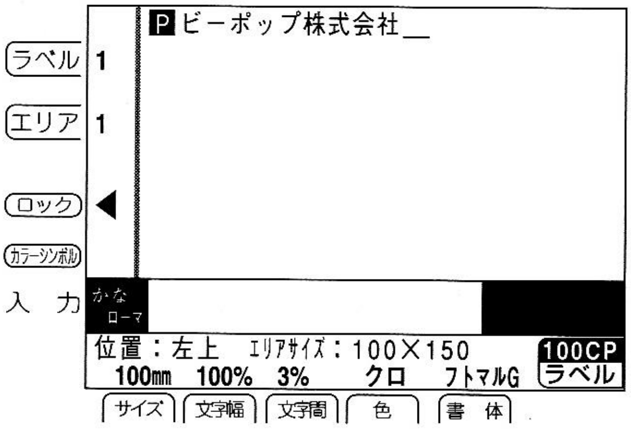
メモ
* 「自動」は、出力サイズが 100mm 以内のときに「たて」、100mm を越えるときは「よこ」で出力します。
* カッティングヘッドを移動して出力開始点を決めた場合は、すべて「よこ」で出力します。
* ラベル配置の設定は、１つ１つのラベル毎に設定され、またメモリ登録時には記憶されます。

第10章　サンプルラベルを利用する（はやわざ機能を使う）

1. はやわざ機能とは

はやわざ機能では、本機で作成できる出力成果物の例を、用途別に簡単に呼び出せるようになっています。作りたいラベルやサインに近いものがある場合は、それを呼び出し、表現を直してオリジナルのラベルを早く作ることができます。

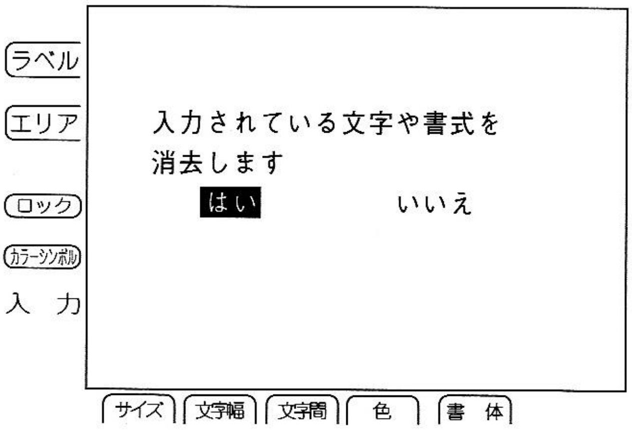
❶ **既に文字が何か入力されている場合。**



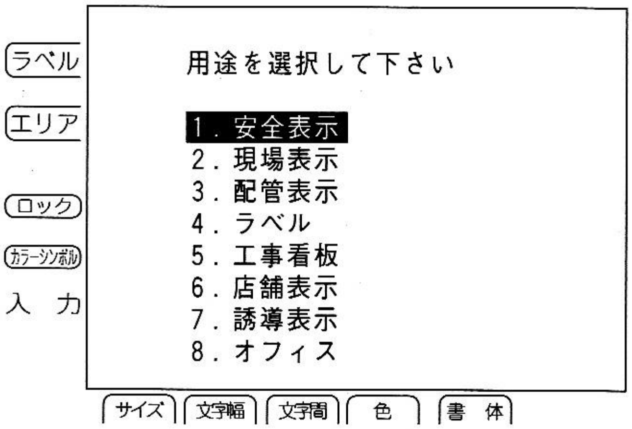
❷ **はやわざ を押します。**

・**取 消 を押すと通常入力画面に戻ります。**

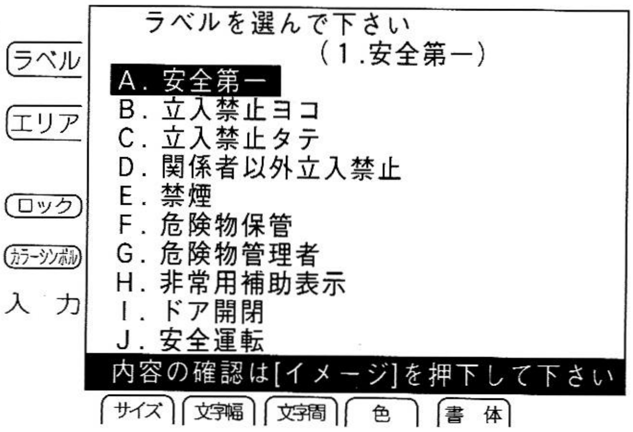
・**「いいえ」選択し、実 行 を押すと通常入力画面に戻ります。**



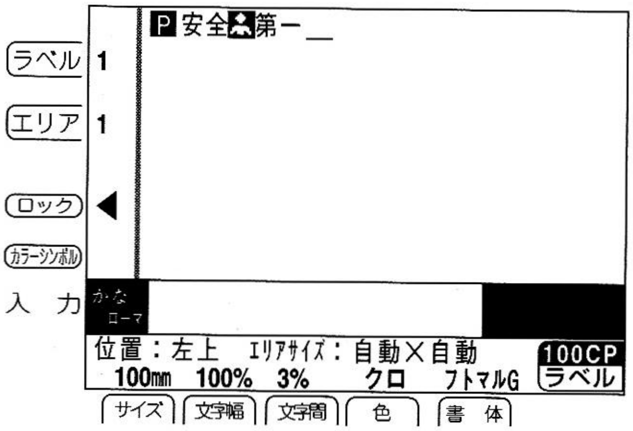
❸ **「はい」を選び、実 行 を押します。**



❹ ▽△でグループを選択し、（実行）を押します。
例.「安全表示」を選択します。
・（取消）を押すと直前の画面に戻ります。



❺ ▽△でラベルの種類を選択し、（実行）を押します。
サンプルラベルが呼出され、通常入力画面になります
例.「安全第一」を選択します。



❻ 必要に応じて、入力文字を修正します。
（スタート）を押すと出力を開始します。

メモ
* はやわざサンプルには、背景色や文字色、カラーシンボルが設定されているものがあります。
* 特にマルチカラー色の設定がある場合は、選択して出力する際に、ガイドメッセージが表示されます。
そのまま出力したいときは、続けて（実行）を押して下さい。出力を開始します。
このとき、色の設定は無視されます。
* ほとんどのはやわざサンプルは、100mm幅に納まるよう作られています。LC-200Cで200mm幅に大きく出力したいときは、文字サイズなどを変更して下さい。

参照
* 文字色については、「第３章基本パラメータ 1.6 色選択～文字の色を変える」62ページを参照して下さい。
* カラーシンボルについては、「第３章基本パラメータ 1.7 色選択～カラーシンボルの色を変える」64ページを参照して下さい。
* 背景色については、「第６章エリアパラメータの設定 2.3 背景色・反転」103ページを参照して下さい。

2. はやわざ機能に収録されているサンプル

はやわざサンプルは、8種類の用途別に合計53種類あります。それぞれのグループに入っているラベルのタイトルを以下に示します。呼び出して、イメージ表示し確認してみてください。

グループ名	ラベル名	ラベルサンプル（縮小されています）	ラベル名	ラベルサンプル（縮小されています）
1.安全表示	A.安全第一	安全第一	B.立入禁止ヨコ	立入禁止 KEEP OUT
	C.立入禁止タテ	立入禁止	D.関係者以外立入禁止	点検中 関係者以外 立入 禁止 生産技術部
	E.禁煙	禁煙 NO SMOKING	F.危険物保管	第4類アルコール類54t 第一石油類54t 最大数量 第二石油類18t
	G.危険物管理者		H.非常用補助表示	
	I.ドア開閉		J.安全運転	私は安全運転をしています 松楠 太郎
2.現場表示	A.標語大	お客様本位	B.スローガン大	品質強化月間 TPM推進事務局
	C.スローガン小	整理・整頓・清掃・清潔・躾 5Sの実行	D.点検ステッカ	点検箇所 毎週1回 製造1課
	E.工事中	工事中 ご協力お願いいたします	F.区画	B区画
	G.工程名	[18] モーターライン		
3.配管表示	A.左矢印	冷却水	B.右矢印	排水管
	C.行き先ヨコ	TK01	D.行き先タテ	TK01
4.ラベル	A.注意ラベルヨコ	火傷の恐れあり 手を触れないこと	B.注意ラベルタテ	危険
	C.部品梱包ラベル	部品名 フレームAssy 数量 50 部品番号 AB12345 図番 CD98765 ロットNo K12345-01	D.梱包宛名ラベル	To: ピーポップ株式会社 開発部 松楠 係長 様
	E.設備管理ラベル		F.操作手順ヨコ	
	G.操作手順タテ		H.警告ラベルヨコ	
	I.注意ラベル2連	注意 やけど注意	J.梱包注意ラベル	取扱注意 精密機器 投げるな

グループ名	ラベル名	ラベルサンプル（縮小されています）	ラベル名	ラベルサンプル（縮小されています）
5.工事看板	A.900mm看板	単独道路補修工事	B.1100mm看板	広域農道工事
	C.黒板	広　域　農　道　工　事		
6.店舗表示	A.プライスカード1	プロ用シャンプー&リンス それぞれ1,200円	B.プライスカード2	めがね一式10,000円
	C.プライスカード3	ビデオテープ 3,000円を 1,500円	D.ショーカード1	ハーブの香りと爽やかな刺激でのどの治療 新発売トローチ 〈20錠入〉980円
	E.ショーカード2	ハーブの香りと爽やかな刺激で のどの治療 新発売〈20錠入〉 トローチ　980円	F.ショーカード3	ハーブの香りと爽やかな刺激でのどの治療 新発売〈20錠入〉 トローチ 980円
	G.ショーカード4	平らに綴るフラットクリンチホッチキス マックス　HD−10F 定価 ¥800	H.ショーカード5	新婚生活は良い家具から 「ダイニングセット」 キャンペーン価格 ¥100,000_
	I.営業時間	営業時間 10:00〜20:00 日曜・祝日はお休みさせていただきます		
7.誘導表示	A.右矢印枠	駐車場	B.左矢印枠	説明会会場
	C.上矢印枠	出口	D.下矢印枠	
	E.左右矢印	←通路→		
8.オフィス	A.ファイル	取扱説明書	B.月度ファイル	12月度販売実績
	C.3.5FD	ヒーポップ販売資料 ◇提案書 ◇マーケット資料 ◇競合機種比較 ◇その他	D.部屋名	第1会議室
	E.備品管理	名称 コピー機 管理No. T−001 管理部署 総務課		

メモ　＊ラベルサンプルは、原寸より大幅に縮少されています。実際の出力サイズは、イメージ表示でご確認ください。

第10章 はやわざ機能に収録されているサンプル

第 11 章 メモリの使いかた

1. メモリとは

本機では、入力したラベルを最大 250 個まで記憶させることができます。オリジナルに作ったラベル、繰り返し使うラベルは登録しておけば、呼び出すだけで出力できますから、その都度入力する手間が省けます。

記憶できる容量は次の通りです。

内部メモリ（標準）	最大100ファイル／20,000文字
外部メモリ （別売・メモリパックLC-100M使用）	最大150ファイル／40,000文字
合計（メモリパック装着時）	最大250ファイル／60,000文字

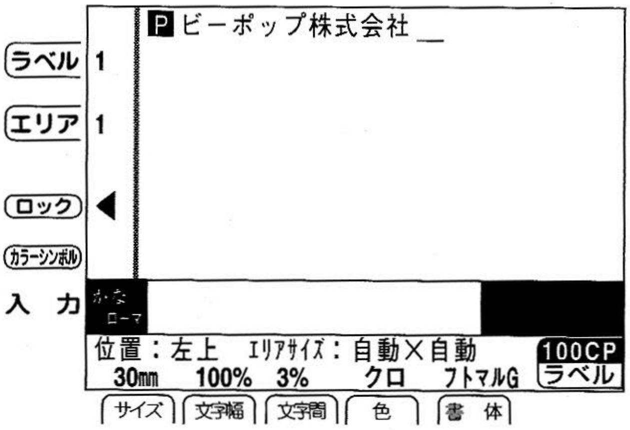
※ 1 ファイルは、1 つのラベルと同じ意味です。

また、記憶される内容はファイル名、入力した文字・記号・ピクトサイン、基本パラメータ、エリアパラメータ、ラベル単位の設定（枠囲みなど）です。特殊作画機能や連続・連番機能の設定は登録できません。

2. 内部メモリの使いかた

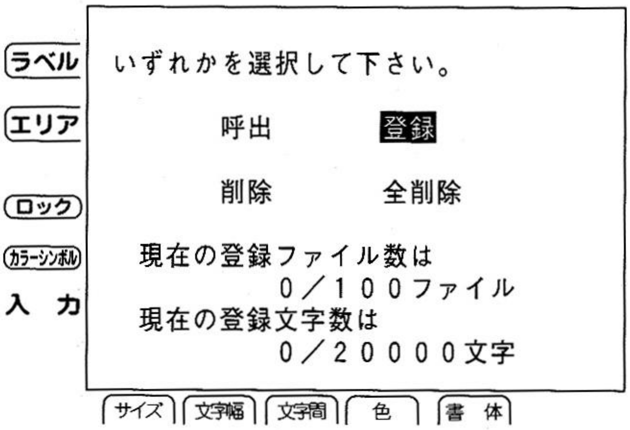
2.1 メモリを登録する

❶ ラベルを入力します。

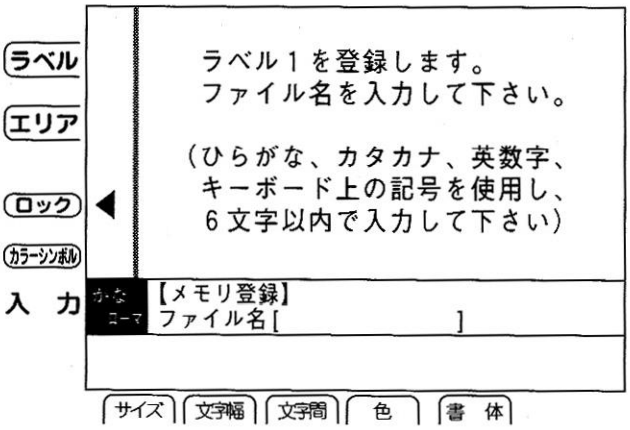


❷ (メモリ 登録) を押し、続けて (▸) を押して、「登録」を選びます。

- このとき、画面下に現在の登録数が表示されるので、あとどの位登録できるかがわかります。



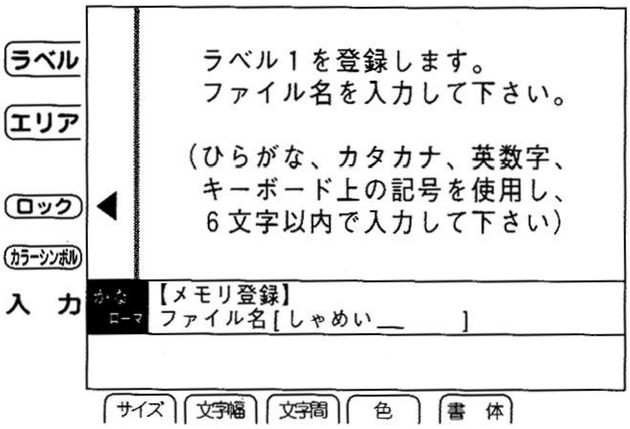
❸ (実 行) を押します。



❹ ファイル名を6文字以内で入力します。使える文字はひらがな、カタカナ、英数字のみです。

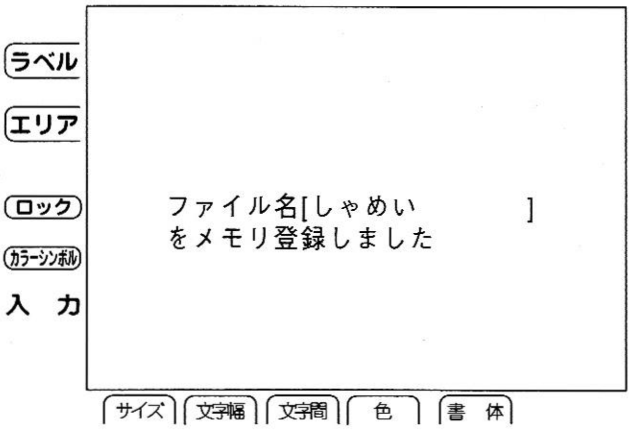
例. [S],[H],[A],[M],[E],[I],と入力します。

(50音入力の場合は[し], (シフト) ＋[や],[め],[い],。)



5 (実 行)を押します。

右の画面が数秒表示された後、通常入力画面に戻ります。



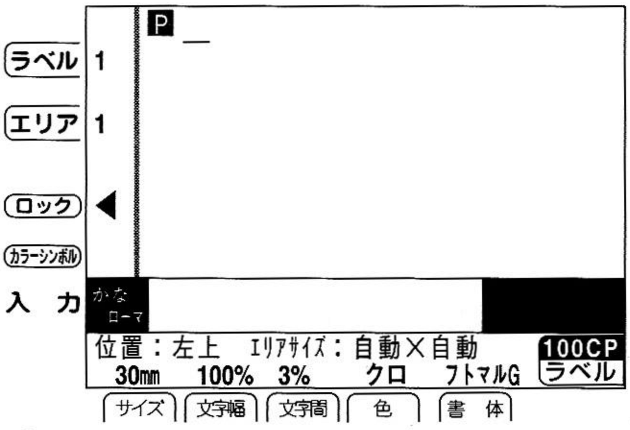
メモ

* 登録できるラベルは、表示されているラベルのみです。入力されていても他のラベルが表示されているときは、表示されている他のラベルを登録します。
* 登録されないラベルの設定項目の主な内容は次の項目です。
  - 連続・連番設定
  - 出力選択
  - 矢印と文字
  - ミラー
  - ラインカット
  - 分割作画時の上・下選択
  - カッティングヘッドの位置
* ローマ字入力をお使いの場合は、ファイル名を登録するときに、6文字目は母音もしくは英数字のみの入力となります。

2.2 メモリを呼び出す

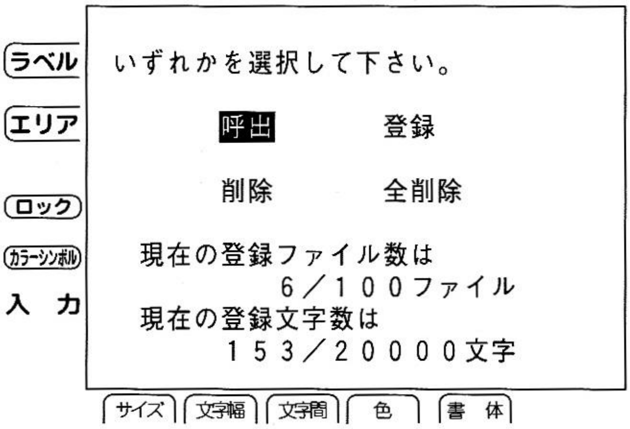
2.2.1 登録したファイルの一覧表示から選ぶ

❶ [ラベル 次] を押して、新しいラベルにします。

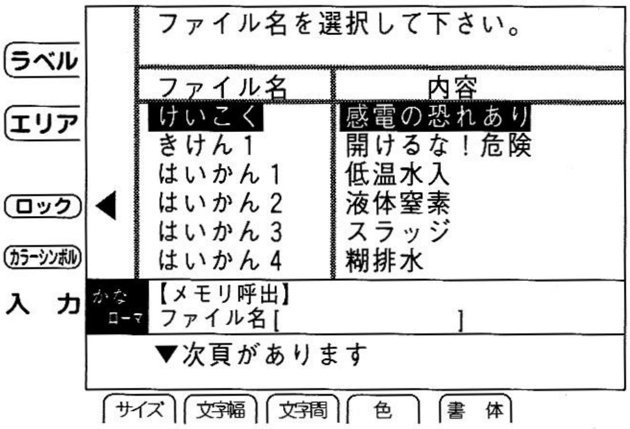


❷ [メモリ 熟語] を押し、続けて〈▸〉を押して、「呼出」を選びます。

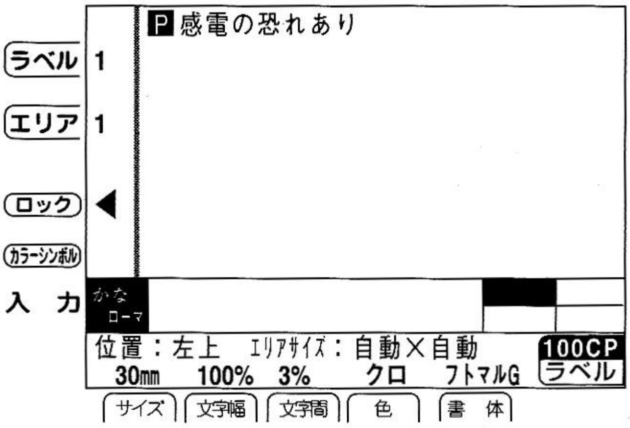
・このとき、画面下に現在の登録数が表示されるので、あとどの位登録できるかがわかります。



❸ (実 行) を押します。



❹ 〈▴〉〈▾〉を押して呼び出すファイルを反転表示し、(実 行) を押します。
そのファイルが通常入力画面に呼び出されます。

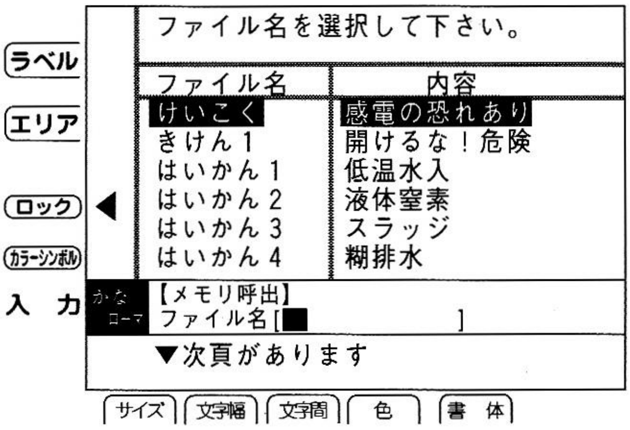


5 そのまま出力する場合は、出力選択を確認し、(スタート)を押します。

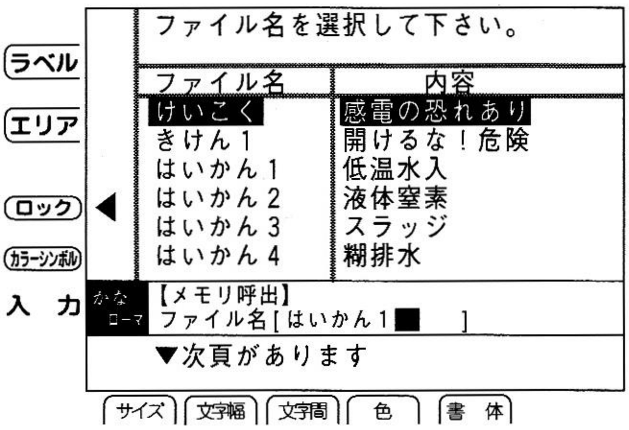
メモ
* メモリの呼び出しは、現在表示しているラベルに上書きするように行われます。
* 表示しているラベルを消しても良いときは、手順1を省略して操作すると、表示しているラベルの上に上書きしてメモリを呼出します。

2.2.2 ファイル名を直接入力して呼び出す

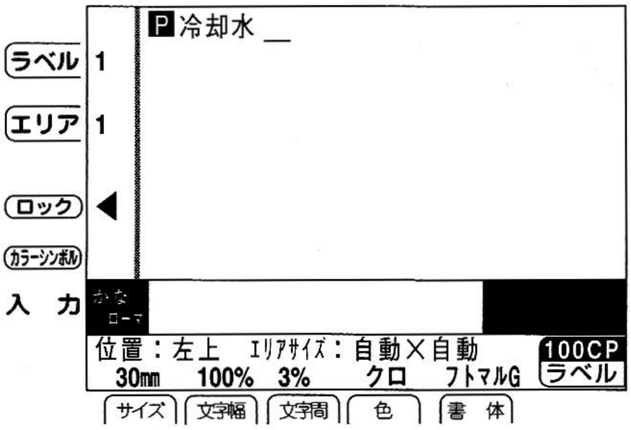
❸ 手順❶、❷は前項と同じように操作します。



❹ ファイル名を 6 文字以内で入力します。使える文字はひらがな、カタカナ、英数字のみです。
例.「はいかん 1」と入力します。



❺ (実 行)を押します。



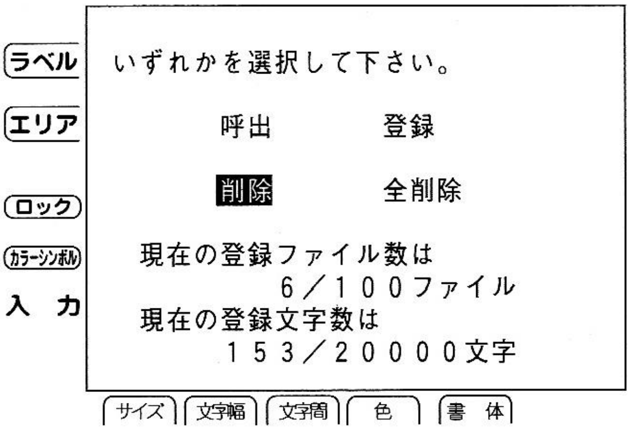
メモ
*本機のメモリー登録は、作成したラベルに関するすべての情報を記憶します（除く出力選択）。ですから、再度呼び出したときには、そのまま(スタート)を押すと登録したラベルを出力できます。
*ファイル名を直接入力して呼出すときに、ローマ字入力をお使いの場合は、6 文字目は母音もしくは英数字のみの入力となります。

2.3 不要になったメモリを削除する

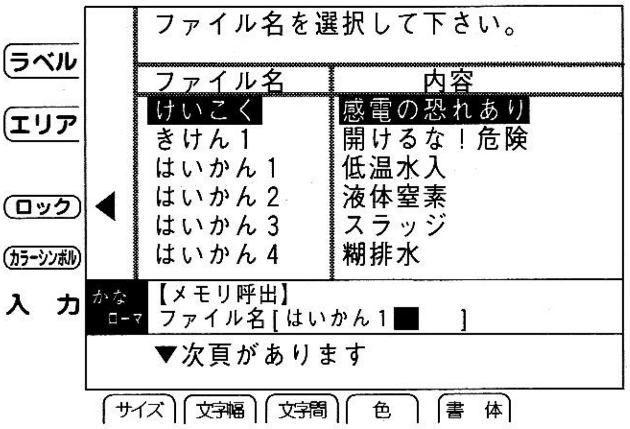
不要になったファイルのメモリを削除すれば、新たに登録できるファイル数が増えます。

1 (メモリ/登録)を押し、続けて▼を押して、「削除」を選びます。

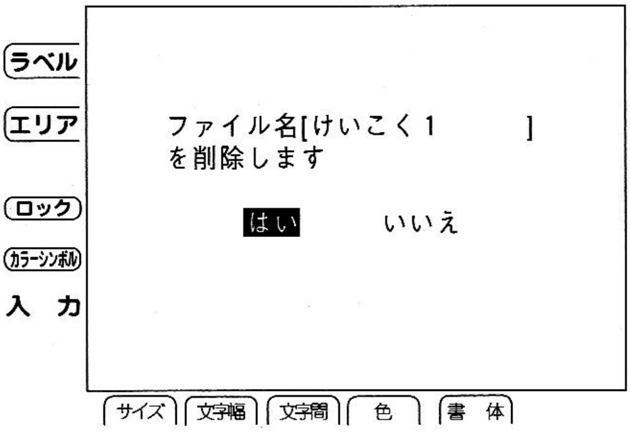
・このとき、画面下に現在の登録数が表示されるので、あとどの位登録できるかがわかります。



2 (実 行)を押します。

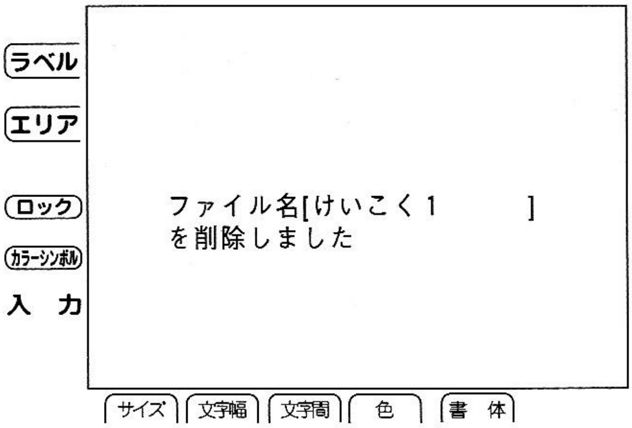


3 ▲▼を押して削除するファイルを反転表示し、(実 行)を押します。



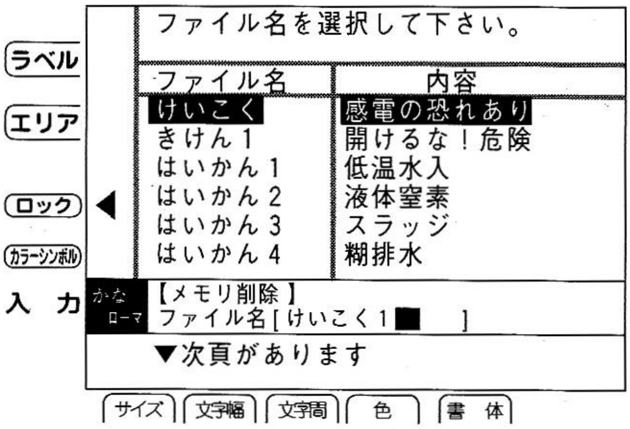
4 (実 行)を押します。

確認のメッセージが表示された後通常入力画面に戻ります。



メモ

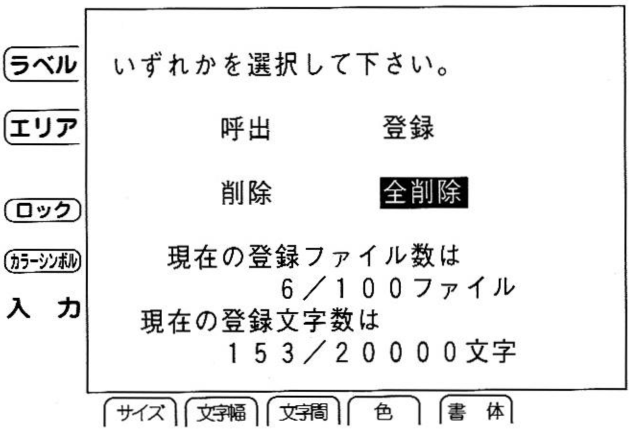
*「2.1.2 ファイル名を直接入力して呼び出す」と同じように手順❷で直接ファイル名を入力して削除することもできます。



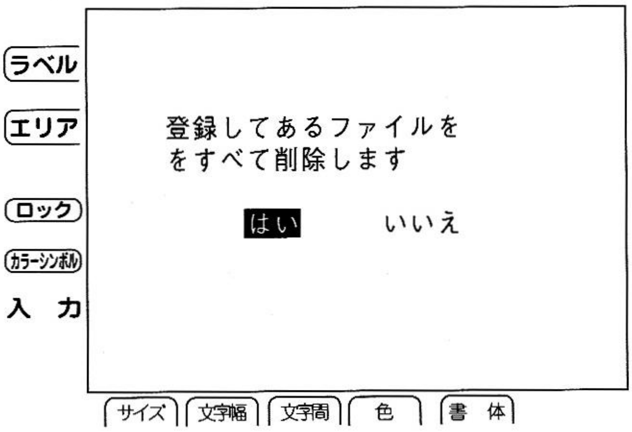
2.4 メモリをすべて削除する

登録されているファイルのメモリをすべて一括して削除します。

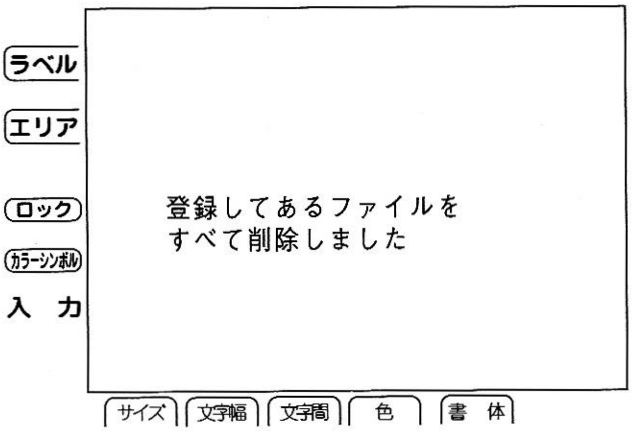
1 （メモリ/熟語）を押した後、◁▷ △▽ を押して「全削除」を選びます。



2 （実 行）を押します。



3 「はい」が反転表示されていることを確認した後、（実 行）を押します。



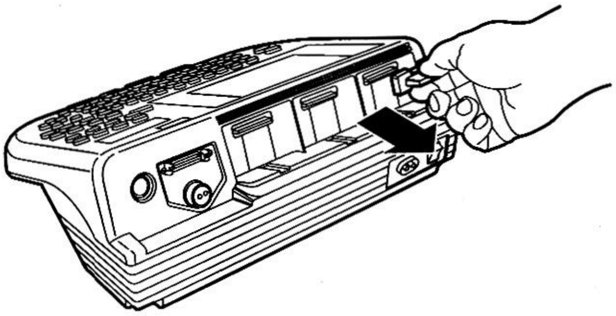
3. メモリパックの使いかた

別売のメモリパック LC-100M を装着すると登録できるファイル数が飛躍的に多くなります。
また、本体内部に登録したファイルを他の LC-150K に移し替えたり、バックアップを取っておきたいときなどにご使用ください。

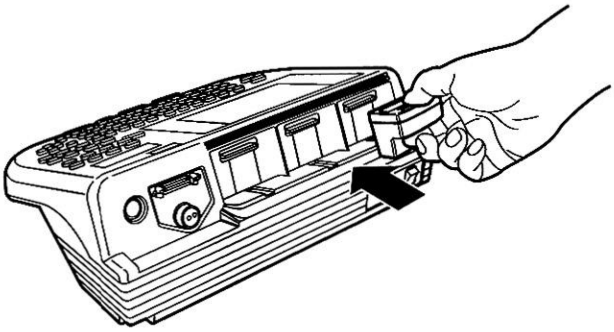
3.1 メモリパックを装着脱する

1. 本体の電源を OFF にします。

2. 本機の背面にあるスロットのうち、正面から見て左端の「LC-100M」と表記された個所のキャップを取り外します。



3. このスロットにメモリパックLC-100Mを奥までしっかりと差し込みます。



4. 電源を ON にします。

メモ *メモリパックは、LC-100K、LC-100K Ⅱで使用しているものと同じ物です。ただし、データの共用できませんので、はじめに装着後の画面メッセージに従って初期化してからご使用ください。

お願い
- メモリパックの装着脱は、必ず電源を OFF にして行なってください。電源 ON のまま装着脱すると、本体やメモリパックのデータを破壊したり、故障の原因となる場合があります。
- メモリパックLC-100Mの接続端子部分、本機のスロット部分には直接指で触れないで下さい。静電気などにより、本体及びメモリパックの故障の原因となる場合があります。
- 必ず専用のメモリパックをご使用ください。
- メモリパックを分解しないで下さい。
- メモリパックにはリチウム電池（ボタン型電池）を使用しております。電池寿命は、ご使用開始後５年程度です。電池容量が少なくなるとメッセージが本機の画面に表示されます。表示された場合は、最寄りの当社営業所、またはサービス会社にご相談ください。

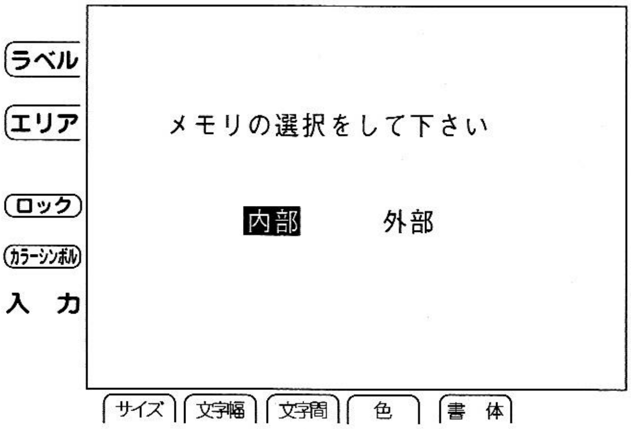
⚠注意

⚠ ・メモリパックに保存した内容や内部メモリに保存した文書は、永久的な保存はできません電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

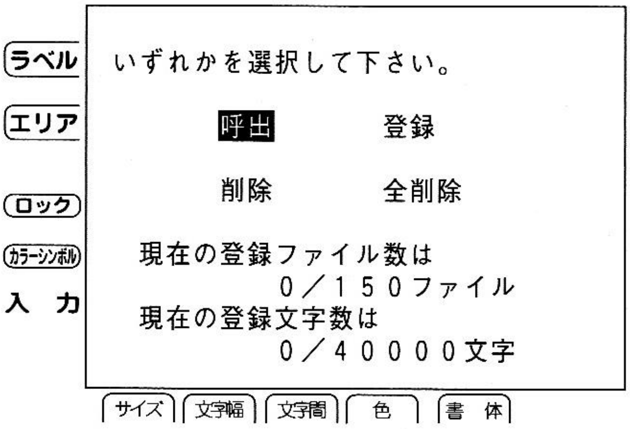
3.2 メモリパックへの登録／呼出／削除／全削除

内部メモリと同様にして、メモリパック（外部メモリ）にもファイル登録などをすることができます。以下の操作は、メモリパックが装着されている場合です。

❶ （メモリ熟語）を押します。



❷ 〈▸〉を押して「外部」を選び、（実 行）を押します。



❸ 以降の操作は、内部メモリの場合と同じです。

メモ
* 手順❶で「内部」を選ぶと内部メモリ（本機内蔵メモリ）への操作となります。
* 内部メモリ、外部メモリに分かれていれば、同じ名前のファイルを登録することができます。
* 手順❶の画面は、メモリパックが装着されていないと表示されません。

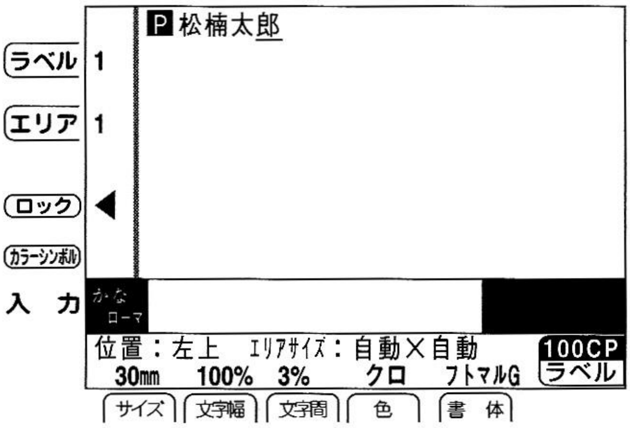
参照
* 手順❷以降は、「2. 内部メモリの使いかた」？？ページを参照ください。

4. 熟語を登録／削除する

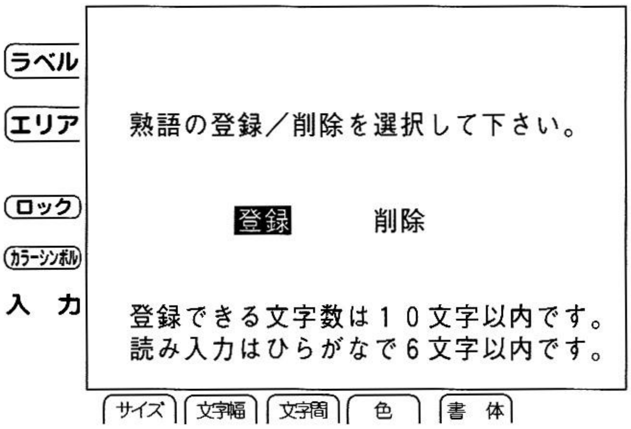
漢字変換しても、なかなか変換されない熟語や良く使う社名などの語句は熟語登録しておくと便利です。
熟語は、本機内部の専用メモリに登録されるため、メモリパックは関係ありません。

4.1 熟語を登録する

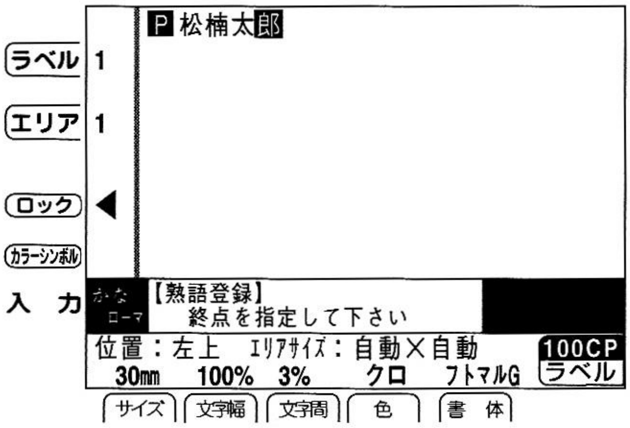
1 登録したい文字(熟語)の始点または終点にカーソルを合わせます。



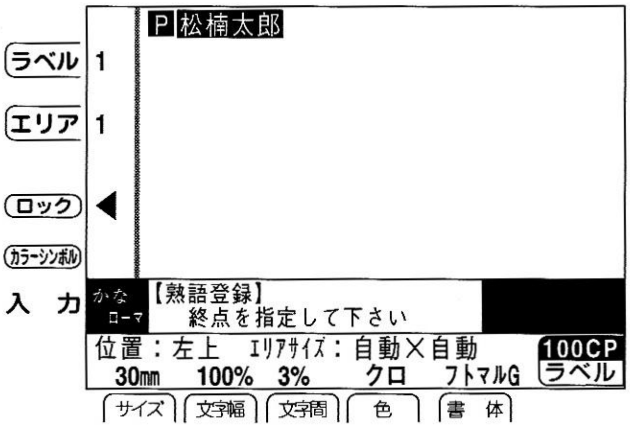
2 (シフト)を押しながら、(メモリ 熟語)を押します。



3 「登録」が選ばれていることを確認して (実 行)を押します。

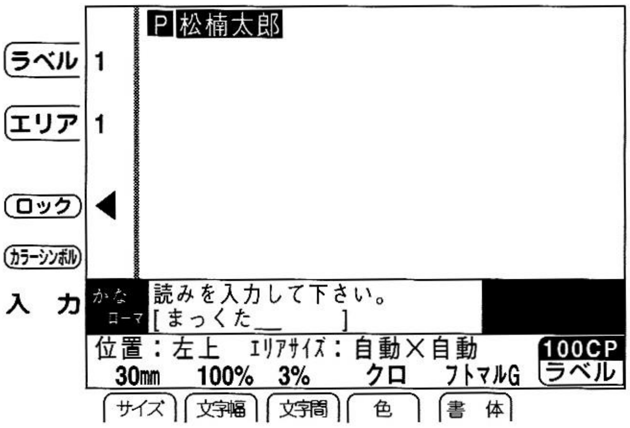


❹ ◁を３回押して熟語登録する範囲を反転表示します。

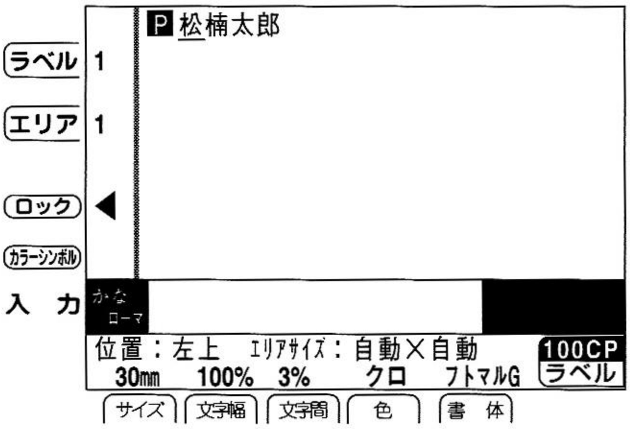


❺ 実 行 を押して登録範囲を確定します。

❻ 「まっくた」とよみを入力します。



❼ 実 行 を押します。
熟語を登録し通常入力画面に戻ります。

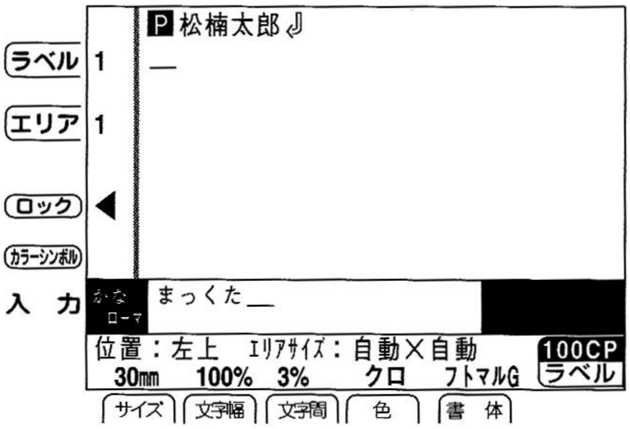


メモ
*登録できる熟語は、10文字以内です。
*登録できる熟語のよみは、ひらがなで6文字以内です。ただし、ローマ字入力の場合6文字目は母音以外は入力できません。
*登録する熟語の範囲には、改行マークや編集マークなどを含むことはできません。

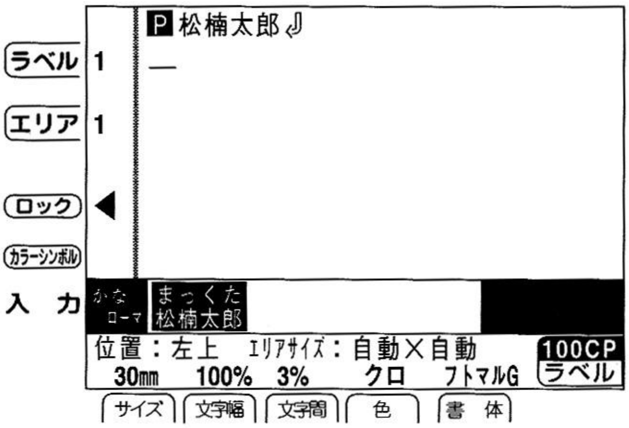
4.2 登録した熟語を呼び出す

登録した熟語は、漢字変換と同じ要領で呼び出すことができます。4.1で登録した熟語を呼び出してみます。

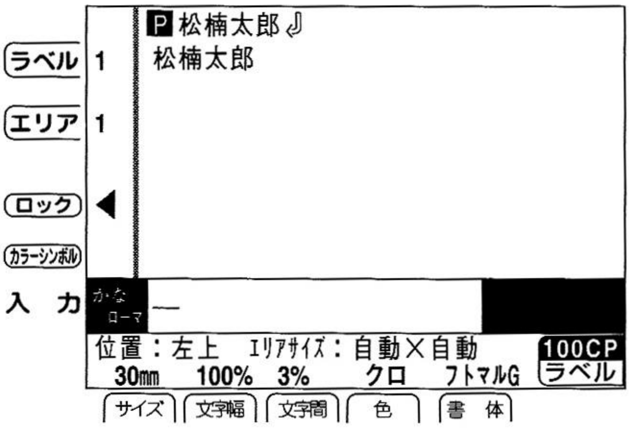
1 「まっくた」とよみを入力します。



2 （変 換）を押します。



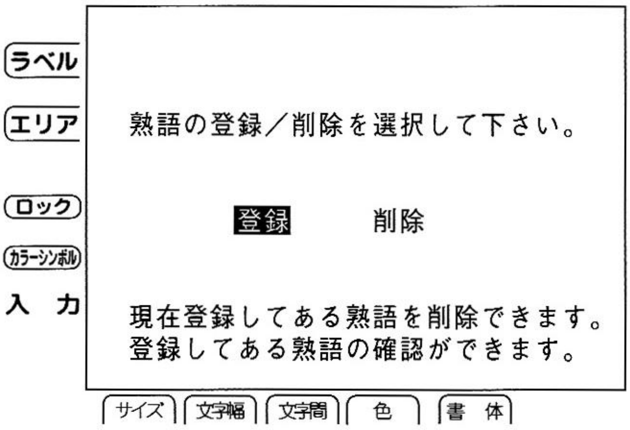
3 （実 行）を押します。



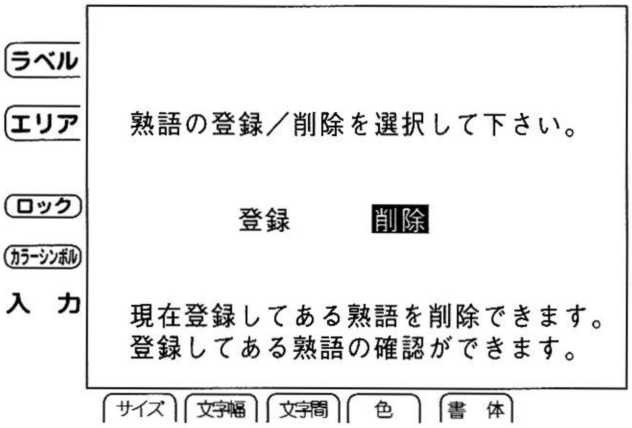
4.3 熟語を削除する

不要になった熟語を削除します。

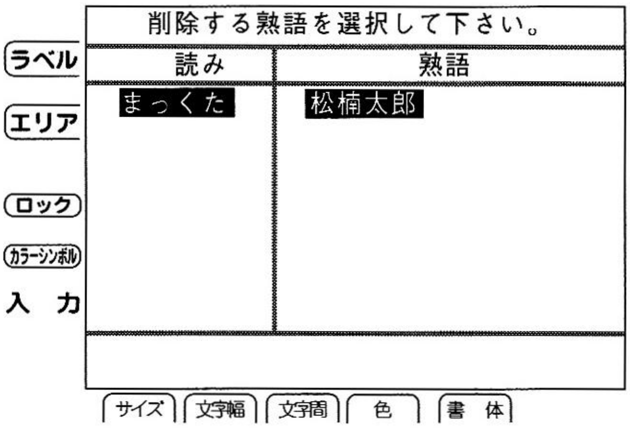
1 （メモリ／熟語）を押します。



2 （▸）を押して「削除」を選びます。



3 （実 行）を押します。



4 （▴）（▾）で削除する熟語を選び、（実 行）を押します。熟語が削除され、通常入力画面に戻ります。

第12章　システムの基本設定

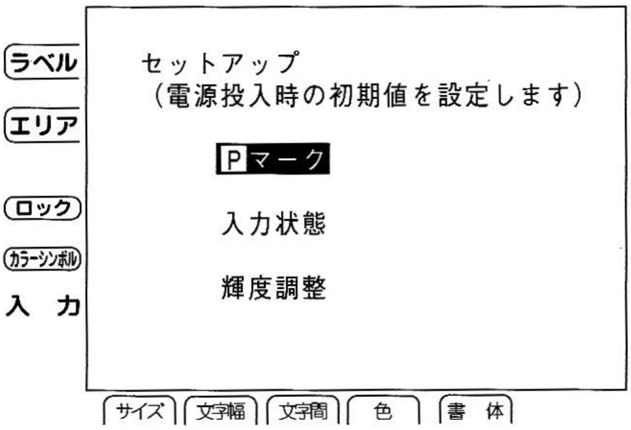
1. セットアップで初期値を変える

セットアップ機能を使うと電源投入時の入力状態などを良く使う設定に変更することができます。

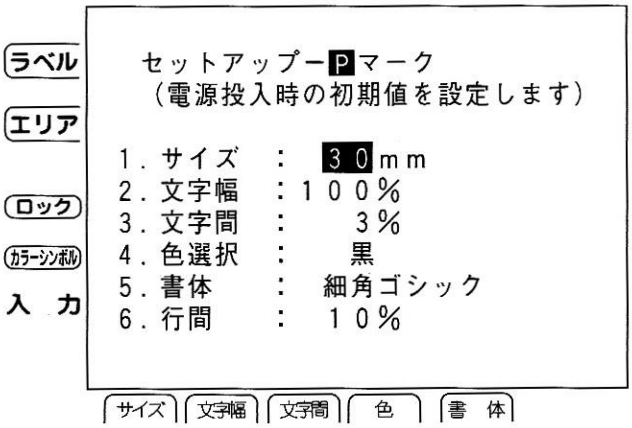
1.1 Pのセットアップ

電源投入時の文頭のPやエリア先頭のPの設定内容の一部を工場出荷時の値ではなく、良く使う値に変更することができます。

❶ （セットアップ 諸設定）を押します。



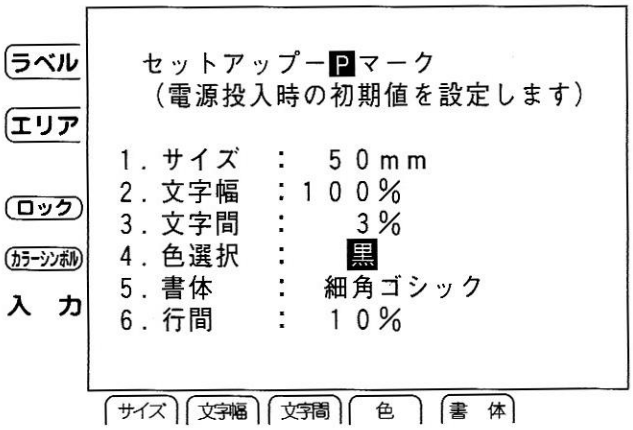
❷ Pが反転していることを確認して（実行）を押します。



❸ （◀）または（▶）を押して、反転項目の値を変更します。

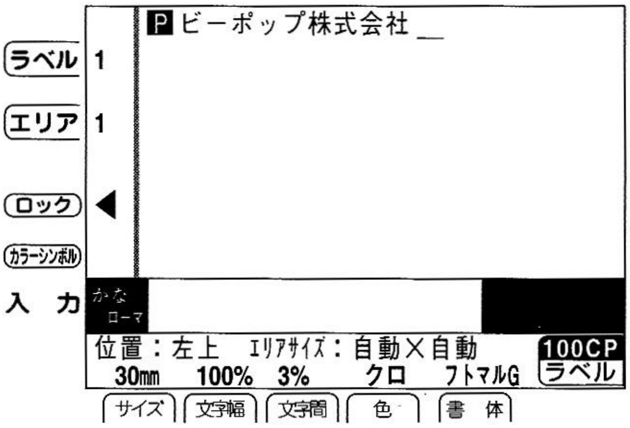
（▼）（▲）を押すと選択項目が切替わります。

・例．サイズを「50」と入力し（▼）を3回押します。



❹ 同様にして他の項目も設定します。

設定後、（実 行）を押すと通常入力画面に戻ります。



メモ

* 各項目の設定値を工場出荷時に戻したいときは、その項目の設定値を反転表示して（クリア）を押します。
* この画面の設定項目すべてを工場出荷時に戻したいときは、（シフト）を押しながら（クリア）を押します。
* 設定したセットアップ値は、次にラベルを新しく作る時から有効です。
* サイズのセットアップ値設定可能範囲は、10～100mmです。

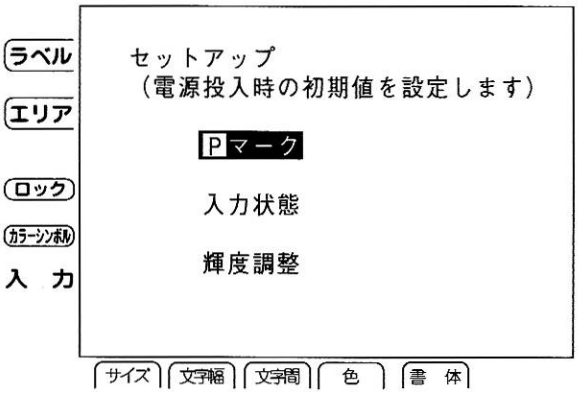
参照

* 各項目の工場出荷時の値は、巻末付録の初期値一覧を参照ください。
* セットアップで設定したPの設定値は、表示しているラベルには反映されません。

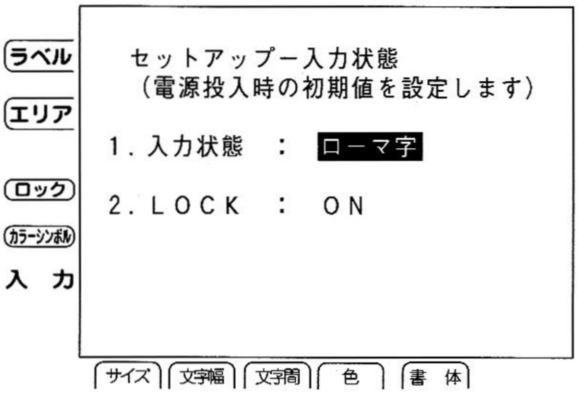
1.2 入力状態のセットアップ

ローマ字入力と50音かな入力の切換え、大文字ロックのON/OFF初期値設定を行ないます。

❶ 通常入力画面で（セットアップ 諸設定）を押します。

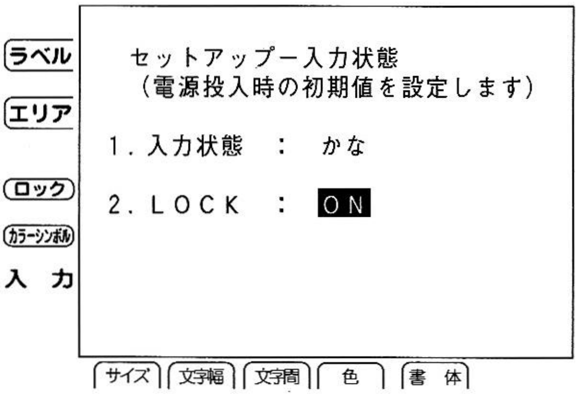


❷ （▼）を押して「入力状態」を選び（実 行）を押します。



❸ （▶）または（◀）を押して入力状態を「かな」に切替えます。

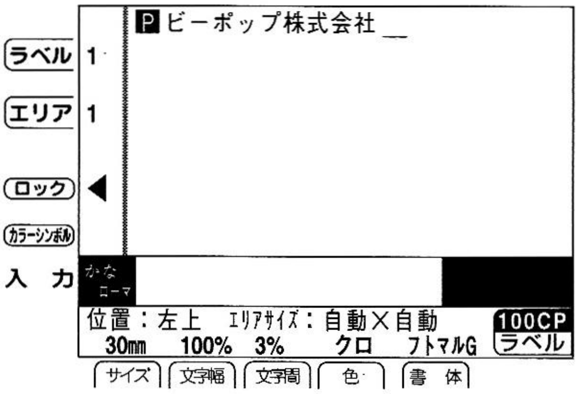
その後、（▼）で選択項目を切替えます。



❹ 「LOCK」も同様の操作でON/OFFを切換えます。

その後、（実 行）を押して設定値を確定します。

通常入力画面に戻ります。
このとき変更した項目が反映され画面左下の入力状態表示は「かな／かな」に、ロックは消灯に変わっています。

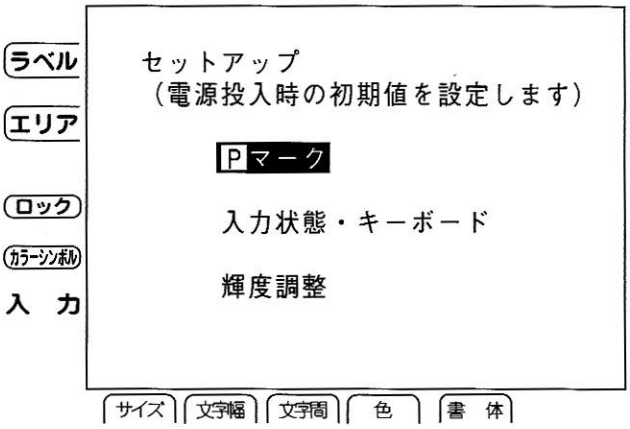


メモ ＊ロックをOFFにすると、英数直接入力の場合、アルファベット小文字が入力されます。

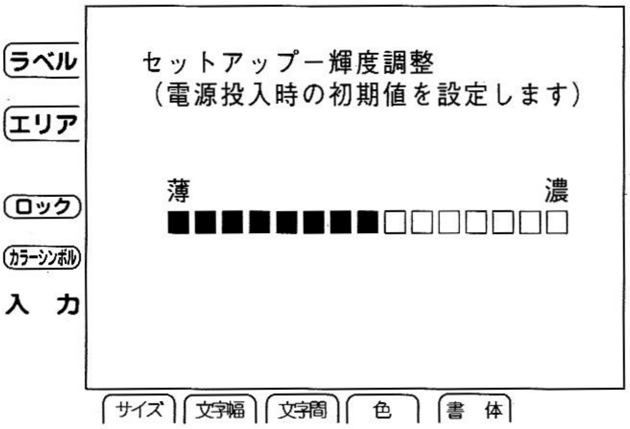
1.3 輝度調整

画面の濃度調整を行ないます。調整した濃度は記憶されます。

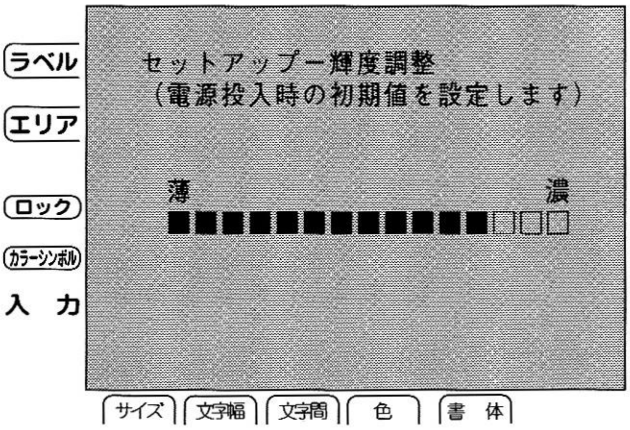
❶ 通常入力画面で（セットアップ 諸設定）を押します。



❷ （▼）を２回押してから（実　行）を押します。



❸ （▶）（◀）を押すと濃度が変わります。



❹ 見やすい濃度に調整し（実　行）を押します。

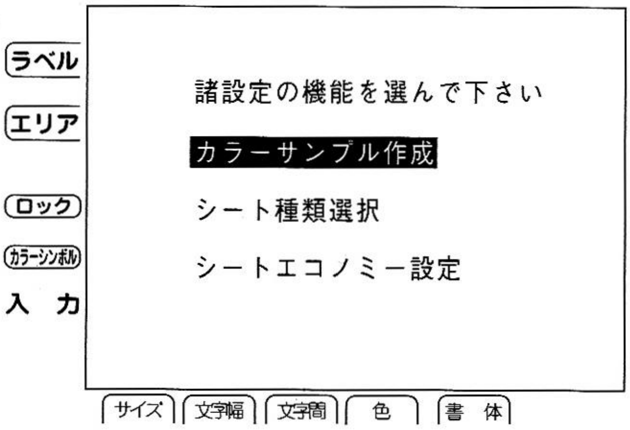
メモ
* 本機のLCDの濃度は、使用される温度（気温）によって変わります。
* 本機のLCDは、電源投入後機械が暖まってくると（電源投入直後の10分間程度）温度上昇にあわせて若干濃度が薄くなります。
* したがって電源投入時に見やすい濃度に調整すると10分以上経過するとやや薄く感じられますが、これは異常ではありません。

2. 諸設定キーを使う機能

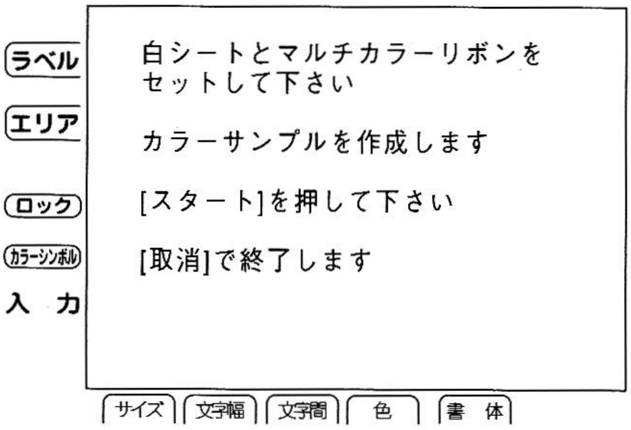
2.1 カラーサンプルを作成する（LC-100CP接続時のみ）

LC-100CPと接続して使用する場合、多色印刷ができます。本機で出力できる印刷カラーの一覧サンプルを作ります。色設定の目安としてお使いください。
この機能をお使いになる場合は、はじめにマルチカラーリボンカセット及び白シートを装着してください。

1 通常入力画面で（シフト）を押しながら（セットアップ 諸設定）を押します。

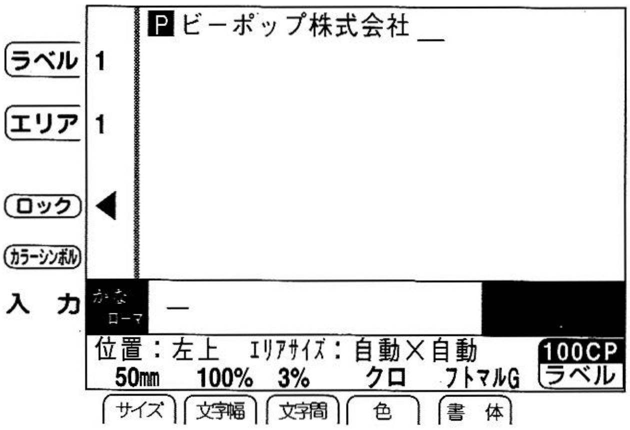


2 「カラーサンプル作成」が反転していることを確認し（実　行）を押します。



3 （スタート）を押します。

出力が終了すると、通常入力画面に戻ります。

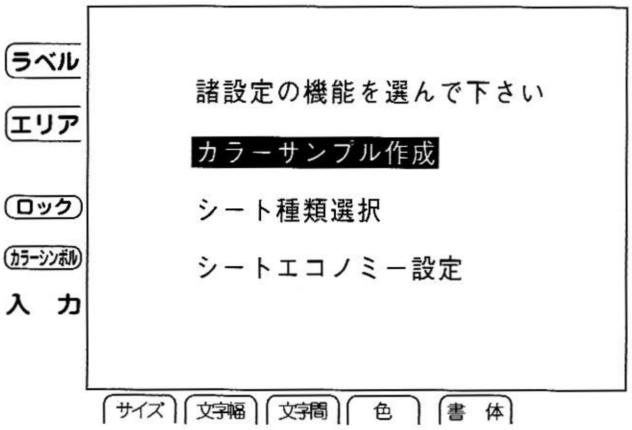


メモ
* 手順❷で（取　消）を押すと、カラーサンプル作成機能を中止し通常入力画面に戻ります。
* 出力したカラーサンプルは、目安としてお使いください。使用環境やリボン、シートのバラツキによって若干色合いが異なる場合があります。

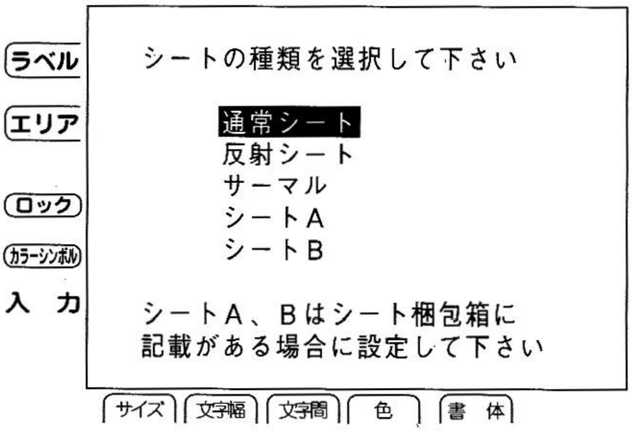
2.2 シート種類選択

LC-100CPと接続して使用する場合、シートの種類の応じて使用シート種類を設定する必要があります。

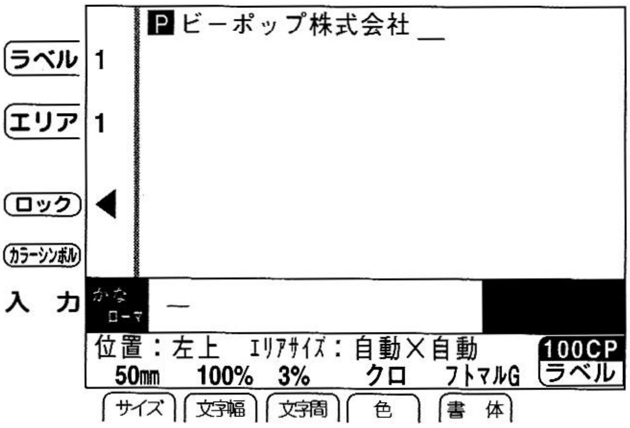
❶ 通常入力画面で(シフト)を押しながら(セットアップ 諸設定)を押します。



❷ (▽)を押して「シート種類選択」を選び(実 行)を押します。



❸ (実 行)を押します。
設定され、通常入力画面に戻ります。



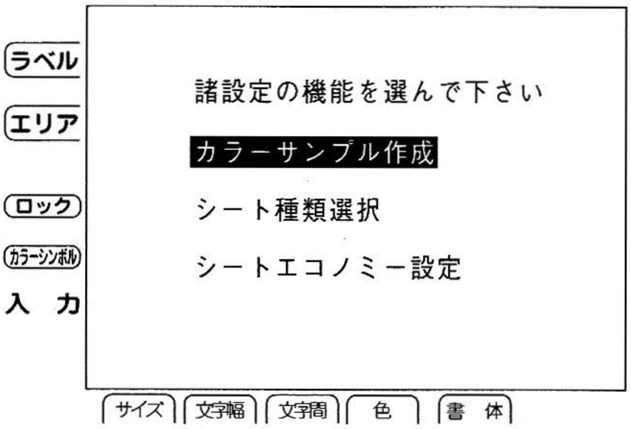
メモ
* 手順❷で(取 消)を押すと、シート種類選択機能を中止し通常入力画面に戻ります。
* 設定内容はバックアップされません。電源をOFFにすると初期値の「通常シート」に戻ります。
* シートA、シートBは、シート梱包箱に記載がある場合のみ設定してください。
* 該当するシートを使用しない場合は、通常シートをお使いください。
* LC-100CPで反射シートを使用する場合は、次項の印字濃度調整ダイヤルははじめに「5」でお試しください。
* LC-100CPでサーマル紙シートを使用する場合は、サーマル紙アダプタは必要ありません。インクリボンカセットを装着せずにご使用ください。

お願い
・装着されているシートの種類と設定しているシートの種類が異なると印字不良の原因となります。設定する場合は、必ず装着しているシートの種類を確認してください。

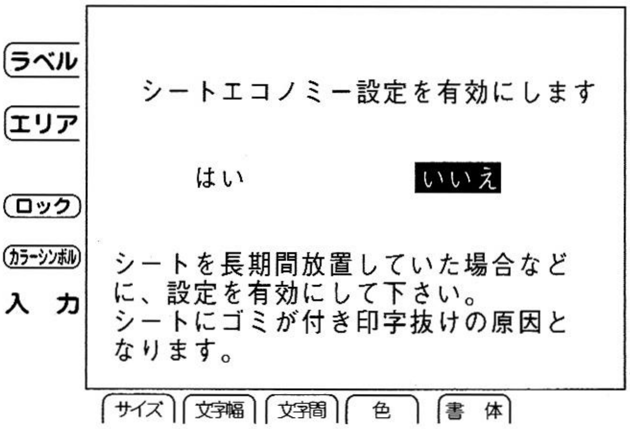
2.3 シートエコノミー設定（プリント先頭の余白を少なくする）

シート表面に付着するホコリやゴミは、プリント時の印字抜けの原因となるため、本機では、この影響を受けにくくするよう、印字先頭部を3mm程度空送りします。シートエコノミー設定を有効にするとこの空送りをせず、印字先頭の余白が少なくなります。

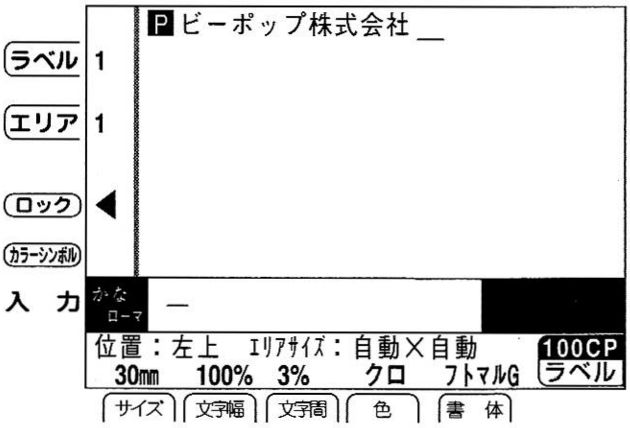
1 （シフト）を押しながら（セットアップ 諸設定）を押します。



2 （▼）を2回押して「シートエコノミー設定」を選び（実行）を押します。



3 （◀）を押して「はい」を選び、（実行）を押します。
通常入力画面に戻ります。



メモ
* シートエコノミー設定を有効にすると、印字先頭部に印字ヌケが目立つ場合があります。
* シートエコノミー設定は、電源をOFFにするとクリアされます。（メモリされません。）

お願い
・シートの保管は、梱包の中に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミ等が付着しないようご注意ください。また、直射日光の当たらない場所に保管ください。

3. 出力機でのダイヤル調整

3.1 LC-100CPを接続している場合

使用環境温度や使用するシート、インクリボンカセットによって、印刷やカットの品質が変わる場合があります。次のような症状が出る場合は、LC-100CP側についているアジャストメントダイヤルで調整してください。

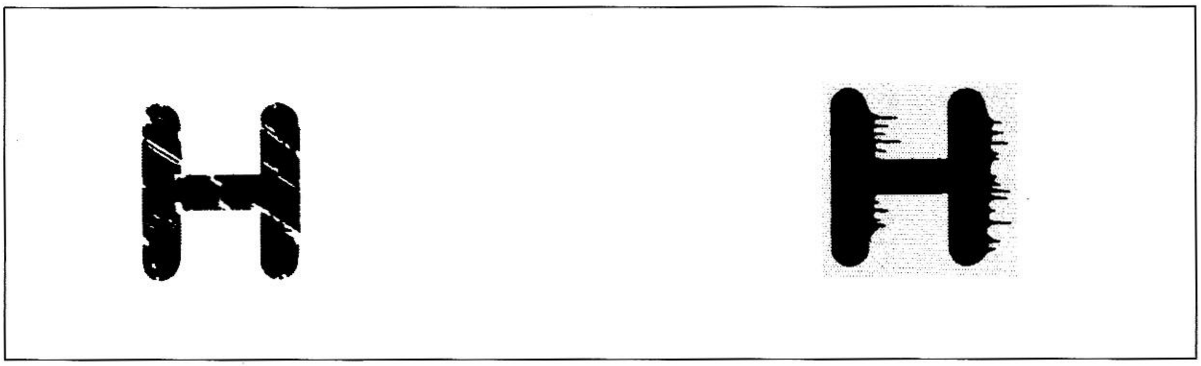
【印字濃度の調整】

1 **印字濃度調整ダイヤル（プリントと刻印されている方のダイヤル）を標準の「5」に合わせてラベル出力、またはプリント出力します。**

2 **印字した結果に従って、次のように調節します。**

① 文字のカスレや細かい斑点状の抜けが目立つ場合、ダイヤルを「5」から0.5目盛づつ大きな値にしてカスレなどが出ないように調節します。

② 文字つぶれが目立ったり、文字の後部へ尾を引くような印刷（オビキ）が見られる場合は、ダイヤルを「5」から0.5目盛づつ小さな値にして、オビキなどがないように調節します。



（カスレた状態）　　**（オビキが見られる例）**

【刃先の圧力調整】

刃先の圧力を変えることで、切り込みの深さを調整します。工場出荷時は常温（15～25℃）で通常シートを使用したときにダイヤル「5」で最適になるよう調整してあります。
高温時（25～35℃）には1～2目盛小さな値に、逆に、低温時（5～15℃）では1～2目盛大きな値に、を目安としてください。

1 カット圧調整ダイヤル（カットと刻印されている方のダイヤル）を標準の「5」に合わせてカット出力します。

2 カット出力した結果に従って、次のように調節します。
① シートが切れておらず、うまく剥がれない場合は、ダイヤルを「5」から0.5目盛づつ小さな値にして、剥離紙に薄く跡がつく程度に調節します。
② 剥離紙まで切ってしまっている（剥離紙の裏まで切れている）場合、ダイヤルを「5」から0.5目盛づつ大きな値にして剥離紙を切らないように調節します。

メモ
* 印刷時に、文字サイズが小さい場合にはつぶれが発生する文字がありますが、異常ではありません。
* 反射シート梱包箱には、印刷時に目盛「6」で使用と記載されていますが、本機ではシート種類選択で「反射シート」を選択するだけで、印字調整濃度ダイヤルでの調節は不要です。
* カット時に、蛍光色シートを使用する場合は、カット圧を通常シートより1目盛大きな値にしてください。

3.2 LC-100C/200C を接続している場合

【刃先の圧力調整】

刃先の圧力を変えることで、切り込みの深さを調整します。工場出荷時は常温（15～25℃）で通常シートを使用したときにダイヤル「5」で最適になるよう調整してあります。
高温時（25～35℃）には 1～2 目盛小さな値に、逆に、低温時（5～15℃）では 1～2 目盛大きな値に、を目安としてください。

❸ カット圧調整ダイヤル（出力機横の機種名が表記されている部分の下側にあるダイヤル）を標準の「5」に合わせてカット出力します。

❹ カット出力した結果に従って、次のように調節します。

① シートが切れておらず、うまく剥がれない場合は、ダイヤルを「5」から 1 目盛づつ小さな値にして、剥離紙に薄く跡がつく程度に調節します。

② 剥離紙まで切ってしまっている（剥離紙の裏まで切れている）場合、ダイヤルを「5」から 1 目盛づつ大きな値にして剥離紙を切らないように調節します。

メモ　* カット時に、蛍光色シートを使用する場合は、カット圧を通常シートより 1 目盛大きな値にしてください。

第13章 図形の読取り（オプション）

別売のスキャナシステムを使用すると、市販スキャナで読み取ったロゴやマークなどの図形を本機で出力できます。

1. 必要なオプション

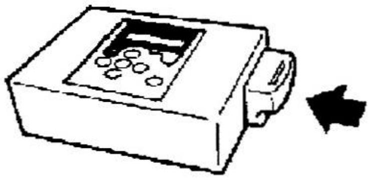
図形の読取りには、以下のオプション品が必要です。
スキャナシステムの使用方法は、データ変換機に同梱されている取扱説明書を参照してください。

【スキャナシステムの構成】

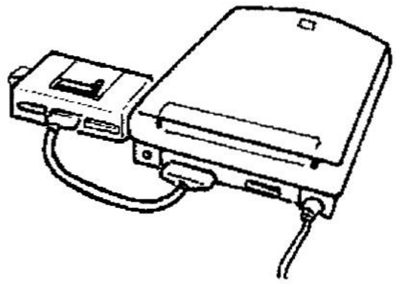
データ変換機　DF-35RVC	・スキャナで読み取ったデータを本機のデータ形式に変換し、ブランクROMパックへ登録します。 ・この変換機で登録した図形の削除も行ないます。
ブランクROMパック　LF-BRP1	・読み込んだ図形データを登録しておく媒体です。
市販スキャナ	・必ず当社指定機種をお使いください。 ・接続できる市販スキャナについて詳しくは最寄りの当社営業所へお問い合わせください。

【おおよその使いかた】

①データ変換機にブランクROMパックを装着します。



②スキャナとSCSIケーブルで接続します。



③データ読込後、電源を切り、本機（LC-150K）に装着し直します。

お願い

・ブランクROMパックの装着脱やスキャナとの接続は、必ず、データ変換機付属の取扱説明書に従って行なって下さい。
・ブランクROMパックの装着脱やスキャナとの接続は、必ず電源OFFの状態で行なって下さい。

メモ

* スキャナシステムは、オフラインで使用します。直接本機と接続するのではなく、一度データ変換機でブランクROMパックに登録して、それを本機に装着することで登録した図形を呼び出すようになっています。
そのため、良く使うマークなどを登録しておけば、手間なく誰にでも簡単にオリジナルの図形を呼び出すことができます。
* 当社指定機種以外のスキャナはご使用になれません。必ずご確認ください。

2. 呼び出しかた

本機では、スキャナデータは書体の一つとして扱います。ピクトサインの入力方法とは異なりますのでご注意ください。

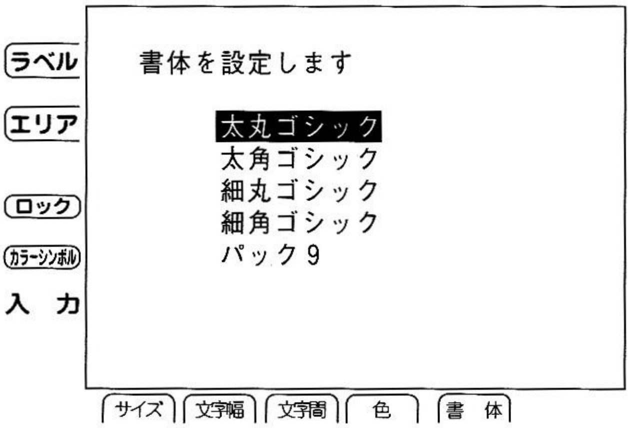
1 電源をONにする前に、データを登録したブランクROMパックを装着します。

・装着位置は、正面から向かって右側または中央の背面にあるスロットです。（LFと表記されています。）

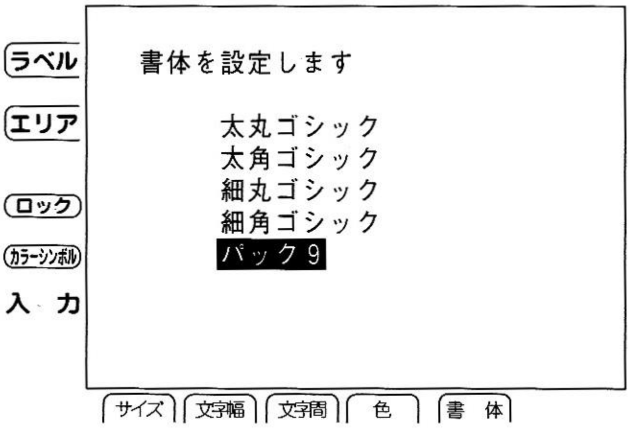
・フタをはずして、奥までしっかり差し込んでください。

お願い ・必ず電源を切ってから装着脱してください。電源ON状態で装着脱すると登録データを壊す恐れがあります。

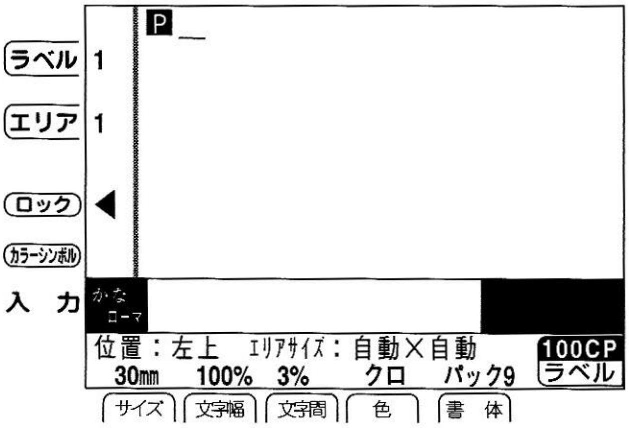
2 〔書体〕〔△〕を押します。



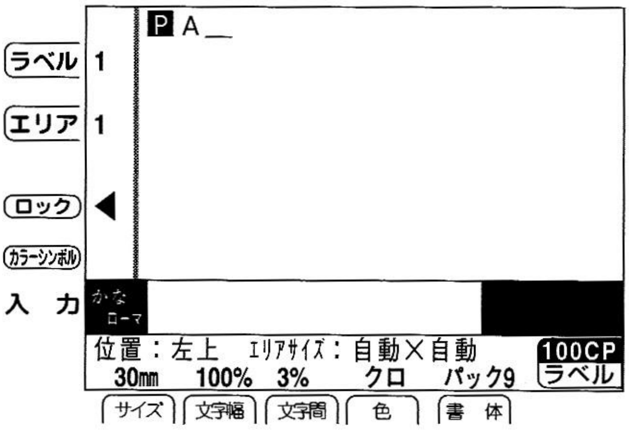
3 〔▽〕を押して、「パック9」を反転表示します。



4 〔実行〕を押します。
画面下の書体名表示が「パック9」に変わります。



⑤ 出力する図形の番号を入力します。



⑥ イメージ表示で確認します。

メモ

＊書体設定画面で表示される「パック」につづく番号は、データ交換機 DF-35RVC で登録した番号です。

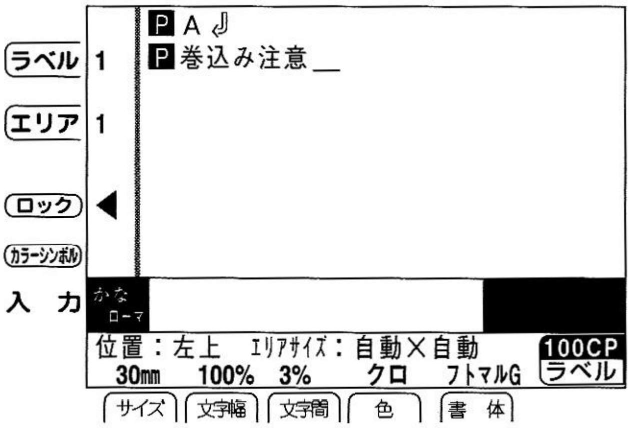
＊必ず、登録した番号を入力してください。データの無い番号を入力するとエラーとなります。

＊データ交換器 DF-35RVC では、ブランク ROM パック LF-BRPI に 36 個の図形を登録できます。36 個のデータは 0～9、A～Z の番号を持つようになります。

＊本機では、ブランク ROM パックを一度に 2 つまで装着できます。（書体パック含む個数）
その場合は、ブランク ROM パックの番号（パック No.）を必ず変えて下さい。（この操作は、データ登録前に DF-35RVC で行います。）

＊本機ではサイズ 100mm に設定したとき、データ変換機 DF-35RVC で登録に使った図形の原稿サイズの原寸となります。言い換えますと、サイズ設定は原稿に対しての比率（%）設定と置換えて考えられます。
したがって、原寸が 100mm 以上の大きな原稿だった場合には、サイズ 100mm に設定すると「サイズオーバー」エラーとなってしまいます。
スキャナデータと他の文字との混在出力も可能です。その時は、他の文字にカーソルを合わせ、書体を変えてください。

右のように入力します。
（2 つ目の P で書体を変更設定する。）



第14章　こんなときは

1. エラーメッセージと対処方法

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
000	1ラベルに設定可能なPの数は最大20個です	不要なP（2個以上続いているものなど）を削除してから、再度設定してください。1つのPで複数の設定を変えることができます。	109
001	1エリア内での改行は9行までです	①不要な行を削除してから、再度改行して下さい。 ②縦に2エリア以上の並んでいるパターンを選択すると、1ラベルで10行以上の入力が可能になります。	109 84
002	入力コードに該当する文字はありません	JISコードの先頭部分を入力後、[変換]を押すと簡単に検索できます。	43
004	コピー元選択範囲が20文字を超えています	コピー元選択の終点を始点から20文字以内で指定して下さい。	140
005	熟語が登録できる容量を越えました	登録されている熟語で不要なものを削除して下さい。	164
007	1ラベルに入力できる文字数は500文字までです	500文字以内で入力してください ただし、Pマークや改行マークなどの編集マークは、数文字にカウントされます	109
010	設定したラベルサイズではこのパターンは選択できません	①エリアの少ないパターンを選択して下さい。 ②ラベルサイズを大きくして下さい。	84 95
011	設定中のパターンには、このラベルサイズは設定不可能です	最小のエリアサイズが10mmになるように設定して下さい。	84
012	出力機器が接続されていません	電源を切って出力機器を接続して下さい。	16
014	現在のラベルに何も入力されていないので、新しいラベルの発行はできません	[次ラベル]で新規のラベルを2枚続けて作ることはできません。	108
015	コピーの開始位置の指定に誤りがあります	エリア末、ラベル末を開始位置にしないで下さい。	140

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
016	マーク、カラーシンボルはコピーできません	コピー元範囲に含めることができるのは、文字、改行マーク、カラーシンボル以外のピクトサインです。	140
017	カラーシンボルは1ラベルの中に10個までしか入力できません	カラーシンボルの入力は、1ラベル10個以内にして下さい。	40
018	縁取りは、パターンA(1エリアのパターン)のみで有効です	パターンAを使って下さい。	84
019	縁取りは1行のみでしか印字/カットしません	1行の文章に訂正して下さい。	109、127
020	ラインカットはカットのみ有効です	出力選択でカットを選択して下さい。	46
021	矢印・文字は、パターンA（1エリアのパターン）のみで有効です	パターンAを使って、入力し直して下さい	84、134
024	ラベルの最大入力枚数は9枚までです	不用のラベルを削除して下さい。	109
025	反射シートまたはサーマル紙をお使いの場合は、カットできませんので出力選択でプリントを選択して下さい	同左。	46
100	リボンカセットがセットされていません	①リボンカセットをセットして下さい ②LC-100CPでサーマル紙を使用する場合、リボンカセットは不要です。諸設定機能でサーマル紙を選択して下さい。	10 171
101	リボンが巻き取れません	①リボンカセットが終わりです。新しいリボンカセットを装着して下さい。 ②リボンカセットが正しく装着されているか確認して下さい。	10
102	プリントヘッドの動作不良	すぐに電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼して下さい。	－
103	ヘッドの温度が適正温度を超えています	電源を切り、しばらく待ってからご使用下さい。	102 付-27
104	ヘッドの温度が異常な温度になっています	すぐに電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼して下さい。	102 付-27
105	ヘッドの温度の検知ができません	すぐに電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼して下さい。	102 付-27

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
106	装着されていない書体カセットの文字があります	①書体を変更して下さい。 ②電源を切り、該当する書体カセットを装着して下さい	65
107	この書体には、この文字データがありません	書体の変更をして下さい。	65
108	ドアカバーが開いています	ドアカバーを閉めて下さい。	10
109	ドアカバーが開きました	ドアカバーを閉めて下さい	10
110	はさみの動作不良が起きています	すぐに電源を切り、販売店へご連絡の上、修理を依頼して下さい。	110、113 付-27
111	印字中にシートがなくなりました	シートを交換して再度印字を行なって下さい。	12
112	インクリボンがなくなりました	リボンを交換して再度印字を行なって下さい。	10
113	はさみがしまっています	①[はさみ]キーを押してはさみを動かして下さい。 ②①で直らない場合は電源を一度切って下さい。 ③①②でも症状が変わらない場合は、電源を切り、販売店へ御相談下さい。	－ －
114	矢印・文字では1行のみでしか設定できません	複数行を1行のみに入力文字を変更してください	109、 134
115	矢印・文字では添字、上付、下付文字の設定はできません	添字、上付、下付の指定マークを削除して下さい	109
116	矢印・文字では下線の設定はできません	下線の指定マークを削除して下さい	109
117	矢印・文字での縦横の指定が違います	縦横の指定はAまたはCを指定して下さい。	99
118	矢印・文字での文字のサイズが大きすぎます	文字サイズを小さく変更してください。	57
119	プリントモードでは縁取り印字はできません	ラベルまたはカットのモードにしてください。	46

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
200	作画する文字、文字列がシートの範囲を超えています	①文字サイズ、文字幅、文字間、行間またはラベルサイズの設定を変更してください。 ②枠囲み設定があり、数mmのオーバーの場合は、枠線設定で枠幅、文字と枠の間隔等を小さくして下さい。	56 95 81
201	均等配列で設定された長さに文字列が収まりません	文字サイズを小さくするか、長さ設定を大きくして下さい。	56
202	作画する文字がエリアの範囲を超えてしまいます	文字サイズ、文字間または行間を変更してください。	56
203	ラベルが大きすぎてシートの範囲を超えています	[パターン変更]でラベルサイズを変更してください。	95
204	ラインカットの設定でシート幅を超える設定がされています	幅、長さ、本数を超えない設定にして下さい。	136
205	ピクトサイン等、幅の大きい文字は桁合せできません	ピクトサイン等のあるエリアの桁合せを解除してください。	105
211	添字の指定がまちがっています	添字にする文字列を添字マークで正しく囲んで下さい。	76
212	下付の指定がまちがっています	下付にする文字列を下付マークで正しく囲んで下さい。	76
213	上付の指定がまちがっています	上付にする文字列を上付マークで正しく囲んで下さい。	76
214	下線の指定がまちがっています	下線をひく文字列を下線マークで正しく囲んで下さい。	78
220	縦書き設定では斜体設定は出来ません	斜体設定を解除して下さい。	72
221	縦書き設定では下線設定は出来ません	下線マークを削除して下さい。	78
222	縦書き設定では添字／上付／下付文字の設定はできません	添字／上付／下付文字のマークを削除して下さい。	76
230	書体に文字データがありません	オプション書体には、JIS第2水準漢字など出力できない文字があります。書体を変更してください。	65
240	分割印字、カットはパターンAで1行のみで有効です	パターンAに変更し、1行にして下さい。	59
241	分割印字、カットでは添字／上付／下付文字の設定はできません	指定マークを解除して下さい。	59

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
242	連続モードでの分割印字・カットはできません	①文字サイズを小さくして下さい。 ②文字サイズをそのままにする場合は連続モードを使わないでください。	56 122
243	連番モードでの分割印字・カットはできません	文字サイズをそのままにする場合は連番モードを使わないでください。	122
244	枠囲みが設定されていると分割印字・カットはできません	①枠囲みの設定を解除して下さい。 ②文字サイズを小さくして下さい。	81 57
245	分割印字・カットがあると全ラベル出力はできません	1ラベル毎に出力をして下さい。	142
246	爆弾囲みでは出力できるギザギザは400個までの制限があります	文字サイズを小さくするか文字数を少なくして下さい	81
247	添字／上付／下付文字は縁取りの設定はできません	添字／上付／下付文字のマークを削除して下さい。	76
250	添字／上付／下付文字がある場合は均等配列はできません	均等配列を解除して下さい。	74
251	縁取りができる長さは最大900mmまでです	文字サイズ、文字幅等で調整して文字列の長さを縮めて下さい。	127
260	文字サイズが10mm未満の文字はカットできません	文字サイズを10mm以上にして下さい。	57
261	縁取り文字での縦横の指定がちがいます	縦横の指定はAまたはCを指定して下さい。	99
270	ラベルモードでは分割印字、カットはできません	プリントまたはカットモードにして下さい。	46
271	分割では縦／横のBまたはD設定はできません。またはL配置縦でシート幅を超えています	縦／横の設定をAまたはC、L配置を横にして下さい。	99 144
272	パターンで固定サイズまたはユーザー設定の場合、分割印字、カットはできません	パターンを自動サイズに変更して下さい。	95
273	パターンで固定サイズまたはユーザー設定の場合、矢印･文字はできません	パターンを自動サイズに変更して下さい。	95
290	指定されたパターンサイズが小さい為、枠が付きません	①パターンサイズを大きくして下さい。 ②枠囲みを解除して下さい。	95 81
700	最大9ラベルが入力済みなのでこれ以上の呼出はできません	使わないラベルを削除してから再度、呼出を行なって下さい。	109

エラー番号	メッセージ	対応のしかた	参照ページ
701	内部メモリに登録できる文字数は20,000文字までです	使わないファイルを削除してから再度、登録を行なって下さい。	164
702	外部メモリに登録できる文字数は40,000文字までです	使わないファイルを削除してから再度、登録を行なって下さい。	150
703	内部メモリに登録できる文字数は100ファイルまでです	使わないファイルを削除してから再度、登録を行なって下さい。	150
704	外部メモリに登録できる文字数は150ファイルまでです	使わないファイルを削除してから再度、登録を行なって下さい。	150
705	指定されたメモリにはファイルは登録されていません	ファイルを登録後、呼び出して下さい。	150
706	メモリカセットの書き込みができません	電源を切り、メモリカセット（メモリパック）が正しく装着されているか確認して下さい。	150

2. 故障かなと思う前に

【キーボード LC-150K】

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
電源が入らない。	電源コードがコンセント側、LC-150K側にしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセント側、LC-150K側にしっかり差し込んでください。	16
ディスプレイ表示のコントラストが薄い。	ディスプレイの輝度調整が薄くなっていませんか。	ディスプレイの輝度調整を行なって下さい。	169
オプションのメモリパック(LC-100M)が働かない。	メモリパックをLFと表示されている装着部に差し込んでいませんか。	電源を切り、メモリパックをLC-100Mと表示されている装着部に差し込み直してください。	173
	奥までしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、上記の装着部にしっかりと奥まで差し込んでください。	173
オプションの書体パックが働かない。	書体パックをLC-100Mと表示された装着部に差し込んでいませんか。	電源を切り、書体パックをLFと表示されている装着部に差し込み直してください。	164
	奥までしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、上記の装着部にしっかりと奥まで差し込んでください。	164
ブランクROMパック(スキャナデータ)が呼び出せない。	ブランクROMパックをLC-100Mと表示された装着部に差し込んでいませんか。	電源を切り、ブランクROMパックをLFと表示されている装着部に差し込み直してください。	176
	奥までしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、上記の装着部にしっかりと奥まで差し込んでください。	176
	データを登録していない番号を入力していませんか。	登録した番号を入力して下さい。	178
	同じ書体設定（パック1など）でかなや漢字を入力していませんか。	かなや文字は、別に書体設定をして下さい。	178
ハンディスキャナ（LC-100S）が接続できない	本機にハンディスキャナ（LC-100S）を接続することは出来ません	別売のスキャナシステムをご利用下さい。	176

【プリント&カッティングマシン LC-100CP（1）】

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
動作しない	電源コードがコンセント側、LC-150K側にしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセント側、LC-150K側にしっかり差し込んでください。	16
	LC-100CPの2本のコードが専用の端子にしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、LC-100CPの2本のコードを専用の端子にしっかり差し込み直してください。	16
シートが出てこない	シートはきちんとセットされていますか。	シートをきちんとセットしてください。	12
	インクリボンはセットされていますか。	インクリボンをセットしてください。	10
	インクリボンが終わっていませんか。	新しいインクリボンカセットをセットしてください。	10
	シートがハサミ部で詰っていませんか。 シートを斜めに装着したまま動作させたり、シート先端がめくれたままで動作させるとシートが詰まる場合があります。	・電源を切り、電源をコンセントから抜きます。ドアカバーを開け、詰まったシートを取り除きます。シート先端をはさみなどできれいにカットし、再度セットします。 ・どうしても詰まったシートが取り除けない場合は、最寄りの当社サービス会社へお問い合わせください。	13 付-27
印刷しないでシートが出てくる。	インクリボンはセットされていますか。	インクリボンをセットし直してください。また、諸設定機能・シート種類選択で「通常」を選択し直してください。	10 171
	インクリボンが終わっていませんか。	新しいインクリボンカセットをセットして下さい。	10
リボンがシートと一緒に出てくる。	インクリボンカセットの装着時にリボンのたるみを取り除きましたか。	ドアカバーを開け、リボンカセットを一度取り外して、リボンたるみを取り除き、再度セットしてください。	10

第14章

故障かなと思う前に

【プリント&カッティングマシン LC-100CP (2)】

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
印刷すると文字がかすれる。	気温の低いところで使用していませんか。（本機は、気温が10℃以上の場所で使用されることを想定して設計されています。）	①印字濃度調整ダイヤル（アジャストメントダイヤル）の目盛を1ずつ大きな値にして印字し、かすれないよう調整してください。 ②10℃以上(15℃以上を推奨)の場所に機械をしばらく置いておいた後に再度使用してください。	173 vi
印刷すると斑点状の印字抜けが目立つ。	静電気などによりシート表面にホコリ、ゴミなどが付着していることが考えられます。	・シートの外周1巻分はゴミがつきやすいので、切除してから装着してください。 ・粘着剤や油などが付着しても印字抜けは発生します。シート表面はきれいな状態で保つよう、直接指で触れないなど気を付けてください。 ・使用しないときのシートの保管は、梱包のビニール袋に入れてください。	vi 172
文字や枠線の先頭にギザギザがでる。	低い気温の場所で使用していませんか。	低い気温の場所では印字先端部のインクのノリが悪くなり、印字品質が多少劣化します。気温の高い場所(15℃以上を推奨)でご使用ください。	vi
印刷すると文字の後部へ尾を引く。	印字濃度調整ダイヤル（アジャストメントダイヤル）を確認してください。	印字濃度調整ダイヤル（アジャストメントダイヤル）の目盛を1ずつ小さな値にして印字し、尾引かないよう調整してください。	173
文字数の多いラベルを出力すると、途中で一時停止する。	故障ではありません。データが複雑な為に、一時印刷動作を中断しています。	そのままにしてください。自動的に印字動作を再開します。	–

【プリント&カッティングマシン LC-100CP (3)】

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
カット時の刃の切れ味が落ちた。	刃先にシートの切りカスが付着していませんか。	電源を切り、電源コードを抜いてから、刃先に付着したシートの切りカスを取り除いてください。	14
	圧力調整ダイヤル（アジャストメントダイヤル<カット>）を確認ください。	刃先の圧力を調整する圧力調整ダイヤル（アジャストメントダイヤル<カット>）を1ずつ大きな値にしてカットし、適切なカットができるよう調整してください。	174
	刃先の摩耗が考えられます。刃（カッティングツール）の寿命は、カット距離で約3,000mです。	電源を切り、電源コンセントを抜き、刃(カッティングツール)の交換を行なって下さい。	14
刃（カッティングツール）交換直後から、シートにキズをつけるようなった。	刃（カッティングツール）の交換時に、刃先を押し込みませんでしたか。	刃（カッティングツール）の装着は、軽く差し込むだけで十分です。電源を切り、電源コンセントを抜いて、再度セットし直してください。	14
カットした文字の角の部分が丸みを帯びる。	刃先が摩耗していませんか。または、欠けていませんか。	電源を切り、電源コンセントを抜いて、新しい刃（カッティングツール）に交換してください。	14

【カッティングマシン　LC-100C/200C】

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
動作しない	電源コードがコンセント側、LC-150K側にしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセント側、LC-150K側にしっかり差し込んでください。	16
	LC-100C/200Cのコードが専用の端子にしっかり差し込まれていますか。	電源を切り、LC-100C/200Cのコードを専用の端子にしっかり差し込み直してください。	16
シートが出てこない	シートはきちんとセットされていますか。	シートをきちんとセットしてください。	15
カット時の刃の切れ味が落ちた。	刃先にシートの切りカスが付着していませんか。	電源を切り、電源コードを抜いてから、刃先に付着したシートの切りカスを取り除いてください。	14
	圧力調整ダイヤル（アジャストメントダイヤル<カット>）を確認ください。	刃先の圧力を調整する圧力調整ダイヤル（アジャストメントダイヤル<カット>）を1ずつ大きな値にしてカットし、適切なカットができるよう調整してください。	174
	刃先の摩耗が考えられます。刃（カッティングツール）の寿命は、カット距離で約3,000mです。	電源を切り、電源コンセントを抜き、刃(カッティングツール)の交換を行なって下さい。	14
刃（カッティングツール）交換直後から、シートにキズをつけるようなった。	刃（カッティングツール）の交換時に、刃先を押し込みませんでしたか。	刃（カッティングツール）の装着は、軽く差し込むだけで十分です。電源を切り、電源コンセントを抜いて、再度セットし直してください。	14
カットした文字の角の部分が丸みを帯びる。	刃先が摩耗していませんか。または、欠けていませんか。	電源を切り、電源コンセントを抜いて、新しい刃（カッティングツール）に交換してください。	14

付録

1. 搭載文字一覧表（JIS コード表）......付-1
2. ピクトサイン一覧表......付-16
3. 枠囲みの一覧表......付-20
4. 初期値一覧表......付-21
5. ローマ字入力規則表......付-22
6. 製品仕様
(LC-150K / LC-100CP / LC-100C / LC-200C)......付-23
7. ラベル／切り文字のおすすめ操作手順ガイド......付-24
8. 保証書／保守サービス......付-27

搭載文字一覧表（JIS コード一覧表）

JIS コード入力の際には、JIS コード表により必要な文字または記号を確認し、コードの入力を行ってください。

当 JIS コード表は、**非漢字・JIS 第一水準漢字・JIS 第二水準漢字**の３項目に分けてあります。それぞれ、多少分類方法が異なりますので、下記の「**表の見方**」に従って効率よく調べてください。

表の見方

❶ コードは 16 進で表現されています。
例えば、「B」のコードは 2340 + 2=2342 となります。

❷ 非漢字
各種記号・英数字・ひらがな・カタカナなどの JIS コード表です。それぞれの範疇ごとに分けてあります。

❸ JIS 第一水準漢字
JIS 第一水準漢字が、「あいうえお順」に区分けされています。

❹ JIS 第二水準漢字
JIS 第二水準漢字が、部首別に区分けされています。

メモ　当コードの漢字は、文章用の書体を使用していますので、作画した文字と一部文字形が異なります。

メモ　オプション書体では、特字（2D20～2E30）、ギリシャ文字（2620～2650）、ロシア文字（2720～2770）、「う゛」(2474) は、文字データが無く、出力できません。該当文字は標準書体に変更して出力してください。

付録

搭載文字一覧表

非漢字

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記号	2120			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
	2130	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
	2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
	2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
	2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	2170	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
	2230											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
	2240	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀
	2250	∃												∠	⊥	⌒	∂
	2260	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
	2270			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯	
特字	2D20		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
	2D30	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
	2D40	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻
	2D50	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	m²	m³	cm²	cm³	mm²	mm³	ℓ	kℓ	t	㍻
	2D60		〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
	2E20		(協)	(電)			(営)	(注)			cal	Hg	°K	Bg	dB	Ag	ppm
	2E30	FAX	株式会社	株式会社	有限会社	有限会社	社団法人	社団法人	財団法人	財団法人	(社)	(資)	(財)	(名)			
英数字	2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
	2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
	2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
ひらがな	2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
	2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
	2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
	2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	2470	ゐ	ゑ	を	ん	ゔ											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
カタカナ	2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
	2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
ギリシャ文字	2620		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
	2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
	2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
ロシア文字	2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
	2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	2740	Ю	Я														
	2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
	2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	2770	ю	я														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

メモ

オプション書体では、特字(2D20～2E30)、ギリシャ文字(2620～2650)、ロシア文字（2720～2770)、「う゛」(2474) は、文字データが無く、出力できません。該当文字は標準書体に変更して出力してください。

JIS 第一水準漢字

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ア	3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏						
イ	3040											以	伊	位	依	偉	囲
	3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	3120		院	陰	隠	韻	吋										
ウ	3120							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
	3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	3140	雲															
エ	3140		荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
	3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
	3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩									
オ	3170								於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
	3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
	3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音				
カ	3230													下	化	仮	何
	3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
	3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
	3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
	3340	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
	3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
	3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
(カ)	3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
	3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
	3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
	3440	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
	3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願					
キ	3460												企	伎	危	喜	器
	3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
	3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
	3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
	3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
	3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
	3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	3660	謹	近	金	吟	銀											
ク	3660						九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
	3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
	3730	薫	訓	群	軍	郡											
ケ	3730						卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
	3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
	3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
	3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
	3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	3840	言	諺	限													

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
コ	3840				乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
	3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
	3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
	3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
	3A30	紺	艮	魂													
サ	3A30				些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
	3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
	3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
	3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
	3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
	3B40	酸	餐	斬	暫	残											
シ	3B40						仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
	3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
	3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
	3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
	3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
	3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(シ)	3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
	3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
	3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
	3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
	3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
	3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭						
ス	3F50											笥	諏	須	酢	図	厨
	3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
	4020		澄	摺	寸												
セ	4020					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
	4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
	4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎							
ソ	4130										噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
	4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
	4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ソ)	4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
	4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
タ	4230															他	多
	4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
	4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
	4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
	4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
	4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談			
チ	4340														値	知	地
	4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
	4440	沈	珍	賃	鎮	陳											
ツ	4440						津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
	4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
	4460	釣	鶴														
テ	4460			亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
	4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
	4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
	4540	点	伝	殿	澱	田	電										
ト	4540							兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
	4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	4570	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(ト)	4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
	4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
	4640	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
	4650	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	曇	鈍
ナ	4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	4670	軟	難	汝													
ニ	4670				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
	4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認								
ヌ	4720									濡							
ネ	4720										禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
	4730	念	捻	撚	燃	粘											
ノ	4730						乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
	4740	農	覗	蚤													
ハ	4740				巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
	4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	
	4820		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
	4830	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
	4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮					
ヒ	4850												匪	卑	否	妃	庇
	4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
	4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
	4930	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
	4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
	4950	賓	頻	敏	瓶												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
フ	4950					不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
	4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
	4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞						
ヘ	4A30											丙	併	兵	塀	幣	平
	4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
	4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭			
ホ	4A50														保	舗	鋪
	4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
	4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
マ	4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
	4C20		漫	蔓													
ミ	4C20				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
	4C30	粍	民	眠													
ム	4C30				務	夢	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘				
メ	4C30														冥	名	命
	4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺		
モ	4C40															摸	模
	4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
	4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁							
ヤ	4C60										也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓					
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ユ	4C70												愉	愈	油	癒	
	4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕			
ヨ	4D30														予	余	与
	4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
	4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
	4D60	沃	浴	翌	翼	淀											
ラ	4D60						羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧								
リ	4D70									利	吏	履	李	梨	理	璃	
	4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
	4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
	4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟				
ル	4E50													瑠	塁	涙	累
	4E60	類															
レ	4E60		令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4F20		蓮	連	錬												
ロ	4F20					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
	4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
	4F40	論															
ワ	4F40		倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
	4F50	椀	湾	碗	腕												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

JIS 第二水準漢字

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
一	5020		弌	丐	丕												
	5020					个	丱										
丶	5020								丼								
丿	5020									丿	乂	乖	乘				
乙	5020													亂			
亅	5020														亅	豫	亊
	5030	舒															
二	5030		弍	于	亞	亟											
亠	5030						亠	亢	亰	亳	亶						
人	5030											从	仍	仄	仆	仂	仗
	5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
	5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
	5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	5070	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
	5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
	5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻							
儿	5130										儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
入	5140	兩	兪														

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
八	5140			兮	冀												
冂	5140					冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕				
冖	5140													冖	冤	冦	冢
	5150	冩	冪														
冫	5150			冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛				
几	5150													几	處	凩	凭
	5160	凰															
凵	5160		凵	凾													
刀	5160				刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
	5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
	5220		辧														
力	5220			劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
	5230	勸															
勹	5230		勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏								
匕	5230									匕							
匚	5230										匚	匣	匯	匱	匳		
匸	5230															匸	區
十	5240	卆	卅	丗	卉	卍	凖										
卜	5240							卞									

部首		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
卩	5240							卩	卮	夘	卻	卷					
厂	5240													厂	厖	厠	厦
	5250	厥	厮	厰													
厶	5250				厶	參	篡										
又	5250							雙	叟	曼	燮						
口	5250											叮	叨	叭	叺	吁	吽
	5260	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
	5320		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
	5330	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
	5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
	5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
	5360	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
	5370	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓								
囗	5370									囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
	5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜							
土	5420										圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
	5430	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
	5440	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
	5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
	5460	壜	壤	壟													
士	5460				壯	壺	壹	壻	壼	壽							
夂	5460										夂						
夊	5460											夊	夐				
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

部首		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
夕	5460													夛	梦	夥	
大	5460																夬
	5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
女	5520		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
	5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
	5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
	5550	孃	孅	孀													
子	5550				孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	
宀	5550																宀
	5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	5570	寳															
寸	5570		尅	將	專	對											
小	5570						尓	尠									
尢	5570								尢	尨							
尸	5570										尸	尹	屁	屆	屎	屓	
	5620		屐	屏	孱	屬											
屮	5620						屮										
山	5620							乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
	5630	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
	5640	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
	5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	
巛	5650																巛
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
工	5660	巫															
已	5660		已	巵													
巾	5660				帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	5670	幟	幢	幤	幇												
干	5670					幵	并										
幺	5670							幺	麼								
广	5670									广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
	5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰		
廴	5720															廴	廸
廾	5730	廾	弃	弉	彝	彜											
弋	5730						弋	弑									
弓	5730								弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
彑	5740	彑	彖	彗	彙												
彡	5740					彡	彭										
彳	5740							彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
	5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼										
心	5750							忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
	5760	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
	5770	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(心)	5820		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
	5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
	5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
	5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
	5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
	5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀							
戈	5870										戈	戉	戍	戌	戔	戛	
	5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳								
戸	5920									扁							
手	5920										扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
	5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
	5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
	5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
	5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
	5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
	5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
	5A30	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫			
攴	5A30														攴	攵	攷
	5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	
斗	5A40																斛
	5A50	斟															
斤	5A50		斫	斷													
方	5A50				旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙					
无	5A50												无	旡			

付録

搭載文字一覧表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
日	5A50														旱	杲	昊
	5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
	5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
	5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩							
曰	5B20										曰	曵	曷				
月	5B20													朏	朖	朞	朦
	5B30	朧	霸														
木	5B30			朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
	5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
	5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
	5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
	5B70	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
	5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
	5C30	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
	5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
	5C50	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
	5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
	5C70	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
	5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
	5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟									
欠	5D30								欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
	5D40	歙	歔	歛	歟	歡											
止	5D40						歸										
歹	5D40							歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
	5D50	殪	殫	殯	殲	殱											
殳	5D50						殳	殷	殼	毆							
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
毋	5D50										毋	毓					
毛	5D50												毟	毬	毫	毳	毯
	5D60	麾	氈														
氏	5D60			氓													
气	5D60				气	氛	氤	氣									
水	5D60								汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
	5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
	5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
	5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
	5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
	5E50	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
	5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
	5E70	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
	5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
	5F30	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
	5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
	5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣											
火	5F50						炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
	5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
	5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	
	6020		燹	燿	爍	爐	爛	爨									
爪	6020								爭	爬	爰	爲					
爻	6020												爻	爼			
爿	6020														爿	牀	牆
	6030	牋	牘														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
牛	6030			牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧					
犬	6030												犹	犲	狃	狆	狄
	6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
	6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺			
玉	6050														珈	玳	珎
	6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
	6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
瓜	6120		瓠	瓣													
瓦	6120				瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
	6130	甍	甕	甓													
甘	6130				甞												
生	6130					甦											
用	6130						甬										
田	6130							甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
	6140	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂					
病	6140												疔	疚	疝	疥	疣
	6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
	6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
	6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
	6220		癲														
癶	6220			癶	癸	發											
白	6220						皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚		

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
皮	6220															皰	皴
	6230	皸	皹	皺													
皿	6230				盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯			
目	6230														盻	眈	眇
	6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
	6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
	6260	矗	矚														
矛	6260			矜													
矢	6260				矣	矮											
石	6260						矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
	6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
	6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫					
示	6320												祀	祠	祗	祟	祚
	6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳					
禸	6330												禹	禺			
禾	6330														秉	秕	秧
	6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
	6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰										
穴	6350							穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
	6360	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊									
立	6360								竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
	6370	竦	竭	竰													
竹	6370				笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
	6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
(竹)	6430	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
	6440	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
	6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
	6460	籥	籬														
米	6460			籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
	6470	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶			
糸	6470														糺	紆	
	6520		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
	6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
	6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
	6550	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
	6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
	6570	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜			
缶	6570														缸	缺	
	6620		罅	罌	罍	罎	罐										
网	6620							网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
	6630	羂	羆	羃	羈	羇											
羊	6630						羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
	6640	羸	譱														
羽	6640			翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜			
老	6640														耆	耄	耋
耒	6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨										
耳	6650							耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
	6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽										
聿	6660							聿	肄	肆	肅						
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
肉	6660											肛	肓	肚	肭	冐	肬
	6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
	6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
	6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
	6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠							
臣	6740										臧						
至	6740											臺	臻				
臼	6740													臾	舁	舂	舅
	6750	與	舊														
舌	6750			舍	舐	舖											
舟	6750						舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
	6760	艢	艨	艪	艫	舮											
艮	6760						艱										
色	6760							艷									
艸	6760								艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
	6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	
	6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
	6830	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
	6840	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
	6850	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
	6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
	6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
	6920		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇
	6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
	6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿								
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
虍	6940									虍	虒	虔	號	虧			
虫	6940														虱	蚓	蚣
	6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
	6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
	6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
	6A20		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
	6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
	6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻								
血	6A40									衄	衂						
行	6A40											衒	衙	衞	衢		
衣	6A40															衫	袁
	6A50	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
	6A60	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
	6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
	6B20		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷								
襾	6B20									襾	覃	覈	覊				
見	6B20													覓	覘	覡	覩
	6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀								
角	6B30									觚	觜	觝	觧	觴	觸		
言	6B30															訃	訖
	6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
	6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
	6B60	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
	6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
	6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
谷	6C20															谺	豁
	6C30	谿															
豆	6C30		豈	豌	豎	豐											
豕	6C30						豕	豢	豬								
豸	6C30									豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
	6C40	貔	豼	貘													
貝	6C40				戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
	6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	
赤	6C50																赧
	6C60	赭															
走	6C60		赱	赳	趁	趙											
足	6C60						跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
	6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
	6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
	6D30	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡					
身	6D30												躬	躰	軆	躱	躾
	6D40	軅	軈														
車	6D40			軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
	6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
	6D60	轢	轣	轤													
辛	6D60				辜	辟	辣	辭	辯								
辶	6D60									辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
	6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
	6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
	6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
邑	6E30								邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
	6E40	鄒	鄙	鄲	鄰												
酉	6E40					酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
	6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁								
釆	6E50									釉	釋						
里	6E50											釐					
金	6E50												釖	釟	釡	釛	釼
	6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
	6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
	6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
	6F30	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
	6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
	6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿							
門	6F50										閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
	6F60	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
	6F70	關	闡	闥	闢												
阜	6F70					阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	
	7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
隶	7030	隶	隸														
隹	7030			隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕					
雨	7030												雹	霄	霆	霈	霓
	7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
青	7050	靜															
非	7050		靠														
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
面	7050			靤	靦	靨											
革	7050						勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
	7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈						
韋	7060											韋	韜				
韭	7060													韭	齏	韲	
音	7060																竟
	7070	韶	韵														
頁	7070			頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
	7120		顱	顴	顳												
風	7120					颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆					
食	7120												飩	飫	餃	餉	餒
	7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
	7140	饑	饒	饌	饕												
首	7140					馗	馘										
香	7140							馥									
馬	7140								馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
	7150	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
	7160	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪				
骨	7160													骭	骰	骼	髀
	7170	髏	髑	髓	體												
高	7170					髞											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
髟	7170						髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
	7220		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣								
鬥	7220									鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮		
鬯	7220															鬯	
鬲	7220																鬲
鬼	7230	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘									
魚	7230								魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
	7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱
	7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
	7260	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸						
鳥	7260											鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
	7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
	7320		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
	7330	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
	7340	鸚	鸛	鸞													
鹵	7340				鹵	鹹	鹽										
鹿	7340							麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝		
麦	7340															麥	麩
	7350	麸	麪	麭													
麻	7350				靡												
黄	7350					黌											

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
皿	7350						黎	黏	黐								
黒	7350									黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
	7360	黴	黶	黷													
黹	7360				黹	黻	黼										
黽	7360							黽	鼇	鼈							
鼓	7360										皷	鼕					
鼠	7360												鼡	鼬			
鼻	7360														鼾		
齊	7360															齊	
齒	7360																齒
	7370	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶				
龍	7370													龕			
龜	7370														龜		
龠	7370															龠	

付録 搭載文字一覧表

2. ピクトサイン一覧表

ピクトサイン（絵文字）は、４つのグループに分かれています。Pサインを押して、グループを選ぶと画面上にピクトサインが表示されます。

ピクトサインの使用上の注意

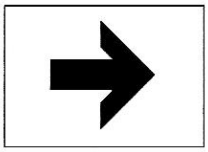
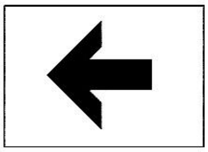
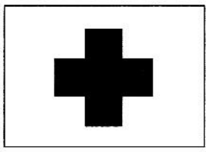
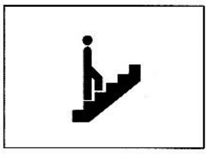
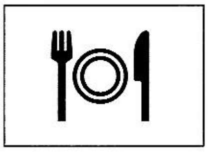
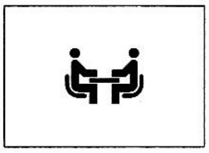
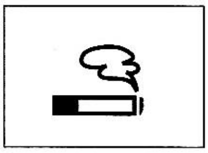
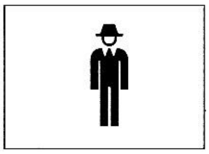
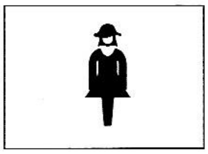
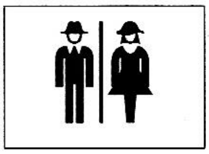
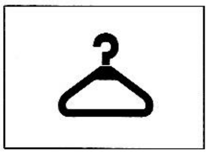
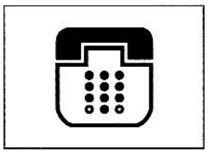
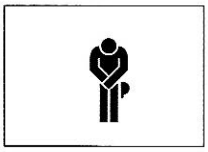
❶ **ピクトサインは、Pマークで大きさを変えることができます。**
ただし、一部のピクトサインはシンボルの天地サイズと設定サイズが一致しません。そのため、サイズの設定内容によっては、作画範囲オーバーなどのエラーが表示される場合があります。その場合は、文字サイズを小さくするなど調整して使用してください。

❷ **下表で記号の後ろにカラーと表記しているものは、カラーシンボルです。マルチカラーリボンでカラー印刷ができるほか、マークの各部位毎に色の設定も可能です。**

参照
* ピクトサインの入力方法は、「第２章 2.8 ピクトサイン（絵文字）の入力」41 ページを参照ください。
* 色の設定は、「第３章 1.7 色選択〜カラーシンボルの色を変える」64 ページを参照ください。

ピクトサインの一覧表

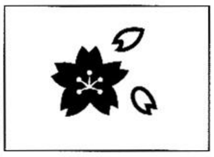
ピクトサイン

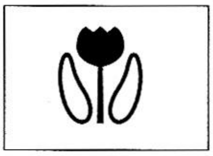
方向		安全十字	昇降	
				
矢印（右） 記号:A	矢印（左） 記号:B	安全十字 記号:C	階段 記号:D	エスカレーター 記号:E
	飲食・くつろぎ			
				
エレベーター 記号:F	食堂 記号:G	休憩室 記号:H	喫煙場所 記号:I	禁煙 記号:J
性別			着替え	電話
				
男子 記号:K	女子 記号:L	男女 記号:M	更衣室 記号:N	電話 記号:O
ごみ箱	水飲み場	立入り・進入禁止	頭を下げる	
				
ごみ箱 記号:P	水飲み場 記号:Q	立入禁止 記号:R	ごめん 記号:S	

イラストの一覧表

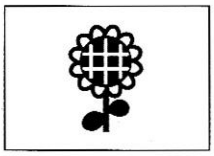
イラスト

春


桜 記号:A

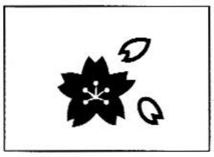

チューリップ 記号:B

夏


ひまわり 記号:C

椰子の木 記号:D

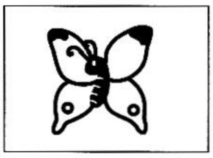
秋

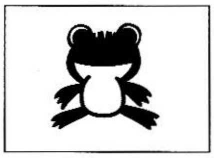

もみじ 記号:E

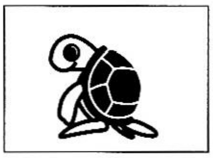
冬

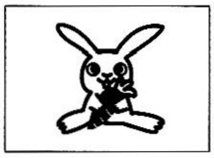
雪だるま 記号:F

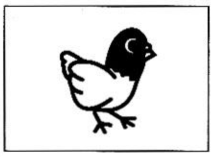
動物


ちょう 記号:G


かえる 記号:H


かめ 記号:I


うさぎ 記号:J


はと 記号:K

キャッチの一覧表

キャッチ

商品用

今、売れています! 記号:A

New（1） 記号:B

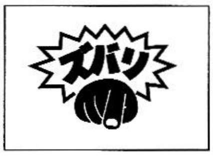
New（2） 記号:C

New（3） 記号:D

おすすめ品 記号:E

ヒット商品 記号:F

お買い得 記号:G



ズバリ 記号:H

新登場 記号:I

新プラン 記号:J

これだ 記号:K

注目 記号:L

キャンペーン

キャンペーン中 記号:M

バーゲン(1) 記号:N

バーゲン(2) 記号:O

ピクトサイン一覧表

キャッチの一覧表

キャッチ

キャンペーン

総決算　記号:P

大創業祭　記号:Q

好評発売中　記号:R

特ダネ情報(1)　記号:S

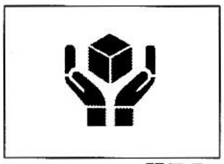
特ダネ情報(2)　記号:T

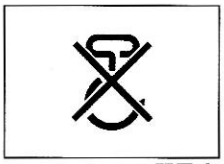
募集　記号: U

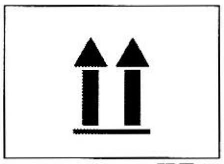
注意の一覧表

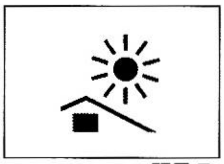
注意

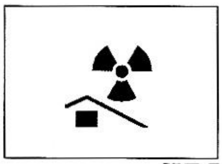
記号:A

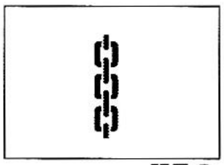

記号:B


記号:C

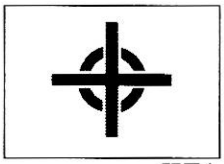

記号:D

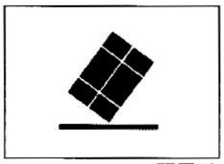

記号:E

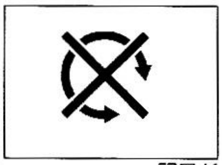

記号:F

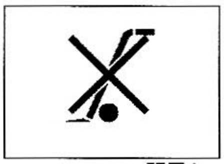

記号:G

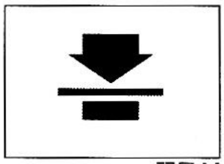
記号:H

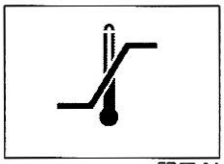

記号:I


記号:J

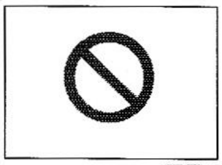

記号:K

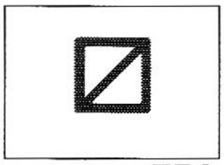

記号:L

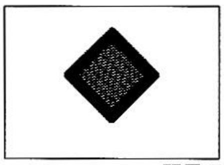

記号:M

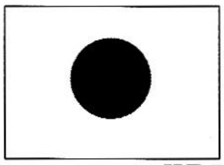

記号:N

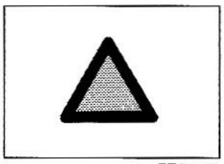
記号:O

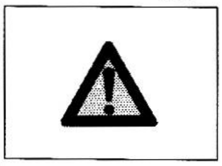

記号:P
カラー

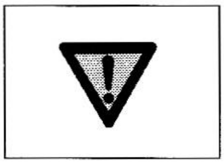

記号:Q
カラー


記号:R
カラー


記号:S
カラー


記号:T
カラー


記号:U
カラー


記号:V
カラー

記号:W
カラー

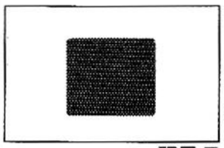
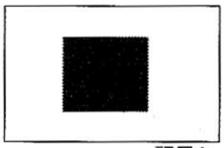
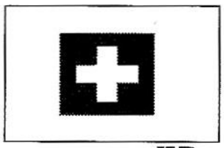
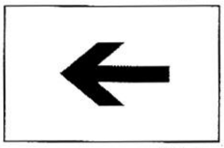
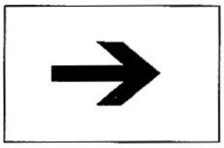
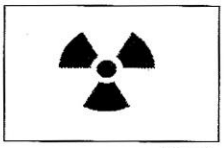
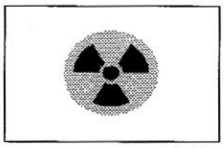
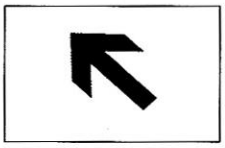
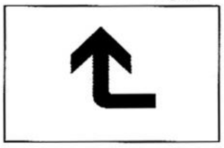
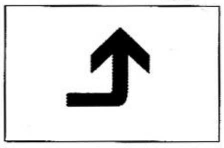
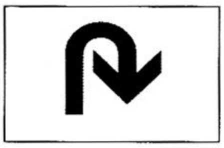
記号:X
カラー

記号:Y
カラー

付録 ピクトサイン一覧表

注意の一覧表

注意 ⚠

 記号:Z カラー	 記号:a カラー	 記号:b カラー	 記号:c カラー	 記号:d カラー
 記号:e	 記号:f	 記号:g カラー	 記号:h カラー	 記号:i カラー
 記号:j カラー	 記号:k	 記号:l	 記号:m	 記号:n
 記号:o	 記号:p カラー			

3. 枠囲みの一覧表

本機では、入力した文字に枠囲み（枠線）を設定することができます。

枠囲み使用上の注意

❶ ラベルサイズの設定を行なっている場合は、ラベルサイズの内側に枠線を作画するようになります。そのため、ラベルサイズが小さいと、十分な文字入力エリアが確保できずエラーがなかなか消えない場合があります。入力文字が多い場合や2エリア以上のパターンを選択している場合は、パターン選択で「自動サイズ」を選ばれることをお勧めします。

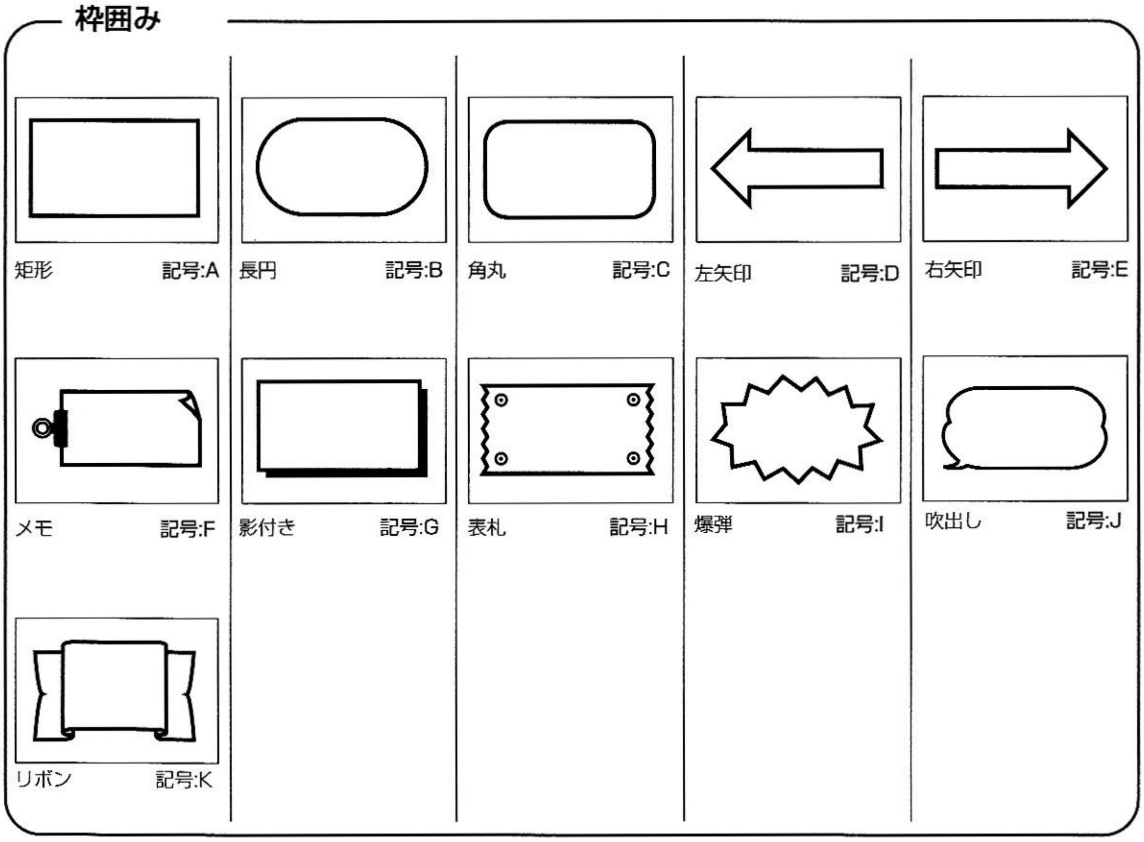
❷ 枠囲みの詳細設定で、「枠カットの余白」を「０」に設定すると若干ですが印刷した枠線をカットする場合があります。気になる場合は、「枠カットの余白」を「0.5」に設定してください。

お願い

* 枠囲みについては、「第４章 2. 枠囲みの設定」81 ページを参照ください。

* パターン選択については、「第５章 パターンでレイアウトする」84 ページを参照ください。

飾り枠の一覧表



4. 初期値一覧表

本機で工場出荷時に設定されている値は次の通りです。

* 備考欄に「セットアップ」と記載されている項目は、セットアップ機能でお客様が電源投入時の値を変更できるものです。
* 備考欄に「諸設定」と記載されている項目は、諸設定機能でお客様が設定できますが、バックアップメモリされないため、電源を切ると工場出荷時の値に戻るものです。

区分	設定項目	工場出荷時	備考
マーク			
	サイズ	30mm	セットアップ
	文字幅	100%	セットアップ
	文字間	3%	セットアップ
	色	黒	セットアップ
	書体	太丸ゴシック体	セットアップ
	斜体	いいえ	セットアップ
	均等配列	いいえ	―
	行間	10%	セットアップ
エリアの設定			
	縦／横	よこ（A）	―
	位置合せ	左上	―
	背景色	設定解除	―
	桁合わせ	いいえ	―
ラベル全体			
	パターン	パターンA（自動サイズ）	―
	パターン（固定サイズ、ユーザー設定選択時）	ラベルサイズ 100×200mm	―
	枠囲み	枠切	除くプリント選択時
	L配置（ラベル配置）	よこ（シート長さ方向）	メモリ登録時にはラベル毎に記憶されます。
出力全体に関わる			
	シート種類選択	通常シート	諸設定

5. ローマ字入力規則表

あ a	い i yi	う u wu	え e	お o
か ka ca	き ki	く ku cu qu	け ke	こ ko co
さ sa	し si ci shi	す su	せ se ce	そ so
た ta	ち ti chi	つ tu tsu	て te	と to
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no
は ha	ひ hi	ふ hu fu	へ he	ほ ho
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo
や ya		ゆ yu		よ yo
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro
わ wa	ゐ wi		ゑ we	を wo
		ん　n＋(y以外の子音)＋母音		
が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go
ざ za	じ zi ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo
だ da	ぢ di	づ du	で de	ど do
ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo
ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po
きゃ kya	きぃ kyi	きゅ kyu	きぇ kye	きょ kyo
しゃ sya sha	しぃ syi	しゅ syu shu	しぇ sye she	しょ syo sho
ちゃ tya cya cha	ちぃ tyi cyi	ちゅ tyu cyu chu	ちぇ tye cye che	ちょ tyo cyo cho
てゃ tha	てぃ thi	てゅ thu	てぇ the	てょ tho

にゃ nya	にぃ nyi	にゅ nyu	にぇ nye	にょ nyo
ひゃ hya	ひぃ nyi	ひゅ nyu	ひぇ hye	ひょ hyo
みゃ mya	みぃ myi	みゅ myu	みぇ mye	みょ myo
りゃ rya	りぃ ryi	りゅ ryu	りぇ rye	りょ ryo
ぎゃ gya	ぎぃ gyi	ぎゅ gyu	ぎぇ gye	ぎょ gyo
じゃ zya jya ja	じぃ zyi jyi	じゅ zyu jyu ju	じぇ zye jye je	じょ zyo jyo jo
ぢゃ dya	ぢぃ dyi	ぢゅ dyu	ぢぇ dye	ぢょ dyo
でゃ dha	でぃ dhi	でゅ dhu	でぇ dhe	でょ dho
びゃ bya	びぃ byi	びゅ byu	びぇ bye	びょ byo
ぴゃ pya	ぴぃ pyi	ぴゅ pyu	ぴぇ pye	ぴょ pyo
うぁ wha	うぃ whi		うぇ whe	うぉ who
くぁ kwa qa	くぃ kwi qi	くぅ kwu	くぇ kwe qe	くぉ kwo qo
つぁ tsa	つぃ tsi		つぇ tse	つぉ tso
ふぁ fwa fa	ふぃ fwi fi	ふぅ fwu	ふぇ fwe fe	ふぉ fwo fo
う゛ぁ va	う゛ぃ vi vyi	う゛ vu	う゛ぇ ve vye	う゛ぉ vo
う゛ゃ vya		う゛ゅ vyu		う゛ょ vyo
ぁ la	ぃ li	ぅ lu	ぇ le	ぉ lo
ゃ lya		ゅ lyu		ょ lyo
ゎ lwa			っ ltu 2重子音＋母音	
ヵ lka			ヶ lke	

6. 製品仕様

【キーボード LC-150K】

キーボード	か な：50音よこ配列 英数字：JIS配列準拠 ラバーキー／95キー
ディスプレイ	バックライト付 LCD（360×240ドット）
文書メモリ	内部：100ファイル／最大20,000キャラクタ 外部（オプション・メモリパックLC-100M）： 150ファイル／最大40,000キャラクタ
搭載フォント、他	文字：太丸ゴシック体、細丸ゴシック体、太角ゴシック体、 細角ゴシック体 （全書体JIS第1・第2水準クリア。非漢字には特字101文字含む。） ピクトサイン：93種 枠線種：12種
使用環境	温度：10～35℃　湿度：35～80%（ただし結露しないこと）
電源	AC100V±10%　50/60Hz
消費電力	最大150W
外形寸法	W335 × D265 × H120 (mm)
重量	2.8kg

【カッティング＋プリンタ LC-100CP】

プリント部	印字方式	熱転写方式
	印字密度	400dpi
	印字速度	12mm/sec·1色
	カラー印字	指定18色（マルチカラーリボン使用時）
カッティング部	分解能	0.021mm/step
	カッティング速度	最大120mm/sec
共通	最大出力範囲	100×2,000mm／1ラベルあたり
	最大入力行数	1エリア9行。 1ラベル27行（パターンGを選択し、ラベルサイズの縦横いずれかが100mm以内の場合）。
	プリントとカットの位置合せ精度	±0.35mm以下
	使用環境	温度：10～35℃ 湿度：35～80%（ただし結露しないこと）
	外形寸法	W330 × D300 × H330 (mm)
	重量	9.5kg

付録
製品仕様

【カッティングマシン　LC-200C】

最大出力範囲	200×4,000mm	
分解能	LC-150K接続時	：0.021mm/step
	LC-100K/100K2接続時	：0.025mm/step
カッティング速度	LC-150K接続時	：最大110mm/sec
	LC-100K/100K2接続時	：最大70mm/sec
使用環境	温度：10～35℃　湿度	：35～80%（ただし結露しないこと）
外形寸法	W260 × D400 × H205 (mm)	
重量	3.9kg	

【カッティングマシン　LC-100C】

最大出力範囲	100×2,000mm	
分解能	LC-150K接続時	：0.021mm/step
	LC-100K/100K2接続時	：0.025mm/step
カッティング速度	LC-150K接続時	：最大110mm/sec
	LC-100K/100K2接続時	：最大70mm/sec
使用環境	温度：10～35℃　湿度	：35～80%（ただし結露しないこと）
外形寸法	W260 × D290 × H205 (mm)	
重量	3.4kg	

7. ラベル／切り文字のおすすめ操作手順ガイド

ラベルのおすすめ操作手順

ラベル作成の全体の流れを簡単にご案内します。
個々の操作方法は本文の各章をご覧ください。

1. 入力する前に、作るラベルのレイアウトを考えます。
(下書きしておくとよいでしょう。)

↓

2. 出力選択で、「100CP ラベル」を選びます。

↓

3. パターンを選びます。

↓

4. それぞれのエリアに文字を入力します。
・改行やPマークの設定も同時に行なうと後の作業が楽になります。

↓

5. 文字の入力が終わったところで、それぞれのエリア毎に位置合わせや背景色の設定を行ないます。

↓

6. 一通り入力が終わったら、イメージ表示でレイアウトを確認します。

↓

7. 必要があれば、修正します。

↓

8. LC-100CP にシートとリボンカセットをセットします。
・マルチカラーを設定している場合は、マルチカラーリボンをセットしてください。
・単色で出力する場合は、単色リボンカセットをセットしてください。
(マルチカラーリボンで単色の印刷もできますが、ランニングコストの面を考慮すると単色リボンカセットの方が断然お得です。)

↓

9. (スタート)を押して、出力を開始します。

↓

10. 印刷して周囲の枠をハーフカットしたラベルが出来上がります。
(✂)を押して切り取り、ご使用ください。

切り文字（カッティング）のおすすめ操作手順

切り文字（カッティング文字）作成の全体の流れを簡単にご案内します。
個々の操作方法は本文の各章をご覧ください。

1. 入力する前に、作る切り文字のレイアウトを考えます。
（下書きしておくとよいでしょう。）

↓

2. 出力選択で、「カット」を選びます。

↓

3. パターンを選びます。

↓

4. それぞれのエリアに文字を入力します。
   - 改行やPマークの設定も同時に行なうと後の作業が楽になります。

↓

5. 文字の入力が終わったところで、それぞれのエリア毎に位置合わせの設定を行ないます。

↓

6. 一通り入力が終わったら、イメージ表示でレイアウトを確認します。

↓

7. 必要があれば、修正します。

↓

8. シートをセットします。
   - (移動)と矢印キーでシートを送り、切りはじめの開始点を決めると、シートを無駄無く使えます。

↓

9. (スタート)を押して、出力を開始します。

↓

10. シートをカットします。

↓

11. シートを機械から取り外します。
   - (✂)で切り取ると後の作業はし易くなります。
   - 無駄無くシートを使いたい、という場合は、多少シートの取扱いが面倒になりますが、切り取らずに、ロールごと機械から取り外します。

↓

12. カス取り作業を行ないます。

↓

13. アプリケーションシートに転写して、切り文字の出来上がりです。

8. 保証書／保守サービス

【保証書について】

* 保証期間中万一故障した場合、保証記載内容に基づき無料修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
* 保証期間後の修理はお買い求めの販売店、弊社営業所、又はマックスサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼に応じ有償修理いたします。
* 保証書は、同梱されております。付属のお客様アンケートカードに所定の事項をご記入の上、ご返送ください。

【保守サービスについて】

* お買い上げの販売店、又は弊社営業所、マックスサービスにご相談ください。
* 持ち込み修理：修理品を販売店、又はマックスサービスの窓口にお持ち込みください。